

CW-C4020

詳細取扱説明書

製品概要

製品の特長について説明します。

セットアップ

製品の設置・設定作業について説明します。

製品の取り扱い

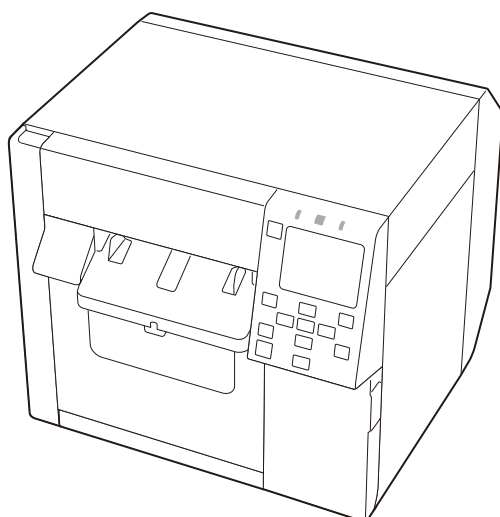
製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

アプリケーション開発情報

本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

付録

製品の仕様などについて説明します。



ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION および ESC/Label はセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft[®] および Windows[®] は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

Mac、macOS、OS X、ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Zebra Technologies Corporation および ZPL II は Zebra Technologies Corporation 社の商標または登録商標です。

Pentium[®] は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Photoshop、PostScript および Reader ロゴは、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

Android[™] は Google LLC の商標です。

BarTender[®] は Seagull Scientific, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

NiceLabel[®] は Euro Plus d.o.o. の商標または登録商標です。

CODESOFT は、TEKLYNX International の商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2021-2022.

ご使用の前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル はじめにお読みください



本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。

パソコンで見る マニュアル



ユーザーズガイド

本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。付属の CD から閲覧できます。

パソコンで見る マニュアル



CW-C4020 詳細取扱説明書（本書）

本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。

パソコンで見る マニュアル



Web 動画マニュアル

操作方法や困ったときの解決方法を動画で分かりやすく説明しています。以下の URL からご覧ください。

<<https://www.epson-biz.com/?prd=cw-c4k&inf=video>>

動画の内容は変わることがあります。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。

< <https://www.epson.jp/support/> >

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク



重要

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意



警告

本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。



注意

- 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- プリンターの上に重いもの(10 kg 以上)や、振動するものを載せないでください。重量物を載せる場合は、お客様ご自身で動作をご確認ください。

取り扱いのご注意



警告

- アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 煙が出たり、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。
- 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。
- マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
- お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
- 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。
- 各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本体の画面が破損したときは、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
 - * 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。
 - * 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
 - * 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。



注意

- 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
- 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
- 本製品を移動する際は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源がオンの状態で本製品に振動や衝撃を与えないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- カッターは子どもの手の届く場所に保管しないでください。カッターの刃でけがをするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。

電源のご注意



警告

- 指定の AC アダプター (AC ADAPTER, K1) 以外は使用しないでください。また、指定の AC アダプターを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- AC アダプターを取り扱う際は、以下の点を守ってください。感電・火災のおそれがあります。
 - * 雨や水のかかる場所で使用しない
 - * 電源コードで吊り下げない
 - * コネクターにクリップなどの金属性のものを接触させない
 - * 布団などで覆わない
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。感電・火災のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
 - * 電源コードを加工しない
 - * 電源コードに重いものを載せない
 - * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - * 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱して火災になるおそれがあります。電源コンセントから直接電源を取ってください。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
- 本製品の電源をオンにしたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



注意

長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクカートリッジに関するご注意



注意

- 製品の機種型番によって、使用できるインクカートリッジが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクカートリッジを使用してください。(339 ページ「インクカートリッジ」)
- 新しいインクカートリッジは、よく振ってからセットしてください。
- インクカートリッジの IC チップには触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 充填中 (① (電源) LED の点滅中) は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充填され、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- モノクロ印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6 ヶ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
 - * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
 - * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
 - * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
- カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。
- 本体の ⏻ (電源) ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の ⏻ (電源) ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。



注意

- アート紙等の表面撥水处理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。
- インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは冷暗所で保管することをおすすめします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。

メンテナンスボックスに関するご注意



注意

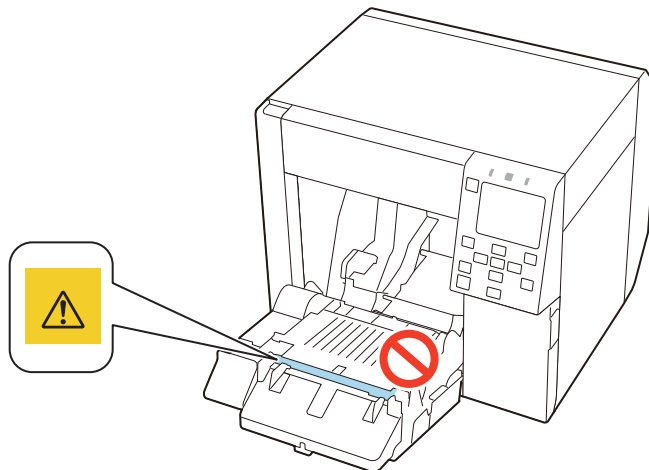
- 子どもの手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
- メンテナンスボックスを分解または改造しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- メンテナンスボックス上の IC チップは触らないでください。
- 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期間放置した場合は再使用しないでください。
- メンテナンスボックス上面のフィルムは剥がさないでください。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
 - * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
 - * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
 - * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- 使用したメンテナンスボックスは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、メンテナンスボックスからインクが漏れるおそれがあります。
- 高温下及び凍結状態での保存は避けてください。
- 直射日光を避けてください。

注意ラベル

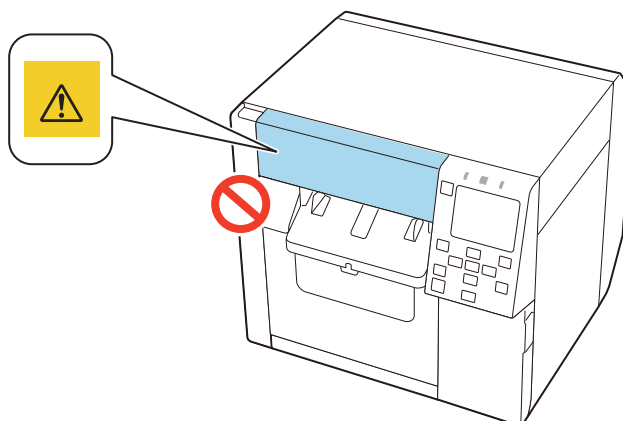
本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。



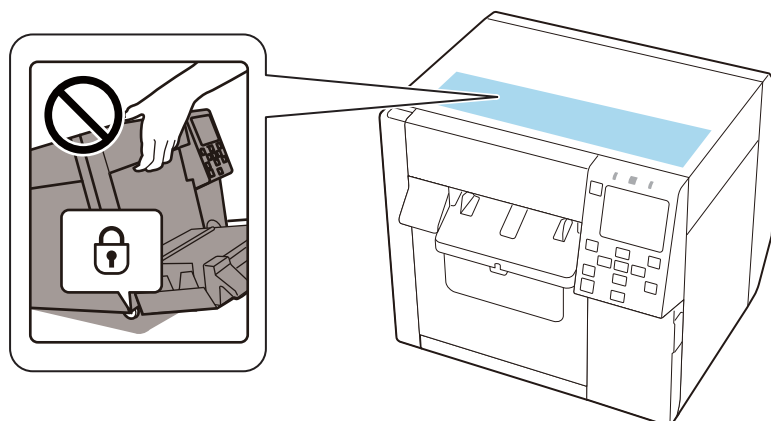
- オートカッターの刃に手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



- オートカッターの可動刃に手を触れないでください。けがをするおそれがあります。
ラベルはオートカッターユニットの裏側に貼り付けられているため、取り外した場合に確認できます。



- 手指の挟み込みを防ぐため、本体を設置面から浮かせるとロック機構が動作し、カバーは閉まりません。本製品を使用するときは、水平な場所に設置してご使用ください。



使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

- 第 1 章 [製品概要](#)
- 第 2 章 [セットアップ](#)
- 第 3 章 [製品の取り扱い](#)
- 第 4 章 [アプリケーション開発情報](#)
- 付録 [製品仕様](#)

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り Windows 10 の画面を掲載しています。
お使いのプリンタードライバー、ユーティリティのバージョンにより、本書で説明している画面とは表示が異なる場合があります。

もくじ

■ ご使用の前に	3
本製品マニュアルの使い方	3
本文中のマークについて	4
安全にお使いいただくために	5
設置上のご注意	5
取り扱いのご注意	6
電源のご注意	7
インクカートリッジに関するご注意	8
メンテナンスボックスに関するご注意	9
注意ラベル	10
■ 使用制限	11
■ 電波障害自主規制について	11
■ 本書について	11
本書の目的	11
本書の構成	11
掲載画面	11
■ もくじ	12

製品概要

17

■ 本製品のモデルについて	17
フォトインク仕様 / マットインク仕様	17
製品のファームウェアとドライバーのバージョン	17
■ 各部の名称と働き	18
本体前面	18
本体内部	19
本体背面	20
コネクタ	21
操作パネル	22
■ ノズル自己診断システム	25
ノズル自己診断システムの設定	25
ノズル抜け補完機能	28
■ 定期自動クリーニング	29
定期自動クリーニングの開始時刻の設定	29
定期自動クリーニングの実行	29
印刷作業を中断しない効果的な設定例	29
■ プリンターの状態を確認する	30
用紙の情報を確認する	30
消耗品の状態を確認する	31
ノズルチェックパターンの印刷	31
ステータスシート印刷	32
ネットワークの接続状態や設定情報を確認する	34

セットアップ	36
■ 同梱品の確認	36
■ 保護材の取り外し	37
■ プリンターの設置	38
■ 電源ケーブルの接続	39
■ 電源のオン / オフ	40
電源のオン	40
電源のオフ	40
■ 操作パネルの設定	41
■ ブラックインク仕様の選択	41
■ インクカートリッジの取り付け	42
インクカートリッジの交換	43
メンテナンスボックスの交換	46
■ プリンタードライバーのインストールと接続	49
Install Navi を使用する場合	49
Install Navi を使用しない場合	50
■ 用紙の設定	63
■ 用紙のセット	64
ロール紙のセット	65
ファンフォールド紙のセット	70
シャッターの調整	75
用紙を取り除く	77
■ 印字確認	79
テスト印刷	80

製品の取り扱い 81

■ プリンタードライバー (Windows)	81
プリンタードライバーの開き方	81
プリンタードライバーの画面構成	82
用紙設定	83
給紙方法・用紙検出の設定	88
ユーザー定義用紙	90
長尺印刷	95
バーコード印刷	97
2次元シンボル印刷	108
.NET 環境でバーコード / 2次元シンボル印刷	116
お気に入り	118
ユーザー定義情報	121
プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み	121
プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する	126
高速バッチラベル印刷機能で印刷速度を上げる	128
プリンタードライバーを共有する	135
EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定	158

プリンタードライバーの制限事項	164
プリンタードライバーの分離	165
■ プリンタードライバー (Mac)	167
基本の印刷手順	167
プリンタードライバーのカスタマイズ	173
Epson Label Printer Utility	175
■ プリンタードライバー (Linux)	177
パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c4000) の入手	178
プリンタードライバーのインストール	178
I/O モジュールのインストール	178
CUPS にプリントキューを登録する	178
Epson Label Printer Utility for Linux のインストール	180
Epson Label Printer Utility for Linux を起動する	180
Epson Label Printer Utility for Linux を終了する	181
プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール	181
■ SAP システムからの印刷	182
SAP システムからの印刷方式について	182
Indirect printing で印刷するには	184
High Volume printing で印刷するには	184
■ PrinterSetting (Windows)	185
PrinterSetting の起動	186
設定の反映	187
用紙を設定する	188
レイアウトを設定する	189
位置を調整する	191
印刷結果を調整する	193
プリンターにデータを登録する	194
プリセット画像を設定する	198
クリーニングを行う	202
プリンター本体の設定	203
プリントヘッドの調整	204
パネルの設定	210
動作時間の設定	211
ノズルチェックの設定	212
高度な設定	213
プリンターの初期化	221
プリンター情報の表示	222
設定の保存と復元	224
オプション	225
■ 操作パネルの設定項目	226
■ WebConfig	235
■ Epson Device Admin	237
■ 特色の設定	238
特色設定を作成する	238
特色設定を使用して印刷する	243
■ 色補正方法	244
ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係	244
プリンターで設定する	246

OS で設定する.....	248
色補正なし.....	258
■ 印刷しないラベルを発生させないための用紙加工	259
給紙時に 1 枚目のラベルから印刷する	259
最後のラベルに印刷する	261
■ 検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する	263
■ ラベルコマンドで用紙サイズ違いを検出する	263
■ パネル操作を制限する（管理者ロック機能）.....	264
管理者パスワードの初期値を確認する	264
管理者ロック機能を有効にする.....	264
管理者パスワードを変更する.....	265
管理者パスワードを初期化する.....	265
■ プリンターのクリーニング	266
外装のクリーニング	266
プラテンのクリーニング	267
オートカッターのクリーニング.....	269
プリンター内部のクリーニング（内部供給で使用了した場合）.....	270
プリンター内部のクリーニング（外部供給で使用了した場合）.....	271
プリントヘッドのクリーニング.....	272
■ インク充填後の本製品の保存	276
本製品の長期保存	276
-10℃以下の環境での輸送や保存（マットインク仕様の場合）.....	277
本製品の再稼動.....	277
■ 輸送時の処置	278
■ トラブルシューティング.....	279
画面にメッセージが表示された.....	279
印刷品質の低下.....	283
印刷できない.....	285
ネットワーク接続診断のエラー.....	286
ネットワークに接続できない.....	289
コンピューターの画面にメッセージが表示された.....	290
コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった.....	291
PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない	293
エラーを知らせるブザー音が止まらない	293
用紙が詰まった	294
アプリケーション開発情報.....	298
■ プリンターの制御方法.....	298
■ Epson Inkjet Label Printer SDK を使用	299
動作環境.....	299
入手方法.....	299
■ iOS SDK / Android SDK / Web アプリケーション SDK を使用.....	300
入手方法.....	300

■ ESC/Label コマンドを使用	300
■ ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え	301
2 ステップ印刷から 1 ステップ印刷への切り替え	301
テンプレートの活用	317
■ ソフトウェアとマニュアル	318

付録 320

■ 製品仕様	320
動作環境	321
用紙仕様	322
電氣的仕様	335
信頼性	336
環境仕様	337
外形寸法	338
■ 消耗品仕様	339
インクカートリッジ	339
メンテナンスボックス	339
■ オプション品	340
排紙トレイ	340
OT-WA34	342
OT-CU40	345
■ ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード	346
■ ラベル印刷アプリケーション	346
入手方法	346
■ お問い合わせ	347

製品概要

本章では、製品の特長を説明しています。

本製品のモデルについて

フォトインク仕様 / マットインク仕様

本製品は、フォトインク（BK）またはマットインク（MK）いずれかのブラックインクが使えます。初期充填時に、どちらのブラックインクを使用するかを設定します。



重要

インクの初期充填時に設定したブラックインクの仕様は、一度設定したら変更できません。

製品のファームウェアとドライバーのバージョン

製品のファームウェアとプリンタードライバー、ユーティリティはすべて最新のバージョンの組み合わせでご利用ください。

製品のファームウェアバージョンは次の方法で確認できます。

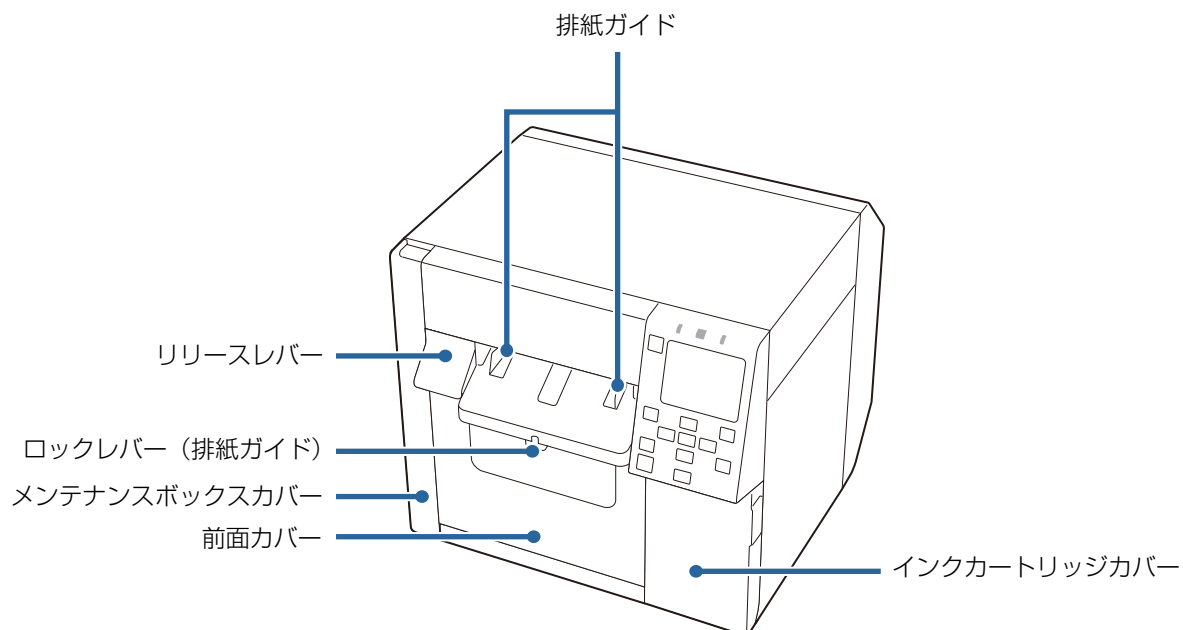
- ステータスシートを印刷する（[32 ページ「ステータスシート印刷」](#)）
- 操作パネルから確認する（[226 ページ「操作パネルの設定項目」](#)）

最新のドライバー、ユーティリティの入手については [346 ページ「ドライバー、ユーティリティ、マニュアルのダウンロード」](#) を参照してください。

各部の名称と働き

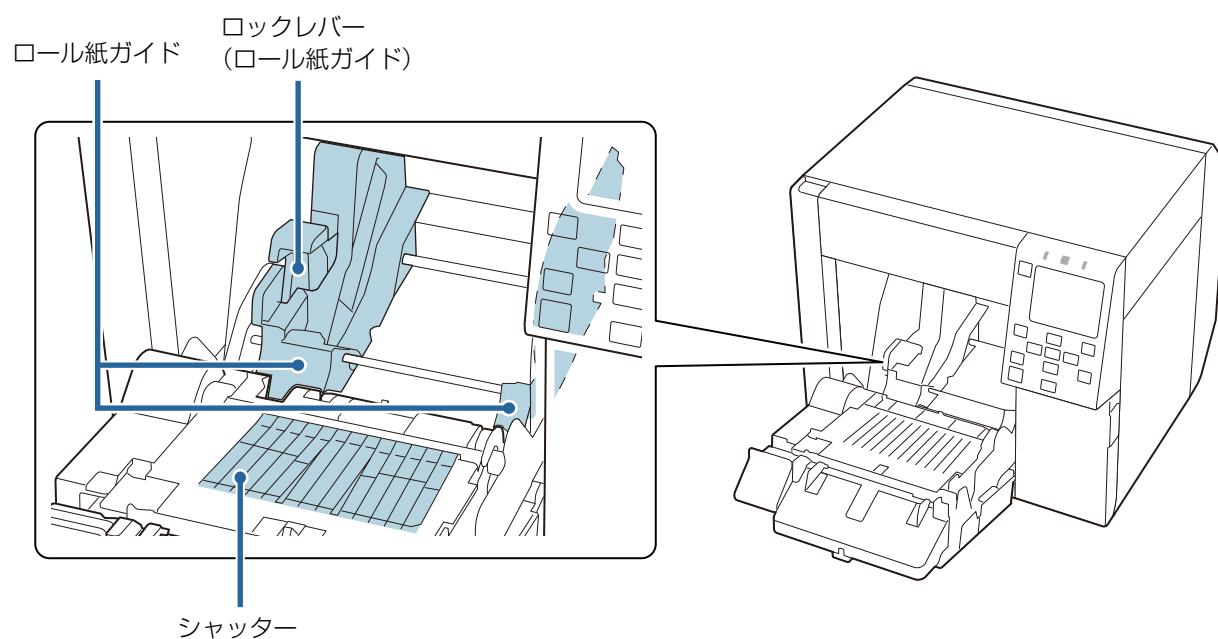
ここでは、主な操作部を説明します。

本体前面



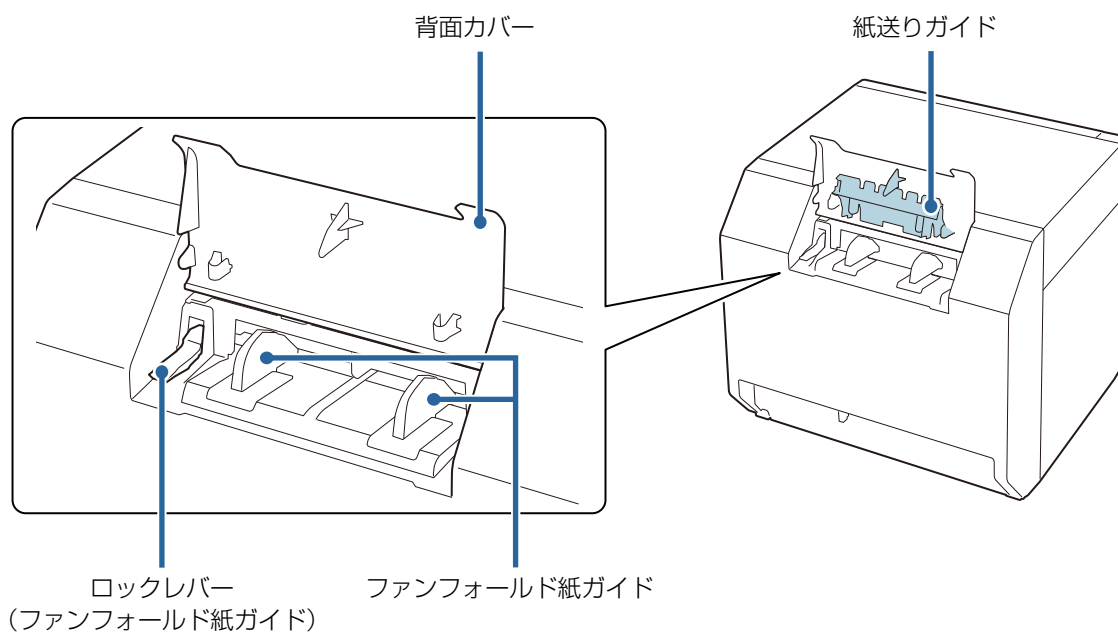
名称	説明
リリースレバー	手前に引くと、前面カバーが開きます。
ロックレバー (排紙ガイド)	押し下げると排紙ガイドが調整できるようになります。 カチッと音がするまで引き上げると排紙ガイドが固定されます。
メンテナンスボックスカバー	メンテナンスボックスを取り付け / 交換するときに開けます。 (46 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
前面カバー	用紙をセット・交換したりするときに開けます。
インクカートリッジカバー	インクカートリッジを取り付け / 交換するときに開けます。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
排紙ガイド	用紙が排出される際に用紙がずれないようにするためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。

本体内部



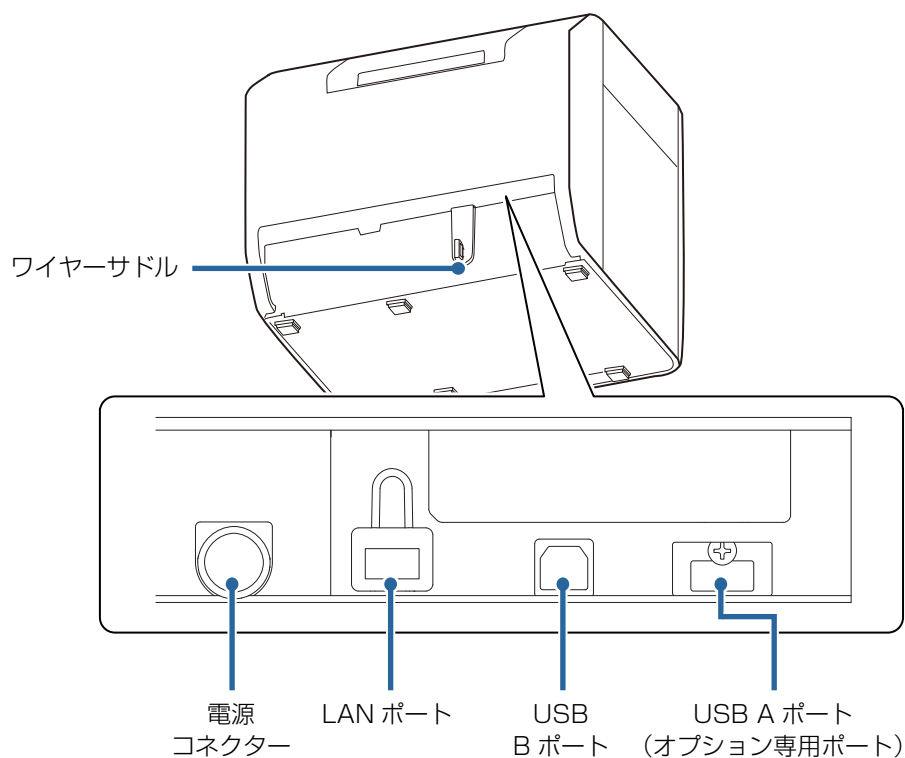
名称	説明
ロックレバー (ロール紙ガイド)	引き上げるとロール紙ガイドが調整できるようになります。 押し下げるとロール紙ガイドが固定されます。
ロール紙ガイド	ロール紙を固定するためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。
シャッター	用紙幅に合わせてシャッターの開閉をします。 (75 ページ「シャッターの調整」)

本体背面



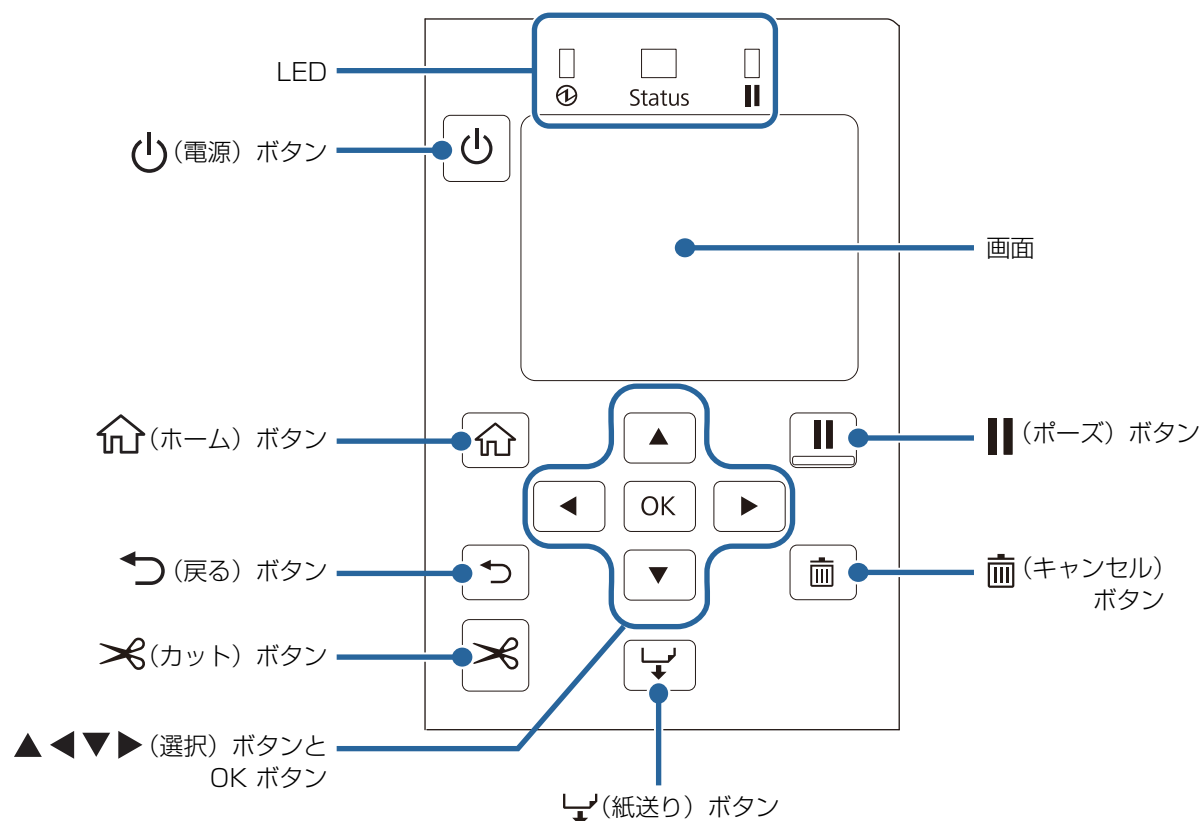
名称	説明
ロックレバー (ファンフォールド紙ガイド)	引き上げるとファンフォールド紙ガイドを調整できます。 引き下げるとファンフォールド紙ガイドを固定します。
ファンフォールド紙ガイド	用紙が本製品の内部に送られる際に用紙がずれないようにするためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。
紙送りガイド	フォンフォールド紙を使用するときに、前面カバー内に取り付けます。
背面カバー	ファンフォールド紙をセット・交換するときに開けます。 (70 ページ「ファンフォールド紙のセット」)

コネクター



名称	説明
ワイヤーサドル	USB ケーブルを通して、ケーブルの抜けを防止します。
電源コネクター	電源ケーブルを接続します。
LAN ポート	LAN ケーブルを接続します。
USB B ポート	USB (Type B) ケーブルを接続します。
USB A ポート (オプション専用ポート)	オプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続します。

操作パネル



名称	説明
LED	LED の点滅によって、プリンターの状態を確認できます。 ● 電源) LED プリンターの電源がオンのときに、点灯します。印刷中やインクの充填中に、点滅します。 ● Status LED プリンターに異常があるときに、点灯・点滅します。 ● ポーズ) LED プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。
電源) ボタン	電源のオン / オフができます。
ホーム) ボタン	ホーム画面を表示します。
戻る) ボタン	前の画面に戻ります。
カット) ボタン	用紙をカットします。
▲◀▶▶(選択) ボタンと OK ボタン	▲◀▶▶ ボタンでメニューや項目を選択し、OK ボタンで確定します。
紙送り) ボタン	短く押すと、1 ページ分用紙が送られます。 押し続けると、連続して用紙が送られます。

名称	説明
 (キャンセル) ボタン	印刷をキャンセルします。 プリンターの一時停止中に  (キャンセル) ボタンを押し、「キャンセル選択」画面で [先頭フォーマットのみ]、または [すべてのフォーマット] を選択し印刷のキャンセルを行います。
 (ポーズ) ボタン	- 印刷中に押した場合 印刷中のページを印刷後に一時停止し、 (ポーズ) LED が点灯します。もう一度押すと印刷を再開し、 (ポーズ) LED が消灯します。 - 印刷待機中に押した場合 プリンターが一時停止し、 (ポーズ) LED が点灯します。もう一度押すと印刷待機中になり、 (ポーズ) LED が消灯します。 - エラーによる一時停止中に押した場合 プリンターの一時停止を解除し、 (ポーズ) LED が消灯します。
画面	本製品の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示します。

ホーム画面の操作



名称	説明
情報表示欄	プリンターの状態やエラーメッセージなどを表示します。 (279 ページ「画面にメッセージが表示された」)
用紙情報欄	プリンターの用紙設定の情報を表示します。 このエリアを選択すると、[Menu] - [用紙設定] のメニューが表示されます。

名称	説明
消耗品情報アイコン	各色インクカートリッジの残量と、メンテナンスボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示します。 [!] マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。 [×] マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。 マットインク仕様の場合は、ブラックインクは「MK」と表示されます。
ヘルプメニューボタン	困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
設定メニューボタン	メンテナンスやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などが行えます。本書では [Menu] と表現しています。設定できる項目の一覧は以下をご覧ください。 (226 ページ「操作パネルの設定項目」)

ノズル自己診断システム

本製品は、ドット抜けを検出するノズル自己診断システムを搭載しています。
印刷物のドット抜けに対するお客様の求められる要求レベルにより、以下の設定をすることができます。

- ノズルチェックのオン / オフ
- 診断間隔
- ノズル抜け検出時動作設定
- ノズル抜け許容数
- 診断後クリーニングのオン / オフ

また、クリーニングを行ってもノズル詰まりを解消できない場合には、近くのノズルを使用して補完印刷をすることができます。
これを使用すると、印字品質やバーコード品質の著しい低下を補うことができます。

ノズル自己診断システムの設定

以下の場合に、ノズル自己診断を実行します。

- 電源を入れたとき
- 紙詰まり後に、前面カバーを閉じたとき
- 定期クリーニングで指定した時刻になったとき
(29 ページ「定期自動クリーニング」)

「ノズルチェックの設定」を「オン」に設定すると、以下の場合にノズル自己診断を行います。

- 診断間隔の設定で指定された印刷枚数ごと

診断後クリーニングがオンの設定で、検出されたノズル抜け数が設定された「ノズル抜け許容数」を超過した場合には、自動ヘッドクリーニングを行い、ドット抜けを解消させます。自動クリーニング後にもノズルチェックを行い、設定された「ノズル抜け許容数」を下回らない場合には、再度自動クリーニングを行います。



重要

- 本機能は、100% ドット抜け防止を保障するものではありません。ドット抜け、インク滴の曲がりを 100% 検出することができません。
- ドット抜けにより文字の一部が印刷されず文字を読み違うことを防ぐ為、購入時の状態（初期値）での使用をおすすめします。初期値は [226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) の「プリンターのお手入れ設定」 - 「ノズルチェックの設定」を参照してください。
- 極めて高い信頼性・安全性が要求される場合、印刷データで使用するフォントは、縦 3 ドット構成以上をおすすめします。



- ヘッドクリーニングは、すべてのヘッドに対して同時に行います。ノズル詰まりを検出したヘッドおよびインクだけに対して行うものではありません。
- ノズル自己診断システムを行うため、微量のインクを使用します。
- 診断後クリーニングを実施する設定の場合、ドット抜け検出後には自動でヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニング実行時にはインクが消費されます。

ノズルチェックの設定（印刷中の自動ノズルチェック）

印刷中に実施するノズル自己診断システムのオン / オフを設定します。
工場出荷時には「オン」に設定されています。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

226 ページ「操作パネルの設定項目」または 185 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照

診断間隔の設定（ノズルチェック間隔）

指定した印刷枚数ごとに印刷を一時停止して、ノズル自己診断をします。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

1 ～ 9999 枚ごと、1 枚単位で設定できます。

226 ページ「操作パネルの設定項目」または 185 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照



- 累積枚数は、設定した枚数に達し、ノズルチェックを実施した場合と、本製品の電源を切った場合に初期化されます。
- 診断間隔の初期値は「100」です。

ノズル抜け検出時動作設定

検出されたノズル抜け数が設定された「ノズル抜け許容数」を超過した後の動作を設定できます。

設定

本製品の操作パネル及び PrinterSetting から設定できます。

- 通知する
診断後クリーニングで設定された動作を実行した後に動作が一時停止し、印刷待機中（ポーズ）となります。また、ポーズボタンを押すことで印刷動作は再開されます。
- 印刷継続
診断後クリーニングで設定された動作を実行した後に一時停止せず、印刷動作は継続されます。

ノズル抜け許容数の設定

ノズル自己診断システム実行時の許容ノズル抜け数を設定します。ノズル抜け数がこの値を上回った場合に、本体の画面へ通知を出し診断後クリーニングで設定された動作を実行します。また、ノズル抜け数がこの値に達しない場合は、ノズル抜け補完機能を使用することもできます。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

0 ～ 16 ノズルの間で設定できます。

226 ページ「操作パネルの設定項目」または 185 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照



- ノズル抜け許容数は、4 色（BK(MK),C,M,Y）合計の許容ノズル数を示します。
- ノズル抜け許容数の初期値は「2」です。

診断後クリーニングの設定

ノズル抜け許容数を超えたとき、自動でヘッドクリーニングを実行するかを設定できます。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。

- オン
ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知を出し、自動でクリーニングを実行します。
- オフ
ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知が出ますが、クリーニングは実行しません。

工場出荷時には「実施する」に設定されています。

[226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [185 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

ノズルチェック設定の初期化

ノズルチェック設定を購入時の状態（初期値）に戻すことができます。

設定

本製品の操作パネルから実行できます。

[226 ページ「操作パネルの設定項目」](#)

ノズル抜け補完機能

ノズル抜け補完機能とは、ノズル詰まりが発生した場合に、近傍のノズルを使用して補完印刷を行う機能です。自動補完可能なノズル詰まりは、合計 16 ノズル以下です。ただし、隣接するノズル詰まりの場合は、補完を十分に行えません。ノズル詰まりの合計が 16 ノズルを超えた場合は、16 ノズル分の補完は実施し、印字は継続することができます。

この機能は、ノズル自己診断システムが無効だと使用できません。ノズル自己診断システムも有効に設定してください。



- この機能は、「印字品質」や「バーコード品質」などを完全に補完するものではありません。
- この機能は、印刷開始時に既知のノズル抜け情報を基に補完を行うため、印刷中に発生したノズル抜けを補完することはできません。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

工場出荷時には「有効」に設定されています。

[226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [185 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照

定期自動クリーニング

本製品はプリントヘッドを良好な状態に保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングを実行する場合があります。クリーニングには 3 ～ 14 分を要し、その間は印刷作業ができません。使用したいときにクリーニングが実行されることを避けるため、定期自動クリーニングの開始時刻の設定をお勧めします。

定期自動クリーニングは、あらかじめ設定した時刻になると自動でクリーニングを実行する機能です。プリンターがプリントヘッドのクリーニングの必要性を確認し、必要な場合に実行します。

お使いの状況に合わせて開始時刻を設定できるので、印刷作業を中断することなくヘッドクリーニングが実施できます。初期設定は「0：00」に設定されています。

定期自動クリーニングの開始時刻の設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

クリーニング中は印刷作業ができません。プリンターの電源が入っていて印刷を実施しない時間帯を設定してください。開始時刻は 1 分単位で設定できます。

設定方法は、[226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) または [185 ページ「PrinterSetting \(Windows\)」](#) を参照してください。



- 定期自動クリーニングには 3 ～ 14 分を要します。
- 開始時間を現在の時刻から 10 分未満に設定した場合は、24 時間後の設定時刻にクリーニングを実行します。

定期自動クリーニングの実行

設定した時刻になりプリンターの電源が入っていると、ヘッドクリーニングが必要な場合に定期クリーニングを実行します。



- 長時間、本製品の電源が入らない状態が続くと、電源を入れたときにクリーニングを実行する場合があります。
- 次のような場合は、設定した時刻にクリーニングが実行されません。次回、プリンターの電源を入れたときにクリーニングを実行します。
 - プリンターの電源がオフになっている。
 - インクカートリッジの残量が不足している、または交換が必要な場合。
 - メンテナンスボックスの空き容量が不足している、または交換が必要な場合。

印刷作業を中断しない効果的な設定例

定期自動クリーニングの開始時刻を以下のように設定することで、印刷作業中に意図しないクリーニングが開始される確率を低くできます。

プリンターの電源が常時入った状態で使用している場合

印刷作業を行わない時間帯（例えば 00:00）に設定すると、印刷作業には影響を与えません。

プリンターの電源を毎日入れなおす場合

- プリンターの電源が切れている時間帯（例えば 00:00）に設定すると、その日の電源投入直後に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。
- 昼休み等印刷作業を行わない時間帯（例えば 12:00）に設定すると、作業再開時間までの間に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。

プリンターの状態を確認する

LED の点灯 / 点滅と本体の画面から、プリンターの状態を確認できます。

また、ステータスシート印刷によって、プリンターの各種設定状態やノズルチェックパターンを確認できます。

 [32 ページ「ステータスシート印刷」](#)

用紙の情報を確認する

プリンターにセットされている用紙の種類、給紙方法は、本体のホーム画面で確認できます。



このエリアを選択すると、[Menu]-[用紙設定] のメニューが表示され、設定を変更できます。用紙設定はプリンタードライバーからも設定できます。

 [88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」](#)

操作パネルとプリンタードライバーでの設定が異なる場合は、プリンタードライバーの設定が適用されます。

消耗品の状態を確認する

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態や用紙の設定（用紙種類 / 検出方法 / 幅 / 長さ）は、本体のホーム画面で確認できます。（23 ページ「ホーム画面の操作」）



ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェック印刷をすることで、ドット抜けなどの印字不良が発生していないかを確認できます。以下の手順でノズルチェック印刷を実行できます。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティ] タブの [ノズルチェック] をクリックします。

WebConfig から実行する

[メンテナンス] タブの [ノズルチェック] を選択した後、[開始] をクリックします。

ステータスシート印刷

ステータスシート印刷をすることで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態を確認できます。

操作パネルから以下の手順でシートを印刷できます。

[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [ステータスシート印刷]



重要

- ステータスシートを印刷するときは、幅 101.6 mm (4.00 インチ) 以上の用紙をセットしてください。
- ステータスシート(ネットワーク設定)を印刷するときは、幅 96.6 mm (3.80 インチ) 以上、長さ 84.7mm (3.33 インチ) 以上の用紙をセットしてください。

ステータスシート印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 101.6 mm (4.00 インチ) 以上の場合：415.5 mm (16.36 インチ)



ブラックマーク検出が有効のままステータスシートを印刷すると、必要な用紙残量が増える場合があります。ブラックマークがある用紙も、ブラックマークを検出しない設定にして印刷することをおすすめします。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

同梱ロール紙の場合はラベル 3 枚でステータスシートを印刷できます。

同梱ロール紙：用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ)，用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ)，ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)



ダイカットラベルでステータスシートを印刷すると、用紙幅、用紙長さ、ページ間距離により、必要な用紙残量は異なります。組み合わせによっては、最大 1544 mm (60.8 インチ) の用紙長さが必要になるため、連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。

ステータスシート(ネットワーク設定)印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 96.6 mm (3.80 インチ) 以上の場合：315.1 mm (12.41 インチ)



ブラックマーク検出が有効のままステータスシート(ネットワーク設定)を印刷すると、必要な用紙残量が増える場合があります。ブラックマークがある用紙も、ブラックマークを検出しない設定にして印刷することをおすすめします。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

同梱ロール紙の場合はラベル 3 枚でステータスシート(ネットワーク設定)を印刷できます。

同梱ロール紙：用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ)，用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ)，ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)



連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。
ダイカットラベルでステータスシート（ネットワーク設定）を印刷する場合の推奨長さは、
84.7mm（3.33 インチ）以上です。

ステータスシート 印刷例	ステータスシート（ネットワーク設定）印刷例
<pre> <Printer Status Sheet> Sheet Output Time YYYY.MM.DD hh:mm <Basic Information> Model XX-XXXXBK Serial Number XXXXXXXXXX Main Firmware Version XXXXXXXX MAC Address XX:XX:XX:XX:XX:XX IP Address Setting Auto/Manual IP Address XXX.XXX.XXX.XXX Subnet Mask XXX.XXX.XXX.XXX Gateway Address XXX.XXX.XXX.XXX Head ID XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX </pre> <pre> 03 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 04 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 05 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 06 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 07 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 08 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 09 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm 10 xxxx yyyy/mm/dd hh:mm </pre>	<pre> HHH NetWork Status Sheet HHH <General Info> MAC Address XX:XX:XX:XX:XX:XX Firmware XXXXXXXXX <Ethernet> Network Status Auto(Disconnected) <TCP/IP IPv4> Obtain IP Address Manual IP Address XXX.XXX.XXX.XXX Subnet Mask XXX.XXX.XXX.XXX Default Gateway XXX.XXX.XXX.XXX HHHHHHHHHHHH 1/1 HHHHHHHHHHHH </pre>



- 本体に登録されているフォント・バーコードや、新規に登録したイメージ・テンプレートのリストの印刷も可能です。
- 無線 LAN ユニットを装着している場合、ステータスシート（ネットワーク設定）では、無線情報を印刷します。

ネットワークの接続状態や設定情報を確認する

ネットワーク接続診断レポートを印刷することで、ネットワークの接続状態や各種診断項目を確認できます。操作パネルから以下の手順でシートを印刷できます。

[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断]



重要

ネットワーク接続診断レポートを印刷するときは、幅 101.6 mm (4.00 インチ) 以上、長さ 136.2mm (5.36 インチ) 以上の用紙をセットしてください。

ネットワーク接続診断レポート印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 101.6 mm (4.00 インチ) 以上の場合 : 280.6 mm (11.05 インチ)



連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。
ダイカットラベルでネットワーク接続診断レポートを印刷する場合の推奨長さは、136.2mm (5.36 インチ) 以上です。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

同梱ロール紙の場合はラベル 2 枚でネットワーク接続診断レポートを印刷できます。

同梱ロール紙 : 用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ) , 用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ) , ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)



ダイカットラベルでネットワーク接続診断レポートを印刷すると、用紙幅、用紙長さ、ページ間距離により、必要な用紙残量は異なります。組み合わせによっては、最大 531 mm (20.9 インチ) の用紙長さが必要になるため、連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。

ネットワーク接続診断レポート 印刷例

ネットワーク機能診断レポート

診断結果	OK
------	----

正常に動作しています。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアルなどをご覧の上、対処してください。

診断項目

ネットワークケーブル接続の確認	OK
IPアドレスの確認	OK
IP詳細設定の確認	OK

ネットワーク設定情報

プリンター名	XX-XXXXX
プリンター型番	XXXXXXXXXX
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX

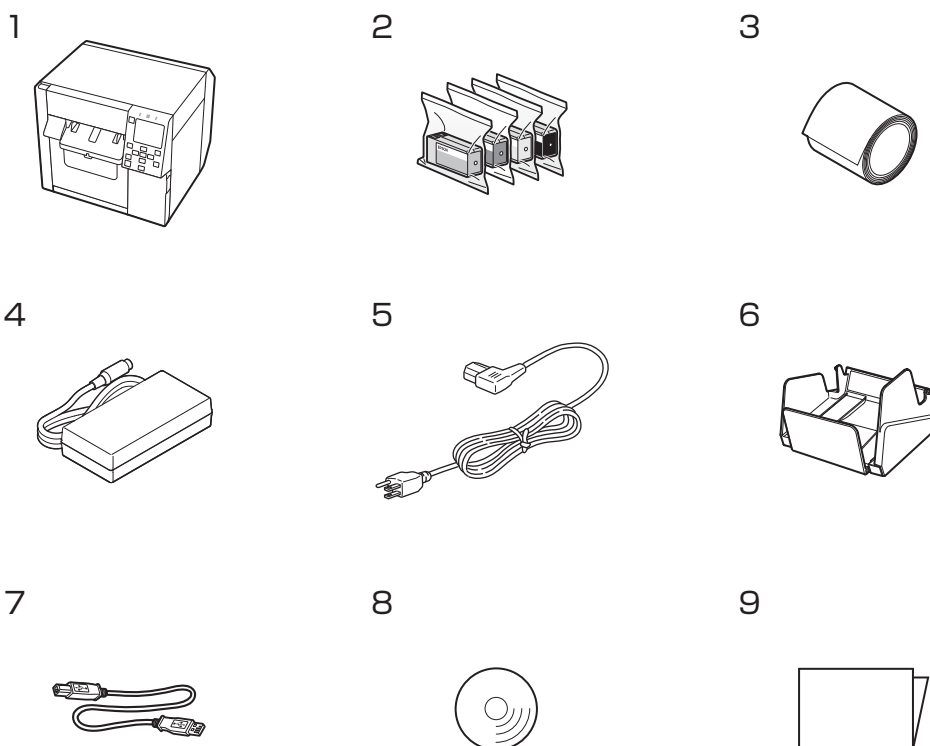
セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品の設置と設定作業について説明しています。

同梱品の確認

初めて使用する場合、付属品がすべて揃っていることと、本体および付属品に損傷がないことを確認してください。

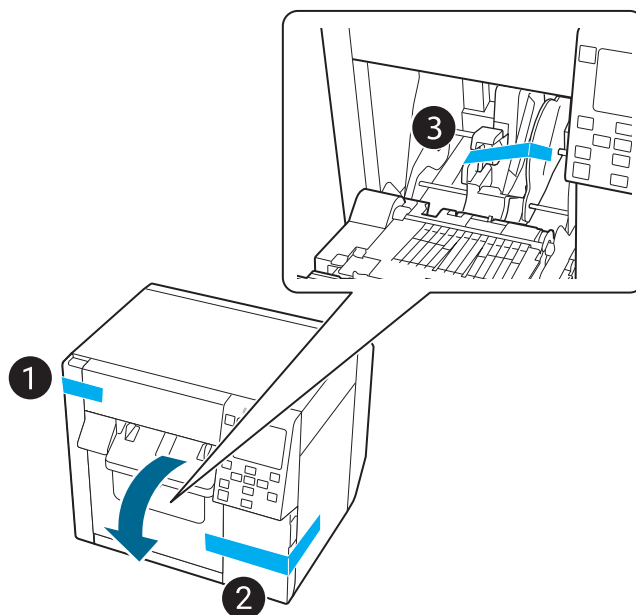
付属品は以下のとおりです。



1	プリンター (CW-C4020)	2	インクカートリッジ C、M、Y、BK (MK) * (初期充填用) * ブラックインクはフォトインク (BK) またはマットインク (MK) のいずれかが 同梱されます。
3	ロール紙 (動作確認用)	4	AC アダプター
5	電源ケーブル	6	排紙トレイ
7	USB ケーブル	8	CD-ROM
9	マニュアル		

保護材の取り外し

テープやクッション材などの保護材を全て取り外します。保護材は、カバーを開けた内部にもあります



プリンターの設置

設置に適した次のような場所に十分なスペースを確保して設置します。

- 本製品の質量（約 13 kg）に十分耐えられる水平で安定した場所
- 本製品底面が確実に載る、本製品底面よりも広い場所
- 振動や衝撃が加わらない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、日常のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 以下の条件を満たす場所

詳細は [337 ページ「環境仕様」](#) を参照してください。

		温度	湿度
印刷時		5 ～ 35 ℃	20 ～ 80% RH 非結露
保管時	フォトインク仕様	-15 ～ 40 ℃	5 ～ 85% RH 非結露（出荷梱包状態）
	マットインク仕様	-10 ～ 40 ℃	



注意

マットインク仕様でインク充填状態の場合、本製品の設置場所の温度が -10 ℃以下になることが想定されるときは、電源を切る前にインクの排出処理を行ってください。凍結によりプリントヘッドが破損するおそれがあります。詳細は [276 ページ「インク充填後の本製品の保存」](#) を参照してください。

電源ケーブルの接続

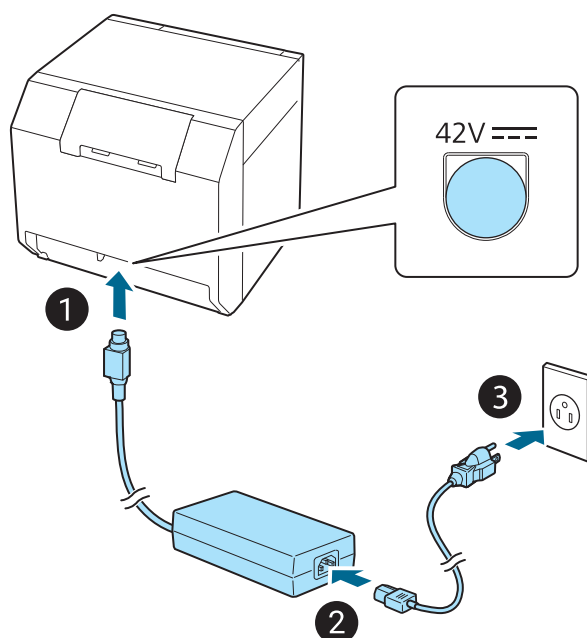
以下の手順で、電源ケーブルを接続します。



警告

- 指定の AC アダプター (AC ADAPTER, K1 型番: M248B) 以外は使用しないでください。
- 本製品は必ずコンセントの近くに設置し、異常が起きたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

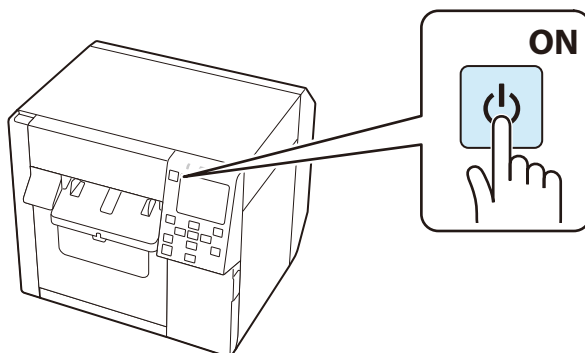
- 1** AC アダプターの DC コネクターを、プリンターの電源コネクターに奥まで確実に差し込みます。
- 2** 電源ケーブルのコネクターを、AC アダプターの AC インレットに奥まで確実に差し込みます。
- 3** 電源プラグを、アース付きのコンセントに奥まで確実に差し込みます。



電源のオン / オフ

電源のオン

①(電源) LED が点灯するまで、 (電源) ボタンを押してください。

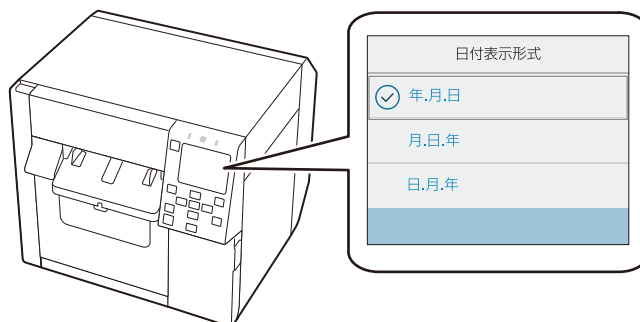


電源のオフ

 (電源) ボタンを押してください。電源オフ確認画面で [[はい]] を選択すると、①(電源) LED が消灯して電源が切れます。

操作パネルの設定

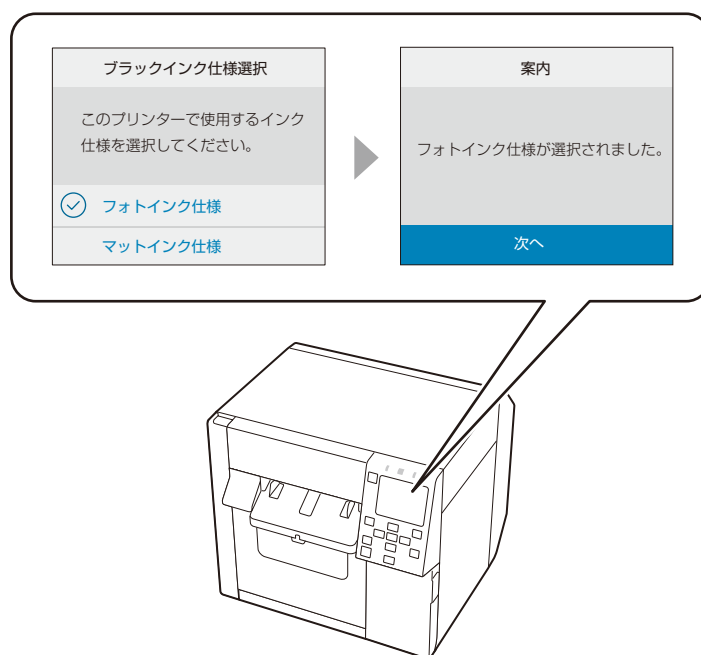
パネルの指示に従って、日時を設定します。



ブラックインク仕様の選択

パネルの指示に従って、ブラックインク仕様を選択します。

ブラックインク仕様を確認する画面で「次へ」を選択します。



インクカートリッジの取り付け

パネルの指示に従ってインクカートリッジをよく振ってからセットします。

カバーを閉じると初期充填の開始を確認する画面が表示されます。[はい] を選択すると初期充填が始まります。初期充填が完了すると、初期充填完了画面が表示されるので[了解] を選択します。

初期充填の所要時間は約 19 分です。充填時間は状況により異なります。



注意

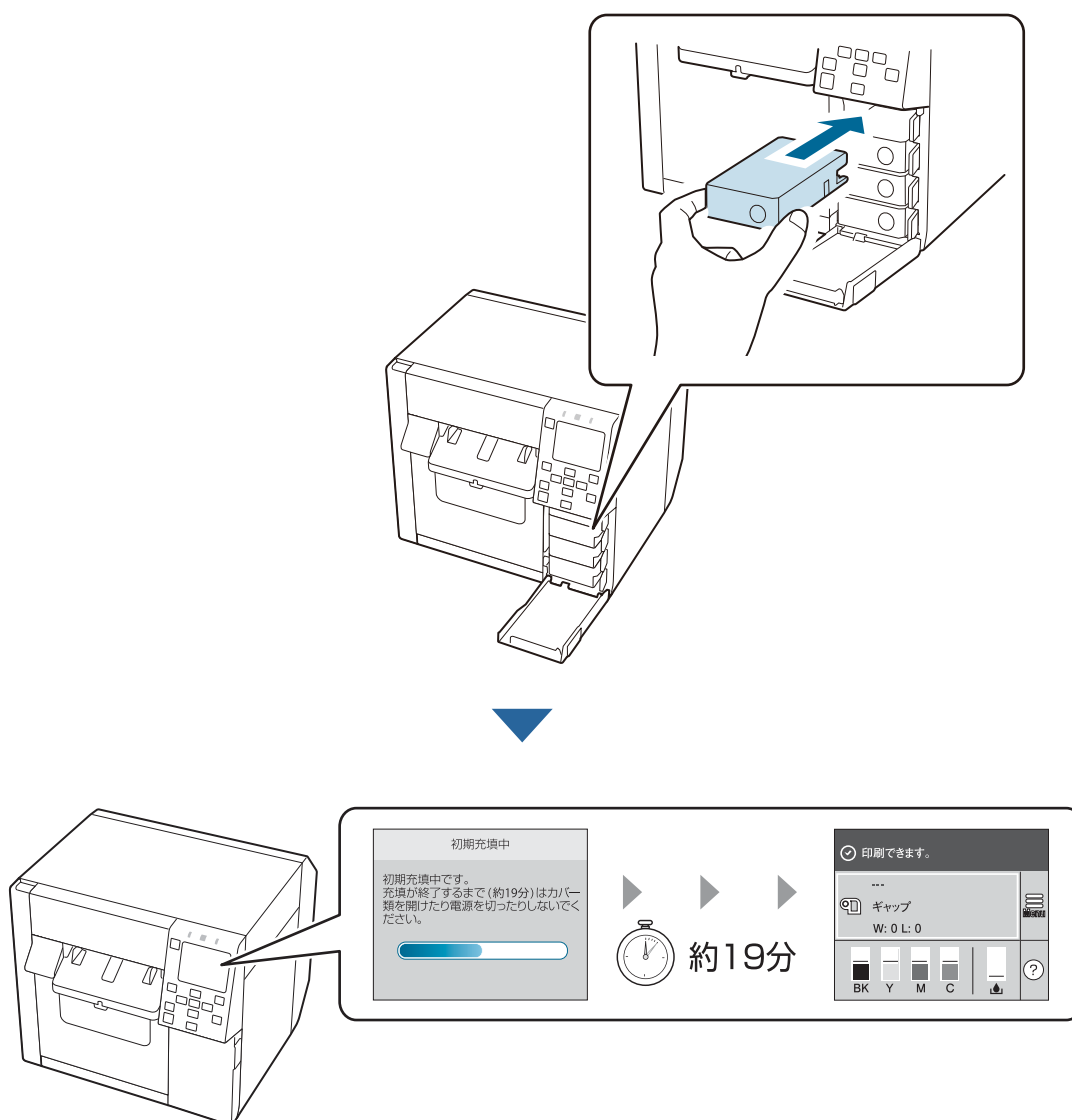
インクカートリッジをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。

🔗 [8 ページ「インクカートリッジに関するご注意」](#)

インクの充填中は、決してカバーを開けたり、電源をオフにしたりしないでください。

インク充填中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充填が完了する前にインクカートリッジやメンテナンスボックスの交換が必要になるおそれがあります。

初期充填開始後は、ブラックインク仕様は変更できません。



インクカートリッジの交換

インク残量の確認

操作パネルまたはコンピューターからインク残量の目安を確認できます。



インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクカートリッジの交換をしてください。

インクカートリッジの交換手順

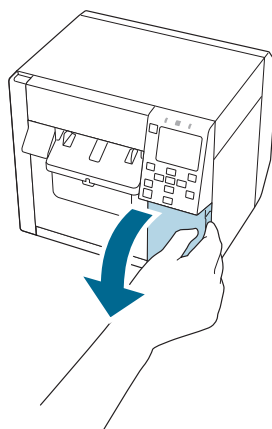
例として BK インクの交換手順を説明します。交換手順は、どのインクカートリッジも同じです。



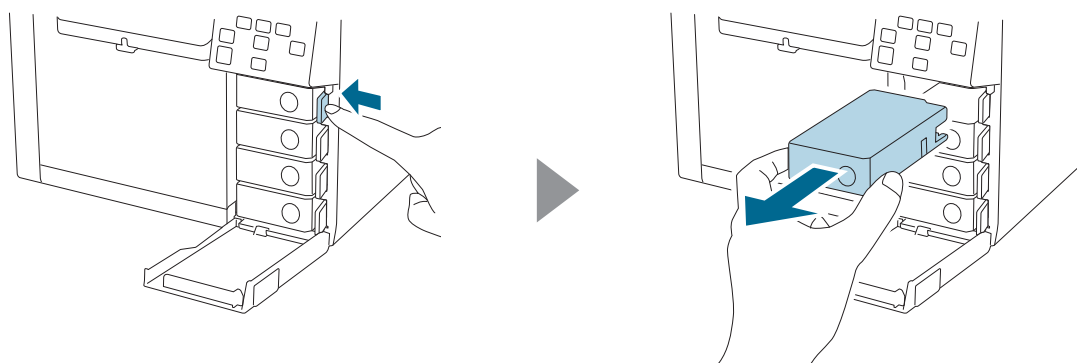
重要

- ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。
- 新しいインクカートリッジは、よく振ってからセットしてください。

1 インクカートリッジカバーを開けます。

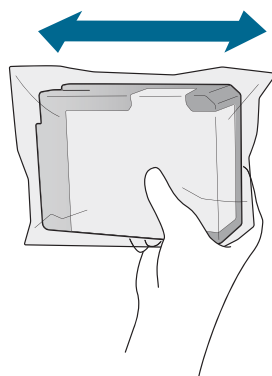


2 レバーを押して、使用済みのインクカートリッジを取り外します。



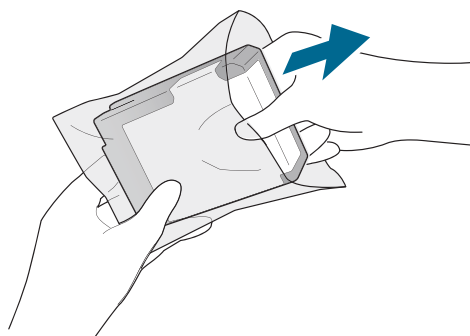
3 インクカートリッジを振ります。

図のように水平方向に両側約 5 cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度よく振ってください。



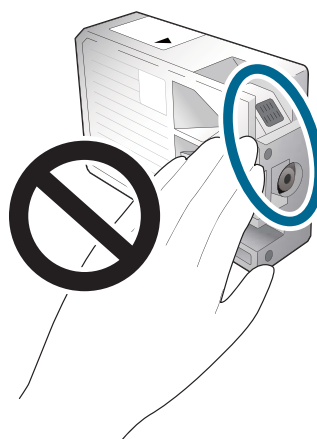
4 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

 8 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

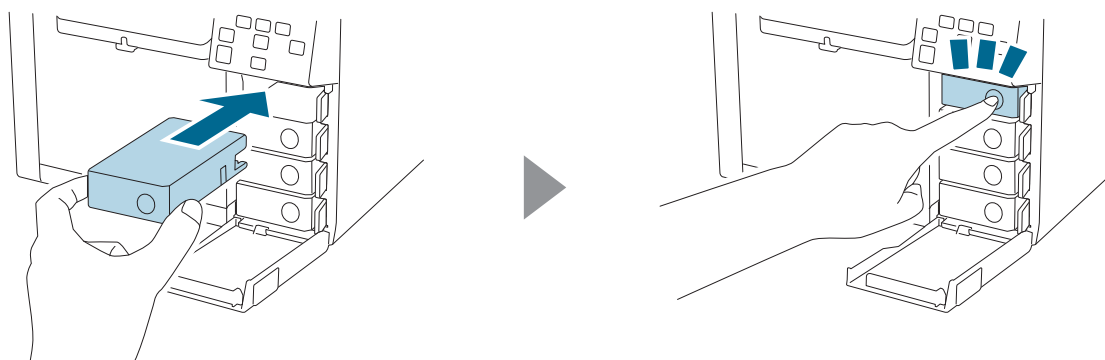


注意

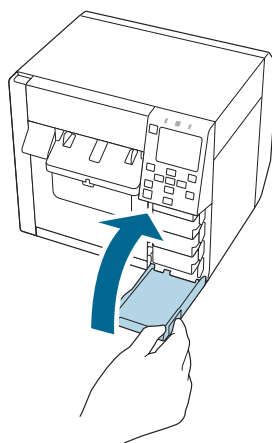
図で示した部分には触らないでください。



- 5** インクカートリッジをセットします。
指先でインクカートリッジの Push マークをカチッと音ができるまで押してください。



- 6** インクカートリッジカバーを閉めます。



メンテナンスボックスの交換

ここでは、メンテナンスボックスの交換方法を説明します。



注意

メンテナンスボックスセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
📖 9 ページ「メンテナンスボックスに関するご注意」

メンテナンスボックスの空き容量の確認

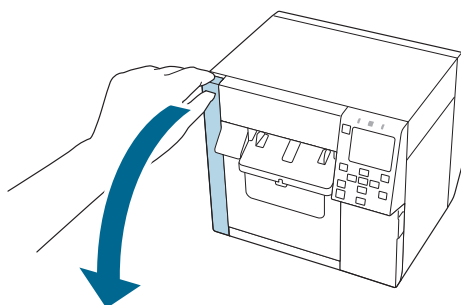
操作パネルまたはコンピューターからメンテナンスボックスの空き容量の目安を確認できます。



メンテナンスボックスの空き容量が少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてメンテナンスボックスの交換をしてください。

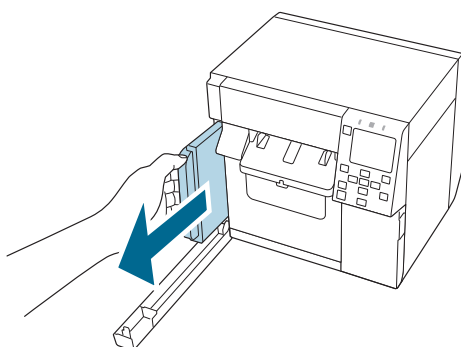
メンテナンスボックスの交換手順

1 メンテナンスボックスカバーを開けます。



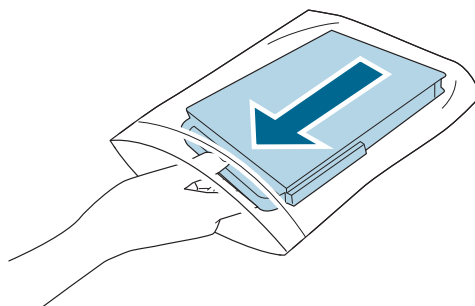
2 メンテナンスボックスを取り出します。

使用済みのメンテナンスボックスは付属の袋へ入れて廃棄してください。



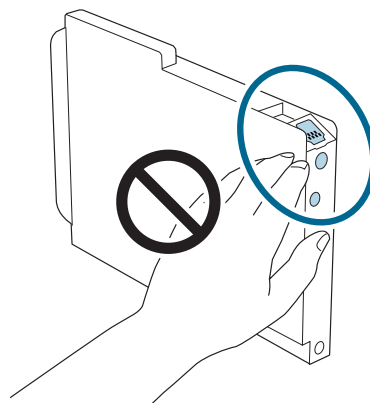
3 新しいメンテナンスボックスを袋から取り出します。

 9 ページ「メンテナンスボックスに関するご注意」

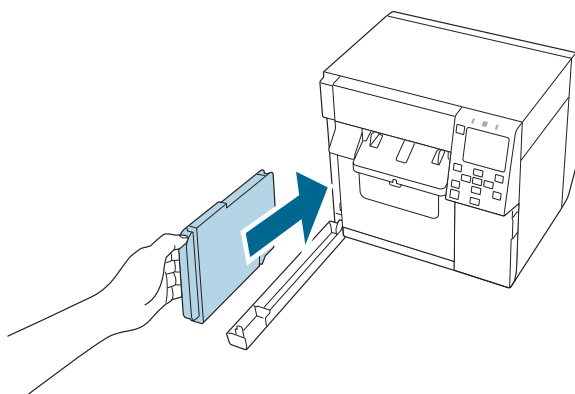


注意

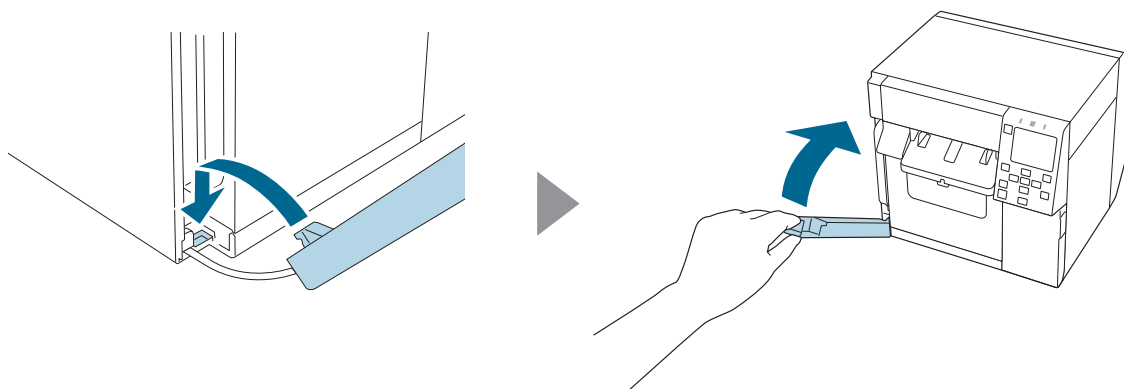
図で示した部分には触らないでください。



4 新しいメンテナンスボックスをセットし、しっかり押し込みます。

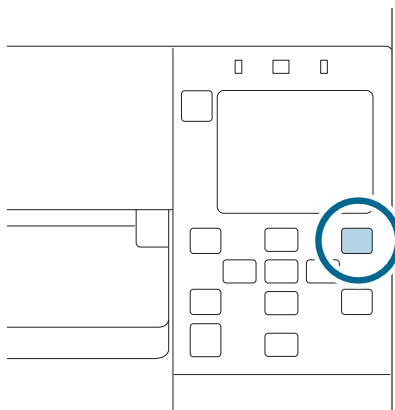


5 メンテナンスボックスカバーを閉めます。



6 II (ポーズ) ボタンを押します。

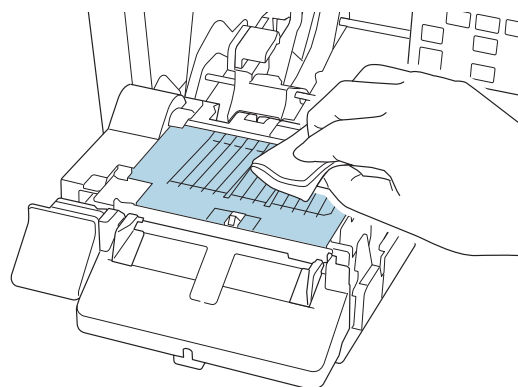
ホーム画面で印刷可能か確認してください。



メンテナンスボックスを交換するときは、プラテンのクリーニングも一緒に実施することをおすすめします。

 [267 ページ「プラテンのクリーニング」](#)

クリーニングで使用する不織布と綿棒は交換用メンテナンスボックスに同梱されています。



プリンタードライバーのインストールと接続

プリンタードライバーのインストールと接続には、以下の方法があります。

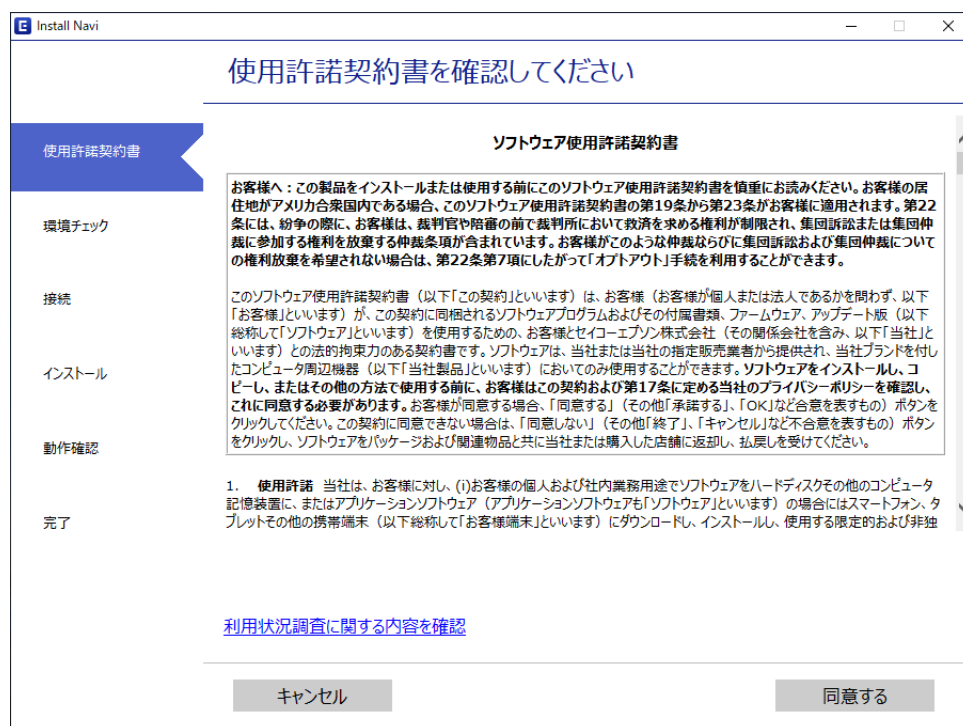
- Install Navi を使用する場合
- Install Navi を使用しない場合

Install Navi を使用する場合

Install Navi を使用すると、コンピューターの画面の手順に従って操作することで、プリンタードライバーのインストールと、コンピューターとの接続ができます。

Install Navi を使用する場合は以下のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 本製品の電源が入っていることを確認します。
- 3 付属の CD-ROM をコンピューターにセットします。Install Navi が自動起動します。
Install Navi が自動で起動しないときは、InstallNavi.exe をダブルクリックします。
- 4 Install Navi を実行すると、以下の画面が表示されます。使用許諾に同意し、[次へ] をクリックします。以降画面の指示に従って本製品をセットアップします。



Install Navi のセットアップ手順に「ソフトウェアのインストール」があり、プリンタードライバー、PrinterSetting およびその他のソフトウェアをインストールすることができます。インストールしなくても本製品のセットアップは可能です。また、ソフトウェアは、後からインストールすることができます。

以上でプリンタードライバーのインストールと接続が完了します。

Install Navi を使用しない場合

各種ソフトウェアの入手方法

以下の Web サイトから取得できます。

<https://www.epson.jp/support/>

コンピューターやスマートデバイスとの接続方法

- USB 接続、有線 LAN 接続の場合
使用するインターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。
- 無線 LAN 接続の場合
オプションの OT-WL06 をプリンター背面のコネクターに接続します。

有線 LAN に接続する

LAN ケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

- 1 プリンターとハブ（LAN スイッチ）を LAN ケーブルで接続します。
- 2 ホーム画面で [Menu] を選択します。
- 3 [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を選択します。
接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

無線 LAN(Wi-Fi)に接続する

オプションの無線 LAN ユニット（OT-WL06）を接続することで、無線 LAN で通信できます。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- [51 ページ「無線 LAN ルーターを検索」](#)
- [55 ページ「プッシュボタンで設定（AOSS/WPS）」](#)

Wi-Fi Direct を使用することで、無線 LAN アクセスポイントを使わずにプリンターに直接無線 LAN で接続できます。

- [57 ページ「Wi-Fi Direct で iOS デバイスと接続する」](#)
- [59 ページ「Wi-Fi Direct でその他のデバイスと接続する」](#)



- ホーム画面に  が表示されない場合は、もう一度無線 LAN ユニットが接続されていることを確認し、プリンターを再起動してください。
- Wi-Fi Direct を有効にするとプリンターがアクセスポイントとして動作し、8 台までの機器と接続できます。

無線 LAN ルーターを検索

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から   ボタンで  を選択し、OK ボタンを押します。



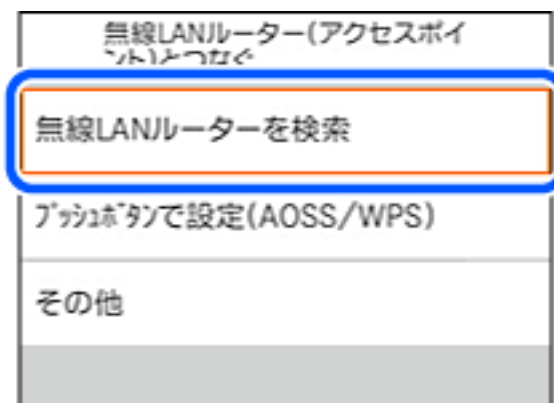
- 3 [ルーター] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



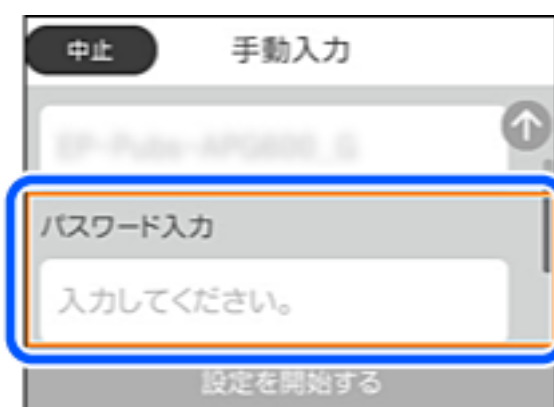
- 5 [無線 LAN ルーターを検索] を選択し、OK ボタンを押します。



- 6 接続したい無線 LAN ルーターの接続名 (SSID) をプリンターの操作パネルから選択します。



- 7 [手動入力] 画面で [パスワード入力] を選択し、OK ボタンを押します。



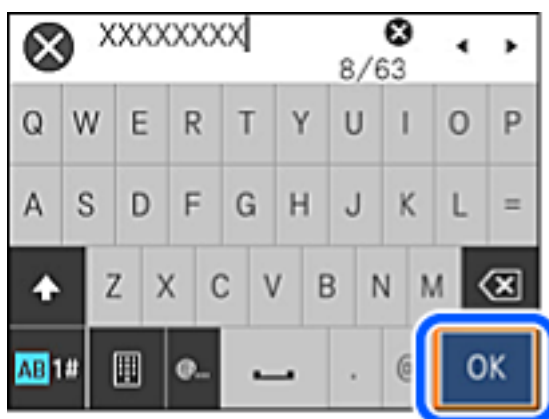
SSID を手動入力した場合は、[パスワード] を [あり] に変更した後、[パスワード入力] を選択して、OK ボタンを押してください。

8 無線 LAN のパスワードを入力します。



- パスワードは大文字・小文字を区別して入力してください。
- パスワードがわからないときは、無線 LAN ルーターの本体に情報がいないか確認してください。無線 LAN ルーターには「暗号化キー」「XXX Key」などと書かれています。メーカー設定値のまま使用されている場合は、ラベルなどに書かれたパスワードが設定されています。

9 入力が終わったら [OK] を選択して、OK ボタンを押します。



10 設定内容を確認し、[設定を開始する] を選択して、OK ボタンを押します。



11 OK ボタンを押します。



OK ボタンを押さなくても、一定時間が経過すると次の画面に進みます。



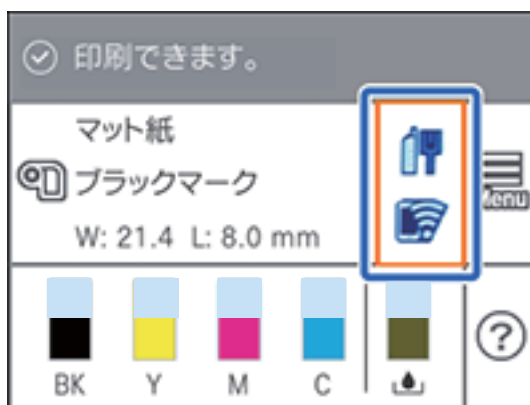
接続に失敗したときは、用紙がセットされていることを確認し、接続診断レポートを印刷します。
[接続診断結果を印刷する] を選択し、OK ボタンを押します。

12 ボタンを押します。



プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から   ボタンで  を選択し、OK ボタンを押します。



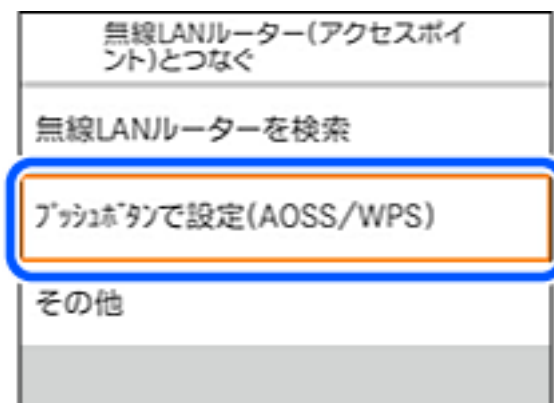
- 3 [ルーター] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



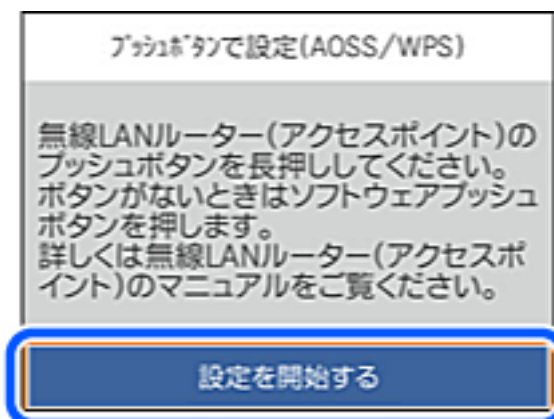
- 5 [プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS)] を選択し、OK ボタンを押します。



- 6 無線 LAN ルーターの【AOSS】ボタンまたは【WPS】ボタンを、セキュリティランプが点滅するまで押します。

【AOSS】ボタンや【WPS】ボタンの位置がわからない、無線 LAN ルーターにプッシュボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンで操作します）ときは、無線 LAN ルーターのマニュアルで確認してください。

- 7 プリンターの操作パネルで OK ボタンを押します。



- 8 OK ボタンを押します。



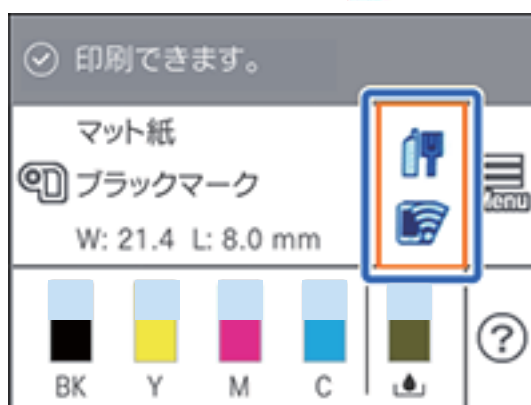
OK ボタンを押さなくても、一定時間が経過すると次の画面に進みます。

9 ボタンを押します。



Wi-Fi Direct で iOS デバイスと接続する

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から   ボタンで  を選択し、OK ボタンを押します。



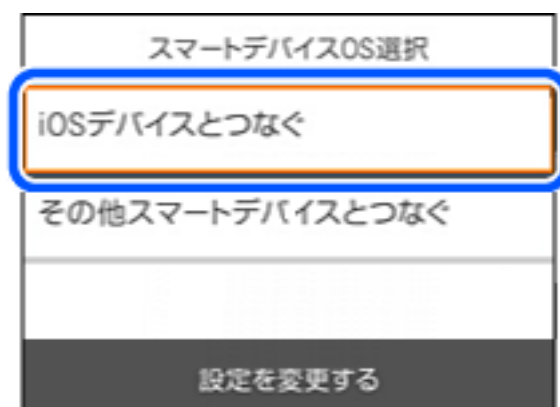
- 3 [Wi-Fi Direct] を選択し、OK ボタンを押します。



4 OK ボタンを押します。



5 [iOS デバイスとつなぐ] を選択します。

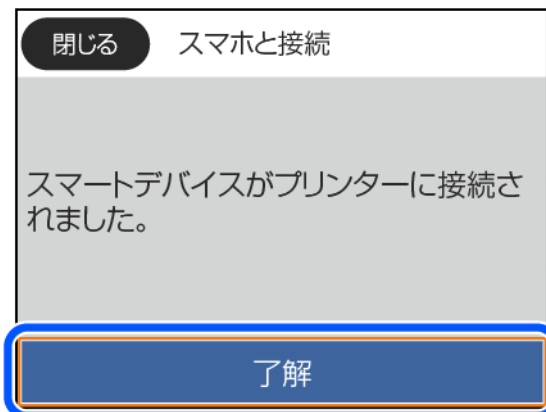


プリンターの画面上に QR コードが表示されます。

6 OS 標準のカメラアプリを開きます。 コード読み取り用のアプリでは動作しません。

7 写真モードで QR コードを読み取り、表示される通知をタップして、プリンターと接続します。

8 OK ボタンを押します。

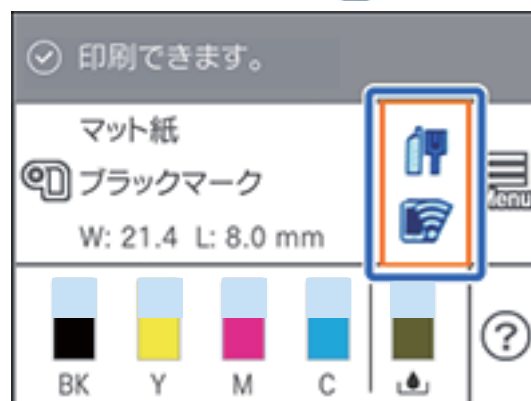


9 ボタンを押します。



Wi-Fi Direct でその他のデバイスと接続する

- 1 プリンターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- 2 プリンターのホーム画面から   ボタンで  を選択し、OK ボタンを押します。



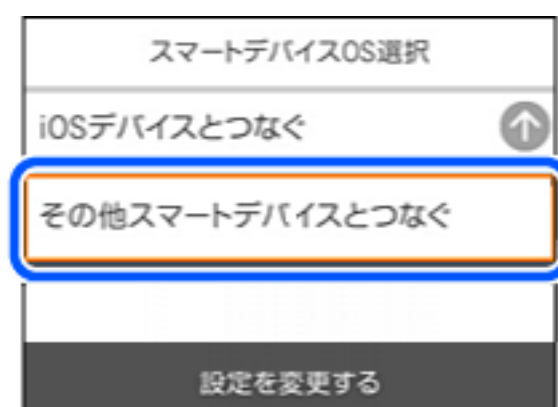
- 3 [Wi-Fi Direct] を選択し、OK ボタンを押します。



- 4 OK ボタンを押します。



- 5 [その他スマートデバイスとつなぐ] を選択し、OK ボタンを押します。



- 6 この手順は、コンピューターから操作してください。コンピューターのネットワーク接続画面から、プリンターの操作パネルに表示されている SSID を選択します。

スマホと接続

スマートデバイスのWi-Fi設定から以下のSSIDを指定し、プリンターの[次へ]を選択してください。

SSID **DIRECT-np-EPSON-...**

パスワード 42262178

説明を見る 次へ

- 7 プリンターの操作パネルに表示されるパスワードを、コンピューターに入力して接続します。

スマホと接続

スマートデバイスのWi-Fi設定から以下のSSIDを指定し、プリンターの[次へ]を選択してください。

SSID **DIRECT-np-EPSON-...**

パスワード **42262178**

説明を見る 次へ

- 8 接続できたら、[次へ] を選択して、OK ボタンを押します。

スマホと接続

スマートデバイスのWi-Fi設定から以下のSSIDを指定し、プリンターの[次へ]を選択してください。

SSID **DIRECT-np-EPSON-...**

パスワード 42262178

説明を見る **次へ**

9 ボタンを押します。



ネットワークの設定

以下の手順でプリンターの IP アドレスを設定できます。

- 1 ホーム画面で [Menu] を選択します。
- 2 [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択します。
- 3 [TCP/IP 設定方法] を選択し、[自動設定] または [手動設定] へ変更します。
[自動設定] を選択した場合、ネットワークの設定は終了です。
[手動設定] を選択した場合、手順 4 に進んでください。
- 4 同じメニューで IP アドレスやサブネットマスクを入力します。
各設定値を選択し、OK ボタンを押すことで入力・設定できます。
- 5 [設定を開始する] を選択します。

以上でネットワークの設定は終了です。

用紙の設定

給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出などを設定します。

- プリンタードライバーで設定する場合
 - [プリンタードライバー \(Windows\)](#)
 - [プリンタードライバー \(Mac\)](#)
 - [プリンタードライバー \(Linux\)](#)
- 本体の設定を変更する場合
 - [PrinterSetting \(Windows\)](#)
 - [Epson Label Printer Utility](#)
 - [Epson Label Printer Utility for Linux](#)
 - [WebConfig](#)
 - [操作パネル](#)



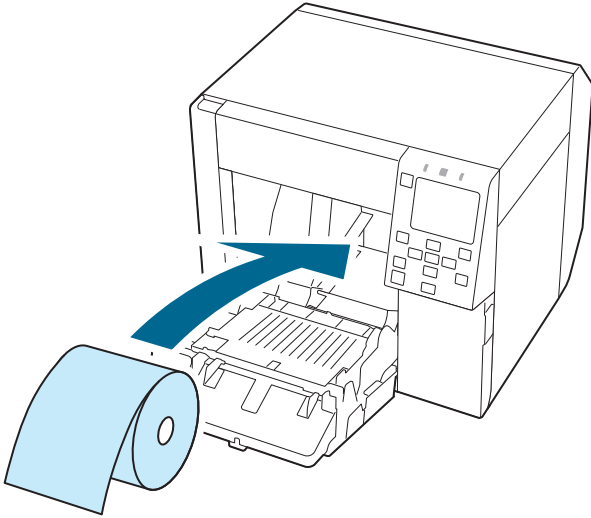
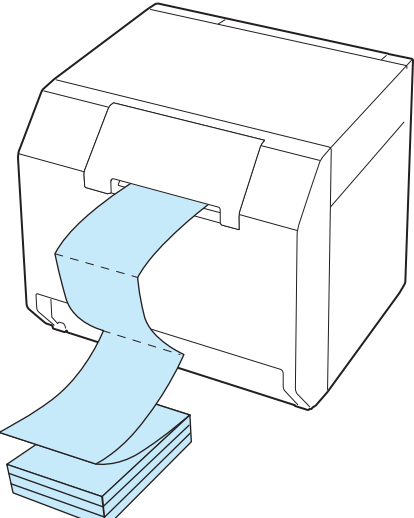
- プリンター本体の設定（操作パネル、PrinterSetting、または WebConfig など設定）と、プリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定を適用して印刷します。
- 本製品で使用可能な用紙と用紙仕様については、[322 ページ「用紙仕様」](#)を参照してください。

用紙のセット

ここでは、用紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、給紙形態（内部供給 / 外部供給）によって異なります。本章は動画でも手順を説明しています。

以下の URL から動画をご覧ください。

<<https://www.epson-biz.com/?prd=cw-c4k&inf=video>>

内部供給	外部供給
ロール紙をプリンター内部へセットし、本体内部から用紙を供給します。 	ロール紙、またはファンフォールド紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します。 

！ 重要

- 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をご用意ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前に操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙設定を変更してください。
 - 📖 226 ページ「操作パネルの設定項目」
 - 📖 88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」
 - 📖 90 ページ「ユーザー定義用紙」

ロール紙のセット

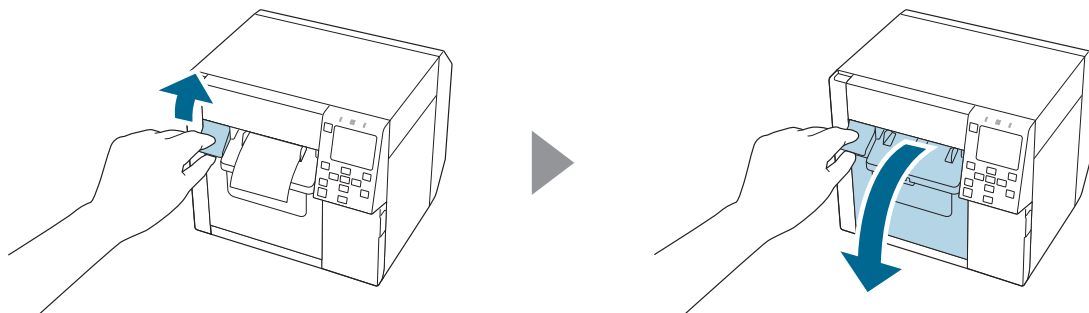


注意

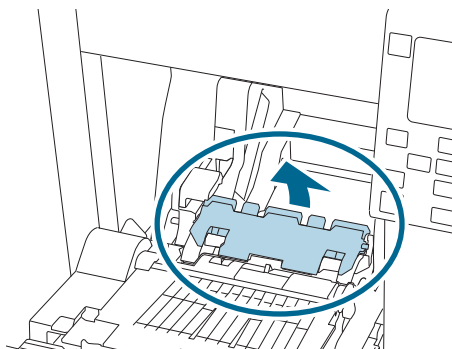
プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから前面カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

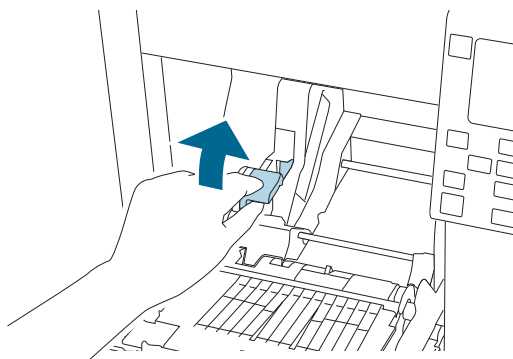
2 前面カバーを開けます。



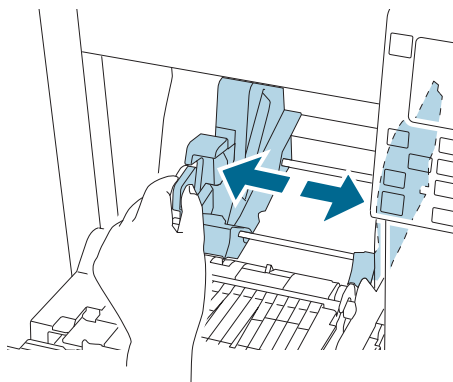
3 紙送りガイドが取り付けられているときは取り外します。



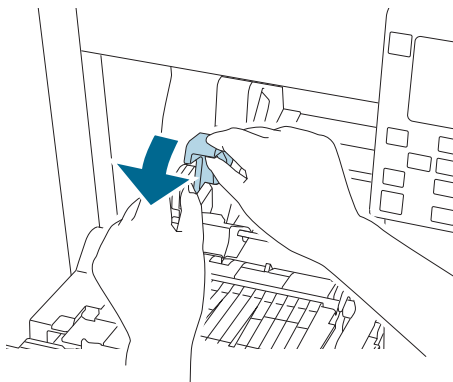
4 ロール紙ガイドのロックレバーを上げます。



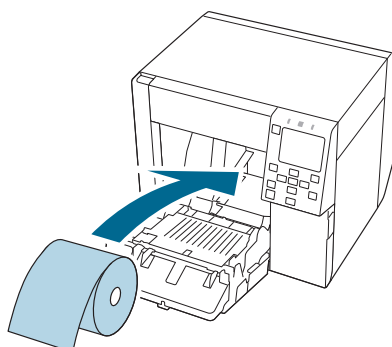
5 ロール紙ガイドをいっぱいまで広げます。



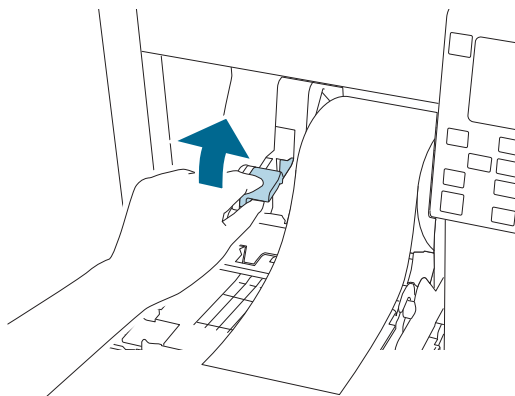
6 ロール紙ガイドのロックレバーを下げます。



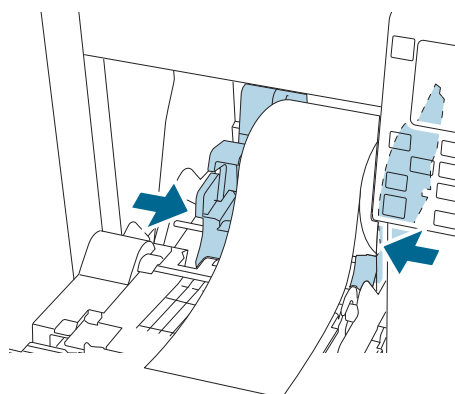
7 印刷する面を上にして用紙をセットします。



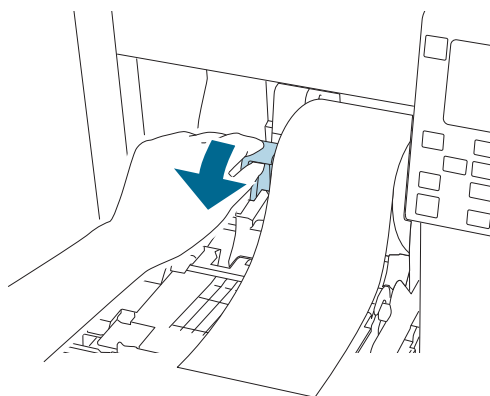
8 ロール紙ガイドのロックレバーを上げます。



9 ロール紙ガイドを用紙幅に合わせます。

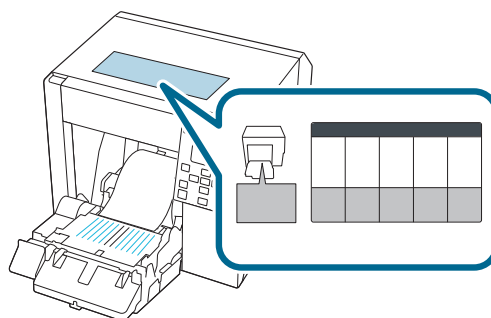


10 ロール紙ガイドのロックレバーを下げます。

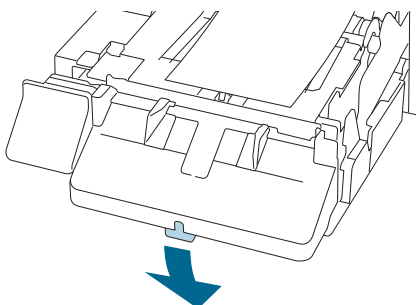


- 11** 製品天面に貼り付けられたラベルを確認し、用紙の幅に合わせてプラテンシャッターを開閉します。

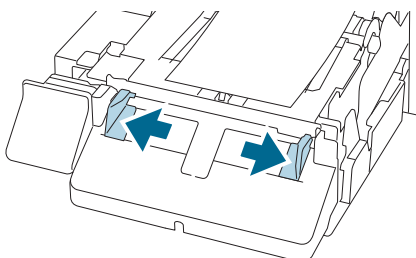
 75 ページ「シャッターの調整」



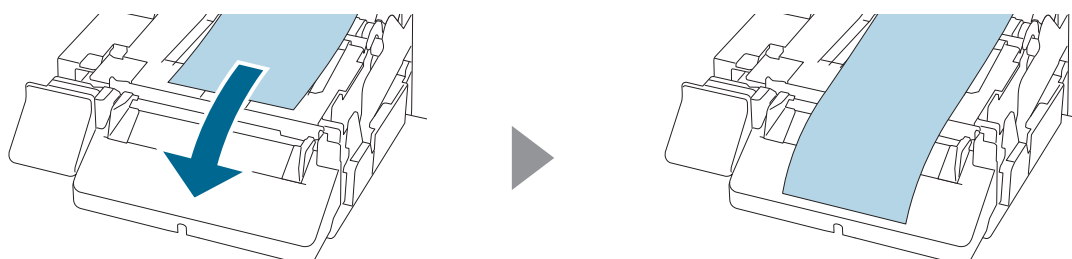
- 12** 排紙ガイドのロックレバーを下げます。



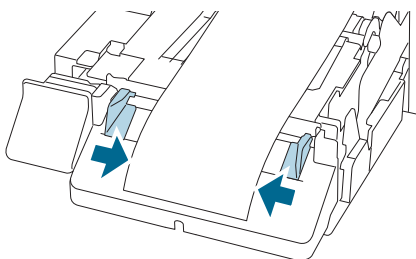
- 13** 排紙ガイドのロックレバーを広げます。



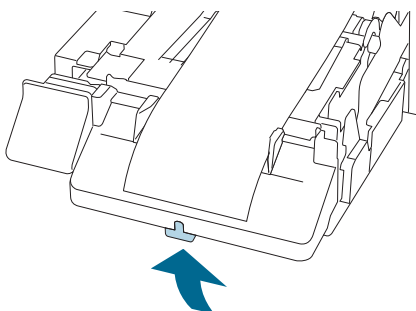
- 14** 用紙を引き出します。



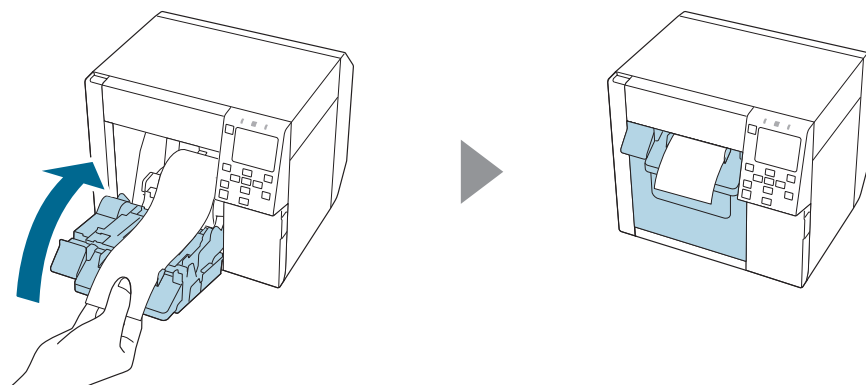
- 15** 用紙が浮かないように手で押さえ、排紙ガイドを用紙の幅に合わせます。



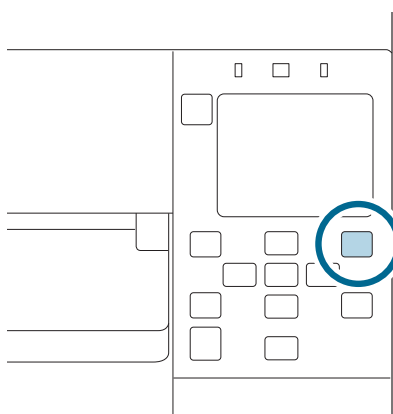
- 16** 排紙ガイドのロックレバーをカチッと音がするまで上げます。



- 17** ロール紙の先端を引き出して、前面カバーを閉めます。



- 18** **II (ポーズ) ボタン**を押します。
ホーム画面で印刷可能か確認してください。



ファンフォールド紙のセット

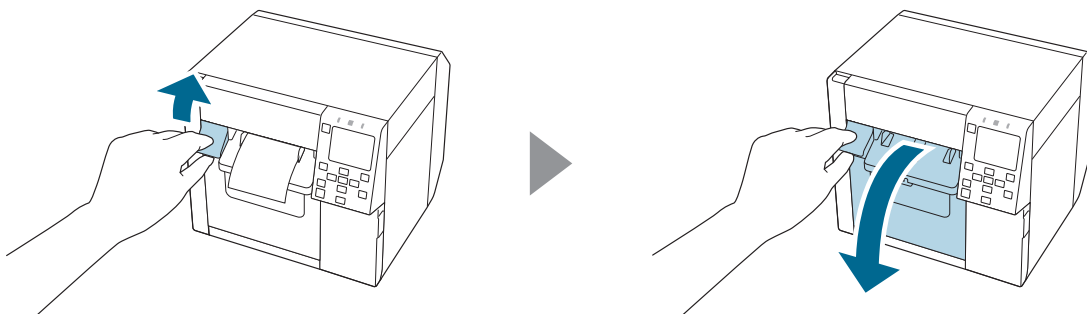


注意

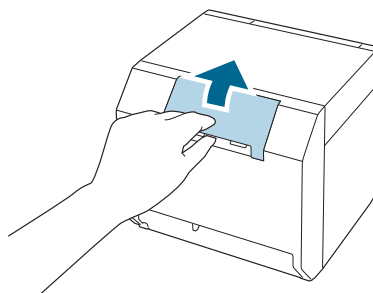
プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから前面カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

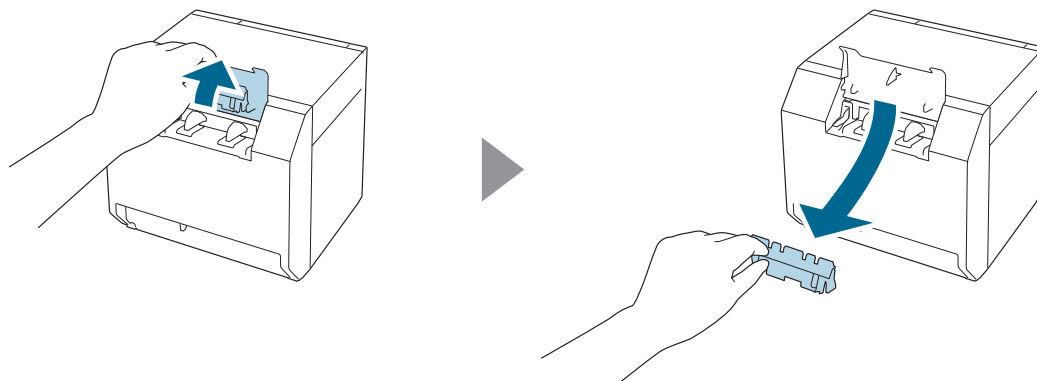
2 前面カバーを開けます。



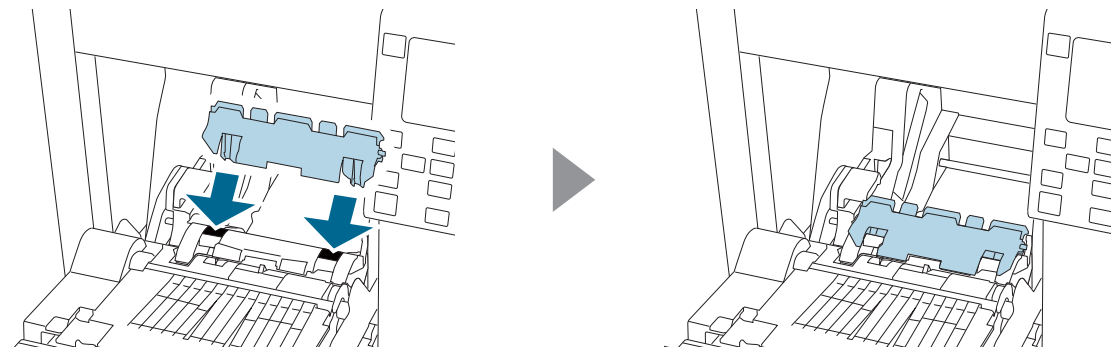
3 背面カバーを開けます。



4 紙送りガイドを取り外し、背面カバーを閉めます。

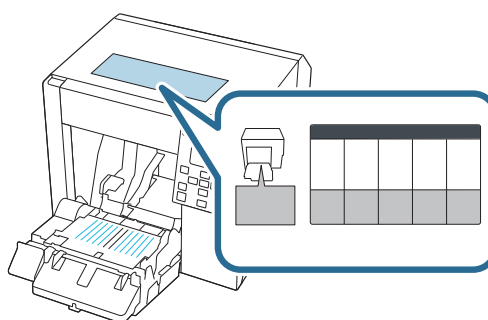


5 紙送りガイドを取り付けます。

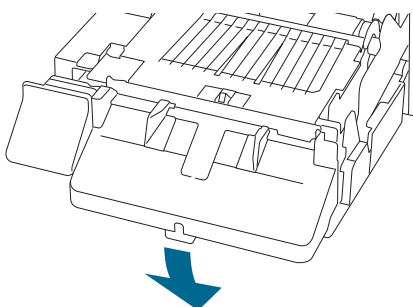


6 製品天面に貼り付けられたラベルを確認し、用紙の幅に合わせてプラテンシャッターを開閉します。

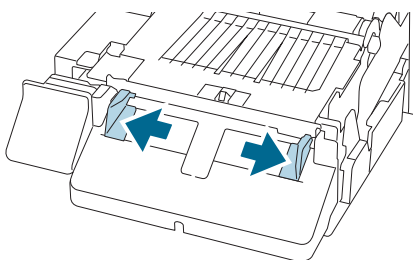
 75 ページ「シャッターの調整」



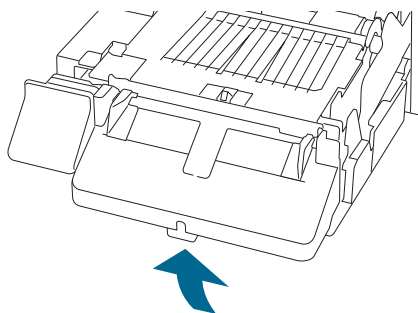
7 排紙ガイドのロックレバーを下げます。



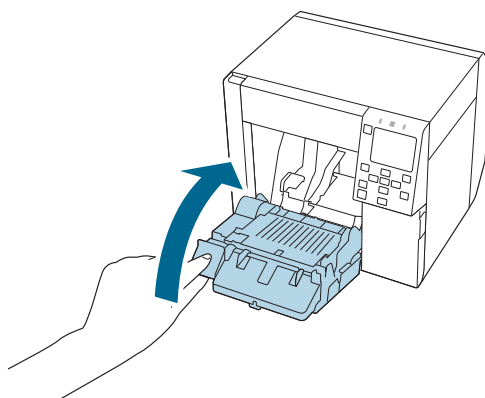
8 排紙ガイドをいっぱいまで広げます。



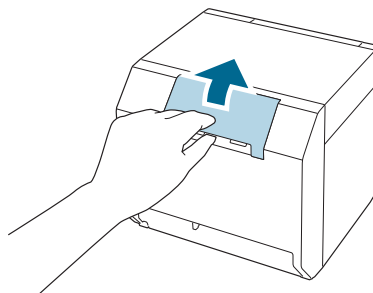
- 9** 排紙ガイドのロックレバーをカチッと音がするまで上げます。



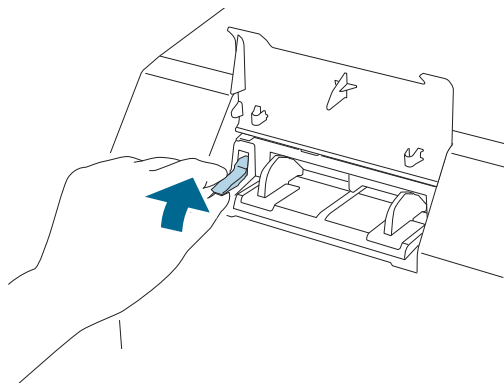
- 10** 前面カバーを閉めます。



- 11** 背面カバーを開けます。

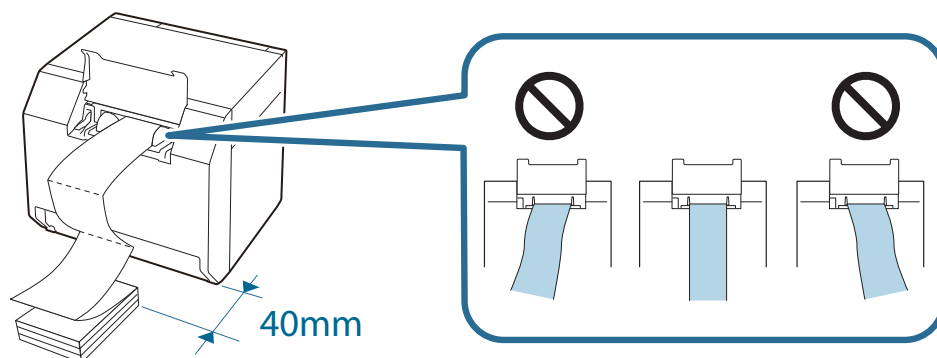
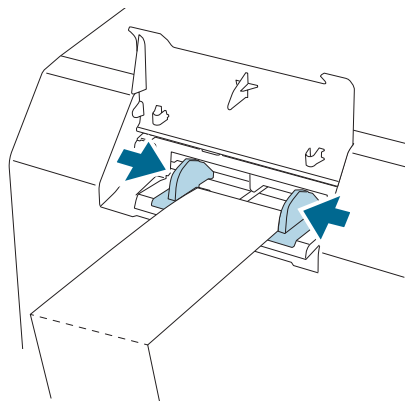
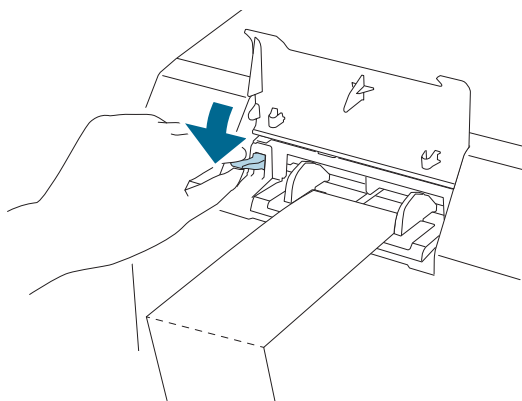


- 12** ファンフォールド紙ガイドのロックレバーを上げます。

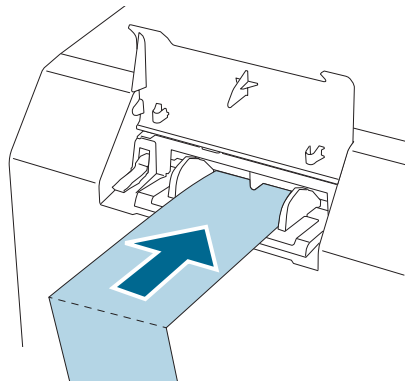


13 本体後方へファンフォールド紙を置きます。

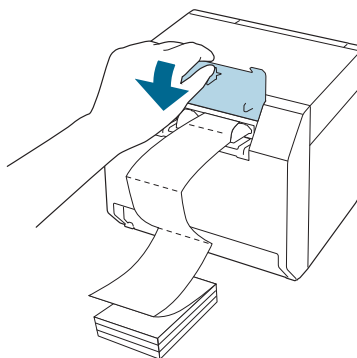
- 本体から 40 mm 以上離してください。
- 用紙が給紙口に対して垂直であることを確認してください。

**14** ファンフォールド紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**15** ファンフォールド紙ガイドのロックレバーを下げます。

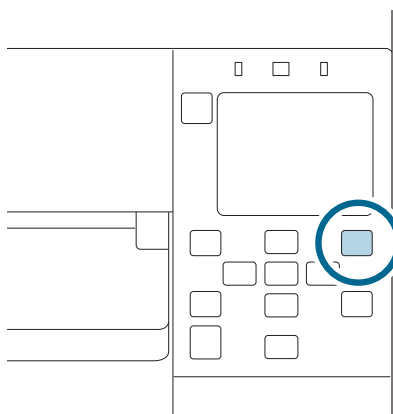
- 16** 印刷する面を上にして、用紙の先端を挿入します。
100 mm 程度挿入すると自動で給紙されます。



- 17** 背面カバーを閉めます。

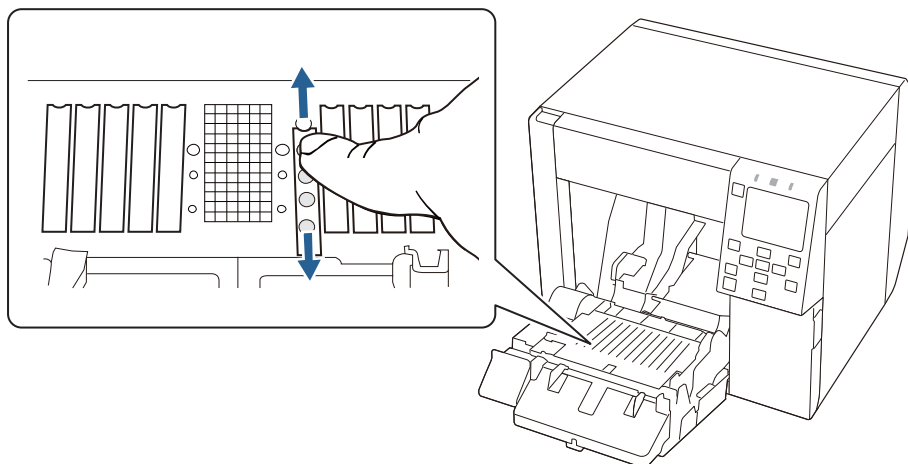


- 18** **II** (ポーズ) ボタンを押します。
ホーム画面で印刷可能か確認してください。



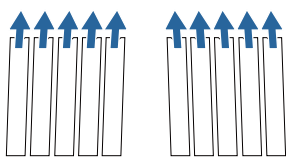
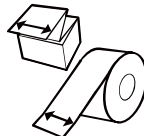
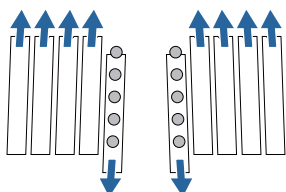
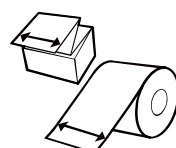
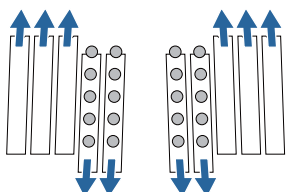
シャッターの調整

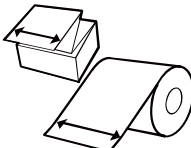
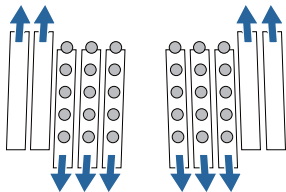
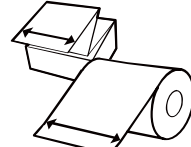
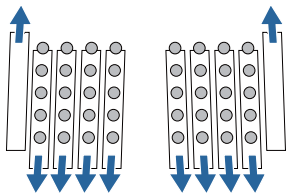
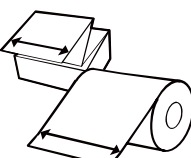
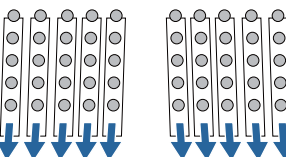
前面カバーの内側には、印刷時に用紙吸引を調整するためのシャッターがあります。お使いの用紙幅に合わせて、シャッターを正しく開閉する必要があります。シャッターは指で動かして開閉することができます。また、用紙幅は本体天面のラベルで確認することもできます。



注意

シャッターが正しく開閉されていない場合、用紙詰まり、用紙汚れが発生する場合があります。

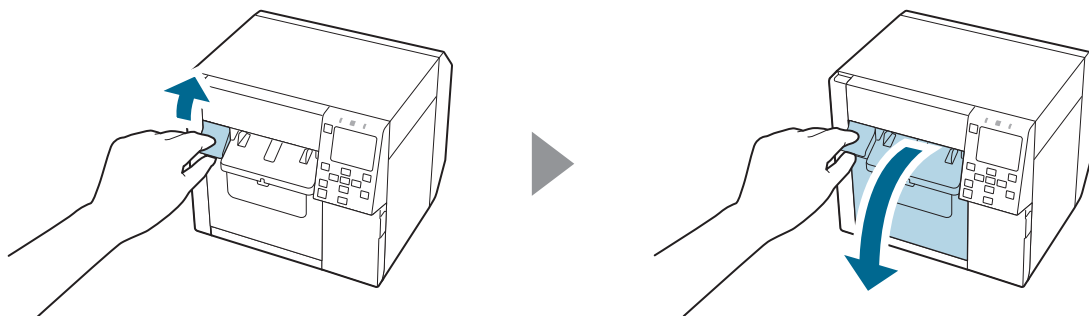
用紙幅、台紙幅	シャッターの状態
25.4 ～ 43.8 mm 	全て閉じる 
43.9 ～ 58.4 mm 	内側1列開ける 
58.5 ～ 73.0 mm 	内側2列開ける 

用紙幅、台紙幅	シャッターの状態
73.1 ~ 87.6 mm 	内側3列開ける 
87.7 ~ 102.2 mm 	内側4列開ける 
102.3 mm ~ 	全部開ける 

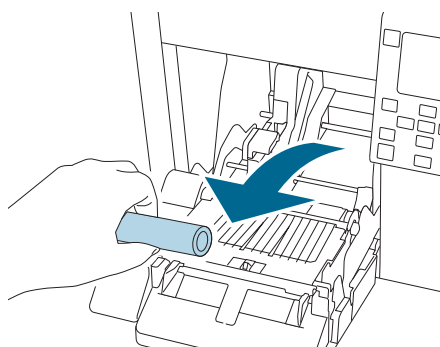
用紙を取り除く

1 プリンターの電源がオンであることを確認します。

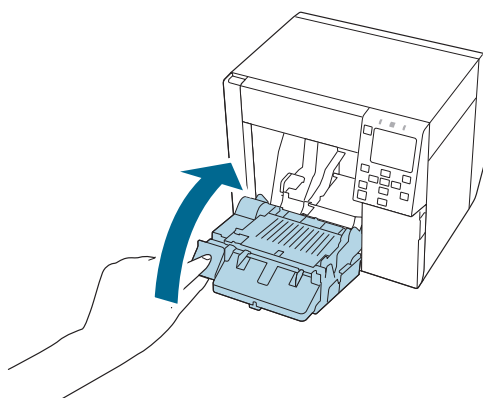
2 前面カバーを開けます。



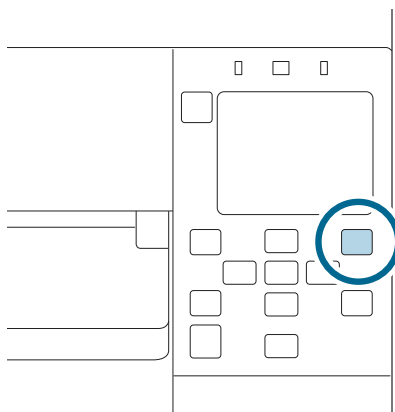
3 ロール紙または芯を取り除きます。



4 前面カバーを閉めます。



5 II (ポーズ) ボタンを押します。



以上で用紙を取り除くは完了です。

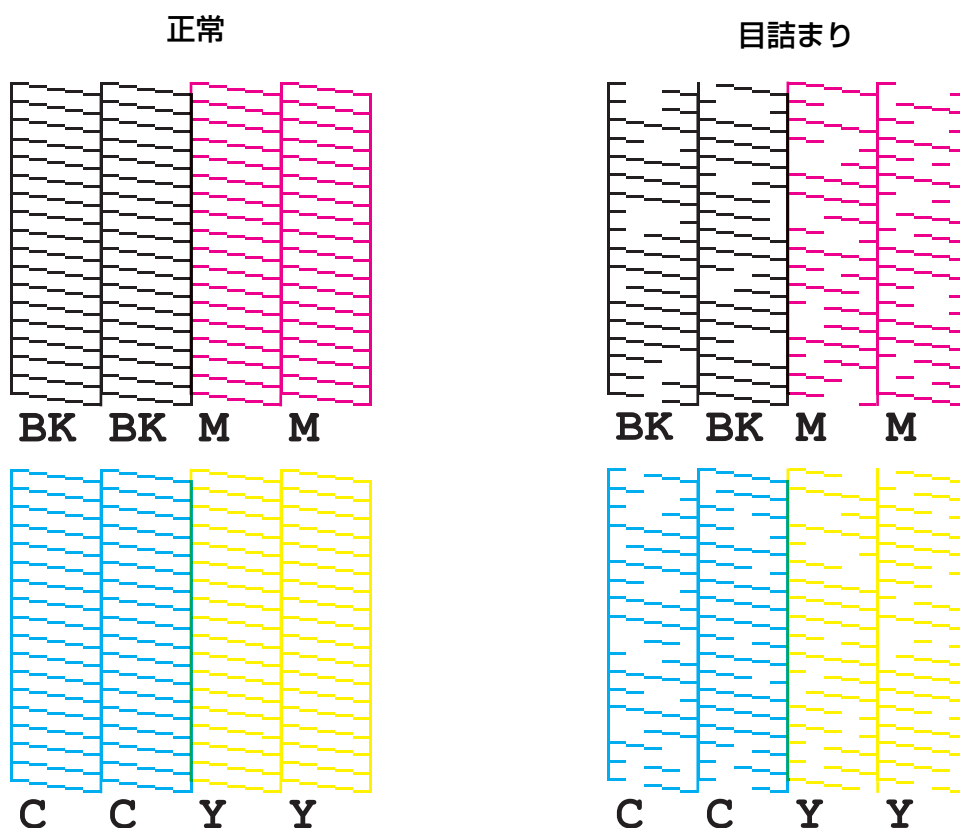
引き続き用紙をセットする場合は、[65 ページ「ロール紙のセット」](#)、[70 ページ「ファンフォールド紙のセット」](#)を参照してください。

印字確認

プリンターが正常に動作するかどうかをノズルチェックパターンを印刷して確認します。
以下の手順で、ノズルチェック印刷をします。ノズルチェックでは、パターンを印刷して、その印刷結果でノズルの目詰まりを確認できます。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 [Menu] を選択して、OK ボタンを押します。
- 3 [プリンターのお手入れ] を選択します。
- 4 [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。
- 5 [印刷開始] を選択します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。
- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。

例: フォトインク仕様のノズルチェックパターン



テスト印刷

プリンタードライバーをインストール済みの場合、テスト印刷をすることができます。
以下の手順でテスト印刷をします。

- 1 [デバイスとプリンター] を開きます。
- 2 [EPSON CW-C4020] を右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。



プリンターの登録名が [EPSON CW-C4020] の場合の表示です。

- 3 プロパティ画面が表示されます。[テストページの印刷] をクリックします。



[用紙検出方法] が [ギャップ] または [ブラックマーク] の場合、先頭のラベルから印刷できません。ただし、設定を変更することで先頭のラベルから印刷できます。(259 ページ「印刷しないラベルを発生させないための用紙加工」)

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

プリンタードライバー(Windows)

プリンタードライバー (Windows) の操作方法について説明しています。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

プリンタードライバーの開き方

プリンタードライバーの設定画面は、以下の手順で表示できます。

方法 1: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [印刷設定]

方法 2: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [全般] タブの [基本設定]

方法 3: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブの [標準の設定]

方法 4: アプリケーションソフトウェアの印刷画面 > [プリンターのプロパティ]

方法 1 または方法 2 からの設定変更はログオンユーザー固有の設定となります。

方法 3 からの設定変更はそのプリンターを使用する全ユーザー共通の設定となりますが、方法 1 または方法 2 の設定が優先されます。

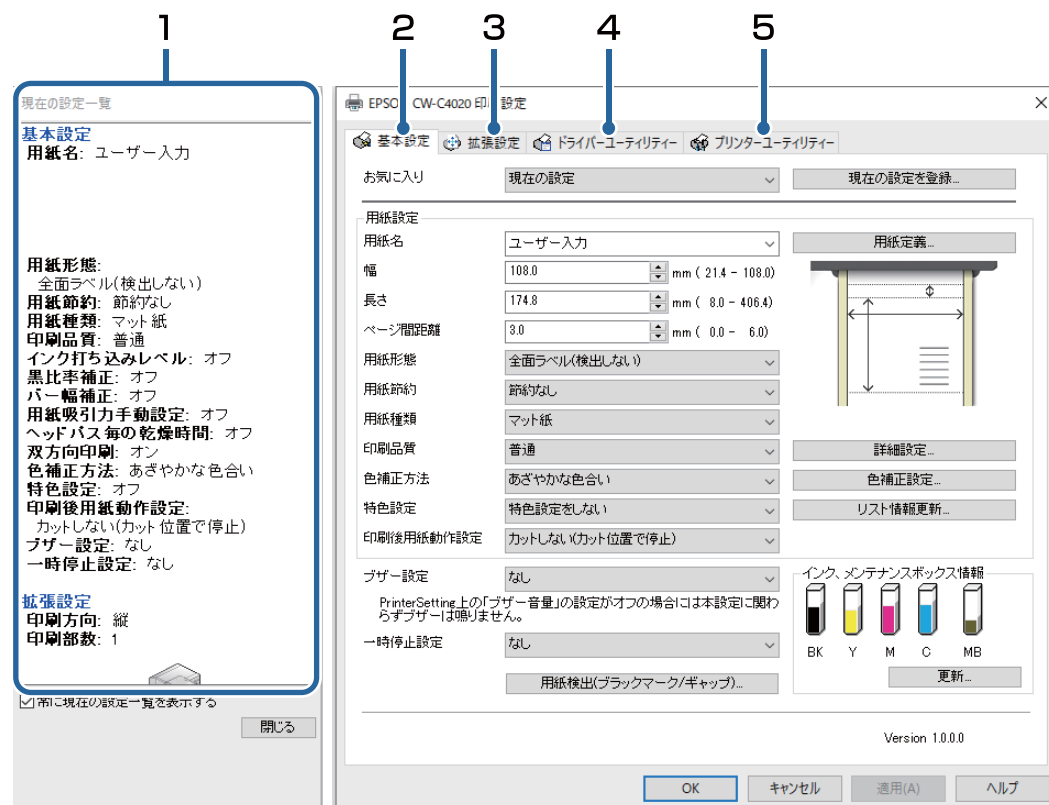
方法 4 からの設定変更は一時的なものとなります。

初期値として設定したい場合は、方法 1 または方法 2 からプリンタードライバーを表示・設定してください。

Windows の設定からプリンターの管理画面を開く手順は、Windows のバージョンにより異なります。

プリンタードライバーの画面構成

プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。



1 現在の設定一覧画面

現在のドライバーの設定状態を表示します。

2 基本設定タブ

用紙サイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。

3 拡張設定タブ

印刷の向きや部数を設定します。

4 ドライバーユーティリティタブ

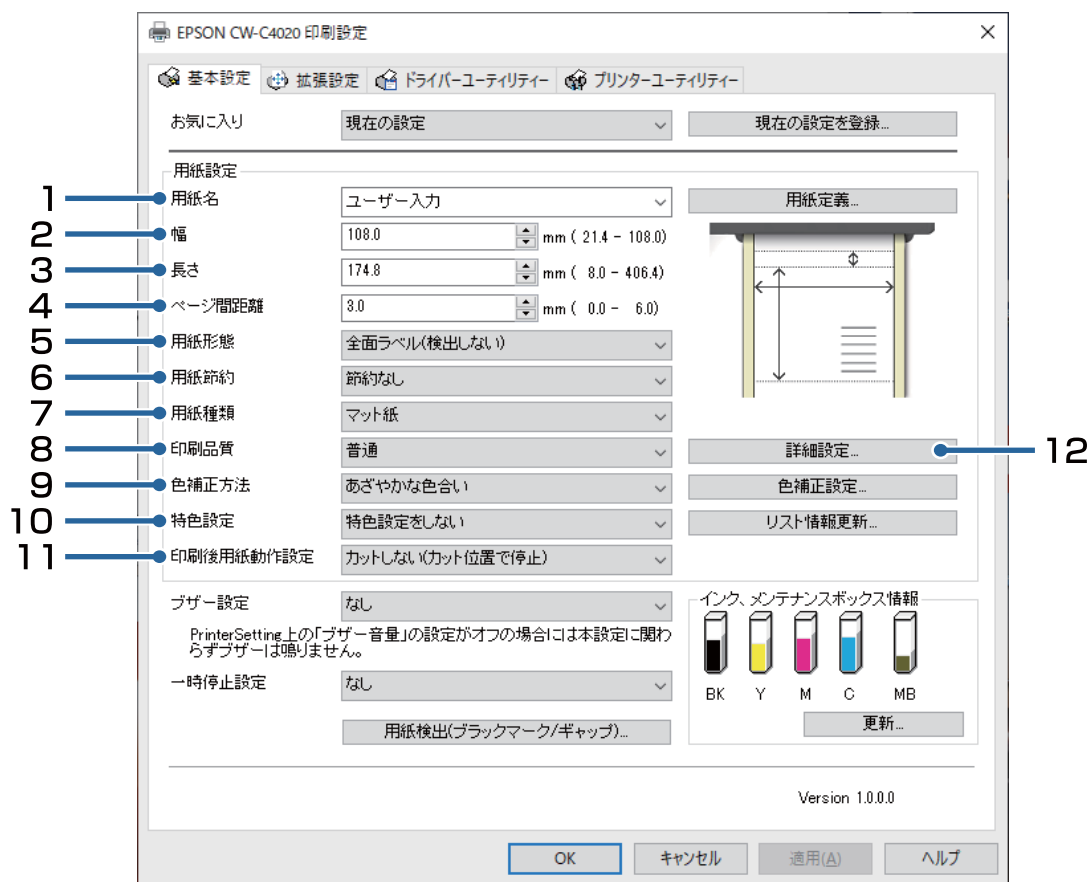
ドライバーの応用的な設定ができます。

5 プリンターユーティリティタブ

プリントヘッドのクリーニングや、ノズルチェックなどのメンテナンス機能の実行と、PrinterSettingを起動できます。

用紙設定

プリンタードライバーの用紙の設定項目について説明します。



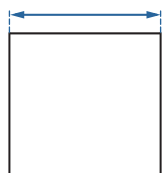
1 用紙名

ユーザー定義用紙で作成した設定を選択できます。また、[ユーザー入力]を選択することで、直接用紙設定を変更できます。

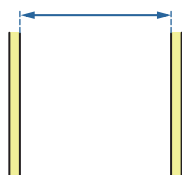
2 幅

幅を入力します。

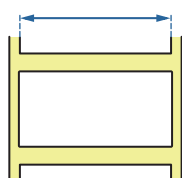
- 連続紙、リストバンド用紙：用紙の幅



- 全面ラベル：台紙を除いたラベル幅



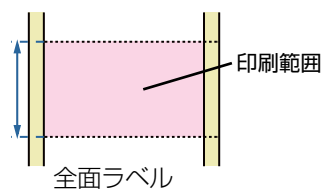
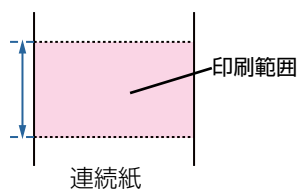
- ダイカットラベル：台紙を除いたラベル幅



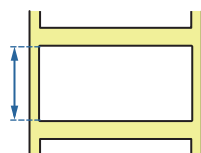
3 長さ

長さを入力します。

- 連続紙、全面ラベル：印刷範囲の長さ（1 ページの長さ）

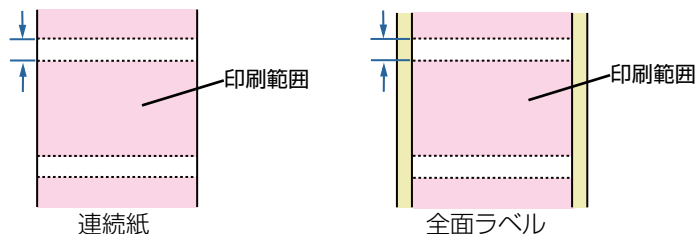


- ダイカットラベル：台紙を除いたラベルの長さ



4 ページ間距離

ページ間の距離を入力します。



5 用紙形態

用紙の形態を選択します。

- ダイカットラベル
- 全面ラベル
- 連続紙
- リストバンド用紙

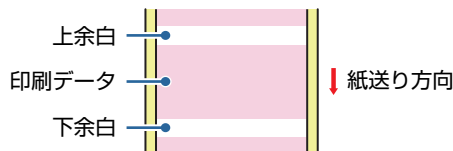
6 用紙節約（連続紙・全面ラベルのみ）

用紙の節約設定を選択します。[用紙節約] とは、1 ページ分の印刷データに含まれる余白を取り除き、無駄な紙送りを抑制する機能です。



重要

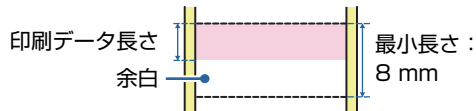
[用紙節約] を「下節約」や「上下節約」に設定しても、バーコードフォント置き換えのデータが含まれている場合は、設定は無効になります。



- 節約なし：印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをするため、印刷データの上下部分に余白を作ります。
- 下節約：印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの下部に余白を作しません。
- 上下節約：印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの上下部分に余白を作しません。



[印刷後用紙動作設定] でオートカットをする設定にすると、長さは最小でも 8 mm 確保されます。印刷データが 8 mm 未満の場合は、下節約や上下節約の設定をしても余白が残ります。



長さが可変の印刷をする場合は、最大長さに設定して [用紙節約] 機能を利用することで印刷データに合わせたラベル長さで印刷できます。

7 用紙種類

用紙の種類を選択します。(322 ページ「用紙仕様」)

8 印刷品質

印刷の品質を選択します。

用紙種類が普通紙、リストバンド用紙の場合の印刷解像度

- ドラフト：300×600 dpi*¹
- 速い：600×600 dpi（初期設定）
- 普通：600×600 dpi
- きれい：600×1200 dpi*²

用紙種類が上質紙、マット紙、合成紙の場合の印刷解像度

- ドラフト：300×600 dpi*¹
- 速い：600×600 dpi
- 普通：600×600 dpi（初期設定）
- きれい：600×1200 dpi*²

用紙種類が光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙の場合の印刷解像度

- 普通：600×600 dpi
- きれい：600×1200 dpi（初期設定）*²
- 高精細：1200×1200 dpi

*1: プリンターに送る印刷データの解像度は、300dpi としてください。

*2: プリンターに送る印刷データの解像度は、600dpi としてください。



重要

フォトインク仕様/マットインク仕様により、使用可能な用紙種類が異なります。詳細は [322 ページ「用紙仕様」](#) を参照してください。



- 色補正方法が自然な色合いの場合、設定できる印刷品質（印刷解像度）は異なります。
- 用紙種類を変更すると、印刷品質は自動的に用紙に合った初期設定になります。
[詳細設定] を選択すると、より詳細に印刷品質を設定できます。

9 色補正方法

色補正を任意に設定します。色補正について詳しくは（[244 ページ「色補正方法」](#)）を参照してください。

- あざやかな色合い：プリンター内の色補正エンジンで、CW-C6000/6500 シリーズと同じ色合いに補正します。ラベルの印刷に適したあざやかな色合いになりますが、一般的な LCD モニターの色合いとは異なります。
- 自然な色合い：プリンター内の色補正エンジンで、TM-C3500 シリーズと同じ色合いに補正します。一般的な LCD モニターで見た色合いに近い印刷結果が得られます。
- ICM：設定されている用紙種類と印刷品質に対応した ICC プロファイルにしたがって、OS 内の色補正エンジンを使って色合いを補正します。適切な ICC プロファイルを使えば、LCD モニターと印刷結果の色合いを合わせることができます。
- 色補正なし：アプリケーションソフト内で色補正を行う場合にこの設定を選択します。プリンター内では色補正を行いません。



自然な色合いは、鮮やかな色合いと同じように手動で色設定をカスタマイズできますが、印刷品質と用紙種類の組み合わせに制限があります。詳しくは、[246 ページ「自然な色合いの制限事項」](#) をご覧ください。

10 特色設定

特定の色を指定の色に変更する機能です。特色設定の使い方は（[238 ページ「特色の設定」](#)）を参照してください。

11 印刷後用紙動作設定

- カットする（最終ページ印刷後）
- カットする（指定ページ毎）
- カットする（部単位印刷の最終ページ）
- カットしない（剥離位置で停止）
- カットしない（カット位置で停止）（初期設定）
- カットしない（印刷終了位置で停止）

**重要**

〔カットする（部単位印刷の最終ページ）〕は、印刷終了後のオートカット動作中に紙詰まりなどで印刷を中断すると、再印刷ができません。

12 詳細設定

カラー調整やバーコード調整や用紙調整をします。設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

- カラー調整
インク打ち込みレベル：インク濃度を設定します。
黒比率補正：黒色を構成するインクの割合を調整します。
- バーコード/2次元シンボルフォント調整
バー幅補正：内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整します。
- 用紙調整
用紙吸引力手動設定：プラテン吸引力の調整をします。
ヘッドバス毎の乾燥時間：追加乾燥時間を調整します。
双方向印刷：有効にすることで、プリントヘッドが左右に移動する都度印刷を行うため、印刷速度が速くなります。



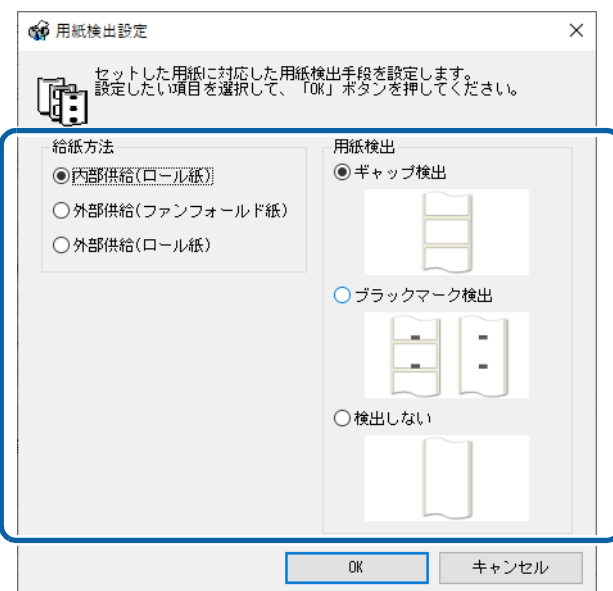
- カラー調整やバー幅補正の設定を変更すると、バーコードの読み取り品質に影響が出ることがありますので注意してください。
- 黒比率補正を上げた場合、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

給紙方法・用紙検出の設定

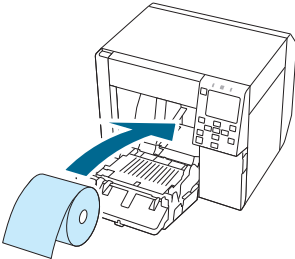
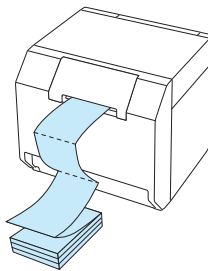
- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [用紙検出 (ブラックマーク / ギャップ)] をクリックします。



- 3 使用する用紙に合わせて、以下の項目を設定します。



- 給紙方法：用紙をどのように供給するか選択します。

設定項目	説明
内部供給（ロール紙） 	ロール紙をプリンター内部へセットし、本体内部から用紙を供給します。
外部供給（ファンフォールド紙） 外部供給（ロール紙） 	ファンフォールド紙やロール紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します。
 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をご用意ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。	

- 用紙検出：使用する検出方法を選択します。

設定項目	説明
ギャップ検出	ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。
ブラックマーク検出	用紙の裏または台紙に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。
検出しない	ギャップ検出器や、ブラックマーク検出器を使用した用紙検出を行いません。

4

[OK] をクリックします。
以上で給紙方法・用紙検出の設定は完了です。

ユーザー定義用紙

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義としてプリンタードライバーに登録しておくことができます。あらかじめ登録しておく、アプリケーションから印刷するときにドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。

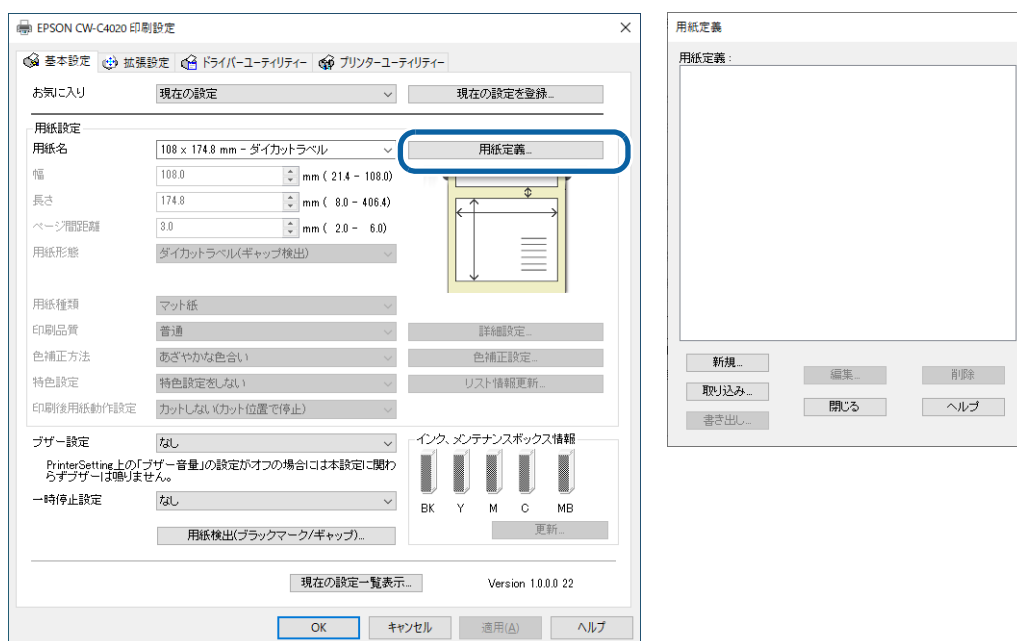


用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、[基本設定] タブの用紙名プルダウンからユーザー入力を選択します。[基本設定] タブ内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

新規登録

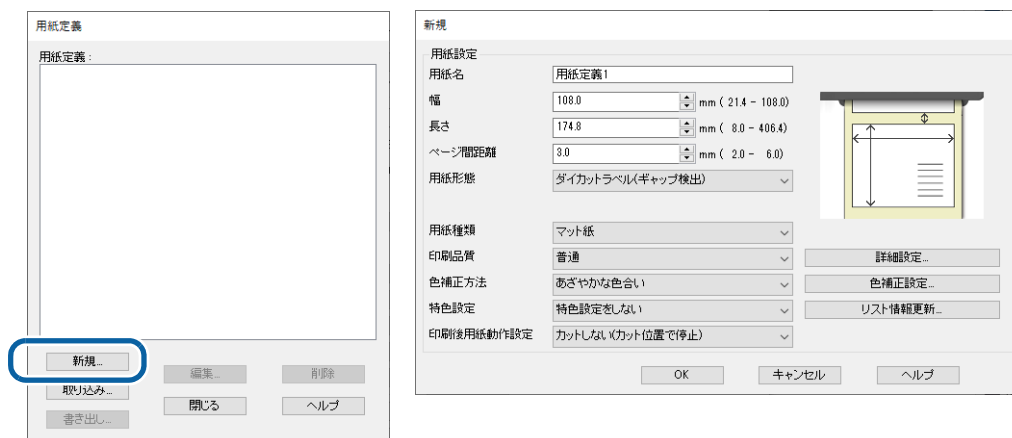
以下の手順で、用紙定義を新規に登録します。

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [用紙定義] ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



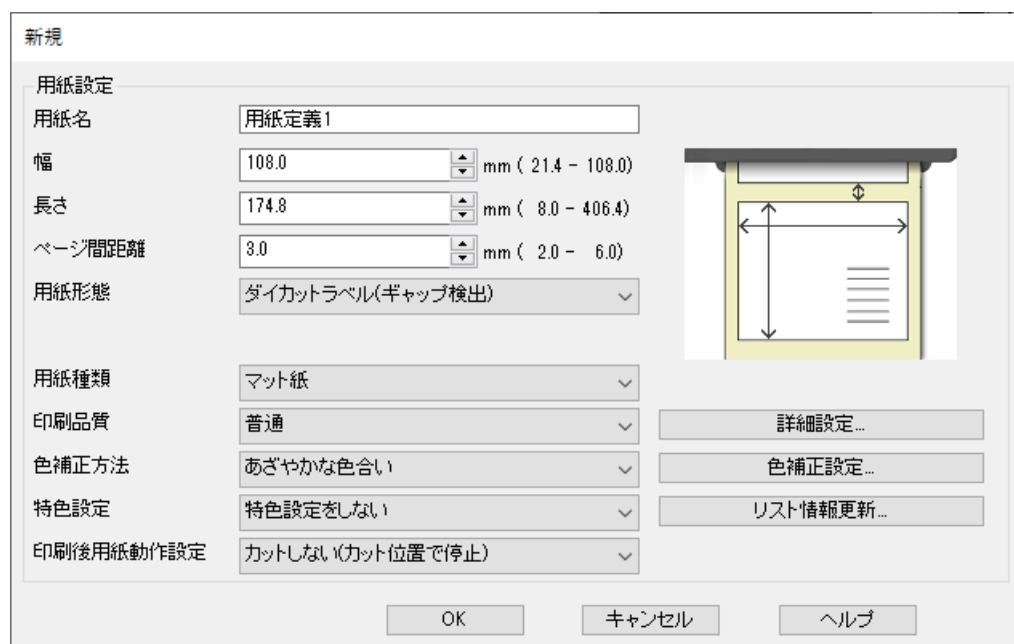
3 [新規] ボタンをクリックします。

新規画面が表示されます。

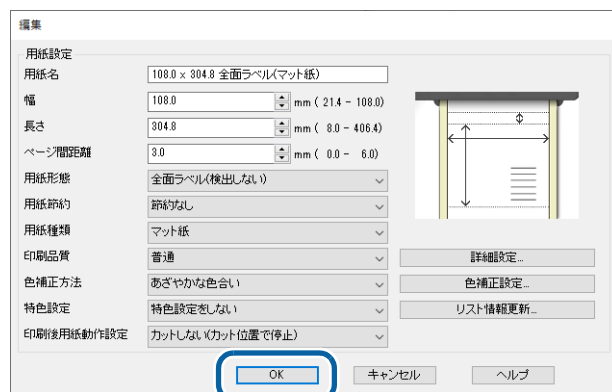


4 使用する用紙に合わせて設定します。

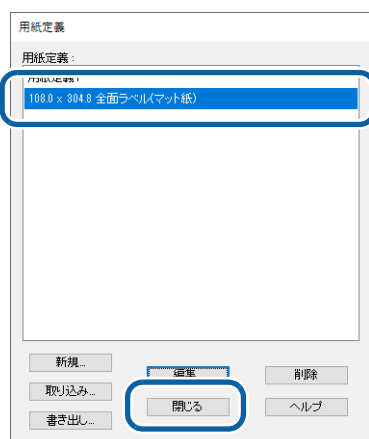
[用紙名] には用紙定義の名称を入力してください。アプリケーションから用紙サイズを選択するときに表示される名称です。その他の項目の説明については [83 ページ「用紙設定」](#) をご覧ください。



5 [OK] をクリックします。



6 [用紙定義] 画面に登録した用紙名が表示されていることを確認して、[閉じる] をクリックします。



7 [基本設定] タブの [用紙名] で、登録した用紙名が選択できることを確認します。

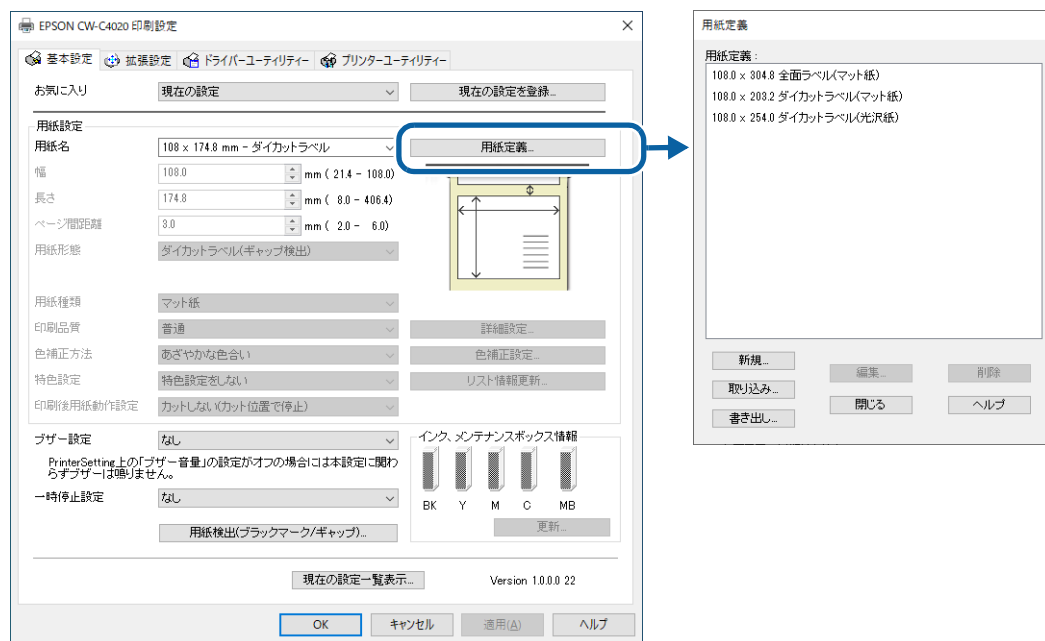


8 [OK] ボタンをクリックして、ドライバーを閉じます。

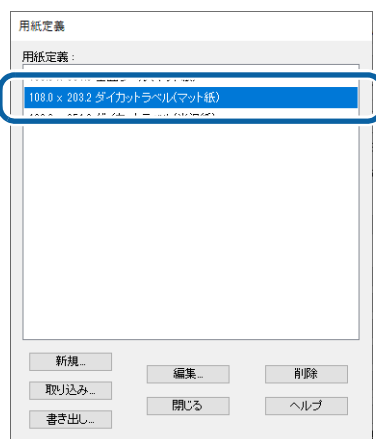
以上で用紙の登録（用紙定義）は終了です。

編集と削除

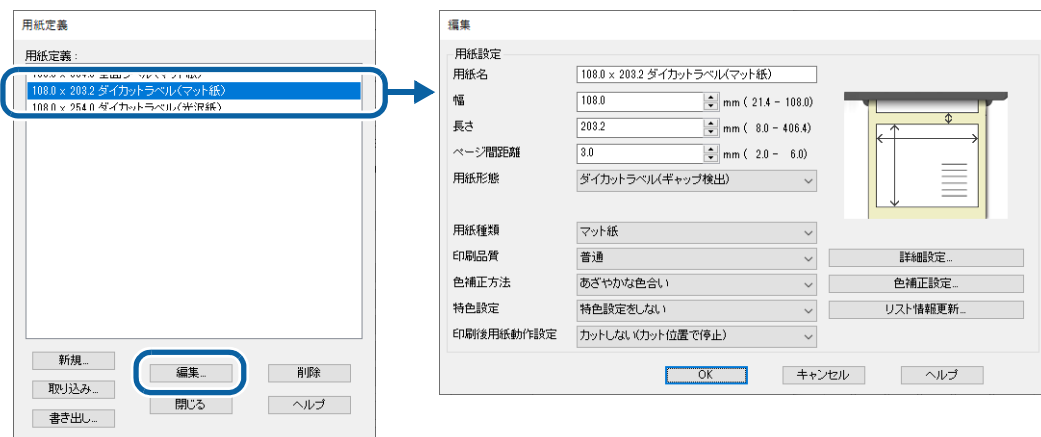
- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [用紙定義] ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



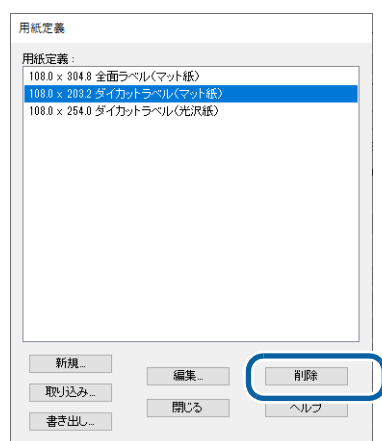
- 3 編集・削除したい定義をクリックして選択します。



- 4 定義内容を変更したい場合は、[編集] ボタンをクリックします。[編集] 画面が表示され、定義の変更ができます。



定義を削除したい場合は、[削除] ボタンをクリックします。画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると定義が削除されます。



以上で、用紙定義の編集・削除は終了です。

長尺印刷

本製品は長尺印刷機能を使用できます。長尺印刷は、指定されたラベル長さをプリンターが扱える最大ラベル長さ（406.4 mm）以内に収まるように複数ページに分割し、ページ間ギャップ 0 mm で印刷することで、406.4 mm を超える長さのラベルを印刷できます。



- 共有接続モードを有効にして、32bit 版 Windows のクライアント PC から長尺印刷を行う場合、印刷の途中で終了する可能性があります。（[135 ページ「プリンタードライバーを共有する」](#)）
- 本機能は、指定されたラベル長さをプリンターが扱える最大ラベル長さ（406.4 mm）以内に収まるように複数ページに分割してページ間ギャップ 0 mm で印刷しているため、ページのつなぎ目の画質が低下し、つなぎ目が目立つ場合があります。

長尺印刷の設定

1 [基本設定] タブの [用紙形態] で以下の用紙を選択します。

- 全面ラベル
- 連続紙



2 [拡張設定] タブの [長尺印刷] にチェックを入れます。



3 [基本設定] タブの [ラベル長さ] に最大で3000.0 mmまで入力できることを確認します。

4 印刷するラベルの長さを [ラベル長さ] に入力します。

バーコード印刷

本製品はバーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[ドライバーユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で設定します。

1 以下の設定を行います。

- 表示： [バーコード] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar(NW7)	Code93	Code128
GS1-128	GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Truncated
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Expanded	

- 回転指定： バーコードを回転させて印刷するときに選択します。

- Hex 入力モード： バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- モジュール： バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。
- バー高さ： エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- HRI 文字の位置： HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[印刷しない] を選択します。



タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- コンポジット種類： コンポジットの種類を設定します。
- エレメント比： 太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。推奨する最小エレメント比は 2.5 です。
- チェックディジッド： 数列の誤りを検出したり捏造を防止したりするために付与させる数値や記号です。
- シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクター数を最小限に抑える機能です。
- 開始文字： 開始文字を設定します。
- 終了文字： 終了文字を設定します。

2 [追加] をクリックします。

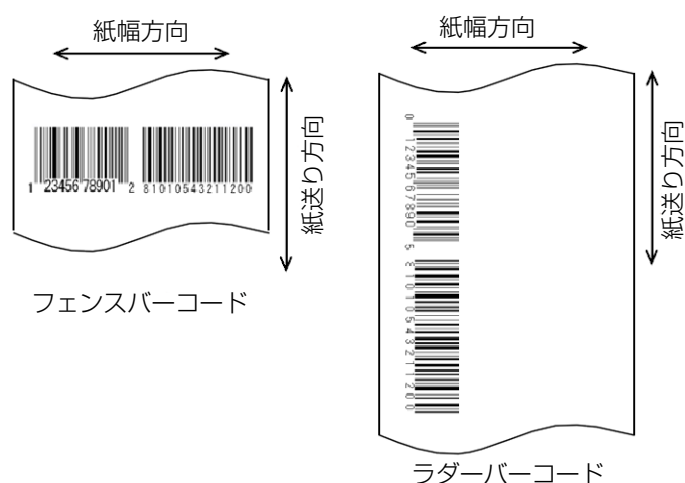
設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。



- バーコードフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

バーコードの印刷方向は以下のとおりです。また、モジュールの推奨値は、用紙種類、バーコードの種類および印刷方向によって異なります。



注意

回転方向を「標準」と「270° 回転」に設定していると、バーコードは印字されません。

- 最小モジュールサイズが 300 dpi 単位の場合 [📄 100 ページ](#)
- 最小モジュールサイズが 600 dpi 単位の場合 [📄 101 ページ](#)



- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合があります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなる場合があります。バーコードのバー部分のデータを 2 ピクセル分減らし、空白部分を 2 ピクセル分増やす補正（バー幅補正）をしてください。
- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のズレの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。（[208 ページ「双方向印刷のズレの調整」](#)）

最小モジュールサイズが 300 dpi 単位の場合

バーコード	印刷 方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド 用紙	マシ ン紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
Codabar	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
Code93	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
Code128	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1-128	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
ITF	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Truncated	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Limited	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Expanded	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
UPC-A	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
JAN13	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3
EAN13	フェンス	4	3	3	3	-	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	-	3	3	3

最小モジュールサイズが 600 dpi 単位の場合

バーコード	印刷 方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド 用紙	マット紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢 フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
Codabar	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
Code93	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
Code128	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
GS1-128	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
ITF	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Truncated	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Limited	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Expanded	フェンス	7	7	6	6	-	6	6	6
	ラダー	10	7	6	6	-	6	6	6
UPC-A	フェンス	7	7	7	7	-	7	7	7
UPC-E	ラダー	10	7	7	7	-	7	7	7
JAN13	フェンス	7	7	7	7	-	7	7	7
JAN8	ラダー	10	7	7	7	-	7	7	7
EAN13	フェンス	7	7	7	7	-	7	7	7
EAN8	ラダー	10	7	7	7	-	7	7	7

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

CC-A と CC-B の切り替えは自動的に行われますが、CC-C はお客様が明示的に選択する必要があります。
(GS1-128 の場合、コンポジットコンポーネントの種類は「なし」「CC-A / CC-B」「CC-C」から選択できます。)

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

- データは 11 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

UPC-E

- データは 10 桁で指定してください。5 桁がメーカーコードで 5 桁がアイテムコードです。

JAN13(EAN)

- データは 12 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

- データは 7 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

Code39

- スタート・ストップコード（*）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

- 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar(NW7)

- スタートコードとストップコードはデータに含めないでください。プリンタードライバーの画面で指定したスタートコードとストップコードが付加されます。

Code93

- スタートコード、2つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- HRI文字の先頭には、スタートコードを示す文字(□)を印字されます。
- HRI文字の末尾には、ストップコードを示す文字(□)を印字されます。
- 制御キャラクター(00h～1Fh、7Fh)のHRI文字は、■とアルファベット1文字を組み合わせで印字されます。

制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字
ASCII	16進数		ASCII	16進数		ASCII	16進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- 自動変換を OFF にした場合のみ、先頭の 2 桁にスタートコードを入れます。自動変換を ON にした場合には、自動的にコード選択キャラクターを選択するため、アプリケーションはコード選択キャラクターを指定する必要はありません。
 - * コード選択キャラクター CODE A を選択した状態でさらに CODE A を選択する {A を指定するとエラーになります。
 - * コード選択キャラクター CODE B を選択した状態でさらに CODE B を選択する {B を指定するとエラーになります。
 - * コード選択キャラクター CODE C を選択した状態で、下記のどれかを指定するとエラーになります。
{S {C {2 {3 {4 {{
- 特殊キャラクターは、'|' と直後の 1 文字を組み合わせで表現されます。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
SHIFT	{S	印字しない
CODE A	{A	印字しない
CODE B	{B	印字しない
CODE C	{C	印字しない
FNC 1	{1	印字しない
FNC 2	{2	印字しない
FNC 3	{3	印字しない
FNC 4	{4	印字しない
'{'	{{	{ を印字

GS1-128

- アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。(HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- スタートコード (CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- スタートコードの次のシンボルキャラクター FNC1 は自動的に付加されます。
- '*' を指定すると、読み飛ばします。
- アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。
- 特殊キャラクターは '{' と直後の 1 文字を組み合わせで表現されます。
- データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
制御文字 (00h ~ 1Fh および 7Fh)		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)}	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar Omnidirectional / GS1 DataBar Truncated / GS1 DataBar Limited

- 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- GS1 DataBar Limited の場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar Expanded

- アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。(HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
(GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。 '*' を指定した場合、 '*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。)
- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
FNC 1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない
'{'	{{	{ を印字

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [バーコードフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



- バーコードのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。
- .NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録したバーコードフォントを表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントをバーコードフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。[116 ページ「.NET 環境でバーコード / 2 次元シンボル印刷」](#)を参照してください。

2次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、2次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で2次元シンボルを生成しなくても、2次元シンボルを印刷できます。

2次元シンボルフォントの設定

2次元シンボルの印刷設定は、[ドライバーユーティリティ] タブの [バーコード / 2次元シンボルフォント設定]で行います。

1 以下の設定を行います。

- 表示 : [2次元シンボル] を選択します。
- フォント名 : 任意の文字列を入力します。これが2次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字はASCIIのみです。
- タイプ : 2次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
- 回転指定 : 2次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード : 2次元シンボルにするデータをHex入力モードで指定するときは、チェックします。

2 選択した【タイプ】により、設定をします。

- PDF417 の設定
 - * モジュール幅： PDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * モジュール高さ： PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * 桁数： PDF417 の桁数を入力します。
 - * 段数： PDF417 の段数を入力します。
 - * トランケーションシンボル：
PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
 - * エラー訂正レベル：
PDF417 のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
- MicroPDF417 の設定
 - * モジュール幅： MicroPDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * モジュール高さ： MicroPDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * 桁数： MicroPDF417 の桁数を入力します。
 - * 段数： MicroPDF417 の段数を入力します。
- QRCode の設定
 - * モデル： QRCode のモデルを選択します。
 - * モジュール： QRCode のセル (モジュール) の設定をします。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * エラー訂正レベル：
QRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M、Q、H の順に復元率が高くなります。
 - * 文字モード： QRCode に符号化する文字列のモードを指定します。
- MicroQRCode の設定
 - * バージョン： MicroQRCode のバージョンを指定します。
 - * モジュール： MicroQRCode のセル (モジュール) の設定をします。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * エラー訂正レベル：
MicroQRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M の順に復元率が高くなります。
- MaxiCode の設定
 - * モード： MaxiCode のモードを選択します。
- GS1 DataBar の設定
 - * モジュール： GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
推奨値は、[111 ページ「モジュールの推奨値」](#)を参照してください。
 - * キャラクター数： GS1 DataBar の最大幅を設定します。
2次元シンボルが、GS1 DataBar Expanded Stacked 選択時に設定します。

- AztecCode の設定
 - * タイプ： AztecCode のタイプを選択します。
 - * セルのサイズ： AztecCode のセル (モジュール) のサイズを設定します。
推奨値は、111 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
 - * レイヤーの数： AztecCode のレイヤー数を指定します。
 - * エラー訂正領域： AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
[自動]：デフォルト値は 23%+3 コードワードです。
[パーセンテージで指定する]：エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。
- DataMatrix の設定
 - * シンボルの形： DataMatrix のシンボルの形を選択します。
 - * エラー訂正レベル：
DataMatrix のエラー訂正レベルを選択します。
 - * セルのサイズ： DataMatrix のセル (モジュール) のサイズを設定します。
推奨値は、111 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
 - * 縦方向のセルの数：
DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
DataMatrix のシンボルの形を [長方形] 選択時に設定します。
 - * 横方向のセルの数：
DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
DataMatrix のシンボルの形を [長方形] 選択時に設定します。
[最小化する]：自動的に最小のセルの数に最適化します。
[サイズを指定する]：選択したサイズに設定します。

3 [追加] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。



- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

モジュールの推奨値は、用紙種類、2次元シンボルの種類および印刷方向によって異なります。



注意

- ドライバーの [拡張設定] タブの [印刷方向] で [横] を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCode は回転しません。
- ドライバーの [拡張設定] タブの [180 度回転] を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCode は回転しません。また、回転方向を [標準] と [270° 回転] に設定していると 2 次元シンボルは印刷されません。

スタック型 2 次元シンボル

□ 最小モジュールサイズが 300 dpi 単位の場合

2 次元シンボル	印刷方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド用紙	マット紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
PDF417	-	5	3	3	3	-	3	3	3
Micro PDF	-	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Stacked	-	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	5	3	3	3	-	3	3	3
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	5	3	3	3	-	3	3	3

□ 最小モジュールサイズが 600 dpi 単位の場合

2次元シンボル	印刷方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド 用紙	マット紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
PDF417	-	10	6	6	6	-	6	6	6
Micro PDF	-	10	6	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Stacked	-	10	6	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	10	6	6	6	-	6	6	6
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	10	6	6	6	-	6	6	6



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のズレの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。(208 ページ「[双方向印刷のズレの調整](#)」)

マトリクス型 2 次元シンボル

□ 最小モジュールサイズが 300 dpi 単位の場合

2 次元シンボル	印刷方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド 用紙	マット紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
QR Code	-	7	5	4	5	-	4	4	4
Micro QR	-	7	6	5	6	-	5	5	5
Aztec	-	7	4	4	4	-	4	4	4
DataMatrix	-	7	4	3	4	-	3	3	3
MaxiCode	-	10	10	10	10	-	10	10	10

□ 最小モジュールサイズが 600 dpi 単位の場合

2 次元シンボル	印刷方向	ANSI グレード D 以上		ANSI グレード C 以上					
		普通紙	リストバンド 用紙	マット紙	合成紙	上質紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
QR Code	-	13	10	10	10	-	10	10	10
Micro QR	-	13	12	11	12	-	11	11	11
Aztec	-	13	9	9	9	-	9	9	9
DataMatrix	-	13	8	8	8	-	8	8	8
MaxiCode	-	21	21	21	21	-	21	21	21



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のズレの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。(208 ページ「双方向印刷のズレの調整」)

2次元シンボルデータの指定方法

2次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

PDF417/MicroPDF417

- 桁数と段数が0の場合、自動計算されます。
- 0以外を指定する場合、桁数と段数の積が928以下になるように指定してください。

QRCode

- データのサイズによって、収まるバージョンに自動的に変更されます。

Micro QRCode

- サイズが自動的に決定されます。

MaxiCode

- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	16進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

DataMatrix

- データが「\」で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII
FNC1	{1
「\」	{{

GS1 DataBar Stacked / GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

- データの先頭にアプリケーション識別子01を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\」または「\」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2次元シンボルの順に指定してください。

GS1 DataBar Expanded Stacked

- GS1 DataBar エクスバンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスバンデッドと同じです。(詳細は [106 ページ「GS1 DataBar Expanded」](#) を参照)
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\」または「|」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2次元シンボルの順に指定してください。

AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [2次元シンボルフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



- 2次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2次元シンボルは印刷されません。
- NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録した2次元シンボルフォントが表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントを2次元シンボルフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。[116 ページ「.NET 環境でバーコード/2次元シンボル印刷」](#) を参照してください。

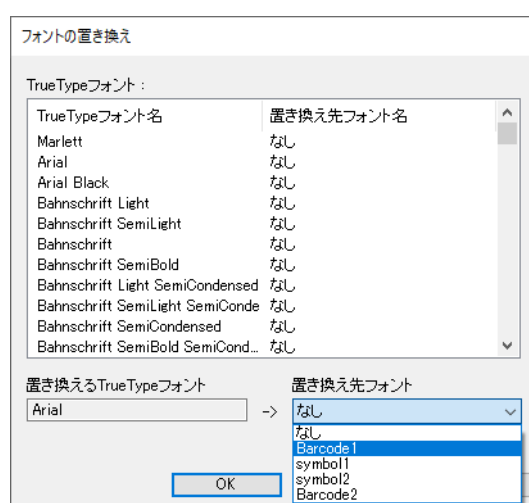
.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データは True Type フォント名ですが、印刷するとバーコード /2 次元シンボルになります。

フォントの置き換え

フォントの置き換えは、[ドライバーユーティリティ] タブの [フォントの置き換え] で設定します。



1 以下の設定を行います。

- 置き換える True Type フォント
 - * 置き換え元の [True Type フォント] を選択します。
- 置き換え先フォント
 - * 置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2 [OK] をクリックします。 True Type フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた True Type フォント、指定されたポイント数、言語を指定します。



- バーコード /2 次元シンボルのポイント数は決められています。
[ドライバーユーティリティ] - [バーコード /2 次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の True Type フォントは、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントで他の文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定をひとまとめにして管理できる機能です。



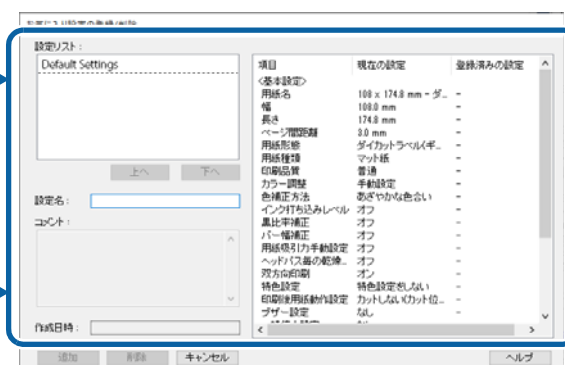
本製品の操作パネルから登録できる「お気に入り」とは別の機能で、互換性はありません。

印刷設定は、[基本設定] タブと [拡張設定] タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト（ユーザー定義用紙を含む）などがあります。

[基本設定] タブ



お気に入り



[拡張設定] タブ



特長

「お気に入り」には、いくつもの印刷設定を登録できます。

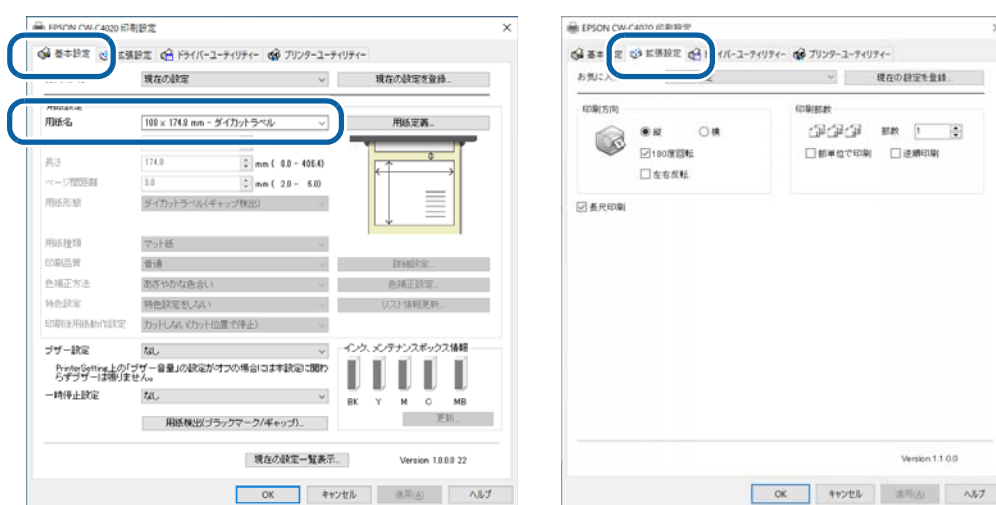
たとえば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけでプリンタードライバーの印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を正しく設定できます。

(帳票を変更した場合、プリンターの用紙検出設定を変更する必要がある場合があります。)

印刷設定を「お気に入り」に登録

1 印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。

〔基本設定〕タブと〔拡張設定〕タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、〔基本設定〕の〔用紙名〕から選択します。

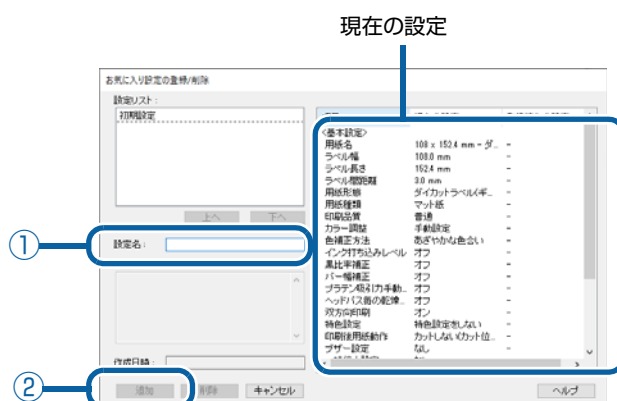


2 〔現在の設定を登録〕をクリックします。〔お気に入り設定の登録 / 削除〕画面が表示されます。

現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 〔設定名〕欄に登録名を入力して、〔追加〕をクリックします。

〔お気に入り設定の登録 / 削除〕画面が閉じて、元の画面に戻ります。



4 追加した設定名が「お気に入り」に登録されていることを確認します。

「お気に入り」に登録される



「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定： プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定： [基本設定] タブと [拡張設定] タブに設定されている内容です。
この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定： ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピューターごとに 1 つ設定されます。

1 台のコンピューターに複数のプリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み

お気に入り設定、ユーザー定義情報（用紙レイアウト、バーコード）、プリンタードライバーの動作設定を BSF ファイル（拡張子 .BSF）に書き出すことができます。また、BSF ファイルから設定を取り込んでプリンタードライバーを設定することもできます。



- プリンタードライバーの「お気に入り」は、本製品の「お気に入り」とは別の機能です。プリンタードライバーの設定用ファイルに、本製品の「お気に入り」を含めることはできません。
- 機種間で異なる仕様に対して不定値が混入してしまうことを回避するため、BSF ファイル内に機種名を保管しており、取り込み時に機種名をチェックしています。そのため、同一の機種名でのみ設定の書き出し / 取り込みが行えます。

設定の書き出し

以下の手順で、設定を書き出します。

1 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。



- 「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、全ての登録情報を BSF ファイルに書き出します。BSF ファイルを取り込むと、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。必要に応じて登録情報の順番を編集してください。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

速い

普通
きれい

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「速い」が反映される。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

普通

速い
きれい

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「普通」が反映される。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

きれい

速い
普通

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「きれい」が反映される。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックすることで編集できます。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

初期設定
速い
普通
きれい

上へ 下へ

設定名: きれい

コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル



お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

初期設定
速い
きれい
普通

上へ 下へ

設定名: きれい

コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル



お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:
お気に入り登録中

初期設定
きれい
速い
普通

上へ 下へ

設定名: きれい

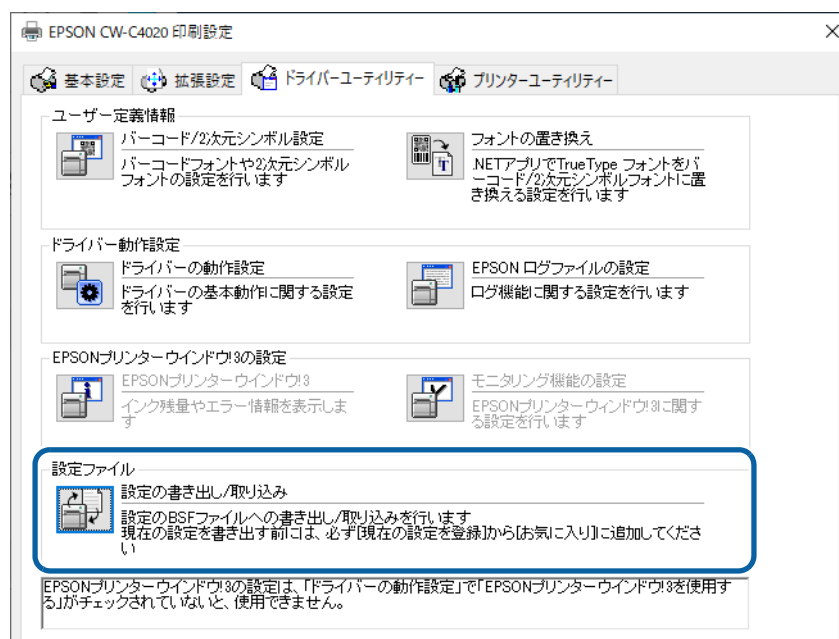
コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル

- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。

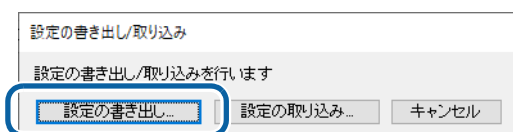
- 2 [ドライバーユーティリティ]タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み]をクリックします。



BSF ファイルの保存は、現在の設定から行ってください。標準の設定から行くと、プリンタードライバーの画面の内容と異なる内容が書き出されます。

- 現在の設定：
プリンタードライバーのプロパティ - [全般] - [基本設定]
- [ドライバーユーティリティ] - [設定の書き出し / 取り込み]
- 標準の設定：
プリンタードライバーのプロパティ - [詳細設定] - [標準の設定]
- [ドライバーユーティリティ] - [設定の書き出し / 取り込み]

- 3 [設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の書き出し] をクリックします。



- 4 ファイルの保存画面が表示されます。名前をつけて BSF ファイルを保存します。

- 5 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。



BSF ファイルには、ユーザーが定義した「お気に入り」の印刷設定が反映されます。「現在の設定」の印刷設定は反映されません。

設定の取り込み



BSF ファイルから設定を取り込むと、プリンタードライバーの設定は上書き保存されます。そのため、以下の既存設定を残したい場合は、既存設定を含めて BSF ファイルを作成してください。

- お気に入りリスト
- ユーザー定義した用紙リスト
- バーコードフォントリスト
- バーコードフォントの置き換えリスト

以下の手順で、設定を取り込みます。

- 1** [ドライバーユーティリティ] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。
- 2** [設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の取り込み] をクリックします。
- 3** 確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。
- 4** 開く画面が表示されます。取り込むファイルを選択します。
- 5** 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

6 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。



- 「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。目的の登録情報が反映されない場合は、設定リストの順番を修正し、もう一度 BSF ファイルを書き出してください。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

速い

普通

きれい

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「速い」が反映される。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

普通

速い

きれい

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「普通」が反映される。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

きれい

速い

普通

上へ 下へ

設定名:

コメント:

作成日時:

追加 削除 キャンセル



取り込み時、「きれい」が反映される。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックすることで編集できます。

お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

初期設定

速い

普通

きれい

上へ 下へ

設定名: きれい

コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル



お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

初期設定

速い

きれい

普通

上へ 下へ

設定名: きれい

コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル



お気に入り設定の登録/削除

設定リスト:

初期設定

きれい

速い

普通

上へ 下へ

設定名: きれい

コメント:

作成日時: 2021/12/09 17:04:21

保存 削除 キャンセル

- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。
- 以下の場合、BSF ファイルには互換性がありません。
 - * 異なるドライバーバージョン間
 - * 異なる Windows ビルド / バージョン間
 - * 異なる Windows アーキテクチャ間 (32 ビット / 64 ビット)

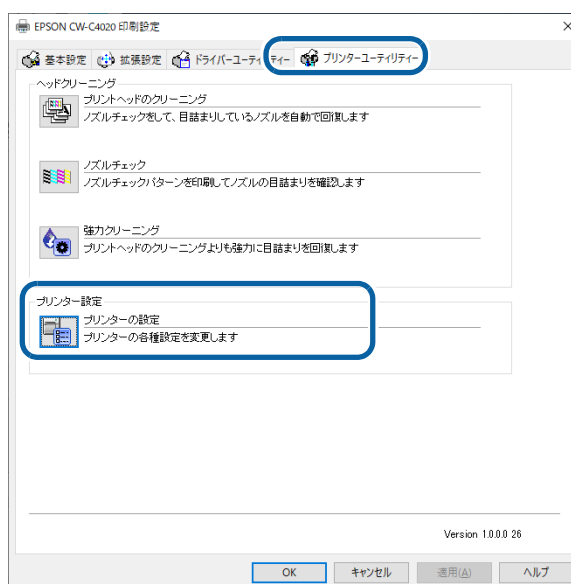
プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する

以下の手順でプリンタードライバーから PrinterSetting を起動します。



本手順で PrinterSetting を起動すると、一部の設定ができません。
(185 ページ「PrinterSetting (Windows)」)

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [プリンターユーティリティ] タブを選択します。[プリンターの設定] をクリックします。



3 [CW-C4000 PrinterSetting] 画面が表示されます。



高速バッチラベル印刷機能で印刷速度を上げる

大量のラベルをより早く印刷したいときは、[高速バッチラベル印刷] を有効にすると印刷速度が上がります。有効にした場合の制限事項（129 ページ「制限事項」）をご確認の上、お使いください。

最新のドライバーの入手については 346 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」を参照してください。

機能の概要

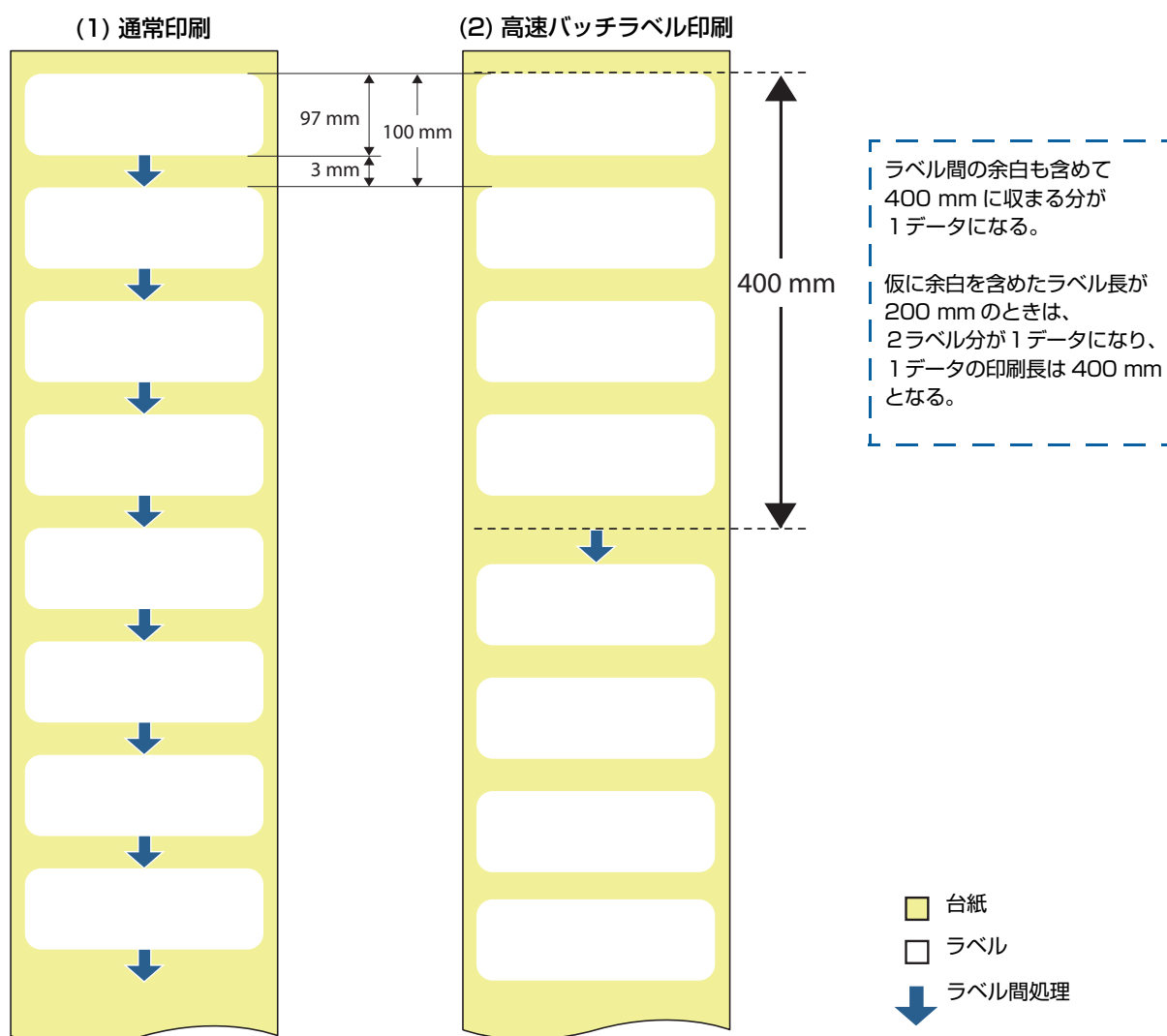
[高速バッチラベル印刷] が無効になっているとき（通常印刷時）は、同じラベルを複数枚印刷するときもラベルデータは一つずつプリンターに送られ、1 枚印刷するたびに次のラベルとの余白確保などのための処理時間が発生します。

[高速バッチラベル印刷] を有効にすると、400 mm の長さに収まる数をプリンタードライバーが自動でまとめて 1 データとしてプリンターに送ります。このためラベル間の処理時間が減り、印刷速度が上がります。

例) ラベル長 97 mm、ラベル間余白 3 mm のラベルを 100 枚印刷するとき

(1) 通常印刷時：(1 ラベル印刷 + ラベル間処理) × 100 回

(2) 高速バッチラベル印刷：(4 ラベル同時印刷 + ラベル間処理) × 25 回



制限事項

〔高速バッチラベル印刷〕を有効にした場合の制限事項は以下のとおりです。

- 紙送り方向のラベル印刷位置の精度が低下する可能性があります。
- アプリケーション上の1ラベルを単位として動作する機能は使えません。
- 〔印刷後用紙動作設定〕は、カットする設定もカットせずに停止する設定も正しく動作しません。
- 〔ブザー設定〕と〔一時停止設定〕は正しく動作しません。
- 複数枚をまとめて1データにするという機能の特性上、本機能が無効の時に比べ、最初の印刷を開始するまでに時間がかかります。また、実際に印刷されるページ数に関する情報は使用できなくなります。
- 紙詰まりなどのエラーが発生した場合、損失が複数枚に及ぶ可能性があります。またエラー復帰後の再印刷時にも複数枚印刷されます。
- 印刷枚数表示が、400 mm に収まった複数枚で1枚というカウントになります。
- プリンターの Pause ボタンで印刷を一時停止したときに、ラベルとラベルの切れ目で停止することができません。
- パネルに表示されるページ数（例：1/1 ページ印刷）は、まとめられたデータの個数を示し、実際に印刷されたページ数を示すものではありません。

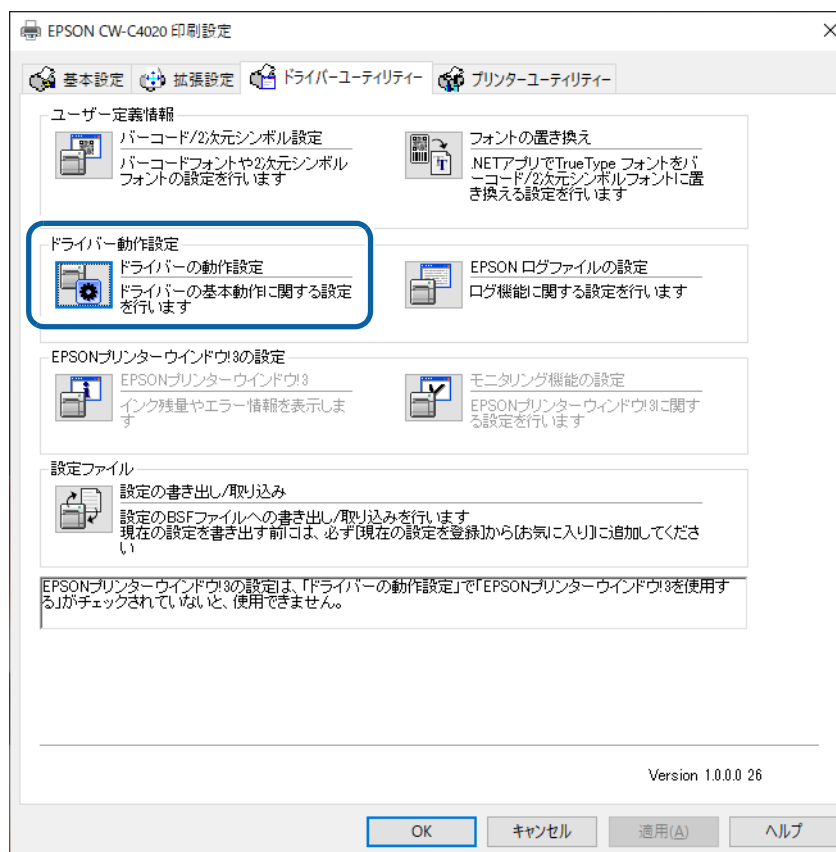
設定方法

以下の手順で〔高速バッチラベル印刷〕を有効にします。

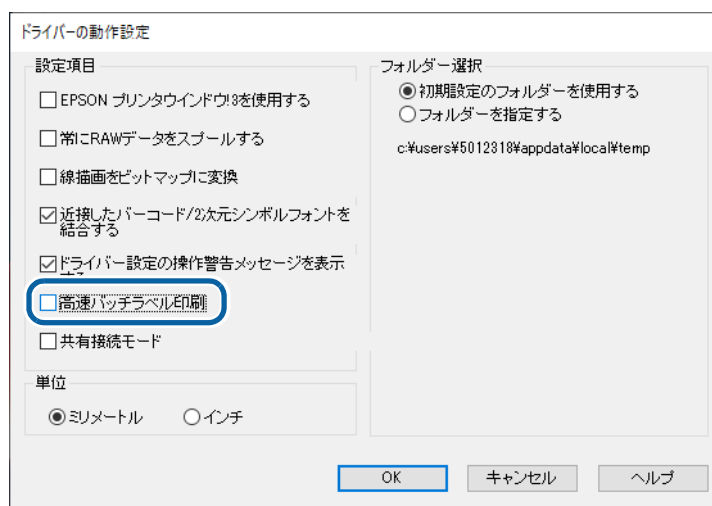
- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 〔ドライバーユーティリティ〕タブをクリックします。



3 [ドライバーの動作設定] をクリックします。



4 [高速バッチラベル印刷] にチェックを入れて、[OK] をクリックします。



以降、400 mm の長さ収まる分が自動で 1 データにまとめられて印刷されます。

印刷位置がずれる場合

以下の手順を実施して印刷位置ズレを軽減できないかお試しください。

紙送り調整を実行する

PrinterSetting (Windows) で、紙送り調整を実施します。192 ページ「調整を実行する」
操作パネルからは以下の手順で選択できます。
[用紙設定] - [印刷位置調整]

解決しない場合は次の手順を実施してください。

使用する用紙のラベル位置を確認する

まとめられたデータの仮想的なラベル位置と、使用する実際の用紙のラベル位置が一致するか確認し、ドライバーの設定を修正します。132 ページ「用紙サイズの設定を修正する」

解決しない場合は次の手順を実施してください。

印刷開始のズレ方を確認する

印刷開始位置のずれる方向に、規則性があるか確認します。133 ページ「印刷開始位置のズレ方を確認する」

規則性がない場合は、ラベルの位置が不均一にばらついている可能性があります。この場合、高速バッチラベル印刷機能は使用できません。ご使用の用紙の精度の改善をご検討ください。
規則性がある場合は次の手順を実施してください。

ページ間距離を確認する

まとめられたデータの中で最後に印刷されるラベルの位置を確認し、ドライバーの設定を修正します。134 ページ「ページ間距離を確認する」

紙送り調整を実行する

紙送りに異常があると、印刷開始位置がずれる可能性があります。

PrinterSetting (Windows) で、紙送り調整を実施します。192 ページ「調整を実行する」

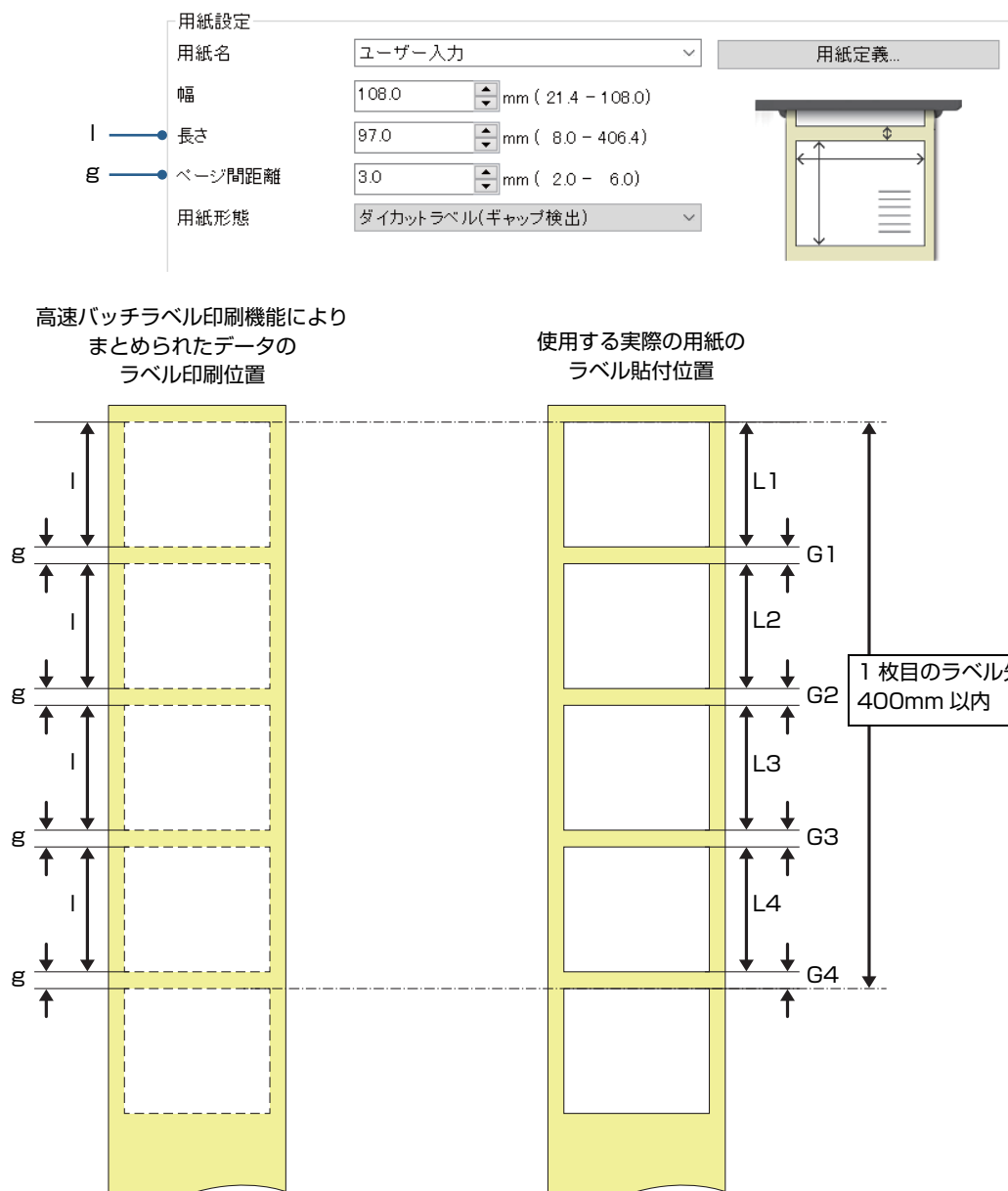
操作パネルからは以下の手順で選択できます。

[用紙設定] - [印刷位置調整]

紙送り調整を実施しても印刷位置のズレが改善しない場合は、次の手順を実施してください。132 ページ「用紙サイズの設定を修正する」

用紙サイズの設定を修正する

ドライバーで設定した長さ (l)、ページ間距離 (g) はデータをまとめるときに繰り返し使用されます。そのため、実際に使用する複数のラベル位置を測り、その平均値をドライバーで設定することで、印刷位置が改善する場合があります。



以下の手順で確認してください。

- 1 使用する実際の用紙のラベル長さ [例: L1, L2, L3, L4] とページ間距離 [例: G1, G2, G3, G4] を測定します。1 枚目のラベル先端から 400mm までが対象です。
- 2 測定したラベル長さの平均値 L [例: $L = (L1 + L2 + L3 + L4) / 4$] と ページ間距離の平均値 G [例: $G = (G1 + G2 + G3 + G4) / 4$] を算出します。
- 3 算出した実際の用紙のラベル長さの平均値 L と、プリンタードライバーのラベル長さ l が一致するか確認します。
一致しない場合はドライバーのラベル長さ l に L を入力します。

4 算出した実際の用紙のページ間距離の平均値 G と、プリンタードライバーのページ間距離 g が一致するか確認します。

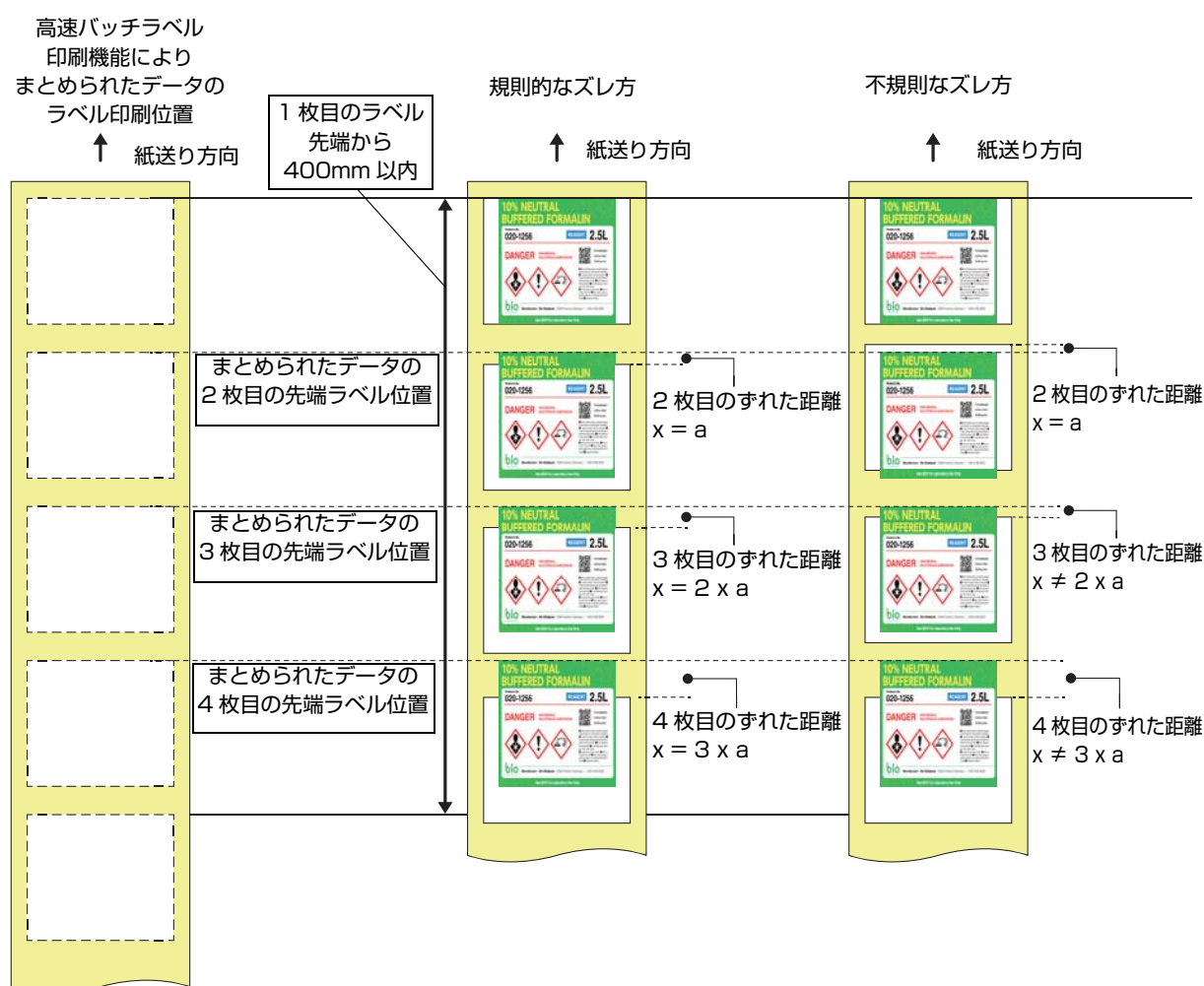
一致しない場合はドライバーのページ間距離に G を入力します。

上記手順を実施しても印刷開始位置のズレが改善しない場合は、次の手順を実施してください。[133 ページ「印刷開始位置のズレ方を確認する」](#)

印刷開始位置のズレ方を確認する

印刷開始位置のズレが、ラベル 1 枚につき 1mm ずつ大きくなる場合など、規則性がある場合は次の手順を実施してください。[134 ページ「ページ間距離を確認する」](#)

規則性が無い場合は、ラベルの位置が不均一にばらついている可能性があります。この場合、高速バッチラベル印刷機能は使用できません。ご使用の用紙の精度の改善をご検討ください。



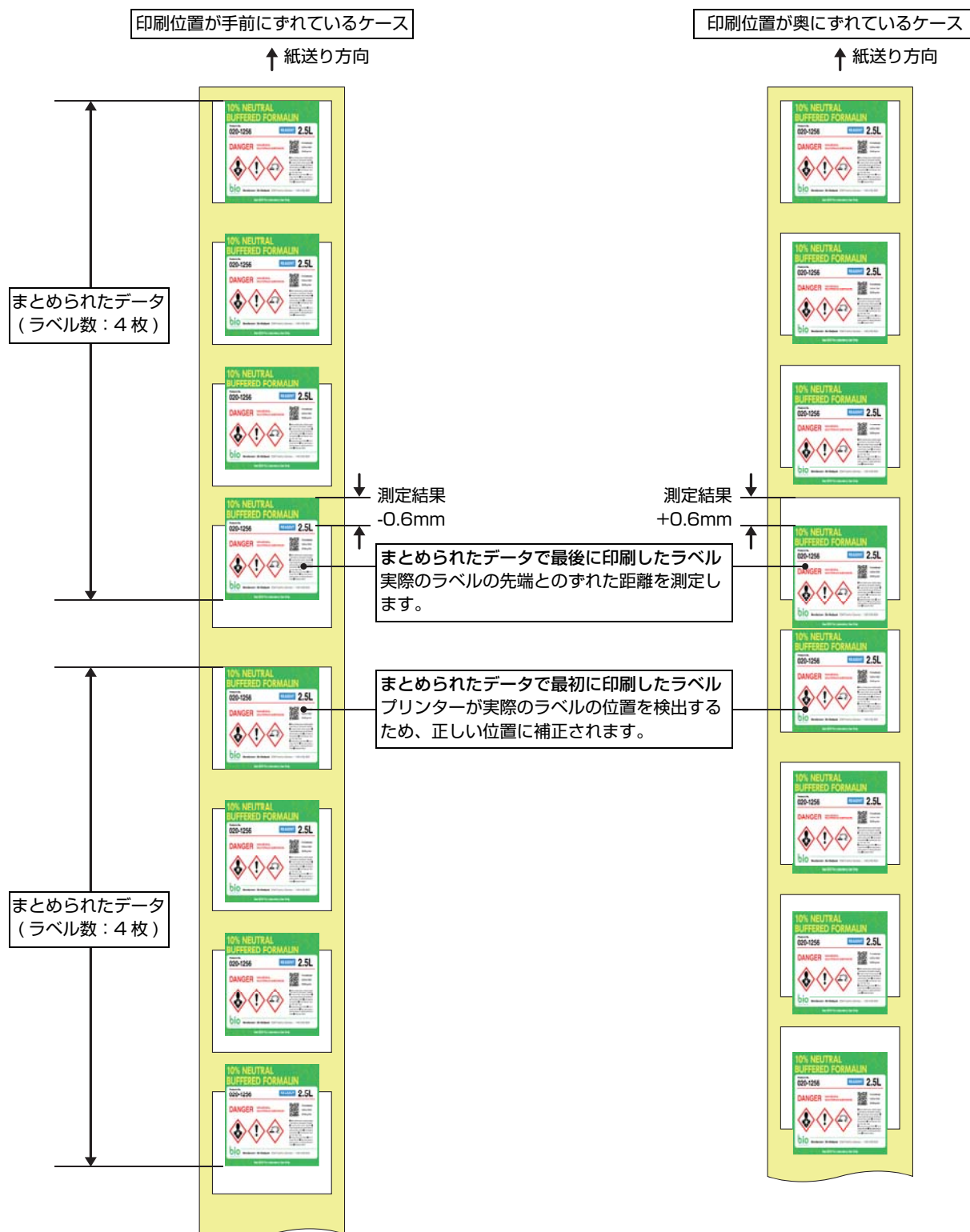
a: まとめられたデータの 2 枚目の先端ラベル位置と、実際に使用する用紙の 2 枚目の先端ラベル位置のずれた距離
 x: まとめられたデータの n 枚目の先端ラベル位置と、実際に使用する用紙の n 枚目の先端ラベル位置のずれた距離

ページ間距離を確認する

まとめられたデータの最後に印刷されたラベルの先端と、実際の印刷開始位置のずれた距離を測定します。ラベル1枚につき何mmずつずれているかを算出します。ラベルのずれた距離/(連結したラベルの枚数-1)で確認できます。

例えば、4枚のラベルを1データで連結している場合で、4枚目のラベルが0.6mmずれているときは、ページ間距離を0.2mm調整することで、4枚ともズレが無くなります。

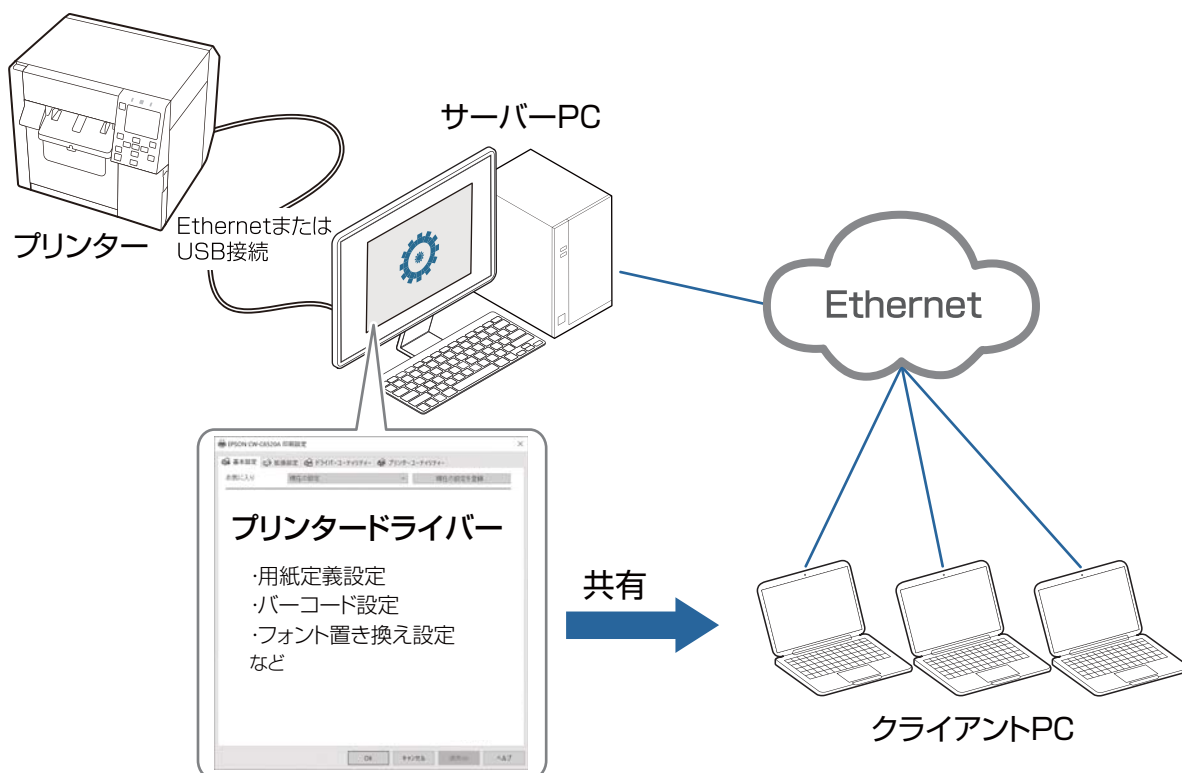
$$0.6\text{mm}/(4\text{枚}-1)=0.2\text{mm}$$



プリンタードライバーを共有する

サーバー PC にインストールしたプリンタードライバーを、複数のクライアント PC から共有して使用できます。サーバー PC のプリンタードライバーの設定をクライアント PC 側もそのまま使用できるため、各種印刷設定を簡単に共有できます。

また、複数台の PC にそれぞれプリンタードライバーをインストールして設定するという手間が省けます。



重要

システム環境により、プリンタードライバーから PrinterSetting (185 ページ) を起動することができない場合があります。[157 ページ「PrinterSetting 機能の制限事項」](#)



Ethernet 接続の場合、サーバー PC と同じネットワークであれば複数台のプリンターを制御できます。

以下の流れで設定します。詳細手順は各参照先をご覧ください。

サーバーPC での設定

1. プリンタードライバーをインストールする (49 ページ)
通常のインストールと同様の手順で行います。
2. Windows [デバイスとプリンター] で共有設定をする (137 ページ)
3. プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする (139 ページ)
4. プリンタードライバーに用紙定義などの設定を追加する
90 ページ「ユーザー定義用紙」、97 ページ「バーコード印刷」など参照
5. プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する (142 ページ)
プリンタードライバーの印刷設定の初期設定をよく使う設定に変更します。



クライアント PC での設定

1. サーバー PC に接続する (144 ページ)
2. 共有プリンタードライバーの設定を確認する (151 ページ)
「サーバー PC での設定」の 手順 3 ～ 5 が反映されていることを確認します。



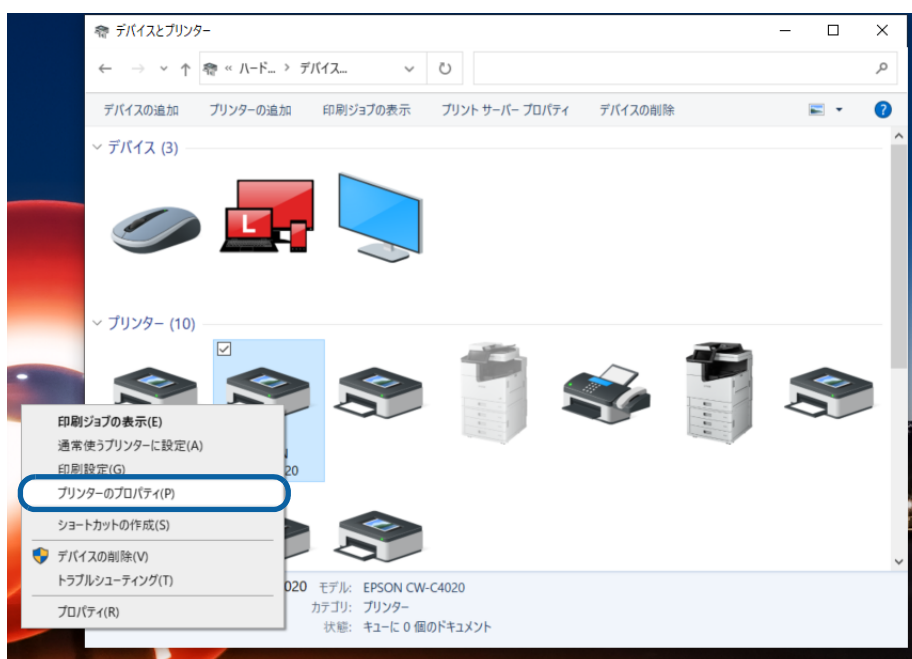
重要

- 共有接続はサーバー PC、クライアント PC、プリンター全てが接続され稼働していることが前提の機能です。
- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず [共有接続モード] を有効にする手順を行った後に追加してください。[共有接続モード] が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有情報の設定は管理者権限でのみ追加や変更ができます。
ユーザー権限アカウントでは、サーバー PC、クライアント PC のどちらからも書き込みはできないため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。
 - * 用紙定義設定
 - * バーコード / 2 次元シンボル設定
 - * フォント置換
 - * お気に入り設定
- サーバー PC とクライアント PC が接続されていない場合は、共有情報の設定は変更できません。

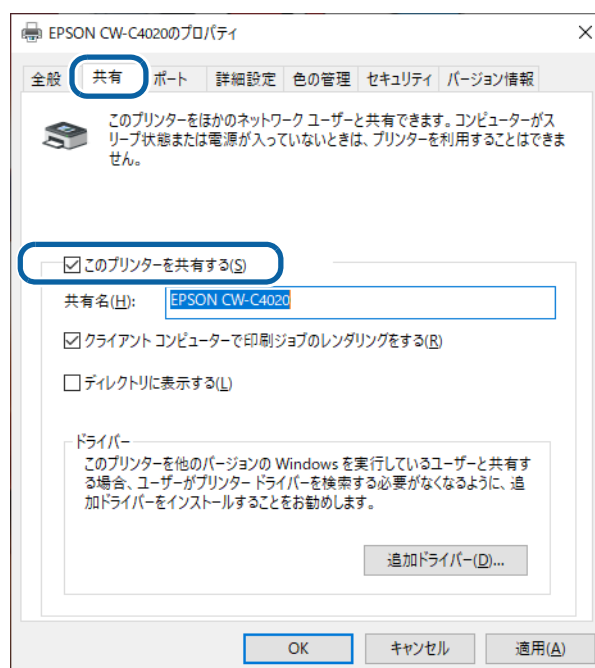
サーバーPC での設定

Windows [デバイスとプリンター] で共有設定をする

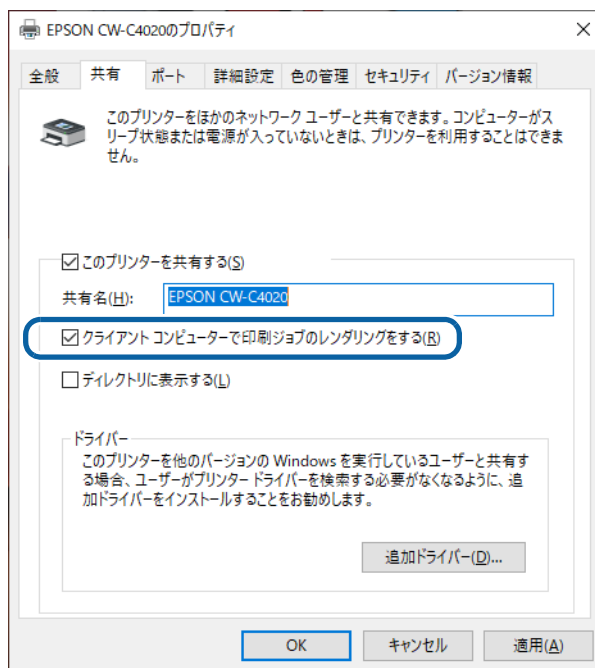
- 1 [デバイスとプリンター] を開きます。
- 2 共有したいプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



- 3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] にチェックを入れます。



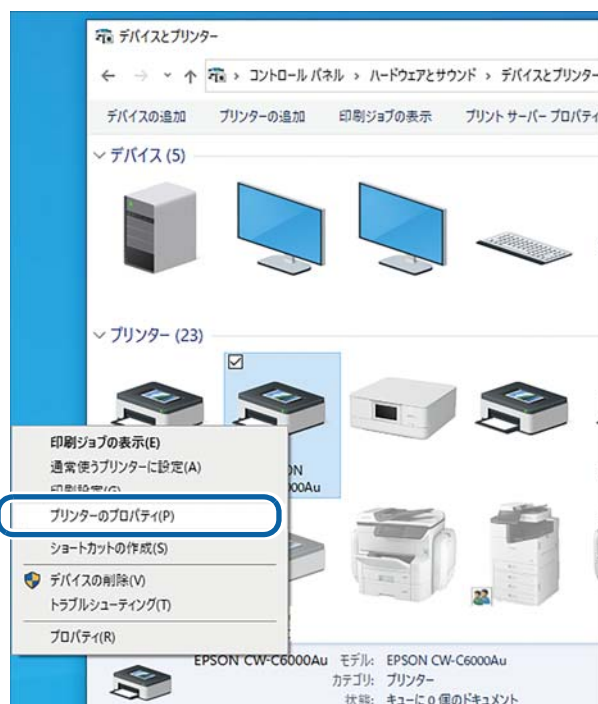
4 [クライアントコンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする] にチェックを入れます。



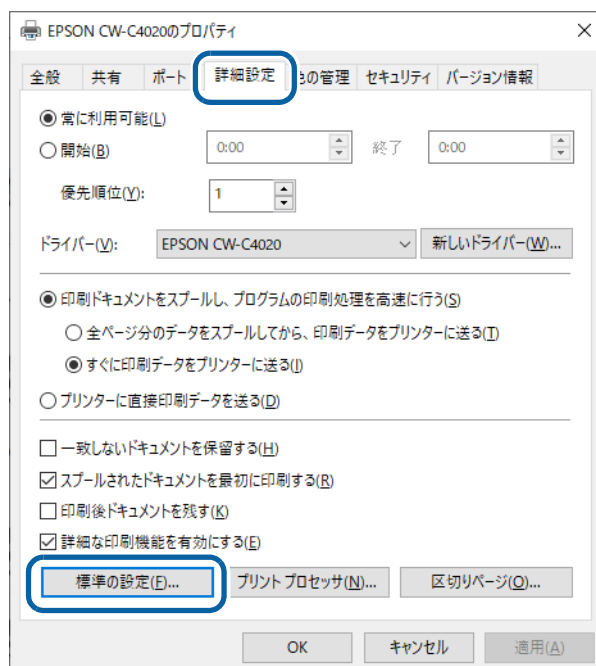
5 [OK] をクリックします。

プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする

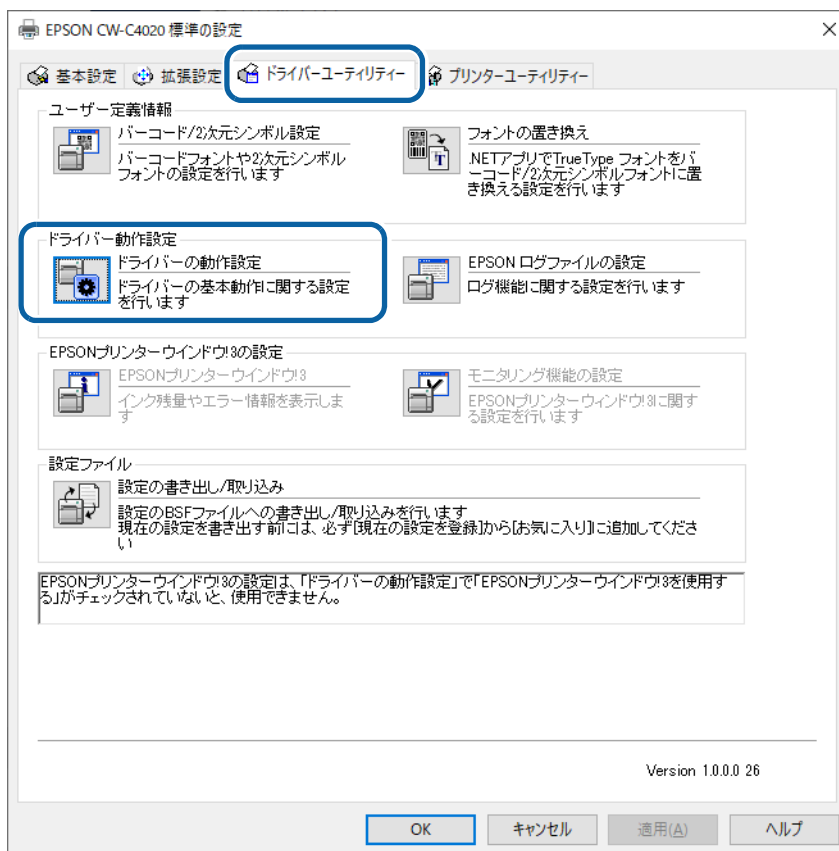
- 1 [デバイスとプリンター] を開きます。
- 2 共有したいプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



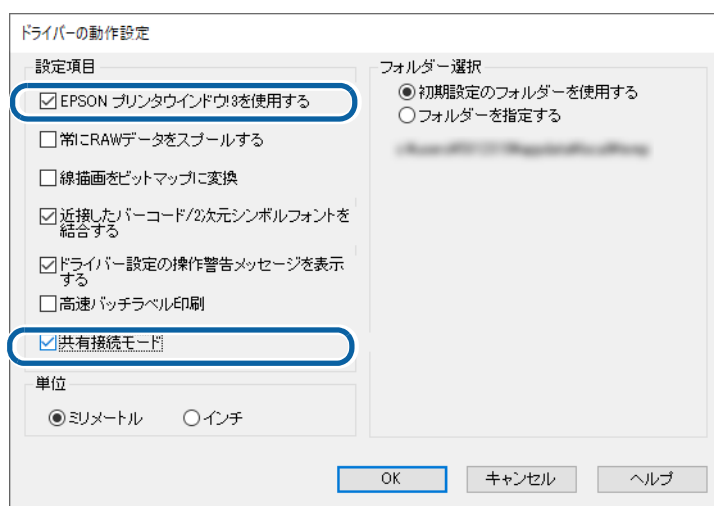
- 3 [詳細設定] タブをクリックし、[標準の設定...] をクリックします。



- 4 印刷設定の画面が開いたら、「ドライバーユーティリティ」タブの「ドライバーの動作設定」をクリックします。

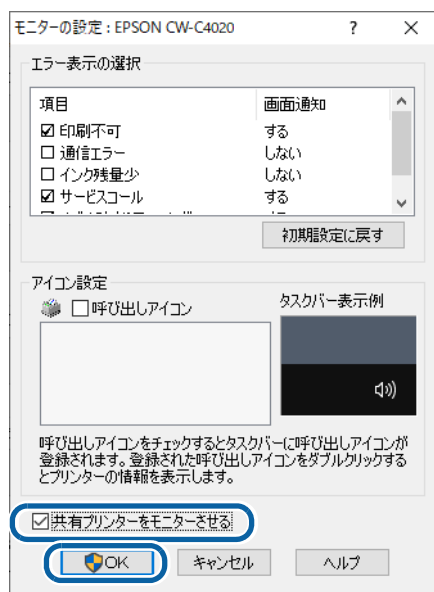


- 5 「ドライバーの動作設定」画面で「EPSON プリントウインドウ !3 を使用する」と「共有接続モード」にチェックを入れます。



- 6 [OK] をクリックして、印刷設定の画面に戻ります。
- 7 「ドライバーユーティリティ」タブの「モニタリング機能の設定」をクリックします。「モニターの設定」画面が表示されます。

8 [共有プリンターをモニターさせる] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



9 印刷設定画面に戻ったら、[OK] をクリックします。

次回プリンタードライバーの印刷設定画面を開いたときから [共有接続モード] が有効になります。

プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する

〔用紙定義〕で追加した用紙の選択など、プリンタードライバーの印刷設定をよく使う設定にしておくことで、印刷のたびに設定する手間が省けます。

必要に応じて〔用紙定義〕（90 ページ「ユーザー定義用紙」参照）やバーコードフォントの追加（97 ページ「バーコード印刷」参照）などを行ってから、以下の手順で印刷の初期設定を変更します。



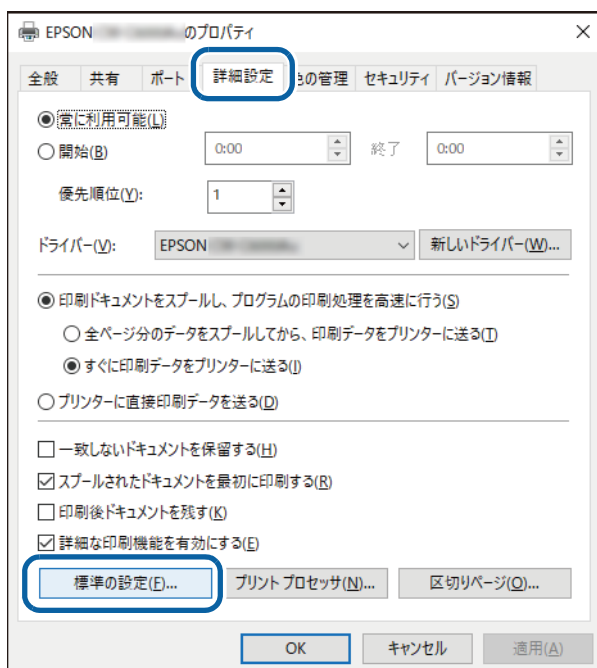
重要

- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず〔共有接続モード〕を有効にする手順を行った後に追加してください。〔共有接続モード〕が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有設定後に Windows のユーザー権限アカウントでログインした場合、サーバー PC でもクライアント PC でも共有情報への書き込みが不可となるため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。必ず管理者権限でログインして行ってください。
 - * 用紙定義設定
 - * バーコード / 2 次元シンボル設定
 - * フォント置換
 - * お気に入り設定

- 1 [デバイスとプリンター] を開きます。
- 2 共有したいプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。プロパティ画面が表示されます。



3 [詳細設定] タブをクリックし、[標準の設定...] をクリックします。



4 印刷設定の画面が開いたら、用紙の選択など、印刷設定をよく使う設定に変更します。



5 設定が終わったら [OK] をクリックして、設定を保存します。

以降、プリンタードライバーの印刷設定画面を開くと、ここで設定したことが反映された状態になっています。

クライアント PC での設定

サーバーPC に接続する

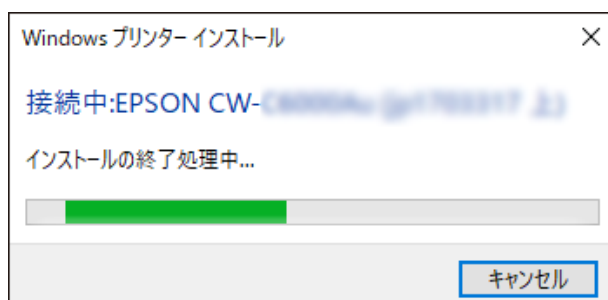
- 1 [デバイスとプリンター] を開き、上部メニューの [プリンターの追加] をクリックします。
プリンターの検索が始まります。



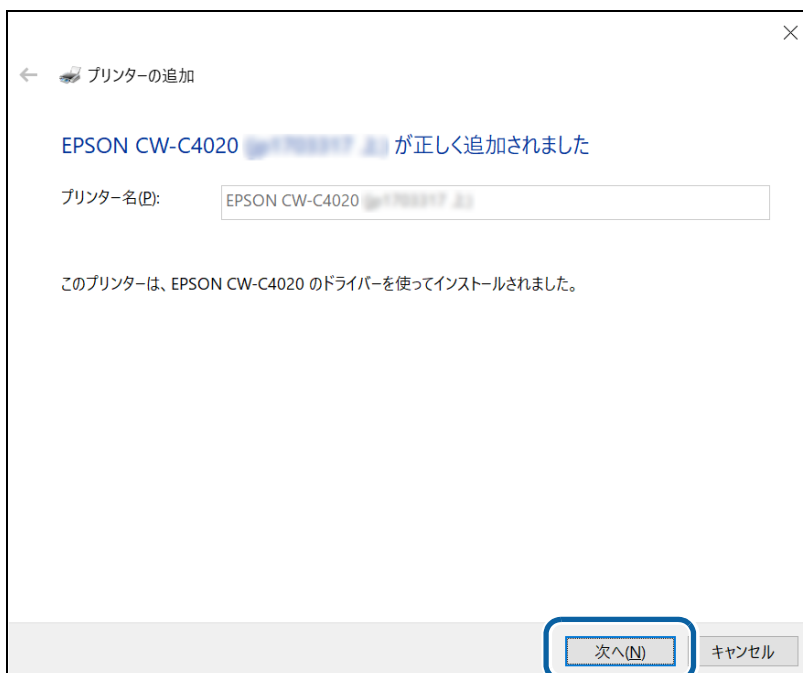
- 2 該当のプリンターが表示されたらクリックします。
表示されないときは、147 ページ「サーバー PC に接続する（検索でプリンターが見つからないとき）」をご覧ください。



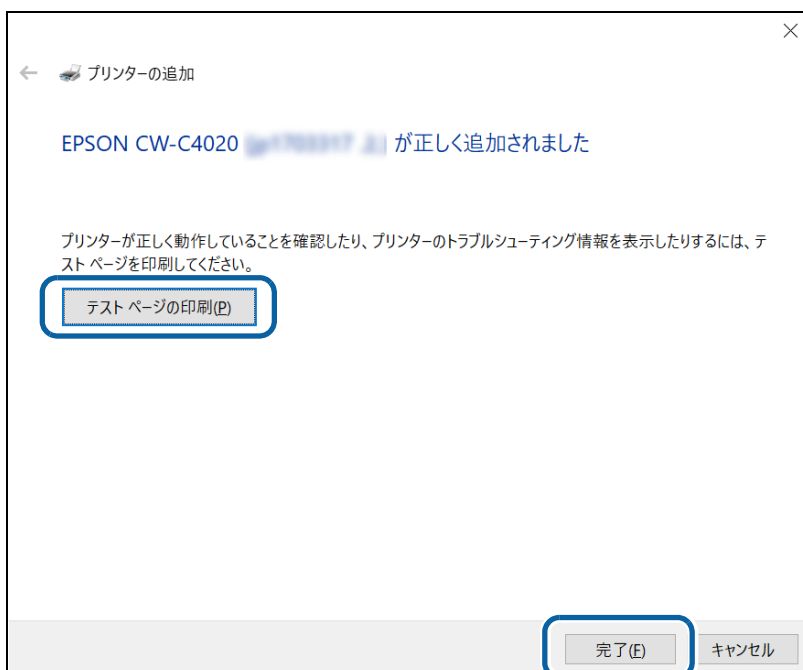
- 3 プリンタードライバのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。



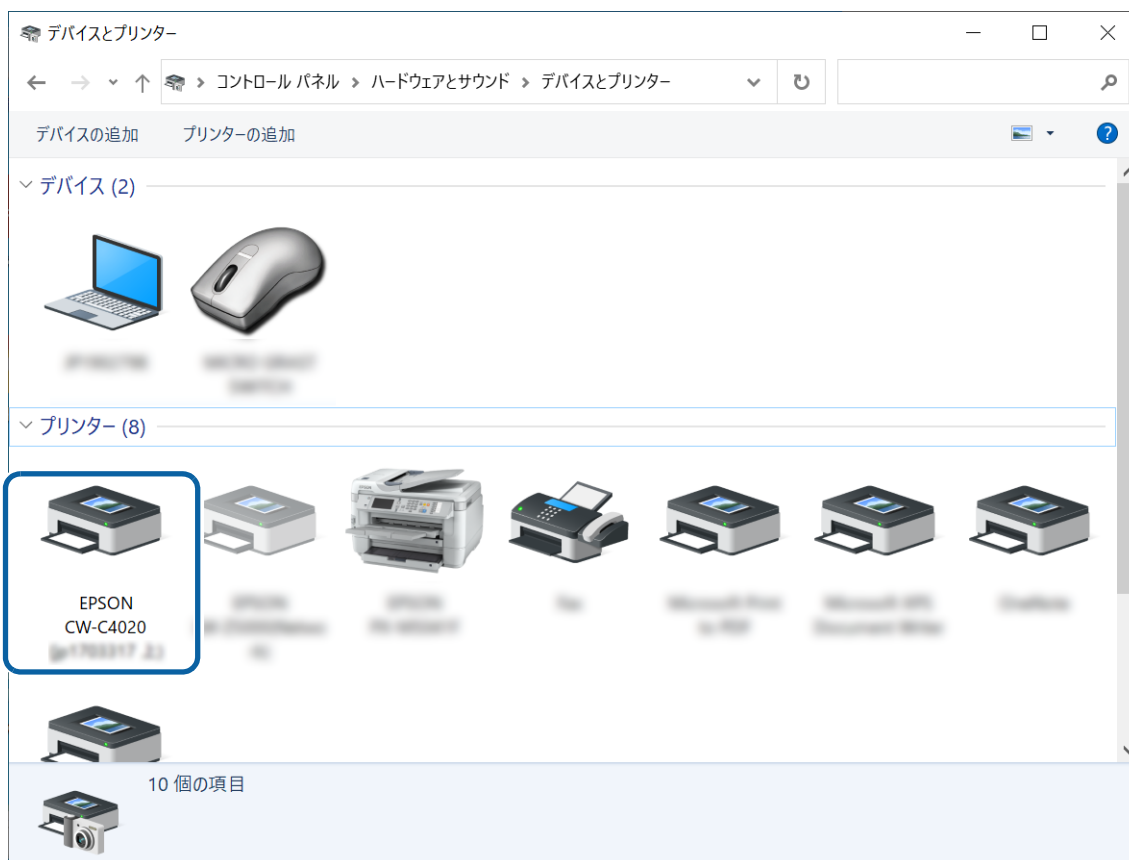
4 正常に終了すると以下の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



5 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは[テストページの印刷]を、終了するときは[完了]をクリックします。



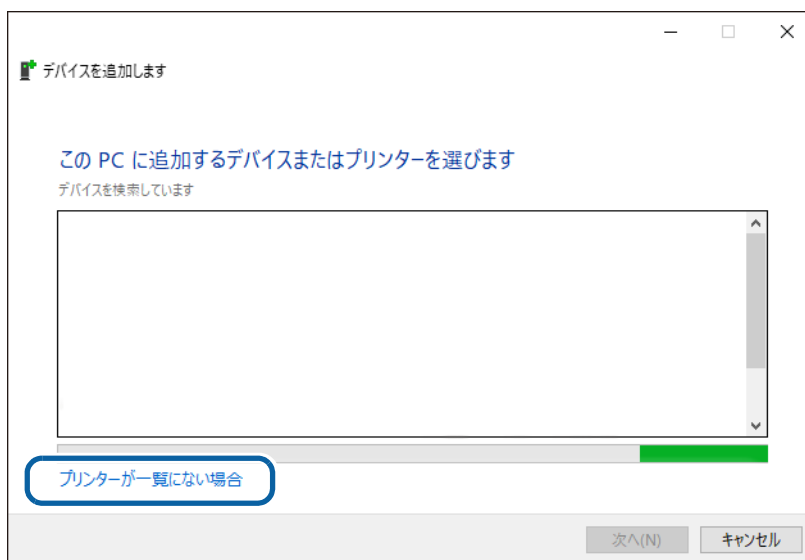
6 再度「デバイスとプリンター」を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



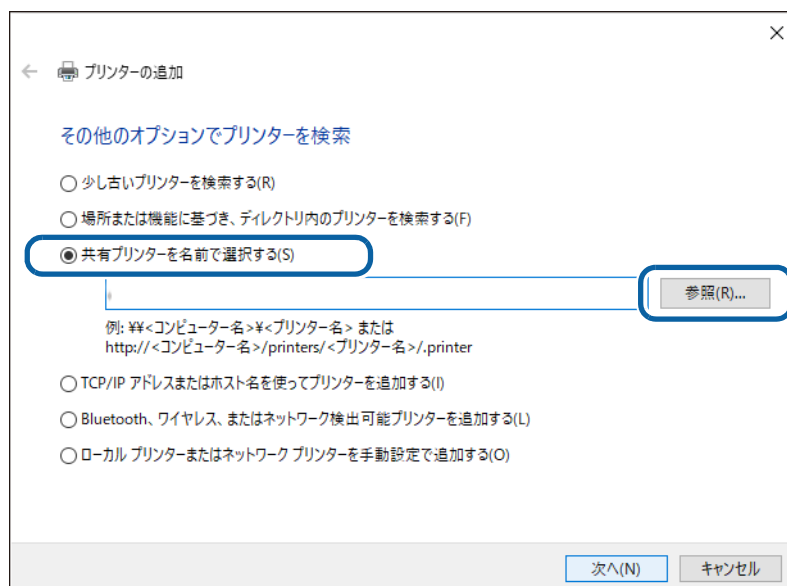
サーバーPC に接続する(検索でプリンターが見つからないとき)

[デバイスとプリンター] の [プリンターの追加] メニューで、該当のプリンターが表示されないときは以下の手順に従ってください。

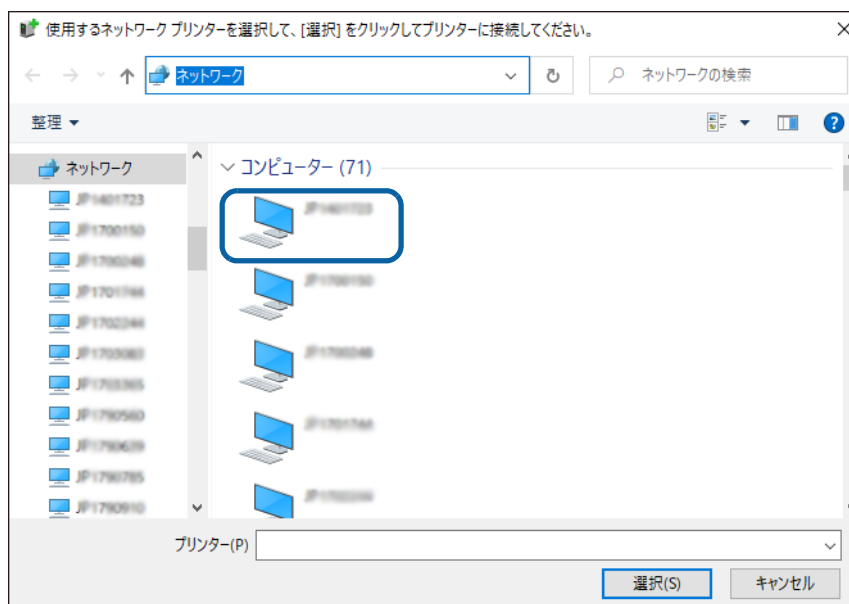
1 検索画面下の [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。



2 以下の画面が表示されたら [共有プリンターを名前で選択する] を選択して、[参照] をクリックします。

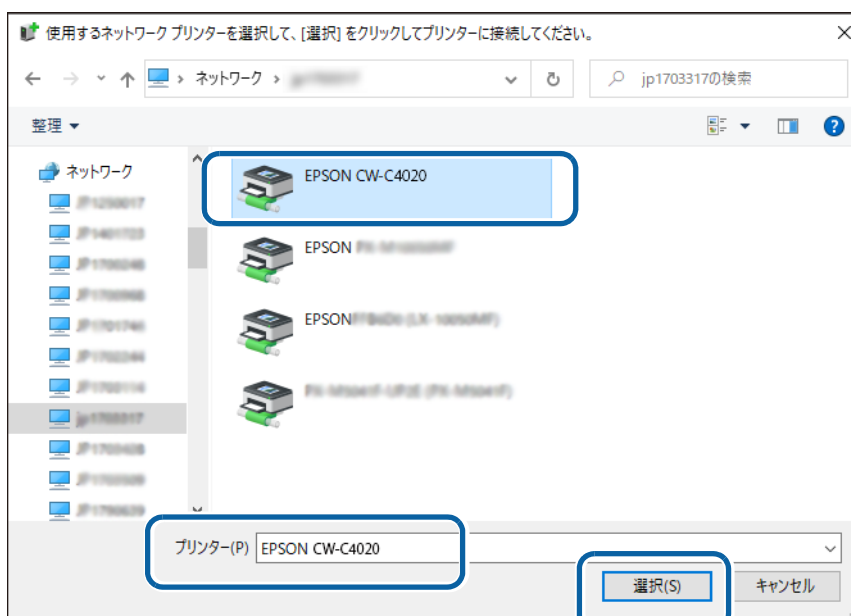


- 3** [ネットワーク] にあるサーバー PC が表示されたらクリックします。
サーバー PC で共有設定されているデバイスの一覧が表示されます。

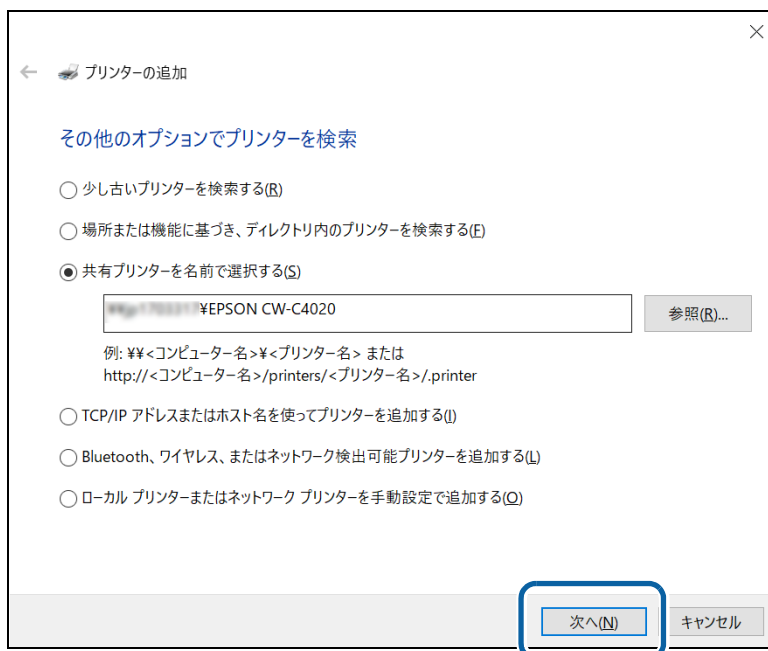


PC の設定でネットワーク探索ができない状態になっているときは、探索ができるように設定を変更してください。

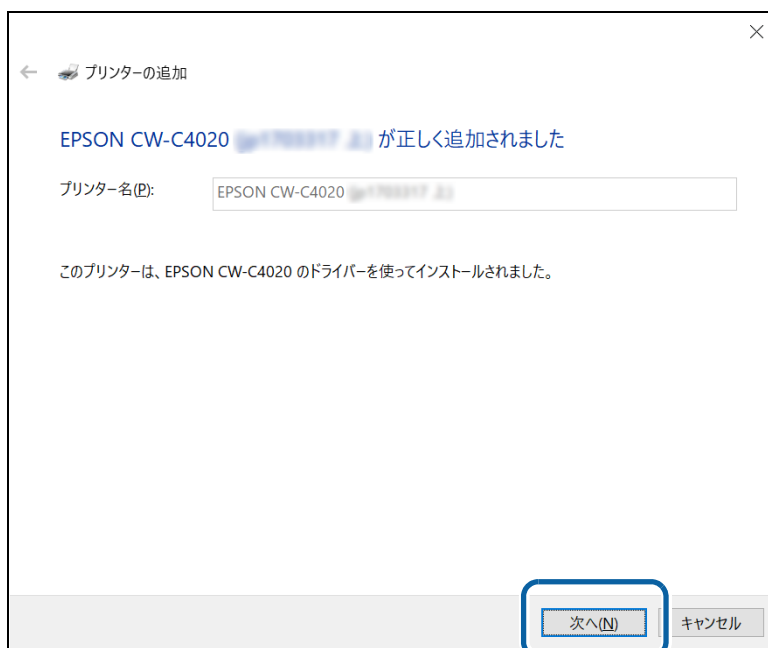
- 4** 該当のプリンターをクリックします。プリンター名が正しいことを確認して [選択] をクリックします。



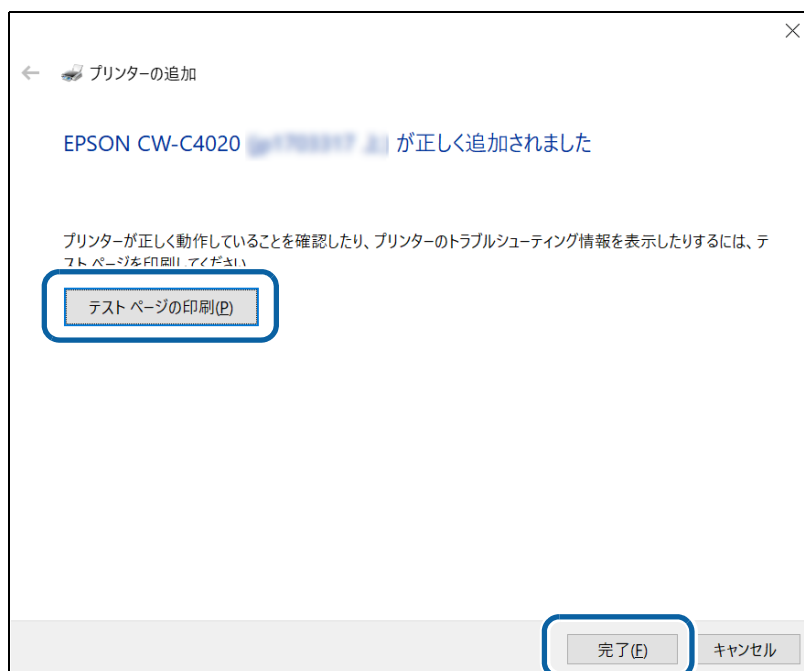
- 5** 以下の画面が表示されたら【次へ】をクリックします。
プリンタードライバーのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。



- 6** 正常に終了すると以下の画面が表示されます。【次へ】をクリックします。



- 7 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは「テストページの印刷」を、終了するときは「完了」をクリックします。



- 8 再度「デバイスとプリンター」を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



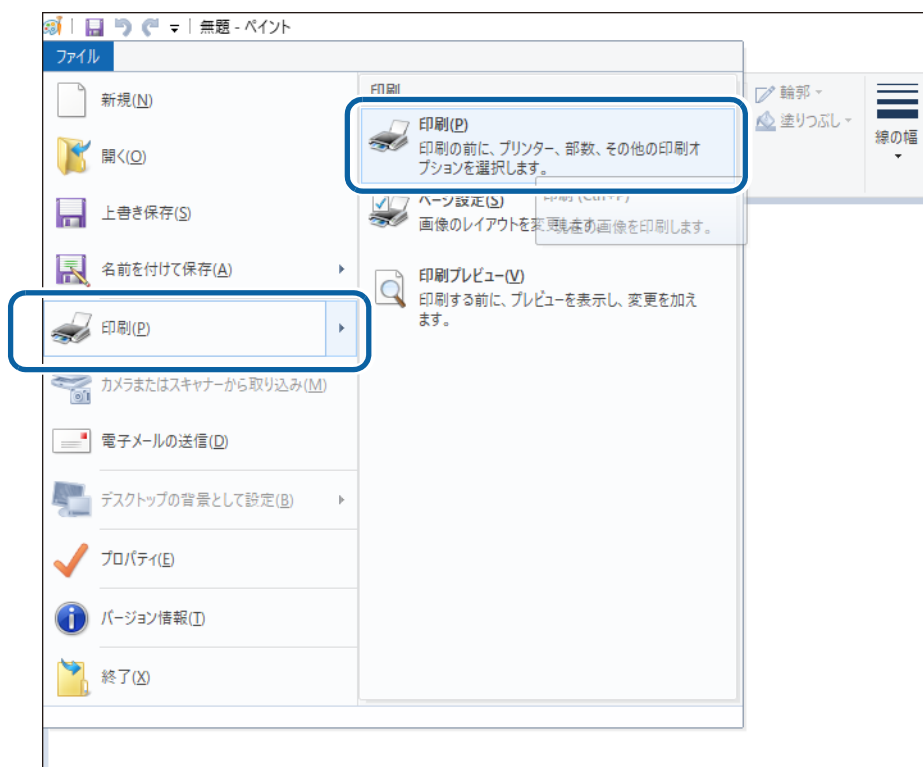
共有プリンタードライバの設定を確認する

以下の2通りの確認方法があります。

- アプリケーションからプリンタードライバの印刷設定画面を開いて確認する (151 ページ)
- [デバイスとプリンター] からプリンタードライバの印刷設定画面を開いて確認する (154 ページ)

□ アプリケーションから確認する場合（ペイントを例に説明します）

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。



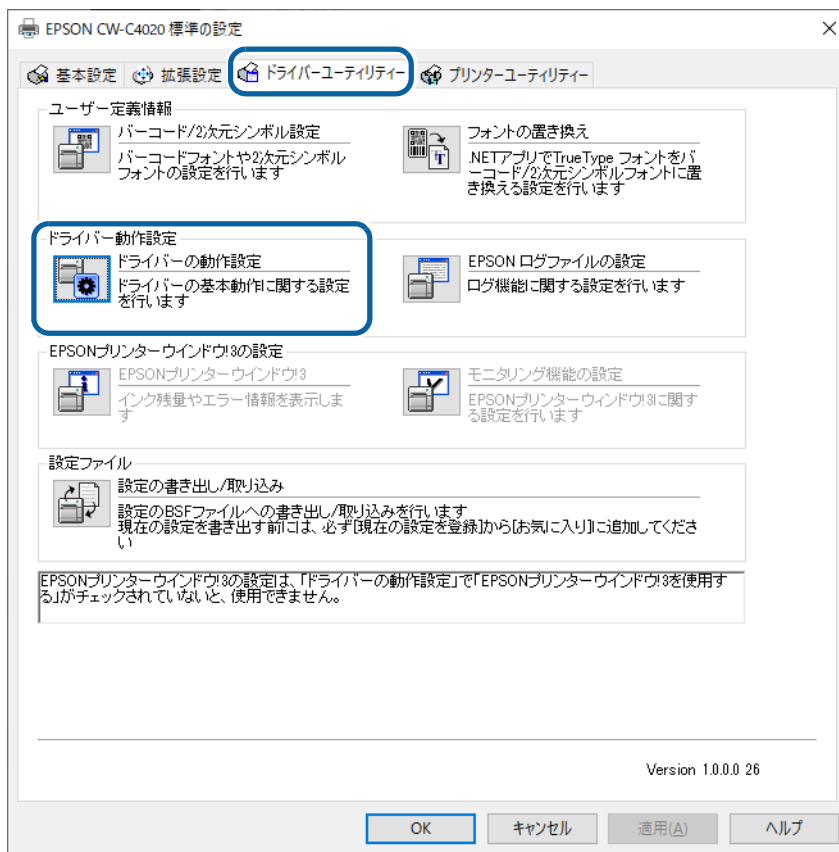
- 2 「印刷」画面で該当のプリンターを選択し、「詳細設定」をクリックします。
プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。



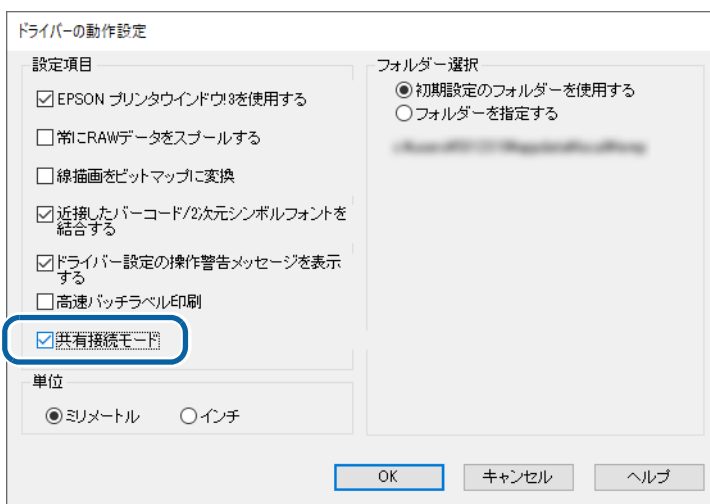
- 3 印刷設定を確認します。
選択されている用紙などが、142 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」で設定したとおりになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティ」タブの「ドライバーの動作設定」をクリックします。



5 「ドライバーの動作設定」画面で「共有接続モード」にチェックが入っていることを確認します。



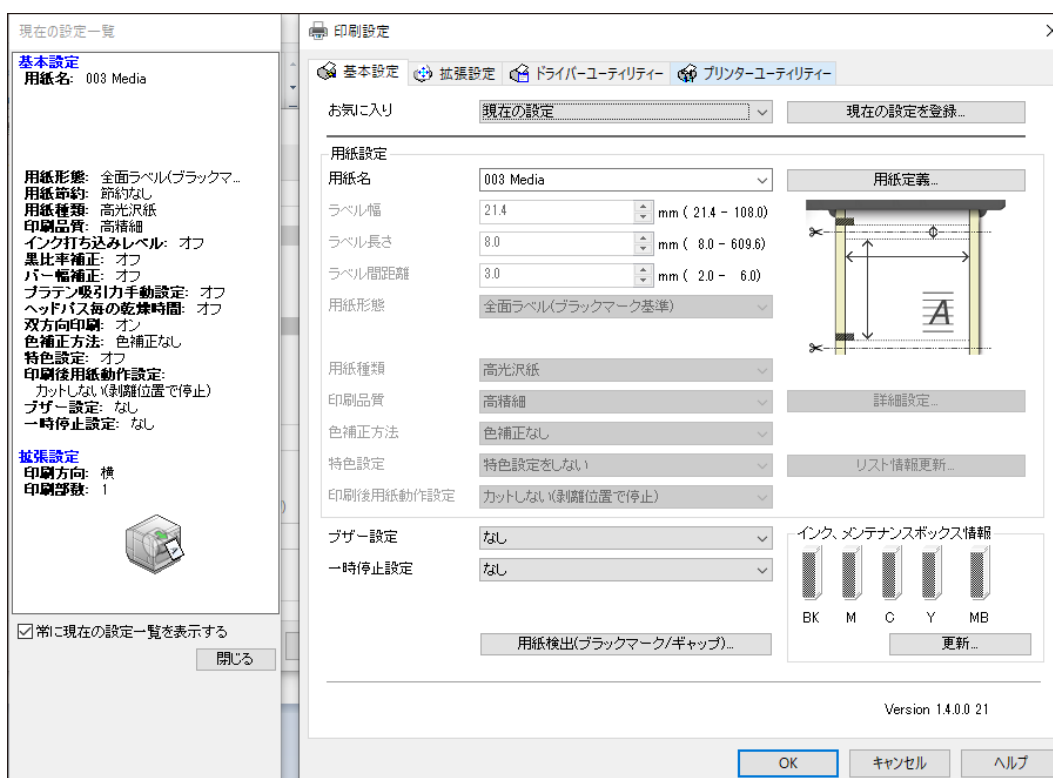
□ [デバイスとプリンター] から確認する場合

- 1 [デバイスとプリンター] を開きます。
- 2 該当のプリンターを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。
プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。

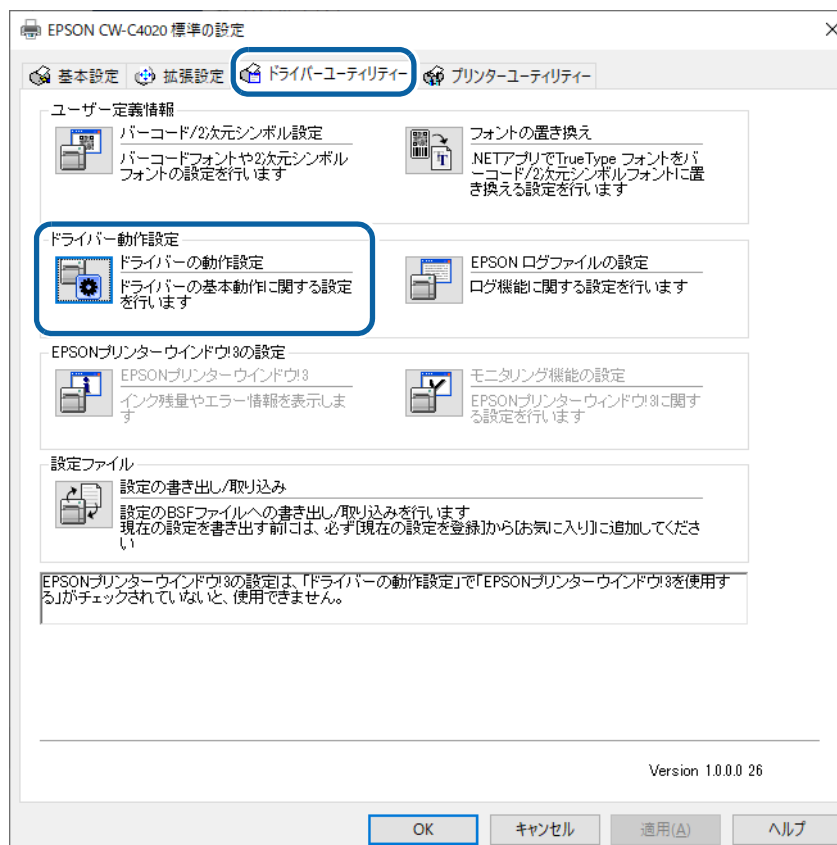


3 印刷設定を確認します。

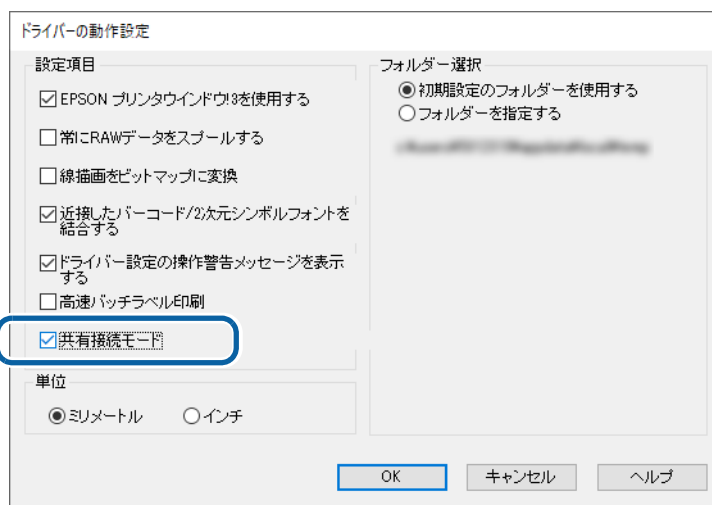
選択されている用紙などが、142 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」で設定したとおりになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティ」タブの「ドライバーの動作設定」をクリックします。



- 5 「ドライバーの動作設定」画面で「共有接続モード」にチェックが入っていることを確認します。



- 6 「キャンセル」をクリックして「ドライバーの動作設定」画面を閉じ、印刷設定画面に戻ります。

- 7 「キャンセル」または画面右上の × をクリックし印刷設定画面を閉じます。

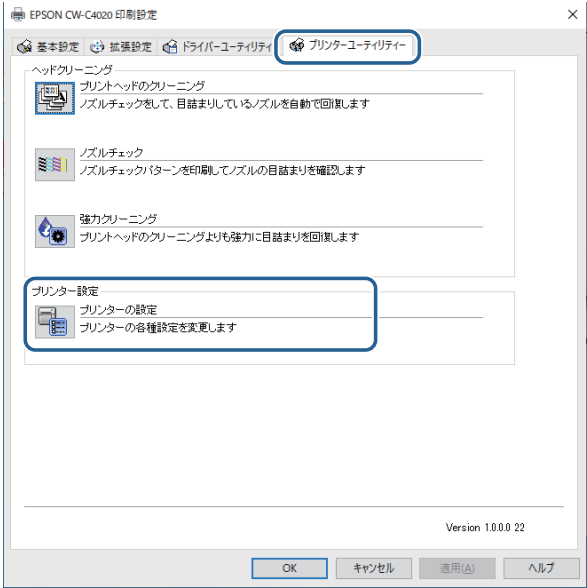


重要

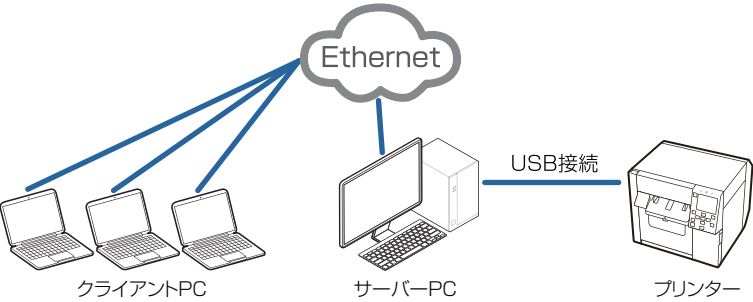
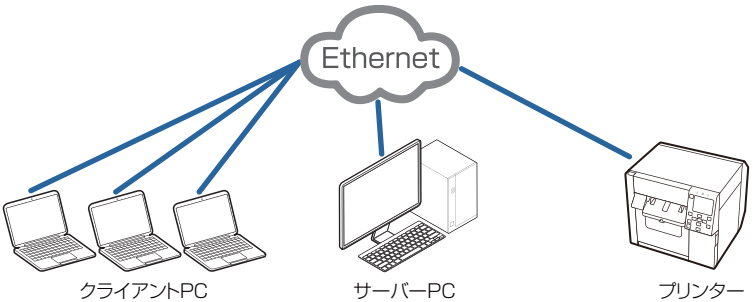
クライアント PC で [デバイスとプリンター] から開いた印刷設定画面を閉じるときに、[OK] をクリックしないでください。[OK] をクリックすると、クライアント PC 側の設定で保存してしまうことになり、サーバーとの関連が切れてしまいます。

PrinterSetting 機能の制限事項

システム環境により、「プリンターユーティリティ」から PrinterSetting（プリンター設定）を起動できなくなる場合があります。



以下にシステム構築例と PrinterSetting の制限事項を説明します。

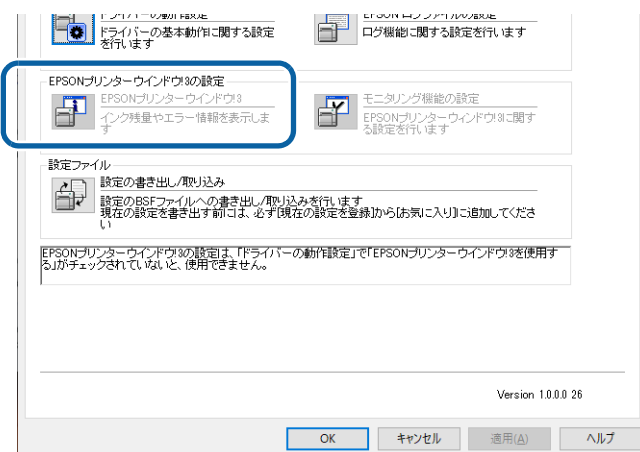
システム構成	PrinterSetting の起動	
	サーバー PC	クライアント PC
サーバー PC とプリンターは USB 接続されている。クライアント PC とサーバー PC はネットワーク 経由で接続されている。 	可能	不可
サーバー PC、プリンター、およびクライアント PC がそれぞれネット ワーク 経由で接続されている。 	可能	PrinterSetting のアプリをインス トールすれば可能

EPSON プリントウィンドウ !3 の設定

EPSON プリントウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。
初期設定では「使用しない」に設定されています。

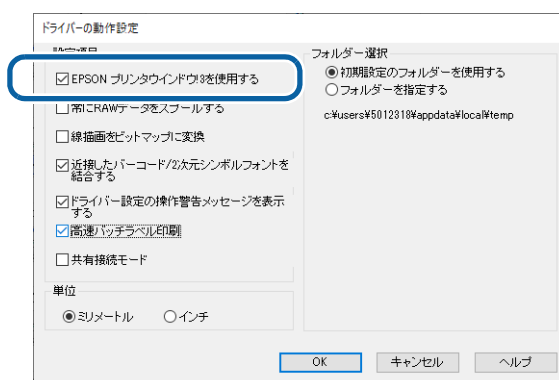
EPSON プリントウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリントウィンドウ !3 を使用しない」になっています。

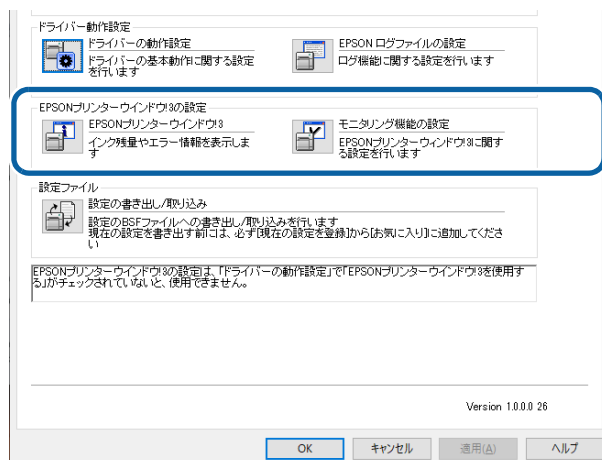


「EPSON プリントウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 プリンタードライバーを表示します。
- 3 [ドライバーユーティリティ] タブを選択し、[ドライバー動作設定] の [ドライバーの動作設定] をクリックします。
- 4 [ドライバーの動作設定] 画面が表示されます。[EPSON プリントウィンドウ !3 を使用する] にチェックし、[OK] をクリックします。



5 【ドライバーユーティリティ】画面の【EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定】には、【EPSON プリンタウィンドウ !3】と【モニタリング機能の設定】が表示されます。



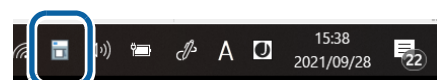
EPSON プリントウィンドウ !3 を使用する

「EPSON プリントウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- プリンタードライバーの基本タブ内から消耗品情報を確認できます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリントウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリントウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリントウィンドウ !3」を表示させることができます。
(アイコンの表示方法は、[163 ページ「アイコンの表示」](#)を参照してください。)

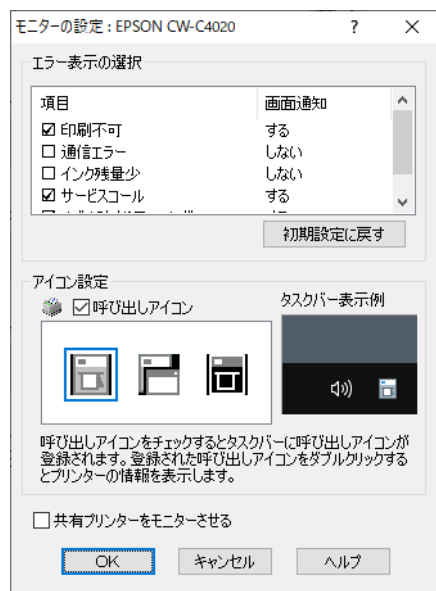


EPSON プリントウィンドウ !3 表示画面



タスクトレイのアイコン

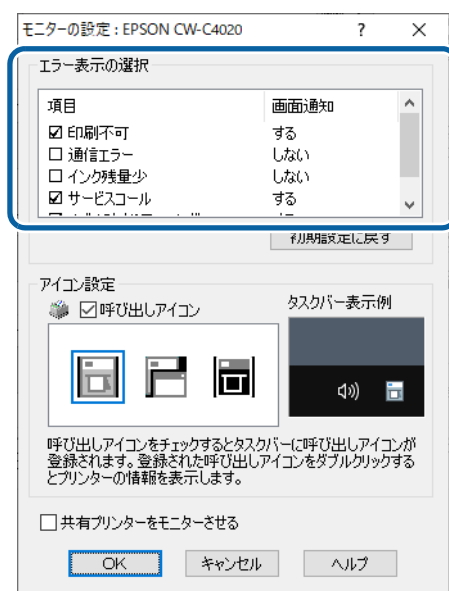
- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
「EPSON プリンタウィンドウ!3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
(163 ページ「アイコンの表示」を参照してください。)



エラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、エラー通知方法は以下のとおりです。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 プリンタードライバーを表示します。
- 3 [ドライバーユーティリティ] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（[158 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」](#)を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を有効にしてください。）
- 4 [モニターの設定] 画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。

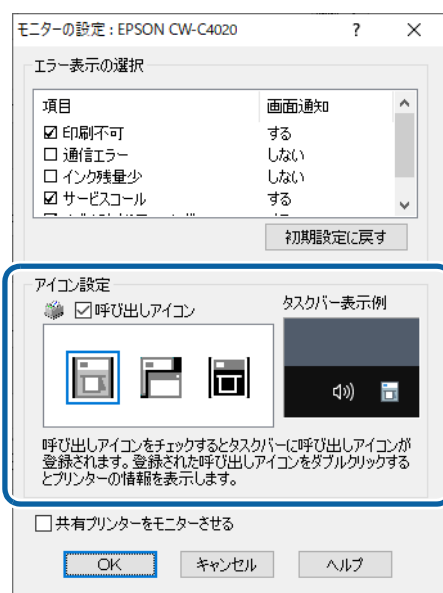


- | | |
|---------------|----------------------------------|
| •印刷不可： | 用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]） |
| •通信エラー： | プリンターの電源が切れている時（初期設定：画面通知 [しない]） |
| •インク残量少： | インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]） |
| •サービスコール： | プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]） |
| •ノズル詰まりワーニング： | ノズル詰まり時（初期設定：画面通知 [する]） |

アイコンの表示

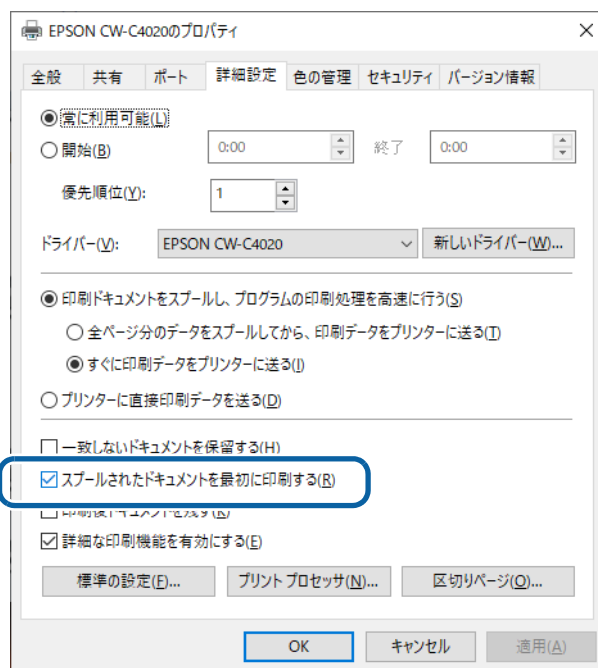
タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 プリンタードライバーを表示します。
- 3 [ドライバーユーティリティ] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。
- 4 [モニターの設定] 画面が表示されます。[呼び出しアイコン] をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] をクリックします。



プリンタードライバーの制限事項

- 双方向サポートは有効の状態で使用してください。プリンタードライバーで「用紙設定」の「印刷品質」のサブメニュー「詳細設定」から設定できます。
- プリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。
- 複数のジョブを順番どおりに印刷したい場合、「スプールされたドキュメントを最初に印刷する」を無効に設定してください。「スプールされたドキュメントを最初に印刷する」を有効にして複数のジョブを印刷した場合、印刷実行順と出力順が異なることがあります。



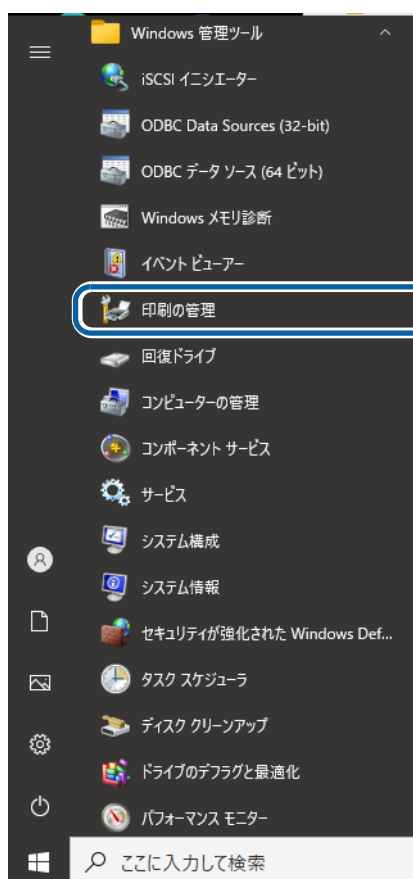
- エプソンのプリンタードライバーを使用する場合は、ESC/Label コマンドのコントロールプレフィックス、フォーマットプレフィックス、デリミタ文字の設定は初期値のまま使用してください。変更した場合、印刷が行われないか、意図しない印刷がされるようになります。
初期値は [226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) の「プリンター設定」 - 「印刷設定」 - 「コマンド制御」の項目を参照

プリンタードライバーの分離

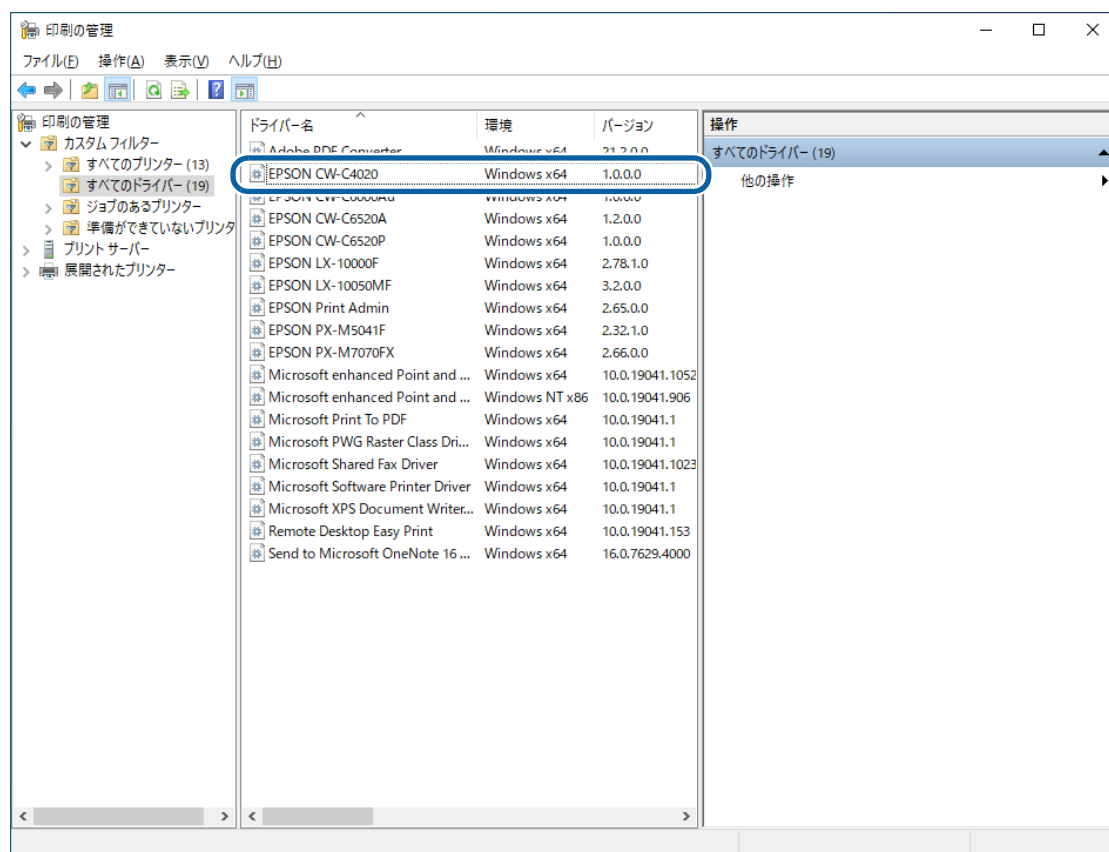
プリンター ドライバーの分離により、印刷スプーラーを実行するプロセスとは別のプロセスでプリンタードライバーを実行することで、Windows 印刷サービスの信頼性が向上します。

分離方法は以下のとおりです。

- 1 [スタート] - [Windows 管理ツール] - [印刷の管理] の順で選択します。

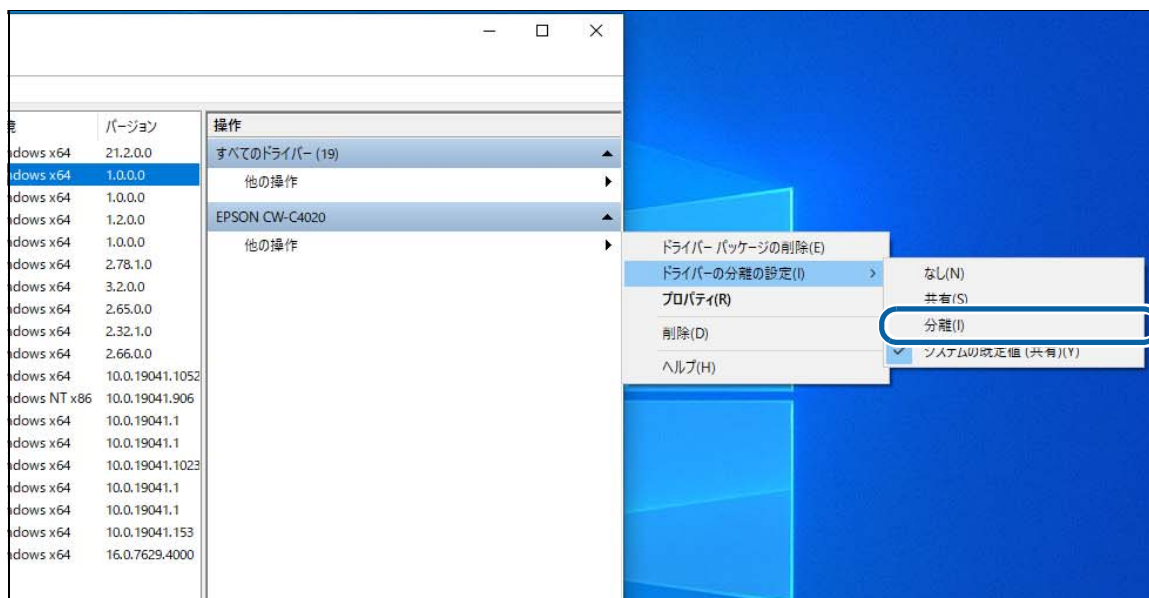


2 [ドライバ名] から [EPSON CW-C4020] を選択します。



登録名が EPSON CW-C4020 の場合です。

3 [操作] - [他の操作] - [ドライバの分離の設定] - [分離] を選択します。



プリンタードライバー(Mac)

プリンタードライバー (Mac) の操作方法について説明しています。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

基本の印刷手順

- 1 プリンターの電源を入れて、印刷する用紙をセットします。(64 ページ「用紙のセット」)
- 2 アプリケーションソフトでデータを作成したら、[ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) をクリックします。

画面は、Mac OS X 標準のアプリケーション「プレビュー」での例です。



3 画面下の「詳細を表示」(または) をクリックします。



プリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューから [ページ設定] などをクリックします。

4 本製品が選択されていることを確認し、用紙サイズの設定をします。 用紙サイズは「カスタムサイズを管理」を選択することで、任意の用紙サイズに設定できます。



5 [+] をクリックし、新規の用紙サイズを作成します。



6 使用する用紙に合わせ、用紙サイズの設定と、本製品の余白設定を行います。

[用紙サイズ] には、ラベル（ページ）のサイズを入力してください。

[プリントされない領域] は上下左右 0 mm に設定してください。



重要

Mac ドライバーで設定した用紙サイズと、本体パネルに表示される用紙サイズが一致しない場合があります。

例1) 幅 15.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき

- 幅の設定値 (Mac ドライバー) : 15.0 mm

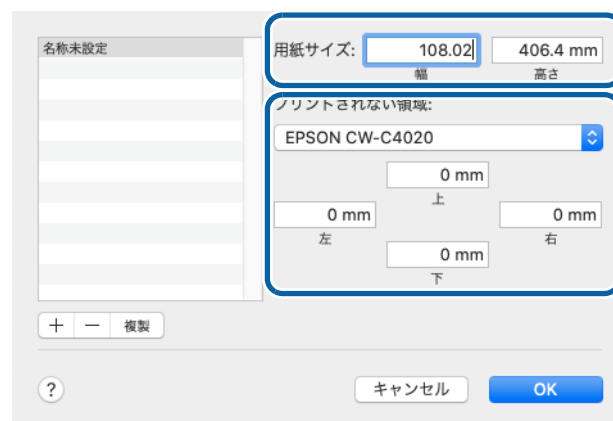
- 幅の設定値 (本体パネル) : 14.8 mm

例2) 高さ 212.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき

- 高さの設定値 (Mac ドライバー) : 212.0 mm

- 高さの設定値 (本体パネル) : 211.7 mm

用紙サイズを設定する場合は、本体パネルに表示されている値を確認して設定してください。



7 [名称未設定] をクリックして、カスタムサイズに任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。

作成した用紙サイズがドライバーに反映されます。

8 使用する用紙に合わせて、以下の項目を入力・設定します。

ここでは本製品独自の設定項目について紹介します。その他の項目の詳細はヘルプを参照してください。



- 給紙方法を変更するときは、Epson Label Printer Utility から設定してください。
(175 ページ「Epson Label Printer Utility」)
- 〔用紙種類〕のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。
 - アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
 - お使いのプリンターを選択し、[オプションとサプライ ...] - [オプション] の順でクリックします。
 - 設定値を変更します。
- 設定項目が一覧に表示されないときは、お使いのプリンタードライバーが追加されていません。
以下をご覧になりプリンタードライバーの追加を行ってください。
(172 ページ「プリンタードライバーの選択方法」)

1 印刷設定

使用する用紙に合わせて、用紙種類などを選択します。その他の設定項目については、ヘルプを参照してください。



注意

ダイカットラベルに印刷するときは〔用紙節約〕をオフにしてください。オンにすると印刷位置がずれることがあります。

2 カラーオプション

カラーマッチングで EPSON Color Controls を選択したとき有効になります。この画面では、明度や彩度などの色合いの調整ができます。設定項目の詳細はヘルプを参照してください。色補正については以下をご覧ください。(244 ページ「色補正方法」)

3 拡張設定

この画面では、オートカット設定・ブザー設定・一時停止設定・インク打ち込み量・黒比率補正・インクの乾燥時間を設定できます。

設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

The screenshot shows the '拡張設定' (Advanced Settings) window. At the top, there's a title bar with '拡張設定' and a close button. Below it, the settings are organized into sections:

- オートカット:** A dropdown menu set to 'カットしない (カット位置で停止)'. Below it, 'カット間隔:' is set to '枚ごと'.
- ブザー設定:** A dropdown menu set to 'なし'.
- 一時停止設定:** A dropdown menu set to 'なし'.
- インク打ち込みレベル:** A checkbox is unchecked. Below it is a slider ranging from -6 to +4, with the current value at 0.
- 黒比率補正:** A checkbox is unchecked. Below it is a slider ranging from -6 to +0, with the current value at 0.
- ヘッドパス毎の乾燥時間:** A checkbox is unchecked. Below it is a slider ranging from 0 to +50 (0.1sec), with the current value at 0.



注意

[インク打ち込みレベル] と、[黒比率補正]、[ヘッドパス毎の乾燥時間] のチェックを外して印刷すると、プリンター側で設定されている設定値に従って印刷されます。ドライバーがグレーアウトで表示している設定値はドライバーの初期値であり、実際の設定を反映したものではありません。



- [オートカット] (オートカッターモデルのみ)、[ブザー設定]、[一時停止設定] のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。
 1. アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
 2. お使いのプリンターを選択し、[オプションとサプライ ...] - [オプション] の順でクリックします。
 3. 設定値を変更します。
- 初期設定から黒比率を上げると、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

9 各設定を確認し、[プリント]をクリックして印刷を開始します。

プリンタードライバーの選択方法

「[基本の印刷手順](#)」で説明しているメニューが表示されないときは、[プリンタ] でお使いのプリンターのドライバーを選択してください。プリンタードライバーは以下のように表示されます。

- USB 接続のとき
EPSON CW-C4XXXX
- ネットワーク接続のとき
EPSON CW-C4XXXX-YYYYYY
XXXX は製品型番です。YYYYYY は MAC アドレス下 6 桁です。



OS のバージョンによっては、ネットワーク接続でも MAC アドレスが表示されない場合があります。

お使いのプリンタードライバーがリストに表示されないときは以下の手順で追加してください。

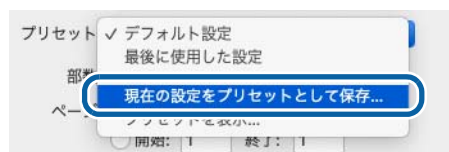
- 1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
- 2 [+] をクリックし、[プリンタまたはスキャナを追加 ...] を選択します。
- 3 デバイスのリストが表示されたら、お使いのプリンタードライバーを選択して [追加] をクリックします。

プリンタードライバーのカスタマイズ

よく使う設定情報（用紙サイズや基本設定の各項目）は、[プリセット] に名称を付けて保存できます。保存した設定を選択することで効率よく、繰り返し同じ設定で印刷できます。

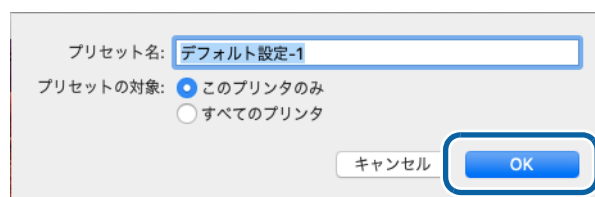
プリセットに保存

- 1 用紙サイズや基本設定の各項目を、プリセットに保存したい内容に設定します。
- 2 [プリセット] で [現在の設定をプリセットとして保存 ...] をクリックします。



最後に使用したプリセットを次回印刷時も選択された状態にする場合は、[プリセットの表示 ...] を開き、[プリント後にプリセットメニューを] “デフォルト設定” にリセット] のチェックが外れていることを確認してください。

- 3 任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。

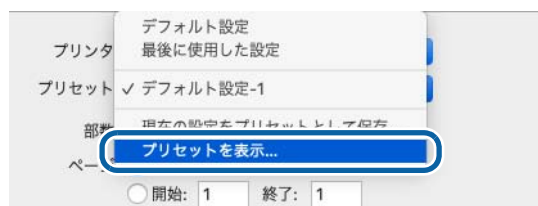


[プリセットの対象] で [すべてのプリンタ] を選択すると、お使いのコンピューターにインストールしているすべてのプリンタードライバーから保存した [プリセット] を選択できます。

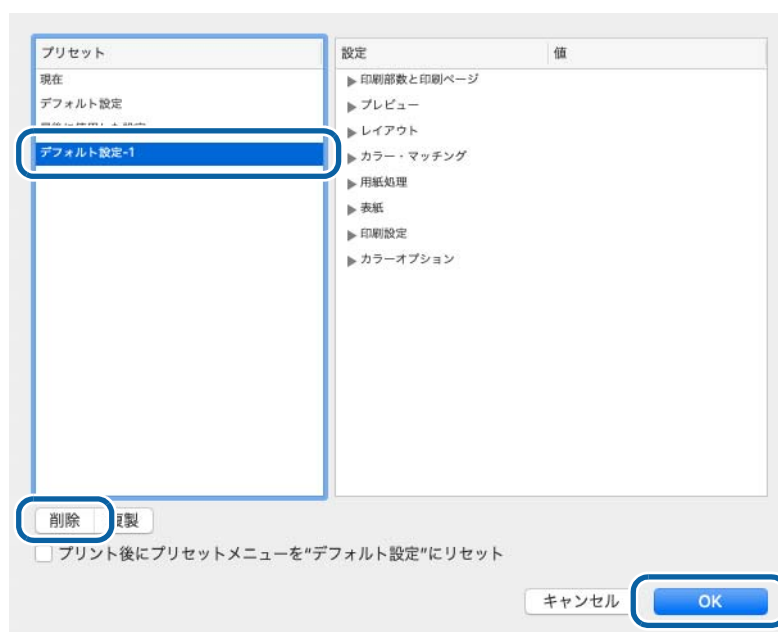
[プリセット] に設定が保存されます。以降は、[プリセット] で保存した設定を選択できます。

プリセットから削除

- 1 プリント画面の【プリセット】で【プリセットを表示...】をクリックします。



- 2 削除する設定を選択して【削除】をクリックして、【OK】をクリックします。



Epson Label Printer Utility

Epson Label Printer Utility では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、双方向印刷のズレの調整などが行えます。また、印刷設定、位置調整では、コンピューターからプリンターの設定を変更できます。

- 1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックし、本機専用のドライバーを選択します。
- 2 本製品を選択し、[オプションとサブライ ...] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。



- 3 Epson Label Printer Utility が起動します。
アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



給紙方法を変更する

給紙方法（内部ロール、または外部フィード）を変更するときは、Epson Label Printer Utility の「用紙設定」画面の「給紙方法」から変更できます。



プリンタードライバー(Linux)

プリンタードライバーのインストール方法、Epson Label Printer Utility for Linux の設定方法などを説明します。Epson Label Printer Utility for Linux では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、用紙設定などが行えます。



Linux プリンタードライバーについて

- 自力で Linux システムを構築できるシステム開発者などに向けたもので、一般のエンドユーザー向けではありません。ドライバーの操作は主にコマンドラインで行う必要があります。Windows ドライバーなどのようなリッチな GUI は提供されていません。
- 印刷するための最低限の機能のみが提供されます。
- 基本的に Mac ドライバーと同様の機能が提供されます。ただし、Linux OS の制限により実現できない機能を除きます。

以下の手順で設定します。

1. パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c4000) の入手 (178 ページ)



2. プリンタードライバーのインストール (178 ページ)



3. I/O モジュールのインストール (178 ページ)



4. CUPS にプリントキューを登録する (178 ページ)



5. Epson Label Printer Utility for Linux のインストール (180 ページ)



6. Epson Label Printer Utility for Linux を起動する (180 ページ)



このページでは、コマンドの記述が \$ で始まるものはログインユーザー、# で始まるものは管理者権限で実行することを示しています。

パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c4000) の入手

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux の最新版をダウンロードしてください。
詳細は [346 ページ「ドライバー、ユーティリティ、マニュアルのダウンロード」](#) を参照してください。

プリンタードライバーのインストール

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu 20.04 LTS >

```
# dpkg -i epson-inkjet-printer-cw-c4000_[Arch].deb
```

< CentOS 7 >

```
# rpm -i epson-inkjet-printer-cw-c4000_[Arch].rpm
```

I/O モジュールのインストール

以下のコマンドを実行します。

1.0.0 はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。

< Ubuntu 20.04 LTS >

```
# dpkg -i epson-printer-io-community-1.2.1.deb
```

< CentOS 7 >

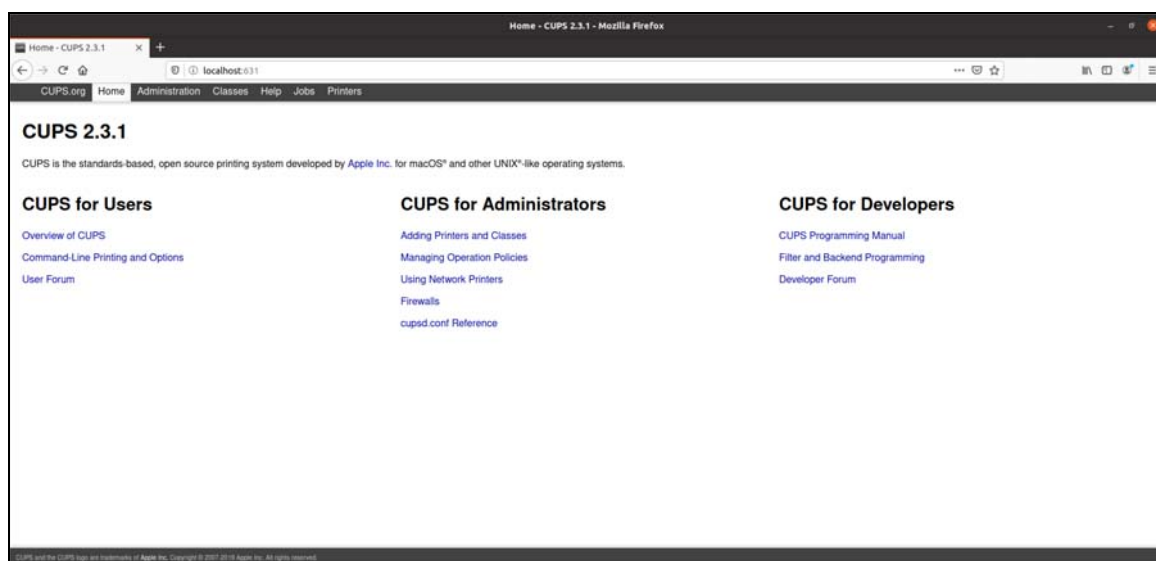
```
# rpm -i epson-printer-io-community-1.2.1.rpm
```

CUPS にプリントキューを登録する

Web ブラウザーからの設定方法を説明します。

1 以下のアドレスにアクセスします。

<http://localhost:631/>

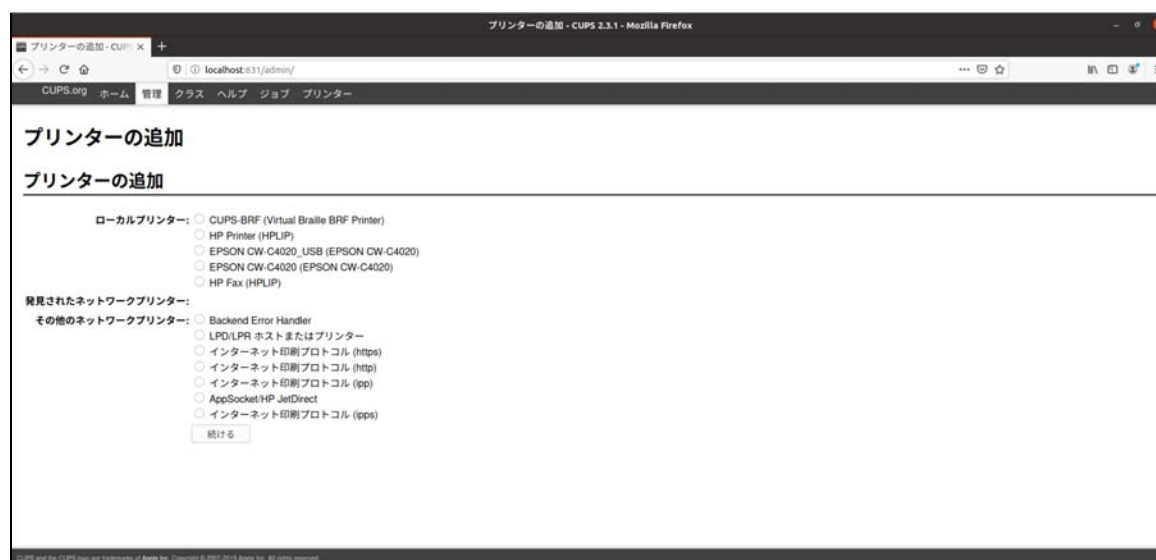


2 「管理」タブから「プリンターの追加」を選択します。



ウィザードの指示どおりに進めます。ユーザー名とパスワードの入力が求められたら、ユーザー名「root」と管理者権限のパスワードを入力します。

3 プリンターの一覧が表示されるので、使用するプリンターを選択します。

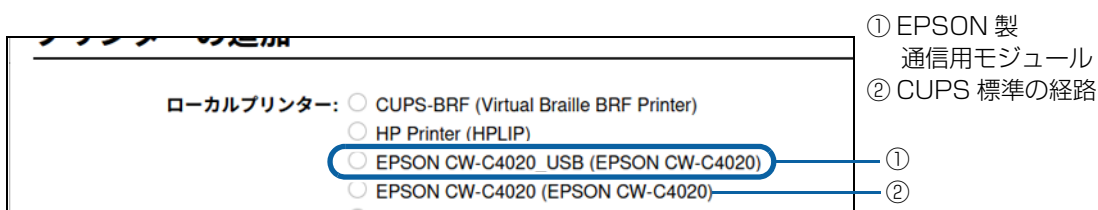


「プリンター」タブに選択したプリントキューの情報が表示されます。

USB 接続の場合

USB ケーブルでプリンターと接続している場合は、以下の手順で設定します。

CUPS でのプリンターキュー追加時に、機種名の後に「_USB」と表示されているプリンター (①) を選択してください。



Epson Label Printer Utility for Linux のインストール

以下のコマンドを実行します。

1.3.0 はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。

< Ubuntu 20.04 LTS >

```
# dpkg -i epson-label-printer-utility-community-1.3.0-QT5.deb
```

< CentOS 7 >

```
# rpm -i epson-label-printer-utility-community-1.3.0-QT5.rpm
```

Epson Label Printer Utility for Linux を起動する

Epson Label Printer Utility for Linux は、コマンドラインからの起動、またはデスクトップエントリーからの起動に対応しています。

以下のいずれかの方法で起動します。

□ コマンドラインからの起動

以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu/ CentOS 共通 >

```
$ /opt/epson/epson-label-printer-utility/elpuqt &
```

□ デスクトップエントリーからの起動

ディストリビューション、エディション、フレーバー、バージョンにより操作方法が異なる場合があります。ここでは Ubuntu 20.04 LTS、CentOS 7 での起動方法を説明します。

< Ubuntu 20.04 LTS >

画面左下のアイコンをクリックし、一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。一覧に表示されない場合は "Epson" で検索します。

< CentOS 7 >

画面左上のアプリケーションメニューから、アクセサリサブメニューを選択します。一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。

Epson Label Printer Utility for Linux が起動します。

アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



依存ライブラリのインストール

サポートディストリビューションのデフォルトのインストール状態であれば、依存ライブラリのインストールは不要です。意図的にインストールパッケージを限定している場合は、依存ライブラリの不足により、Epson Label Printer Utility for Linux が動作しない場合があります。

依存モジュールと必要なパッケージは以下のとおりです。

依存ファイル	依存パッケージ (Ubuntu 20.04 LTS)	依存パッケージ (CentOS 7)
libQtCore.so.5	libqt5core5a	qt5-qtbase
qt5-qtbase	libqt5gui5	qt5-qtbase-gui
libQtWidgets.so.5	libqt5widgets5	
libcups.so.2	libcups2	libcups2
libcupsimage.so.2	libcupsimage2	
libpng15.so.15	(使用しない)	libpng15
libpng16.so.16	libpng16-16	(使用しない)
libusb-1.0	libusb-1.0-0	libusb

Epson Label Printer Utility for Linux 起動時に、依存ライブラリの不足によりエラーが出る場合は、必要なファイルをインストールしてください。

例：Ubuntu 20.04 LTS で Qt5 が不足している

以下のコマンドを実行します。

```
# apt install libqt5widgets5
```

Epson Label Printer Utility for Linux を終了する

以下のいずれかの方法で終了できます。

- 画面の [X] をクリックする。
- [Alt] + [F4] を押す。
- [Epson Label Printer Utility を終了する] をクリックする。

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール

□ プリンタードライバー

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu 20.04 LTS >

```
# dpkg -P epson-inkjet-printer-cw-c4000
```

< CentOS 7 >

```
# rpm -e epson-inkjet-printer-cw-c4000
```

□ Epson Label Printer Utility for Linux

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu 20.04 LTS >

```
# dpkg -P epson-label-printer-utility-community
```

```
# dpkg -P epson-printer-io-community
```

< CentOS 7 >

```
# rpm -e epson-label-printer-utility-community
```

```
# rpm -e epson-printer-io-community
```

SAP システムからの印刷

基幹業務統合システム（ERP:Enterprise Resource Planning）の 1 つである SAP システムからの印刷方式には、Direct printing、Indirect printing、High Volume printing の 3 種類があります。本製品は、Indirect printing と High Volume printing の 2 つの印刷方式に対応しており、SAP システム標準の印刷方式である Direct printing には対応していません。Direct printing で印刷したい場合は、CW-C6020/C6520 Series をご利用ください。

SAP システムからの印刷方式について

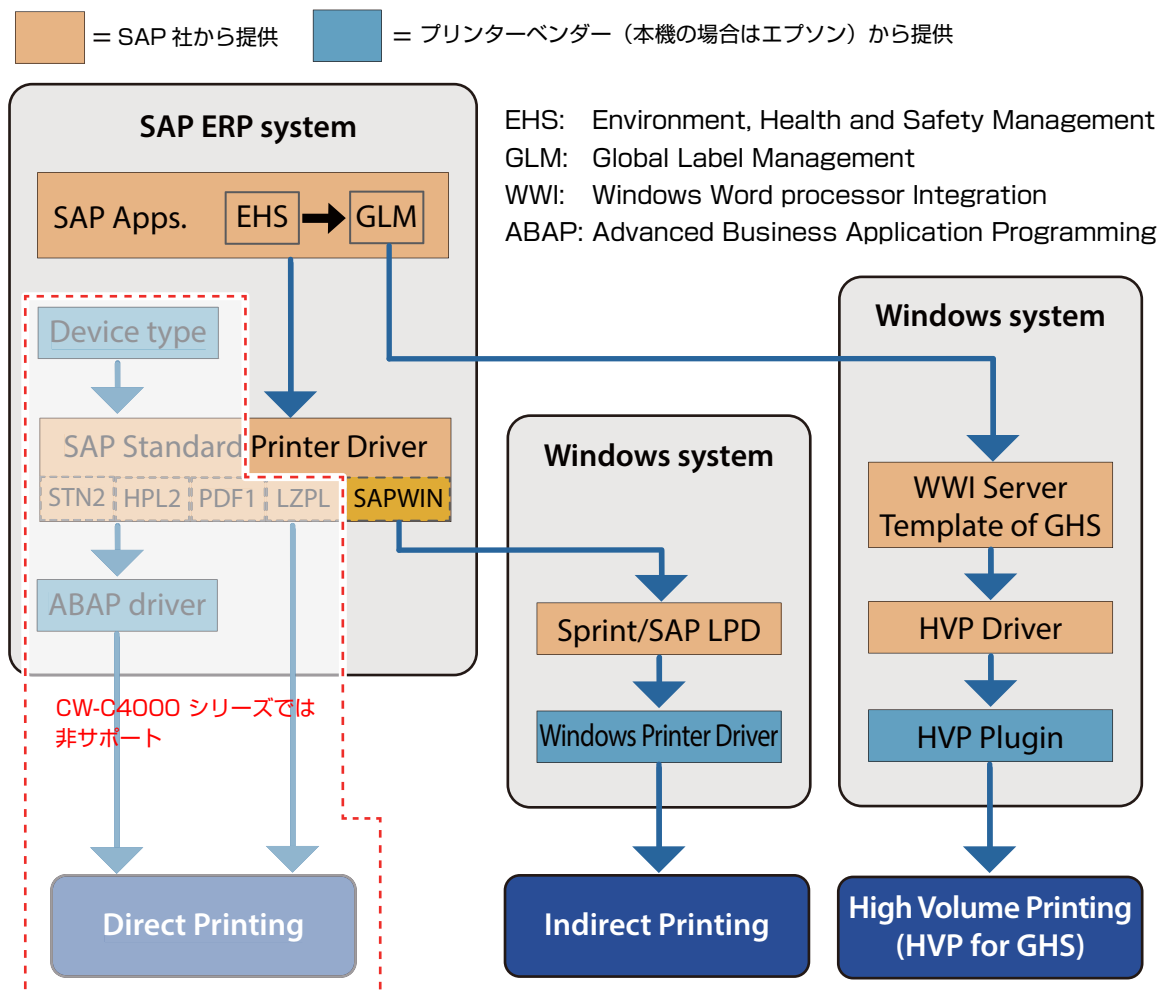
SAP システムからの印刷方式には、以下の 3 種類があります。

それぞれの印刷方式のデータの流れと構成要素については [183 ページ「SAP システムを使った印刷データの流れ」](#) をご覧ください。

印刷方式	概要
Indirect printing 184 ページ「Indirect printing で印刷するには」	SAP システムの外に存在する Windows PC を通して印刷する方式です。 SAP 社が提供する「Sprint」または「SAP LPD」というソフトウェアが、その Windows PC 上で SAP システムからデータを受け取り、Windows の印刷システムに即した形式に変換し、プリンターベンダーが提供する通常の Windows 用プリンタードライバーにデータを渡すことで印刷を実現します。そのため、様々な Windows 対応プリンターで印刷することができます。ただし、SAP システム以外のソフトウェアを介するため、Direct printing に比べて問題が発生したり、印刷速度が遅くなったりする可能性があります。
High Volume Printing 184 ページ「High Volume printing で印刷するには」	SAP システム内の EHS（Environment, Health and Safety Management）および GLM（Global Label Management）から、Windows PC 上の WWI（Windows Word processor Integration）Server を介して、カラーのピクトグラムのある GHS ラベルを印刷するための仕組みです。 SAP 社が提供する HVP Driver を使い、プリンターの指定は、プリンターベンダーが提供する Pluginで行います。通常の Windows ドライバーよりも少ないデータ量での印刷が可能です。
Direct printing	本製品はこの印刷方式をサポートしていません。 SAP システムの標準の印刷方式です。閉じた SAP システム環境、つまり原則として SAP 社が提供するプログラム内で動作する印刷の仕組みです。プリンタードライバーも SAP システムが提供している標準のものを使います。このため、信頼性、安定性の高い印刷が可能で、大量のリモートバッチ印刷にはこの Direct printing を使うことが一般的です。

SAP システムを使った印刷データの流れ

下図は、それぞれの印刷方式のデータの流と構成要素を示します。



Indirect printing で印刷するには

エプソンの最新の Windows ドライバーをインストールしてご使用ください。

Windows ドライバーの使い方は、[81 ページ「プリンタードライバー \(Windows\)」](#)をご覧ください。

SAP 社が提供する「Sprint」または「SAP LPD」のインストールおよびその他の使用方法については SAP 社の指示にしたがってください。

High Volume printing で印刷するには

SAP 社が提供する HVP Driver を使って印刷します。エプソンは、HVP Driver 用の Plugin を提供しています。

Plugin のファイル名：HVP Plug in for CW C40x0 High Volume Printing

Plugin の使い方は、Plugin に付属している「CW-C4000 Series HVP Plug in Module User's Guide」をご覧ください。

PrinterSetting (Windows)



プリンタードライバーなどの他のソフトウェアが本製品と通信していると、設定を変更できないことがあります。

PrinterSetting は本製品を設定するための Windows 上で動作するユーティリティです。PrinterSetting を使用して以下を設定できます。

項目	説明	ページ
用紙を設定する *	本製品で使用する用紙を設定します。	188 ページ
レイアウトを設定する *	用紙レイアウトを設定します。用紙形態や印刷領域を設定したユーザー定義レイアウトをします。	189 ページ
位置を調整する	印刷開始位置やカット位置を調整します。	191 ページ
印刷結果を調整する *	カラー調整やバーコード調整をします。	193 ページ
プリンターにデータを登録する	画像、テンプレート、フォントをプリンターに登録します。また、文字コード表から使用するコードを選択します。	194 ページ
プリセット画像を設定する *	プリセット画像を設定します。	198 ページ
クリーニングを行う	ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。	202 ページ
詳細設定	プリンターの詳細設定をします。 • プリンター本体の設定 • プリントヘッドの調整 • パネルの設定 • 動作時間の設定 • ノズルチェックの設定 • 高度な設定 • プリンターの初期化	203 ページ ～ 221 ページ
プリンター情報の表示	プリンター用紙設定やレイアウト設定などのプリンターの設定情報やメンテナンスカウンターを確認します。	222 ページ
設定の保存と復元	プリンターの設定を保存したり、保存していた設定を復元したりします。	224 ページ
オプション	PrinterSetting の設定をします。 PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。	225 ページ

* プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

PrinterSetting の起動

以下の方法で、PrinterSetting を起動します。

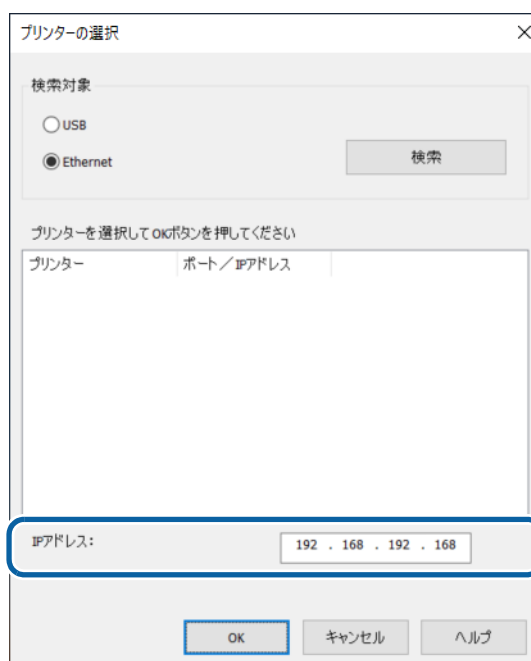
- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [CW-C4000 Printer Setting] を選択します。
- 3 [プリンターの選択] 画面が表示されます。検索対象を選択し [検索] をクリックします。



- 4 リストに本製品が表示されます。設定するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



Ethernet 接続の場合、検索してもリストに本製品が表示されない場合があります。その場合、IP アドレスを入力してください。



5 PrinterSetting が起動します。



設定の反映

各項目を設定した後、「設定を反映」をクリックすると本製品の設定が変更されます。



用紙を設定する

本製品で使用する用紙を設定します。



プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目		説明
用紙検出設定	給紙方法	給紙方法を設定します。
	用紙形態（検出方法）	用紙の検出方法を設定します。
印刷設定	用紙種類	用紙種類を設定します。
	色補正方法	色補正方法を設定します。
	印刷品質	印刷品質を設定します。



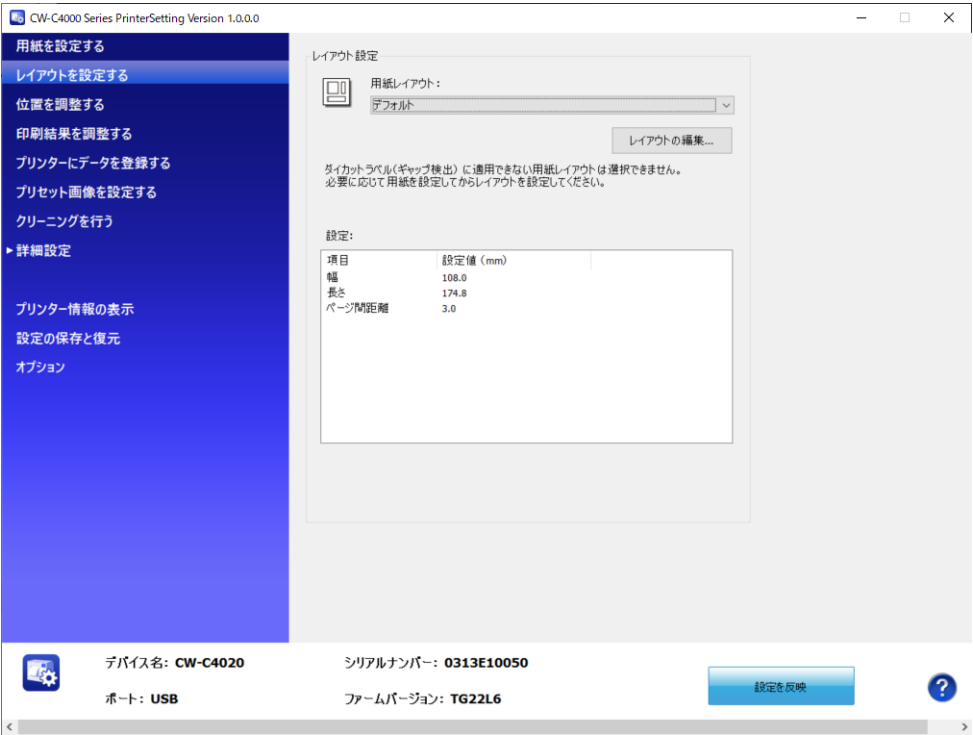
- ・ [色補正方法] と [印刷品質] は、[用紙種類] を選択しないと選択できません。
- ・ [色補正方法] の [自然な色合い] は [用紙種類] と [印刷品質] の組み合わせによって選択できない場合があります。詳しくは、[246 ページ「自然な色合いの制限事項」](#)を参照ください。

レイアウトを設定する

用紙レイアウトを設定したり、新規のユーザー定義レイアウトを作成したりします。



プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目		説明
レイアウト設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを設定します。
	レイアウトの編集	新規のユーザー定義レイアウトを作成します。クリックすると [レイアウトの設定] 画面が表示されます。

レイアウトの設定

レイアウトの設定

用紙レイアウト名:
ユーザー定義レイアウト

定義済み用紙レイアウト:

用紙形態(検出方法):
ダイカットラベル(ギャップ検出)

レイアウト情報(mm)

幅:108.0 (21.4 - 108.0)

長さ:174.8 (8.0 - 406.4)

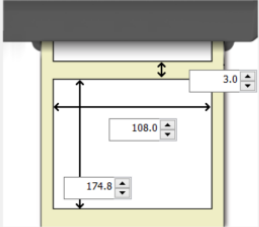
ページ間距離:3.0 (2.0 - 6.0)

追加

削除

閉じる

ヘルプ



項目	説明
用紙レイアウト名	用紙レイアウト名を設定します。 任意の名称を入力します。
定義済み用紙レイアウト	定義済みの用紙レイアウトがリストに表示されます。
用紙形態（検出方法）	用紙形態を設定します。
レイアウト情報	幅、長さ、ページ間距離を設定します。 用紙形態によって設定可能なレイアウト情報は変わります。レイアウト情報を設定する前に、用紙形態を設定してください。



長いラベル（ページ）を印刷する場合、用紙によっては、印刷結果が指定した長さに満たないことがあります。その結果、紙送り方向を上として、ラベル（ページ）下端部に空白が出る場合があります。この空白が気になる場合、以下の方法をお試しください。

手順 1: 印字結果を確認してください。

手順 2: 空白部分をレイアウトの設定メニューで、長さに足して指定してください。

位置を調整する

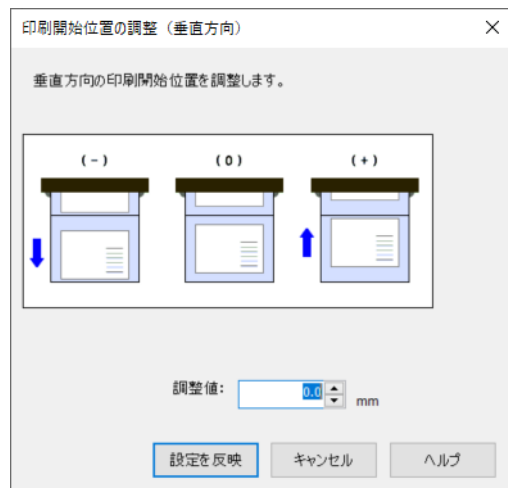
印刷開始位置やカット位置を調整します。



項目		説明
位置調整	印刷開始位置の調整 (垂直方向)	垂直方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 🔗 192 ページ「調整を実行する」
	印刷開始位置の調整 (水平方向)	水平方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 🔗 192 ページ「調整を実行する」
	用紙先端位置調整 (ブラックマークなしの連続紙・ 全面ラベル)	連続紙や全面ラベルの先頭からの印刷開始位置を調整しま す。 調整手順 🔗 192 ページ「調整を実行する」
	カット位置の調整	カット位置の調整をします。 調整手順 🔗 192 ページ「調整を実行する」

調整を実行する

- 1 「調整を実行する」をクリックすると以下の画面が表示されます。
(印刷開始位置の調整 (垂直方向) を例に説明しています。)



- 2 調整値を入力し、「設定を反映」をクリックします。
- 3 確認画面が表示されます。「はい」をクリックすると調整が実行されます。



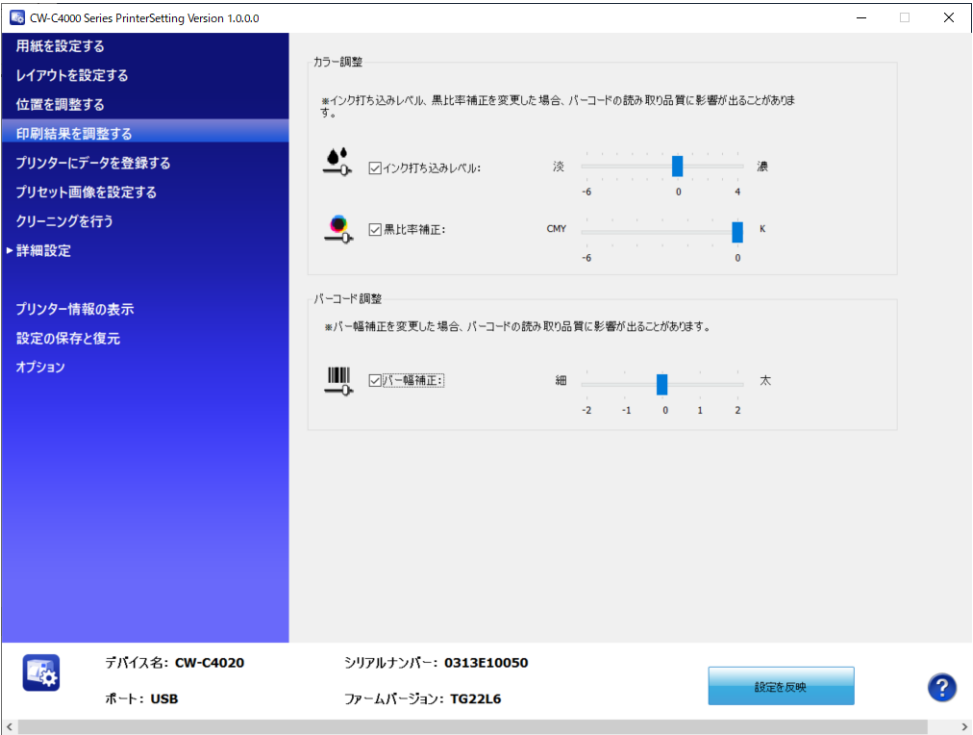
- 4 結果が表示されます。「OK」をクリックします。
- 5 調整を実行した後、印刷を行って調整した位置を確認してください。

印刷結果を調整する

カラー調整やバーコード調整をします。



プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



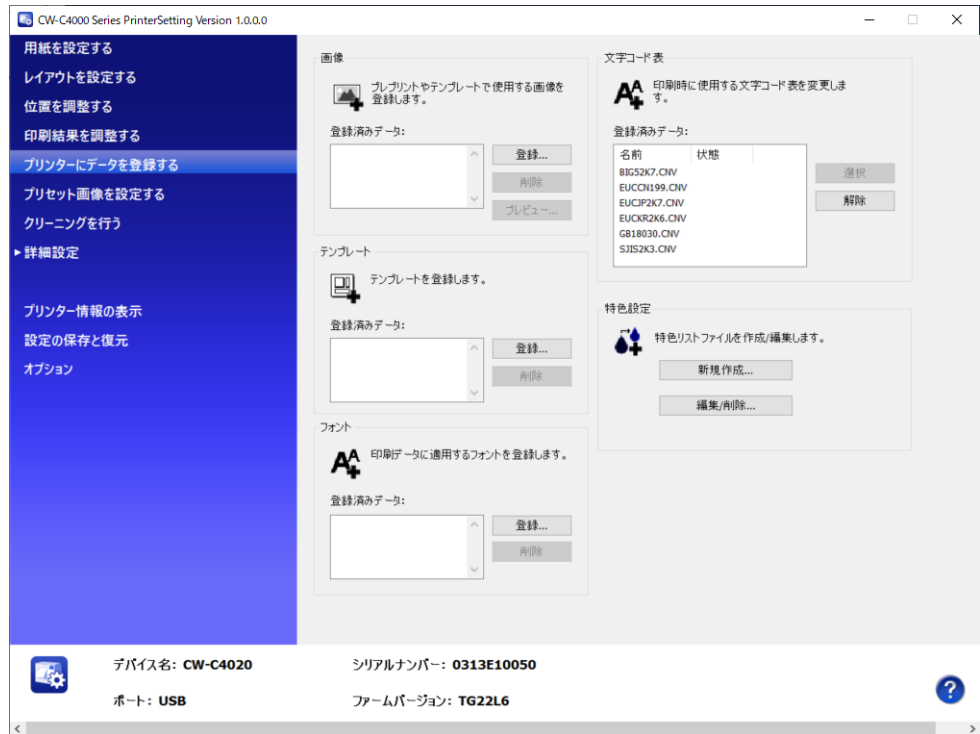
項目		説明
カラー調整	インク打ち込みレベル	インクの濃淡を設定します。使用する用紙によって、印刷品質を確保するため適時調整します。
	黒比率補正	黒比率補正を設定します。
バーコード調整	バー幅補正	内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整する場合に設定します。



初期設定から黒比率を上げると、印刷直後には用紙表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

プリンターにデータを登録する

画像、テンプレート、フォント、文字コード表、特色設定をプリンターに登録します。



項目	説明
画像	プレプリントやテンプレートで使用する画像を登録します。
テンプレート	テンプレートを登録します
フォント	印刷データに適用するフォントを登録します。
文字コード表	印刷時に使用する文字コード表を変更します。
特色設定	特色リストファイルを作成します。

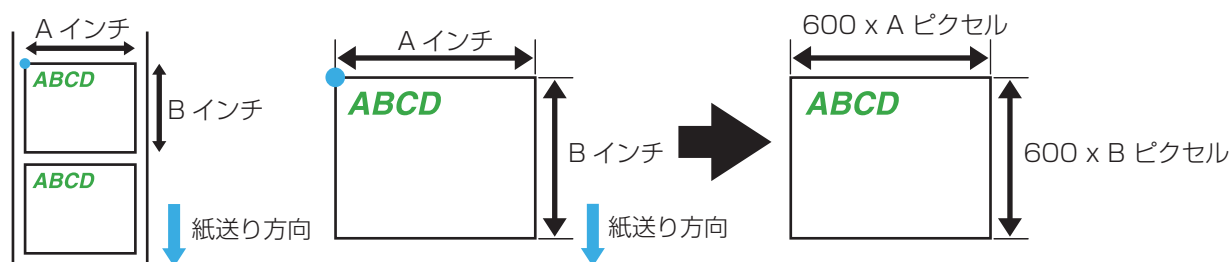
画像の登録

使用頻度の高いカラー画像を、あらかじめプリンターに登録しておく機能です。

プリセット画像の作成

- 1 本製品の印刷に適した解像度の画像（PNG 形式）を用意します。
320 ページ「製品仕様」を参照

- 2 画像を用紙サイズに合わせて変換します。



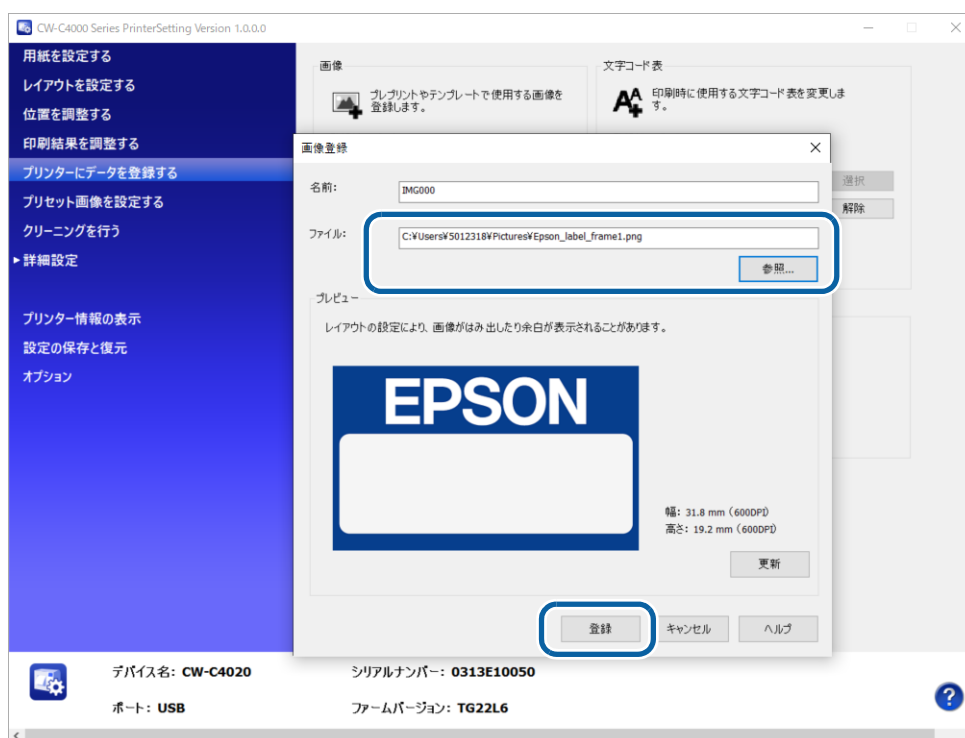
登録する画像の解像度は印刷する時の解像度にそろえてください。

- 3 画像フォーマットを PNG 形式で出力します。

画像の登録

「画像」の「登録」をクリックすると、画像を登録する画面が表示されます。

登録するプリセット画像のファイル名（PNG 形式）を選択して「登録」をクリックします。

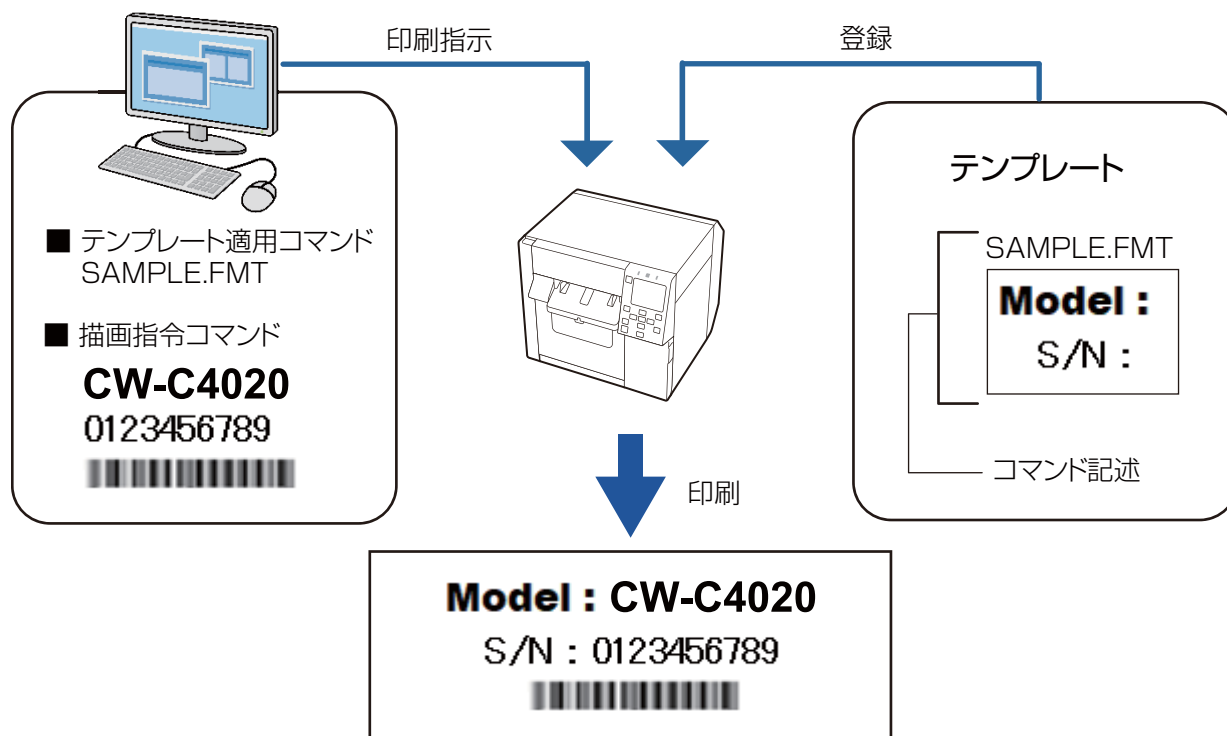


プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプレプリント画像として保存されます。

テンプレートの登録

テンプレートとは、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションで使用する定型的なラベルのフォーマットです。複数のラベルに共通の印刷内容をテンプレートとして登録しておくことで、アプリケーションは可変情報だけを都度生成してプリンターに送信し、テンプレートと組み合わせて印刷することができます。

テンプレートの作成や印刷時のテンプレートの指定は ESC/Label コマンドで行います。



テンプレートの作成

ESC/Label コマンドで、登録したい内容をテキストファイルまたはバイナリファイルにラベルフォーマットとして記述してください。ラベルフォーマット内にテンプレートファイル名も記述します。コマンドの詳細は『ESC/Label コマンドリファレンスガイド』"ラベルフォーマットのファイル保存"を参照してください。作成するテキストファイルまたはバイナリファイルの拡張子に規定はありません。

テンプレートの登録

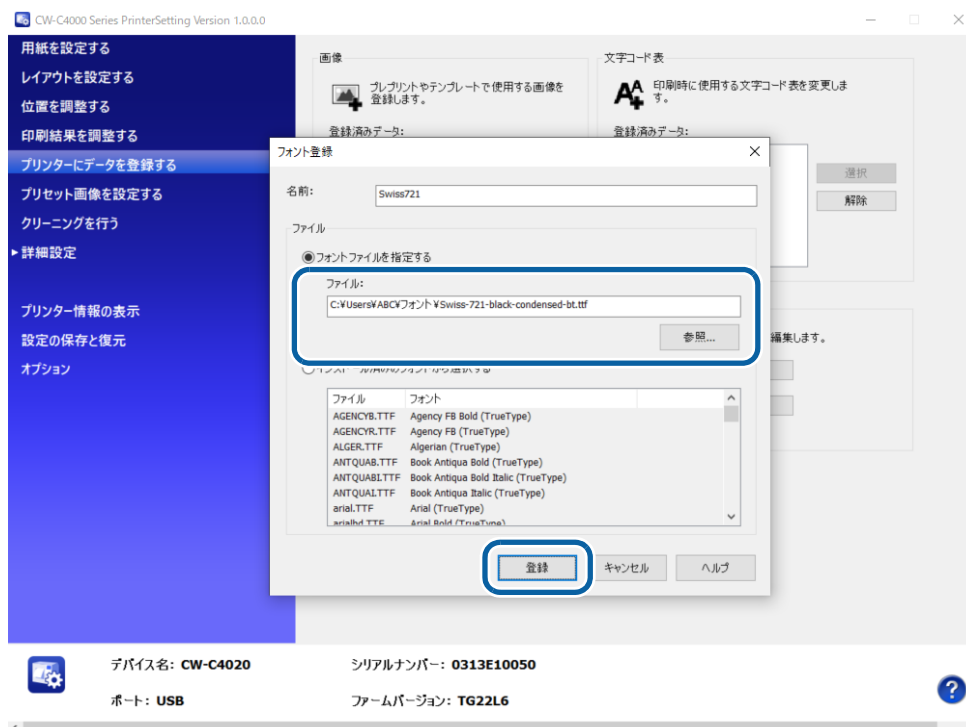
[テンプレート] の [登録] をクリックすると、テンプレートを登録する画面が表示されます。作成したテキストファイルまたはバイナリファイルを選択して [登録] をクリックします。



プリンターにテンプレートが保存されます。

フォントの登録

[フォント] の [登録] をクリックすると、フォントを登録する画面が表示されます。登録するフォントのファイル名 (TTF 形式) を選択して [登録] をクリックします。



プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。

文字コード表の設定

ESC/Label コマンドの直接制御で文字を印刷する場合、使用する文字コードに応じた文字コード表をあらかじめ設定してください。

文字コード	主な対象国言語	文字コード表
BIG5	台湾 / 香港 / マカオ	BIG52K7.CNV
EUC-CN	中国 (簡体字)	EUCCN199.CNV
EUC-JP	日本	EUCJP2K7.CNV
KS X 1001 (KS-C 5601-1987)	韓国	EUCKR2K6.CNV
GB18030	中国 (簡体字)	GB18030.CNV
Shift-JIS	日本	SJIS2K3.CNV

[文字コード表] の [登録済みデータ] から使用する文字コードを選択し、[選択] をクリックします。



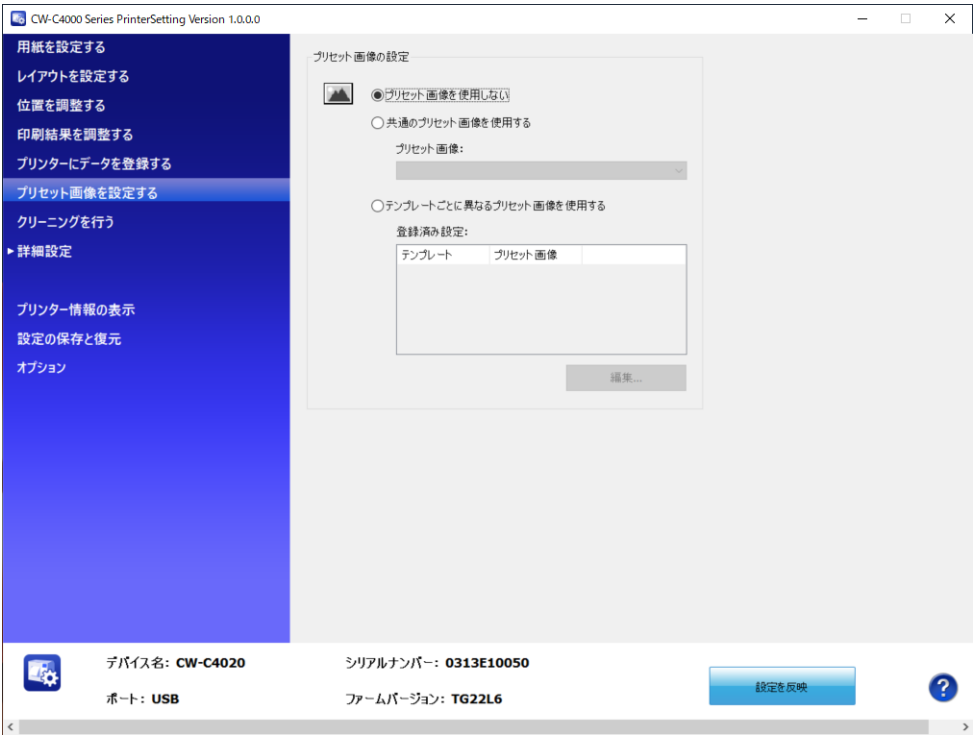
ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換えでは、ZPL II コマンドにより CW-C4000 Series ではサポートされない文字コードが指定され、選択した文字コード表が適用されないことがあります。その場合は [詳細設定] - [高度な設定] 画面の [ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面で [文字コード表の固定] の設定をしてください。詳細は [214 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」](#) を参照してください。

プリセット画像を設定する

プリセット画像を設定します。



- 以下のソフトウェアを使用する場合に、本機能を使用します。
 - * Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
 - * 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
 - * ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション
- プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目		説明
プリセット画像の設定	プリセット画像を使用しない	プリセット画像を印刷しません。
	共通のプリセット画像を使用する	通常の印刷の場合、指定した画像をプリセット画像として印刷します。 テンプレートを使用して印刷した場合、プリセット画像を印刷しません。
	テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する	テンプレートを使用して印刷した場合、指定された組み合わせに沿ってプリセット画像を印刷します。 テンプレートを使用しない場合、プリセット画像を印刷しません。

プリセット画像の印刷方法

以下のソフトウェアを使用する場合に、プリセット画像が印刷されます。

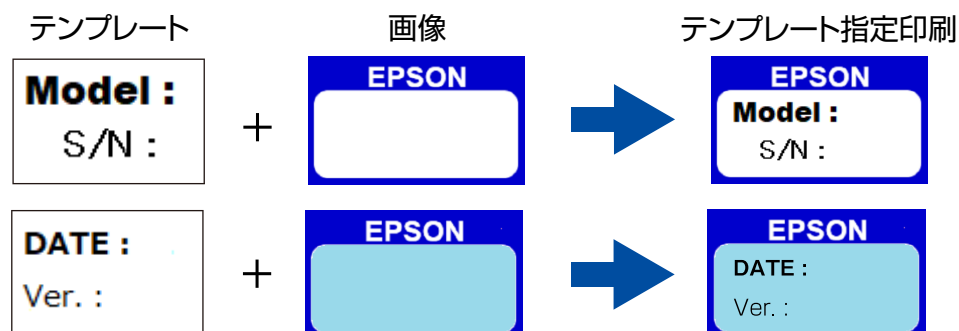
- Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
- 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
- ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション



エプソンのプリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。

画像とテンプレートの連携

CW-C4020 では、アプリケーションでテンプレートを指定した時に、そのテンプレートと連携する画像を自動で重ね合わせて印刷することができます。



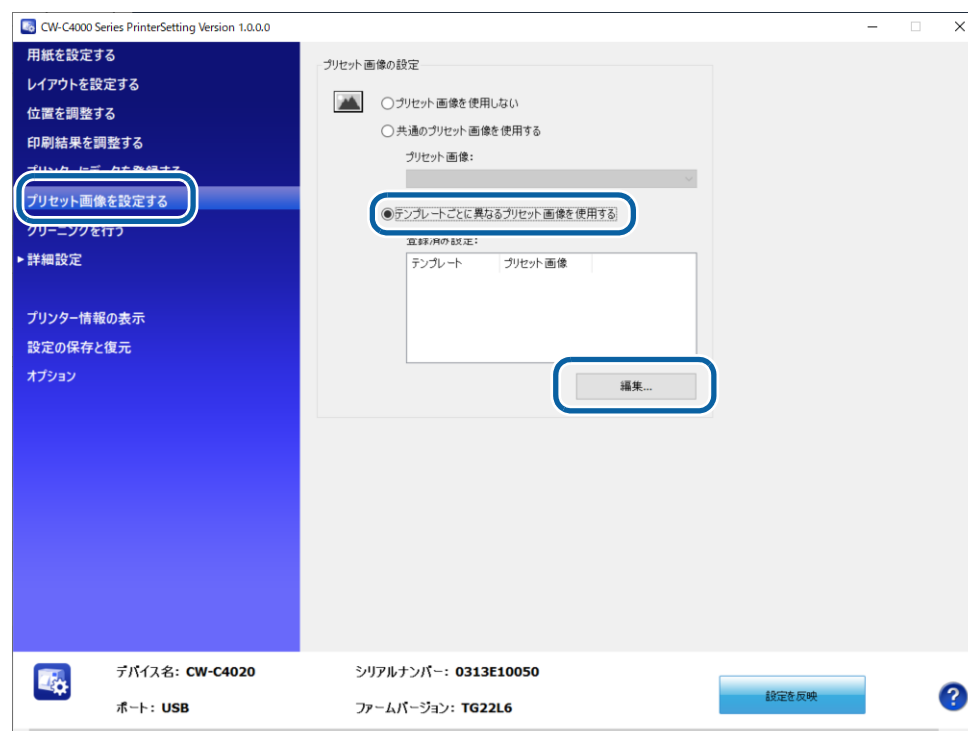
あらかじめ使用するデータをプリンターに登録してから、画像とテンプレートの連携設定をします。

画像データの登録： [195 ページ「画像の登録」](#)

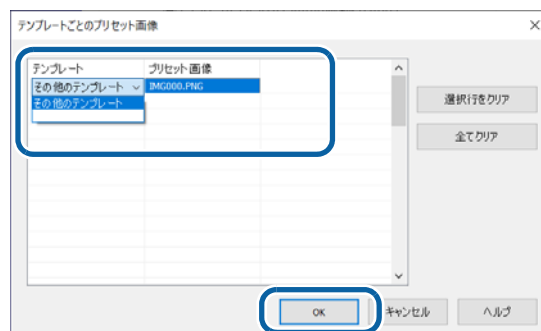
テンプレートデータの登録： [196 ページ「テンプレートの登録」](#)

データを登録した後、連携の設定をします。

[プリセット画像の設定] の [テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する] を選択し、[編集] をクリックします。

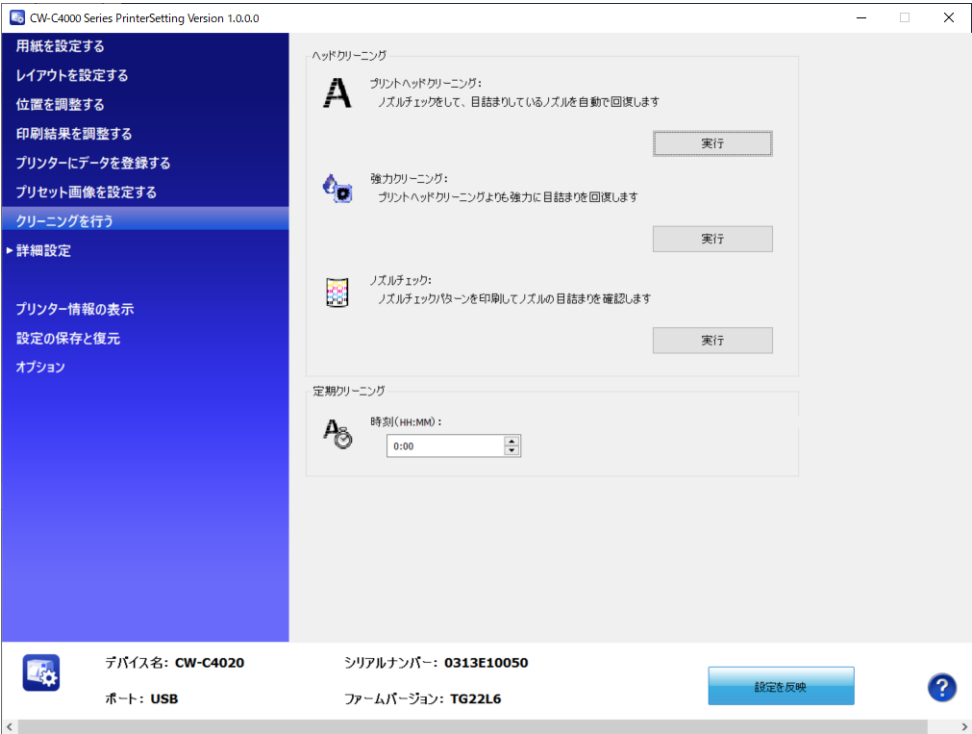


[テンプレートごとのプリセット画像] 画面で、テンプレートと、テンプレートと重ねて印刷したい画像を選択し、[OK] をクリックします。連携情報がプリンターに設定されます。



クリーニングを行う

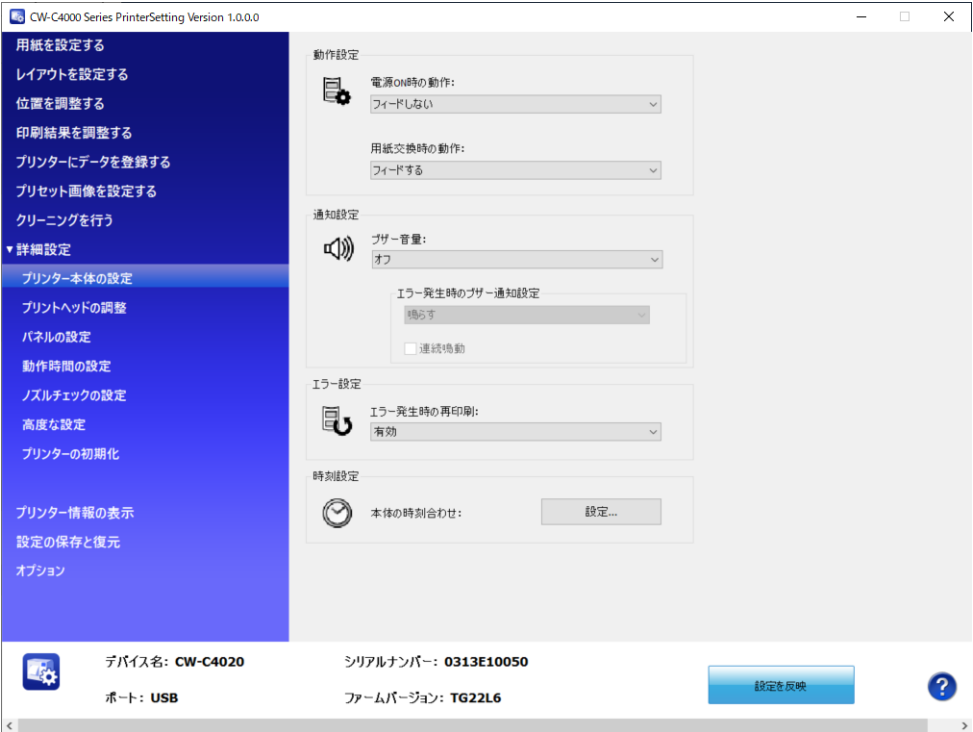
ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。



項目		説明
ヘッドクリーニング	プリントヘッド クリーニング	ノズルチェックをして、目詰まりしているノズルを自動で回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	強力クリーニング	プリントヘッドのクリーニングよりも強力に目詰まりを回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。 [実行] をクリックすると、ノズルパターンを印刷します。
定期クリーニング		指定した時刻に定期クリーニングを実施します。 [時刻 (HH:MM)] に定期クリーニングする時刻を指定します。 詳細は 29 ページ「定期自動クリーニング」 を参照してください。

プリンター本体の設定

プリンター本体の設定をします。



項目		説明
動作設定	電源 ON 時の動作	電源を入れた時の動作を設定します。
	用紙交換時の動作	用紙交換時の動作を設定します。
通知設定	ブザー音量	ブザーの音量を設定します。
	エラー発生時の ブザー通知設定	エラー発生時にブザーを鳴らすかを設定します。 「ブザー音量」の設定がオフ以外の時に設定できます。
	連続鳴動	チェックを付けると、エラー発生時にはブザーが鳴り続けます。 操作パネルの  (ホーム) ボタンまたは  (戻る) ボタンを押すとブザーが止まります。
エラー設定		エラー発生時の再印刷を設定します。
時刻設定		本体の日時を設定します。

プリントヘッドの調整

プリントヘッドの調整をします。



項目	説明
紙送りのずれの調整	印刷結果に、白スジや黒スジが発生する場合に調整します。 調整手順 205 ページ 「紙送りのズレの調整」
双方向印刷のずれの調整	縦横の野線がずれる、文字のピントがずれる場合に調整します。 調整手順 208 ページ 「双方向印刷のズレの調整」

紙送りのズレの調整

白スジや黒スジが生じる場合、紙送りズレの調整をします。


重要

紙送りのズレの調整パターンを印刷するときは、幅 21.4 mm (0.84 インチ) 以上、長さ 34.0 mm (1.34 インチ) 以上の用紙をセットしてください。

紙送りのズレの調整パターン印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 21.4 mm (0.84 インチ) 以上の場合：311.5 mm (12.26 インチ)



ブラックマーク検出が有効のまま紙送りのズレの調整パターンを印刷すると、必要な用紙残量が増える場合があります。ブラックマークがある用紙も、ブラックマークを検出しない設定にして印刷することをおすすめします。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

同梱ロール紙の場合はラベル 3 枚で紙送りのズレの調整パターンを印刷できます。

同梱ロール紙：用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ)，用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ)，ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)



連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。
ダイカットラベルで紙送りのズレの調整パターンを印刷する場合の推奨長さは、34.0 mm (1.34 インチ) 以上です。

調整方法	説明
調整用シートを使用しない	ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」が無い場合に選択します。 すき間が目立つデータを用意し、印刷と調整を繰り返して設定します。
調整用シートを使用する	ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」に調整パターンを印刷し、その中から最適のものを設定します。



紙送りズレの調整は、通常お使いのプリンター設定と同じ状態で実施してください。

調整用シートを使用しない

- 1 事前に、すき間が目立つデータを用意します。
- 2 本製品で、用意したデータを印刷します。
- 3 [調整方法] から [調整用シートを印刷しない] を選択し、[調整を実行する] をクリックします。
- 4 [紙送りのずれの調整] 画面（1 回目）が表示されます。印刷結果を見て、設定値を選択します。

設定値を選択後、[OK] をクリックします。

すき間が空いている（白スジ）場合、+ 方向に調整します。

印刷結果に重なりがある（黒スジ）場合、－方向に調整します。

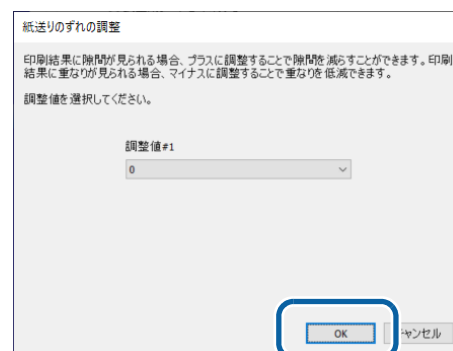
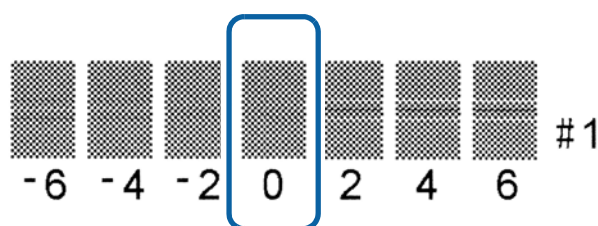
調整値 1 あたりの単位は 0.0105 mm（1/2400 インチ）です。



- 5 調整開始の確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
[紙送りのずれの調整] 画面（2 回目）が表示されます。
- 6 手順 4 同様に調整パターンを確認し設定します。
- 7 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。
- 8 再度、手順 1 で用意したデータを印刷します。
- 9 印刷結果を確認します。
すき間が目立たなくなれば設定完了です。
さらに調整する場合、手順 3 ～ 9 を繰り返してください。

調整用シートを使用する

- 1 ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」をプリンターにセットします。
- 2 [調整方法] から [調整用シートを印刷する] を選択し、[調整を実行する] をクリックします。
- 3 紙送り調整用のシート印刷画面が表示されます。プリンターに用紙がセットされていることを確認し、[OK] をクリックします。
調整用シートが印刷され、[紙送りのずれの調整] 画面（1 回目）が表示されます。
- 4 シートを確認し、すき間または重なりがないパターンの番号を調整値（#1）から選択し、[OK] をクリックします。
調整用シート印刷例（このパターンの場合、#1=0 が適正パターンの番号になります。）



- 5 再度調整シート印刷確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
調整用シートが印刷され、[紙送りのずれの調整] 画面（2 回目）が表示されます。
- 6 手順 4 同様に調整パターンを確認し設定します。
- 7 調整開始の確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
- 8 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

双方向印刷のズレの調整

縦横の罫線がずれたり、文字がぼやけたりするような印刷結果のときに、双方向印刷のズレの調整をします。

**重要**

双方向印刷のズレの調整パターンを印刷するときは、幅 99.5 mm (3.92 インチ) 以上、長さ 69.0 mm (2.72 インチ) 以上の用紙をセットしてください。

双方向印刷のズレの調整パターン印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 99.5 mm (3.92 インチ) 以上の場合：365.3 mm (14.38 インチ)



ブラックマーク検出が有効のまま双方向印刷のズレの調整パターンを印刷すると、必要な用紙残量が増える場合があります。ブラックマークがある用紙も、ブラックマークを検出しない設定にして印刷することをおすすめします。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

同梱ロール紙の場合はラベル 4 枚で双方向印刷のズレの調整パターンを印刷できます。

同梱ロール紙：用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ)、用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ)、ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)

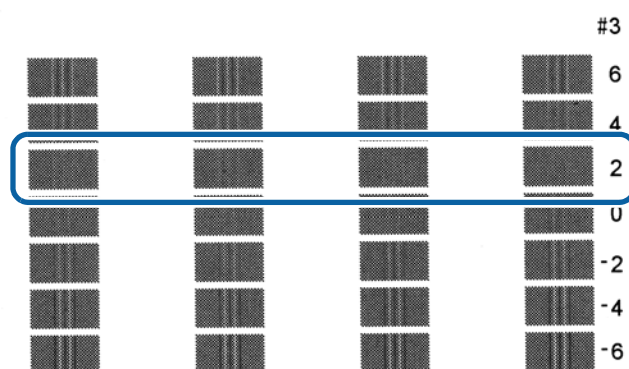
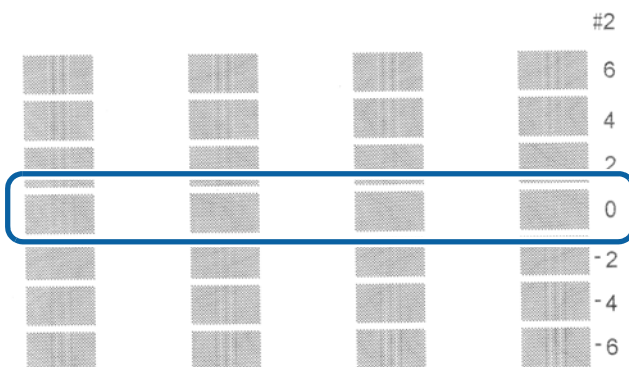
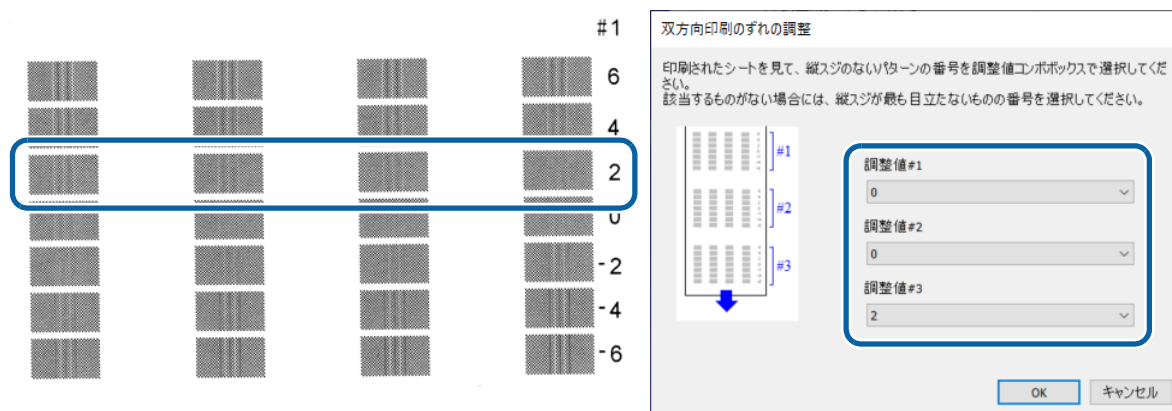


- ダイカットラベルで双方向印刷のズレの調整パターンを印刷すると、用紙幅、用紙長さ、ページ間距離により、必要な用紙残量は異なります。組み合わせによっては、最大 1356 mm (53.4 インチ) の用紙長さが必要になるため、連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。
- 双方向印刷をするかどうかは、プリンタードライバーの [印刷品質] - [詳細設定] - [双方向印刷] で設定します。

- 1 ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」をプリンターにセットします。
- 2 [調整を実行する] をクリックします。
双方向印刷調整用のシート印刷画面が表示されます。
- 3 プリンターに用紙がセットされていることを確認し、[OK] をクリックします。
調整用シートが印刷され、双方向印刷のズレの調整画面が表示されます。

4 シートを確認し、#1、#2、#3 でそれぞれすき間または重なりがないパターンの番号を調整値から選択し、[OK] をクリックします。

調整用シート印刷例（このパターンの場合、#1=2、#2=0、#3=2 が適正パターンの番号になります。）

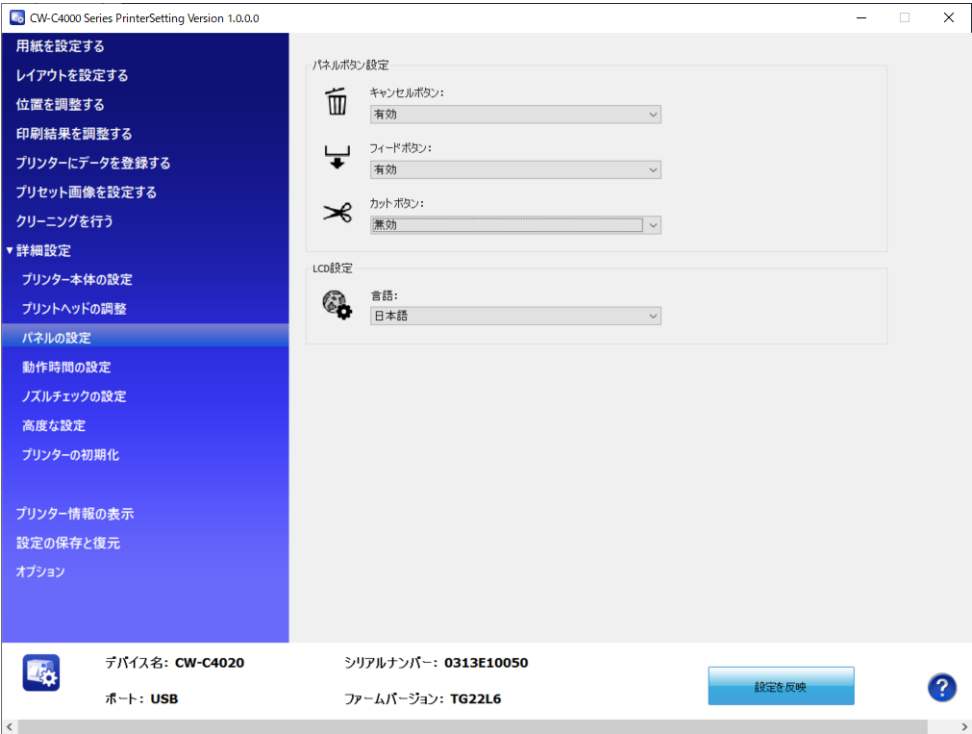


5 調整開始の確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。

6 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

パネルの設定

パネルの設定をします。



項目		説明
パネルボタン設定	キャンセルボタン	Cancel ボタンの有効 / 無効を設定します。
	フィードボタン	Feed ボタンの有効 / 無効を設定します。
	カットボタン	Cut ボタンの有効 / 無効を設定します。
LCD 設定		画面表示の言語を設定します。

動作時間の設定

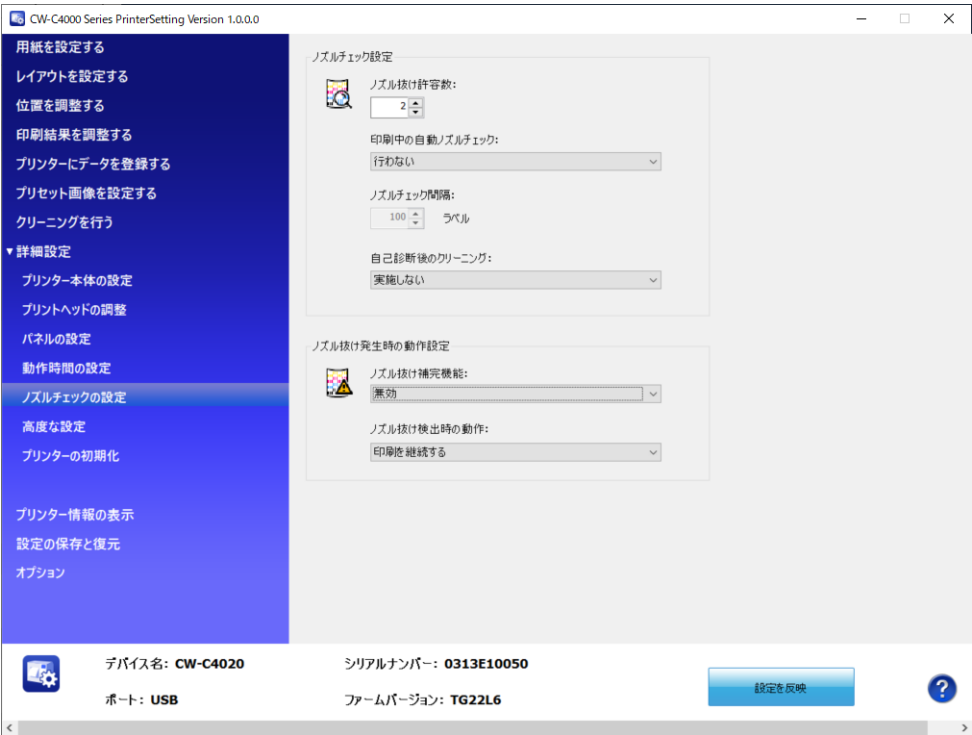
動作時間の設定をします。



項目	説明
省電力移行時間の設定	印刷、定期自動クリーニングなどのプリンタ動作完了後、省電力モードへ移行するまでの時間を設定します。
用紙吸引用ファン停止時間の設定	印刷完了後、用紙吸引用ファンを停止するまでの時間を設定します。
データ待ち時間の設定	データが届くまでに待機する時間を設定します。 データ待ち時間を長くすると、インク消費量が若干増加する可能性があります。通常はデフォルト値以下の設定での使用をお勧めします。

ノズルチェックの設定

ノズルチェックの設定をします。
ノズルチェックの詳細については [25 ページ「ノズル自己診断システム」](#) を、ノズル抜け補完機能の詳細については [28 ページ「ノズル抜け補完機能」](#) を参照してください。



項目		説明
ノズルチェック設定	ノズル抜け許容数	ノズル自己診断システム実行時のノズル抜け許容数を指定します。
	印刷中の自動ノズルチェック	印刷中にノズル自己診断システムを実行するかどうかを設定します。
	ノズルチェック間隔	[印刷中の自動ノズルチェック] を指定した間隔で行う設定にしたときに、ノズルチェックの間隔を指定します。
	自己診断後のクリーニング	自己診断後に自動でクリーニングを実施するか設定します。
ノズル抜け発生時の動作設定	ノズル抜け補完機能	ノズル抜け補完機能の有効 / 無効を設定します。 28 ページ「ノズル抜け補完機能」 を参照してください。
	ノズル抜け検出時の動作	設定した「ノズル抜け許容数」を超過したノズル抜けが検出された場合の動作を設定します。

高度な設定

プリンター本体に高度な設定をします。



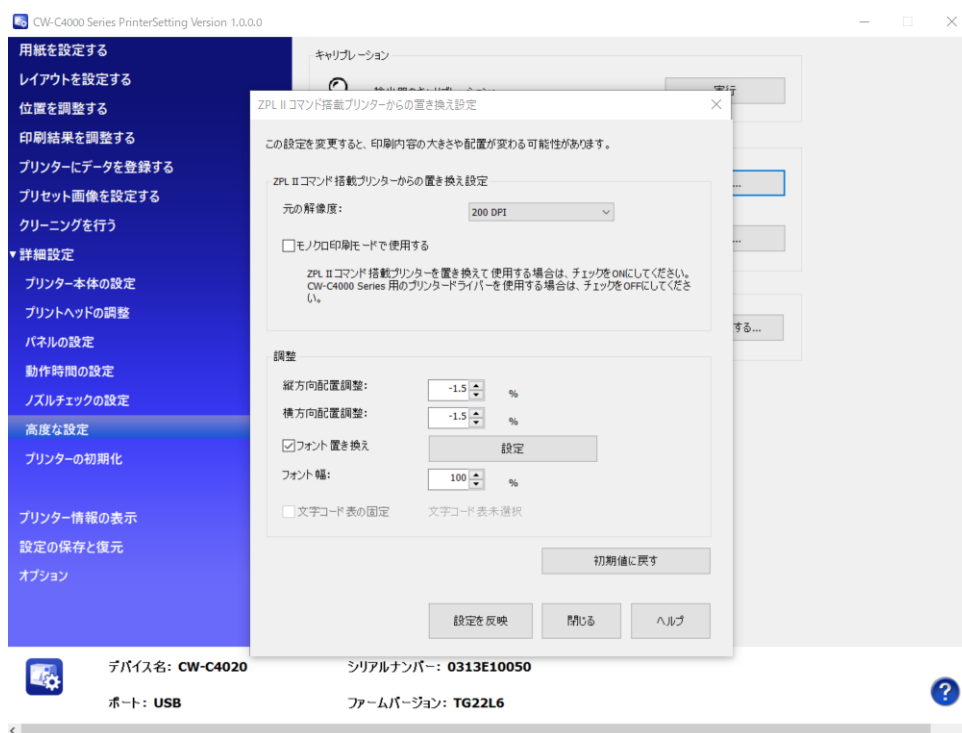
項目		説明
キャリブレーション		検出器のキャリブレーションを実行します。
ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え設定を実行します。 [実行] をクリックすると、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。 214 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」 を参照してください。
	プレフィックス文字の設定	プレフィックス文字の設定をします。
プリンター本体のお気に入り設定		「お気に入り」を本製品に登録したり、登録済みの「お気に入り」の設定を本製品に反映したりします。 218 ページ「お気に入りの登録」 を参照してください。

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] の[実行] をクリックすると、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。



調整項目の値は、実際の印刷結果を確認しながら調整してください。



解像度の設定

[元の解像度] で解像度を設定します。

選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi の場合には、200dpi を選択します。

モノクロ印刷モードの設定

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない置き換えをする場合にチェックを付けます。

縦方向と横方向の配置調整

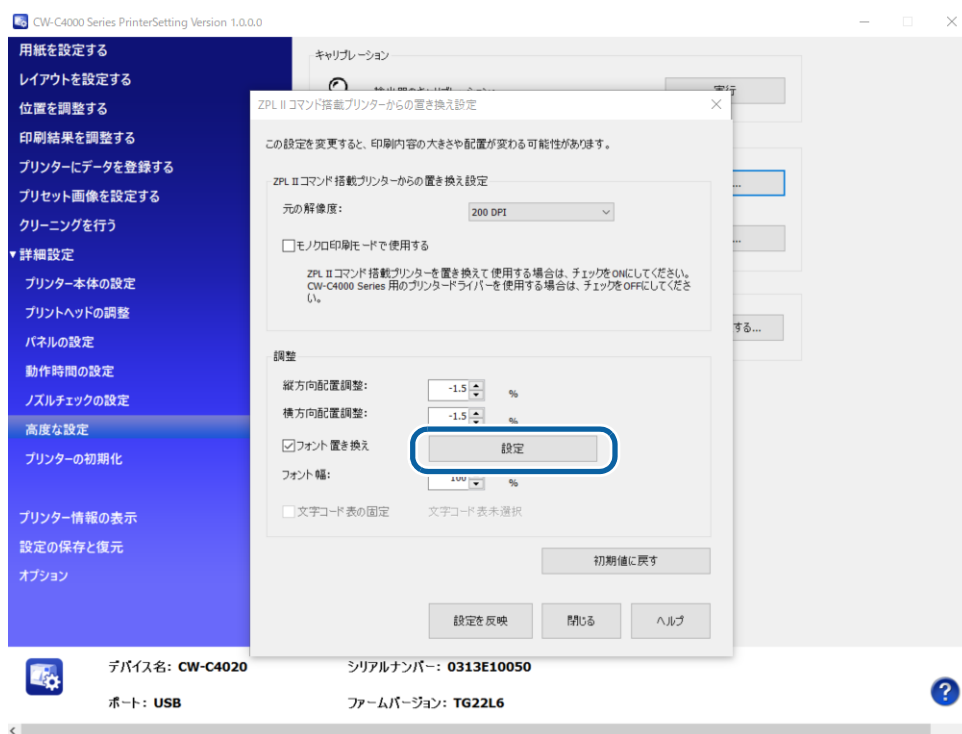
印刷オブジェクト（文字列や画像や図形など）の印字位置を調整します。

[元の解像度] を今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと同じ解像度に設定した場合は、[縦方向配置調整][横方向配置調整] どちらとも「0」に設定します。

今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi で、[元の解像度] を 200dpi に設定した場合は、[縦方向配置調整][横方向配置調整] どちらとも「-1.5」に設定します。

フォントの置き換え

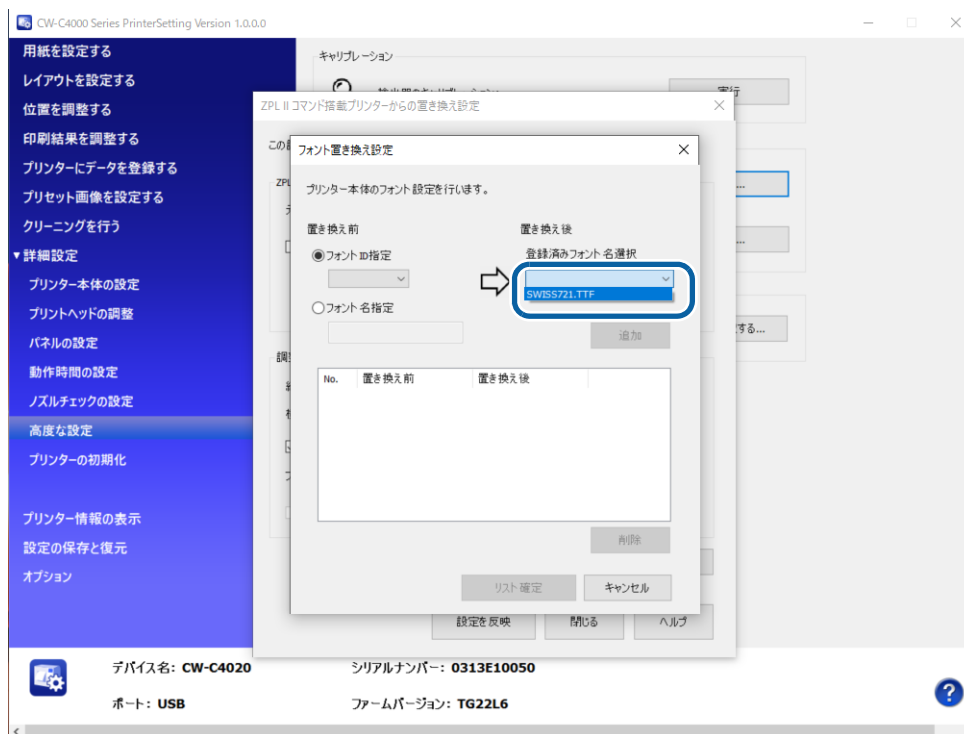
[フォント置き換え] の [設定] をクリックします。



設定画面が表示されるのでリストボックスからフォント ID を選択します。



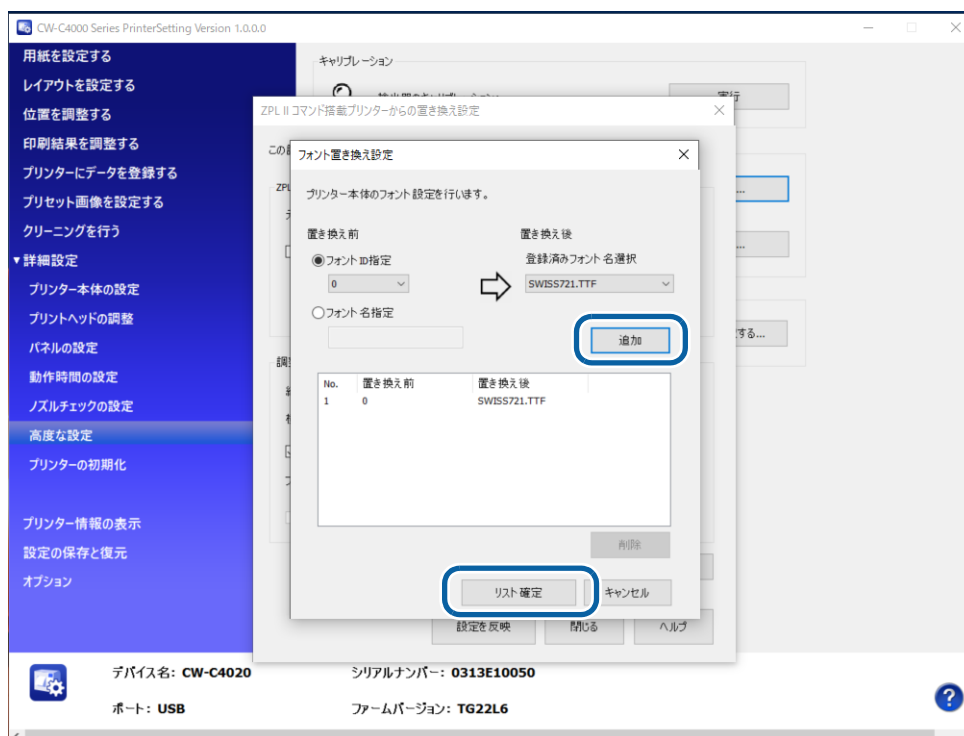
フォント ID を選択後、そのフォント ID に割り付ける登録済みフォント名を選択します。



[追加] をクリックすると画面内にリストが表示されます。

[リスト確定] をクリックすると、リストが保存され、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面にもどります。

[フォント置き換え] にチェックを入れると、設定したフォントファイルに置き換えます。



フォント幅の設定

文字幅を調整します。最初は「100」に設定します。



文字の高さや行間を変える場合は、アプリケーション側で設定してください。

文字コード表の固定

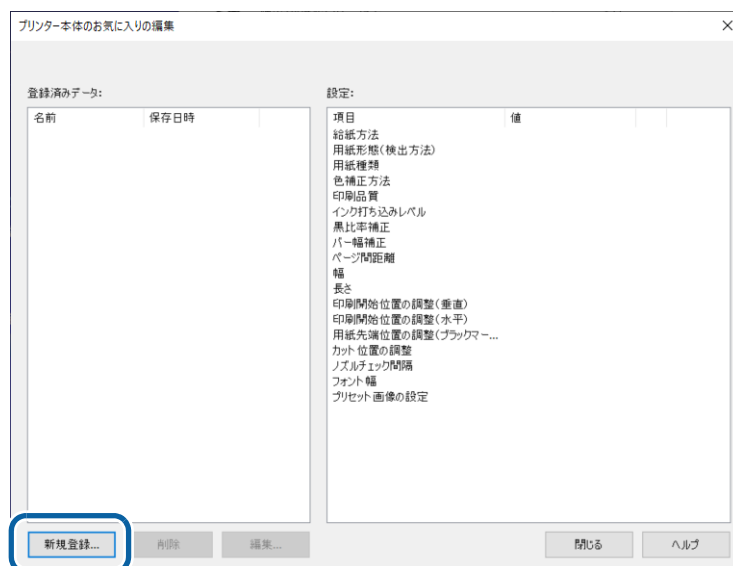
この項目にチェックを付けておくと、CW-C4020 ではサポートされない文字コードが指定された場合に、プリンターに設定されている文字コード表で印刷します。

設定値の転送

必要な設定が終わったら「設定を反映」をクリックします。
設定した値がプリンターに転送され設定が保存されます。

お気に入りの登録

- 1 [プリンター本体のお気に入り設定] の [登録 / 削除 / 編集] をクリックします。
- 2 [プリンター本体のお気に入りの編集] 画面が表示されます。[新規登録] をクリックします。



- 3** [プリンター本体のお気に入りの登録] 画面が表示されます。[お気に入りの名前] を入力し、[プリンター本体のお気に入り] の各項目を設定します。設定後、[登録] をクリックします。



- 「お気に入り」の [お気に入りの名前] には、'\'、'\'、'\'、'\' および ' \' を除く ASCII (20h ~ 7Eh) 文字が有効であり、15 文字が指定できます。
- 「お気に入り」は合計 100 個まで登録できます。

[初期値に戻す] をクリックすると、設定済みの本製品の設定値を初期値に戻します。

プリンター本体のお気に入りの登録

お気に入りの名前:

プリンター本体のお気に入り

給紙方法: 内部供給(ロール紙) 単位: mm ノズルチェック間隔: 100

用紙形態(検出方法): ダイカットラベル(ギャップ検出) 幅: 108.0

用紙種類: マット紙 長さ: 174.8 フォント幅(%): 100

色補正方法: あざやかな色合い ページ間距離: 3.0

印刷品質: 普通 印刷開始位置の調整(垂直): 0.0

インク打ち込みレベル: 0 印刷開始位置の調整(水平): 0.0 プリセット画像の設定: プリセット画像を使用しない

黒比率補正: 0 用紙先端位置の調整: 0.0 プリセット画像: プレビュー...

バー幅補正: 0 カット位置の調整: 0.0

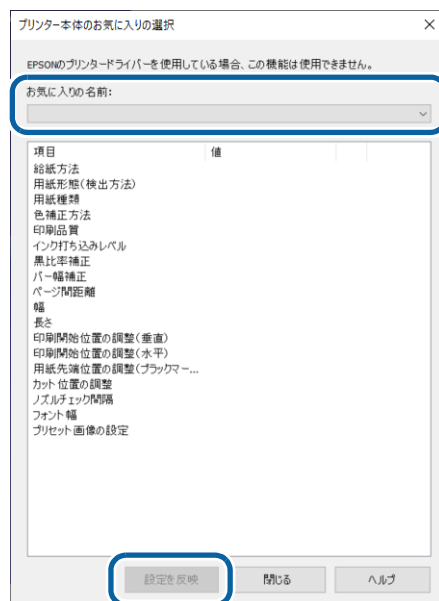
初期値に戻す 登録 閉じる ヘルプ

- 4** [閉じる] をクリックすると、[プリンター本体のお気に入りの編集] 画面に戻ります。[登録済みデータ] に、登録した「お気に入り」が表示されます。

お気に入りの設定を反映

登録した「お気に入り」の設定を、本製品に反映することができます。

- 1 【プリンター本体のお気に入り設定】の【登録したお気に入りを選択する】をクリックします。
- 2 【プリンター本体のお気に入りの選択】画面が表示されます。【お気に入りの名前】から設定を反映させる「お気に入り」を選択し、【設定を反映】をクリックします。



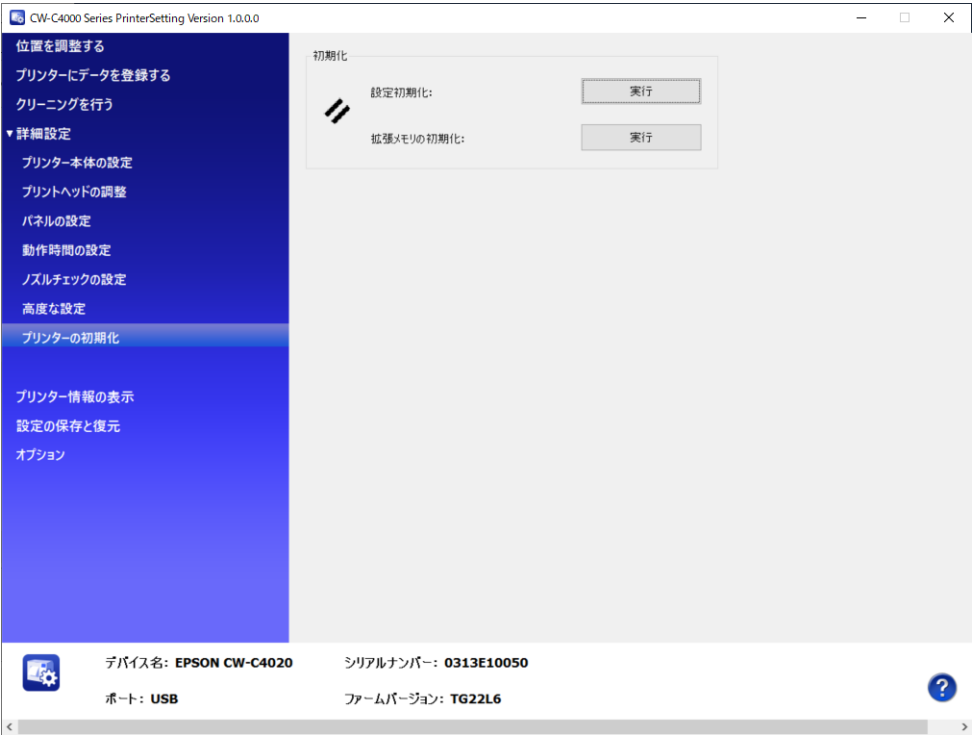
1 台で複数の種類のメディアを印刷する場合は、メディアごとに印刷設定を登録しておく
と、メディアを変えるたびに印刷設定を入力する必要がなくなるため便利です。

プリンターの初期化

プリンターを初期化します。

**注意**

「設定初期化」を選択すると、これまで登録した画像データや設定ファイルがすべて削除されます。



項目		説明
初期化	設定初期化	プリンター本体の設定を初期化します。
	拡張メモリの初期化	拡張メモリーを初期化します。

プリンター情報の表示

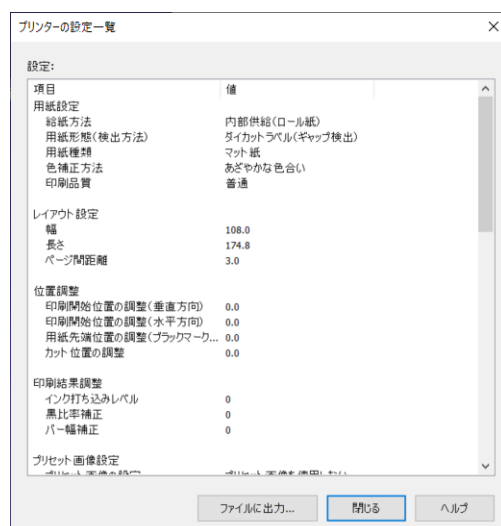
プリンター本体の情報を表示します。



項目		説明
プリンター情報	プリンターの設定一覧	[表示] をクリックすると、現在のプリンターの設定情報を表示します。 223 ページ「プリンターの設定一覧」 を参照
メンテナンスカウンター		メンテナンスカウンターを確認できます。

プリンターの設定一覧

プリンターの設定一覧の「表示」をクリックすると、「プリンターの設定一覧」画面が表示されます。「ファイルに出力」をクリックすると、現在の設定をテキストファイルに保存することができます。



設定の保存と復元

本製品の設定の保存と復元をします。



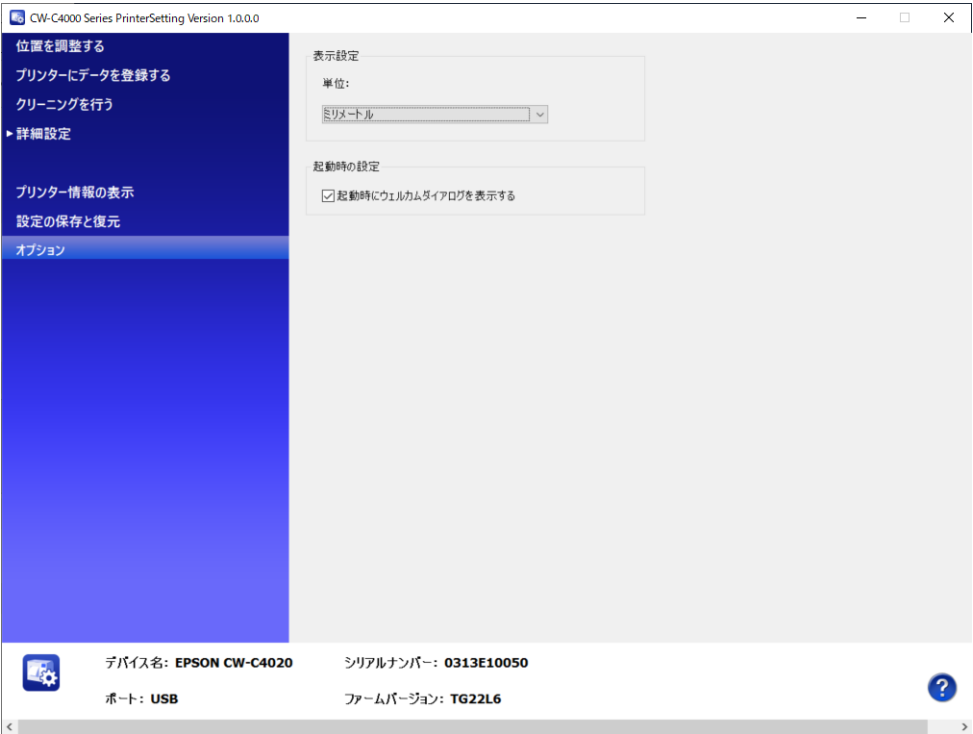
項目		説明
設定の保存	保存するデータ	保存するデータを設定します。保存したいデータにチェックを入れます。
	保存先フォルダ	保存先のフォルダーを指定します。
	ファイル名	任意のファイル名を指定します。
	保存を開始する	保存するデータ、保存先フォルダ、ファイル名を指定し、[保存を開始する] をクリックすると、本製品の設定が保存されます。
設定の復元	バックアップファイル	バックアップファイルを指定します。
	ファイルデータ	バックアップファイルの情報を表示します。
	復元を開始する	バックアップファイルを指定後、[復元を開始する] をクリックすると、本製品の設定を復元します。



データが大きい場合、処理に時間がかかります。

オプション

PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。



項目		説明
表示設定	単位	単位を設定します。
起動時の設定	起動時にウェルカムダイアログを表示する	起動時のウェルカムダイアログの設定をします。



単位の設定は PrinterSetting のみ対象となります。操作パネルやプリンタードライバーには反映されません。

操作パネルの設定項目

この表は、操作パネルで設定できるメニュー項目（設定値、初期値）と、管理者ロック機能でロックされる項目を示しています。管理者ロック機能の詳細については [264 ページ「パネル操作を制限する（管理者ロック機能）」](#) を参照してください。

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック				
			本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定		
用紙設定							
用紙種類	普通紙	マット紙	-	-	○		
	マット紙		-	-	○		
	合成紙		-	-	○		
	上質紙		-	-	○		
	リストバンド用紙		-	-	○		
	光沢紙		-	-	○		
	光沢フィルム		-	-	○		
	高光沢紙		-	-	○		
	用紙形態	ダイカットラベル	ダイカットラベル	-	-	○	
全面ラベル		-		-	○		
連続紙		-		-	○		
リストバンド		-		-	○		
用紙検出方法		ギャップ	ギャップ	-	-	○	
	ブラックマーク	-		-	○		
	マーク無	-		-	○		
	給紙方法	内部供給	内部供給	-	-	○	
外部供給		-		-	○		
用紙形状		ロール紙	ロール紙	-	-	○	
	ファンフォールド紙	-		-	○		
	用紙レイアウト						
幅	ダイカットラベル / 全面ラベルの場合	21.4 ～ 108.0 mm/ 0.84 ～ 4.25 in.	108.0 mm/ 4.25 in.	-	-	○	
	連続紙の場合	25.4 ～ 108.0 mm/ 1.00 ～ 4.25 in.	108.0 mm/ 4.25 in.	-	-	○	
	リストバンドの場合	25.4 ～ 108.0 mm/ 1.00 ～ 4.25 in.	36 mm/ 1.42 in.	-	-	○	
	長さ	リストバンド以外の場合	8 ～ 406.4 mm/ 0.31 ～ 16 in.	174.8 mm/ 6.88 in.	-	-	○
		リストバンドの場合	8 ～ 406.4 mm/ 0.31 ～ 16 in.	292.1 mm/ 11.5 in.	-	-	○

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック		
				本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
	ページ間距離					
	ダイカットラベルの場合	2 ～ 6 mm/ 0.08 ～ 0.24 in.	3 mm/ 0.12 in.	-	-	○
	ダイカットラベル 以外の場合	0 ～ 6 mm/ 0 ～ 0.24 in.	0 mm/0 in.	-	-	○
	印刷位置調整					
	印刷位置調整（縦方向） ※ メディア上でキャンパスの 印刷位置を調整	±10.9 mm/ ±0.43 in.	0 mm/0 in.	-	-	○
	印刷位置調整（横方向） ※ メディア上でキャンパスの 印刷位置を調整	±1.5 mm/ ±0.06 in.	0 mm/0 in.	-	-	○
	用紙先端位置調整（連続紙）	0 ～ 3 mm/ 0 ～ 0.12 in.	0 mm/0 in.	-	-	○
	用紙サイズエラー					
		オン	オフ	-	-	○
		オフ		-	-	○
	印刷設定					
	用紙種類					
		普通紙	マット紙	-	○	-
		マット紙		-	○	-
		合成紙		-	○	-
	上質紙	-		○	-	
	リストバンド用紙	-		○	-	
	光沢紙	-		○	-	
	光沢フィルム	-		○	-	
	高光沢紙	-		○	-	
色補正方法設定						
	あざやかな色合い	あざやかな 色合い	-	○	-	
	自然な色合い		-	○	-	
	色補正なし		-	○	-	
印刷品質						
	ドラフト	選択してい る用紙種類 により異な る。	-	○	-	
	速い		-	○	-	
	普通		-	○	-	
	きれい		-	○	-	
	高精細		-	○	-	
解像度						
	200dpi	600dpi	-	○	-	
	300dpi		-	○	-	
	600dpi		-	○	-	
コマンド制御文字						
	コントロールプレフィックス	0X20 ～ 7E	0X7E	-	○	-
	フォーマットプレフィックス	0X20 ～ 7E	0X5E	-	○	-
	デリミタ文字	0X20 ～ 7E	0X2C	-	○	-

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
プリンターのお手入れ					
プリントヘッドのノズルチェック	-	-	-	-	-
プリントヘッドのクリーニング	-	-	-	-	-
強力クリーニング	-	-	-	-	-
インクカートリッジ交換	-	-	-	-	-
メンテナンスボックス交換	-	-	-	-	-
プリントヘッドの位置調整	印刷のぼやけ改善	-	-	○	-
	横スジの改善		-	○	-
キャリブレーションの実施	用紙検出（簡易）	-	-	○	-
	用紙検出		-	○	-
ノズルチェックの設定					
ノズルチェックの設定	オン	オン	-	○	-
	オフ		-	○	-
診断間隔	1 ～ 9999 [枚]	100	-	○	-
ノズル抜け検出時動作設定	通知する	印刷継続		○	
	印刷継続		-	○	-
ノズル抜け許容数	0 ～ 16 [ノズル]	2 [ノズル]		○	
診断後クリーニング	オン	オン	-	○	-
	オフ		-	○	-
設定クリア	-	-	-	○	-
定期クリーニング	HH:MM（1 分刻み）	00:00	-	○	-
インク排出	-	-	-	○	-
本体設定					
基本設定					
画面の明るさ設定	1 ～ 5	5	○	-	-
音の設定	オフ	最大	○	-	-
	小		○	-	-
	中		○	-	-
	大		○	-	-
	最大		○	-	-
エラー発生時のブザー通知設定					
エラー発生時の ブザー通知設定	オフ	オン	○	-	-
	オン		○	-	-
エラー音の繰り返し	オフ	オフ	○	-	-
	オン		○	-	-
長さ単位					
	mm	mm	○	-	-
	inch		○	-	-
データ待ち時間	1.0 ～ 15.0 秒 （1 秒刻み）	3.0 秒	○	-	-

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック		
				本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
	用紙吸引用ファン停止					
	省電力設定に従う	-	指定した 時間に従う (指定時間 1 秒)	○	-	-
	指定した時間に従う	1 ～ 900 秒		○	-	-
	省電力					
	設定	オン	オン	○	-	-
		オフ		○	-	-
	省電力移行時間	1 ～ 720 分	15 分	○	-	-
	ブレーカー連動起動					
		オン	オフ	○	-	-
		オフ		○	-	-
	日付 / 時刻設定					
	日付 / 時刻	-	-	○	-	-
	時差	+13:45 ～ -12:45 (15 分刻み)	-	○	-	-
	言語選択 /Language					
		Nederlands	日本語	-	-	-
		English		-	-	-
		Français		-	-	-
		Deutsch		-	-	-
		Ελληνικά		-	-	-
		Italiano		-	-	-
		日本語		-	-	-
		한국어		-	-	-
		Polski		-	-	-
		Português		-	-	-
		Русский		-	-	-
		简体中文		-	-	-
		Español		-	-	-
		繁體中文		-	-	-
		Türkçe		-	-	-
	背景色設定					
	グレー	ホワイト	-	-	-	
	ブラック		-	-	-	
	ホワイト		-	-	-	
パネルボタン設定						
カット						
	有効	有効	○	-	-	
	無効		○	-	-	
	キャンセル					
有効		有効	○	-	-	
無効			○	-	-	

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック		
					本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
		フィード	有効	有効	○	-	-
			無効		○	-	-
			プリンター設定				
	画質設定						
	マニュアル色補正設定						
		明るさ	-25 ～ +25	0	-	○	-
		彩度	-25 ～ +25	0	-	○	-
		コントラスト	-25 ～ +25	0	-	○	-
		色調（シアン）	-25 ～ +25	0	-	○	-
		色調（マゼンダ）	-25 ～ +25	0	-	○	-
		色調（イエロー）	-25 ～ +25	0	-	○	-
		インク打ち込み レベル	-6 ～ +4（1 間隔）	0	-	○	-
		黒比率補正	-6 ～ 0（1 間隔）	0 ※ 下記の設定の 場合のみ「-2」 ブラックインク 仕様：マットイ ンク 用紙種類：普通 紙、マット紙、 上質紙 印刷品質：速い、 普通、きれい	-	○	-
		ヘッドパス毎の 乾燥時間	0 ～ 5 秒 (0.1 秒間隔)	0 秒	-	○	-
	ノズル抜け補完設定						
			有効	有効	-	○	-
			無効		-	○	-
		バーコード幅補正	-2 ～ +2（1 間隔）	0	-	○	-

設定メニュー項目		設定値	初期値	管理者ロック			
				本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定	
		印刷動作設定					
		印刷後の動作設定					
		カットする	-	カットしない (カット位置 で停止)	-	○	-
		カットしない (カット位置で 停止)	-		-	○	-
		カットしない (剥離位置で停止)	-		-	○	-
		カットしない (印刷終了位置で 停止)	-		-	○	-
		カット位置調整	-10.8 ~ +10.8 mm/ -0.425 ~ +0.425 in.	0 mm/ 0 in.	-	○	-
		エラー発生時の再印刷設定					
			有効	有効	-	○	-
			無効		-	○	-
		用紙吸引強度					
			自動	自動	-	○	-
			手動 (1 ~ 10)		-	○	-
		パネルによるキャンセル動作設定					
			ジョブのキャンセル のみ	ジョブの キャンセル のみ	-	○	-
			ジョブと RAM ドライ ブのキャンセル		-	○	-
		用紙交換時の動作					
			フィード	フィード	-	○	-
			フィードしない		-	○	-
			キャリブレーション		-	○	-
			短いキャリブレーション		-	○	-
			用紙サイズ計測する		-	○	-
		電源オン時の動作					
			フィード	フィードし ない	-	○	-
			フィードしない		-	○	-
			キャリブレーション		-	○	-
			短いキャリブレーション		-	○	-
			用紙サイズ計測する		-	○	-

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
ネットワーク設定					
無線 LAN 接続設定					
ルーター					
無線 LAN ルーターを検索	-	-	○	-	-
プッシュボタン で設定 (AOSS/ WPS)	-	-	○	-	-
その他	PIN コード自動設定 (WPS)	-	○	-	-
	カンタン自動設定	-	○	-	-
	無線 LAN を無効にする	-	○	-	-
Wi-Fi Direct					
iOS デバイスと つなぐ	-	-	○	-	-
その他スマート デバイスとつな ぐ	-	-	○	-	-
Menu					
接続名を変更する		-	○	-	-
パスワードを変更する		-	○	-	-
周波数帯を 変更する	2.4 GHz	2.4 GHz	○	-	-
	5 GHz		○	-	-
Wi-Fi Direct を無効にする		-	○	-	-
初期設定に戻す		-	○	-	-
有線 LAN 接続設定					
ネットワーク情報					
有線・無線接続状態		-	○	-	-
有線接続状態		-	○	-	-
Wi-Fi Direct 接続状態		-	○	-	-
ステータスシート印刷		-	○	-	-
接続診断					
詳細設定					
デバイス名	-	-	○	-	-
TCP/IP	-	-	○	-	-
プロキシサーバー	-	-	○	-	-
IPv6 アドレス					
有効		有効	○	-	-
無効			○	-	-

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック			
					本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定	
		Link Speed & Duplex	自動	自動	○	-	-	
			10BASE-T Half Duplex		○	-	-	
			10BASE-T Full Duplex		○	-	-	
			100BASE-TX Half Duplex		○	-	-	
			100BASE-TX Full Duplex		○	-	-	
			HTTP を HTTPS にリダイレクト					
			有効	有効	○	-	-	
			無効		○	-	-	
		IPsec/IP フィルタリングの無効化	-	-	○	-	-	
		IEEE802.1X の無効化	-	-	○	-	-	
		管理者用設定						
		内部メモリーデータ削除	-	-	○	-	-	
セキュリティ設定								
管理者設定								
管理者パスワード			変更	-	○	-	-	
			初期設定に戻す		○	-	-	
管理者ロック			オン	オフ	○	-	-	
			オフ		○	-	-	
本体設定			オン	- ※ 管理者ロックをオンに設定するとオン固定になる。	○	-	-	
			オフ		○	-	-	
プリンター設定			オン	オフ	○	-	-	
			オフ		○	-	-	
用紙設定			オン	オフ	○	-	-	
			オフ		○	-	-	
パスワード暗号化			オフ	オフ	○	-	-	
			オン		○	-	-	
初期設定に戻す								
ネットワーク設定			-	-	○	-	-	
用紙検出しきい値			-	-	○	-	-	
全ての設定			-	-	○	-	-	

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体 設定	プリンター 設定	用紙 設定
言語選択 /Language	-	-	-	-	-
お気に入り選択	-	-	-	-	-
消耗品情報	-	-	-	-	-
情報確認 / 印刷					
ファームウェアバージョン	-	-	-	-	-
本体ステータスシートの印刷					
プリンター情報シート	-	-	-	-	-
フォントリスト	-	-	-	-	-
バーコードリスト	-	-	-	-	-
イメージリスト	-	-	-	-	-
テンプレートリスト	-	-	-	-	-
ネットワーク	-	-	-	-	-
メンテナンスカウンター					
合計印刷距離	-	-	-	-	-
印刷距離 (リセットカウンター 1)	-	-	-	-	-
印刷距離 (リセットカウンター 2)	-	-	-	-	-
合計印刷枚数	-	-	-	-	-
印刷枚数 (リセットカウンター 1)	-	-	-	-	-
印刷枚数 (リセットカウンター 2)	-	-	-	-	-
キャリッジパス数	-	-	-	-	-
インク流路内バルブ動作回数	-	-	-	-	-
オートカッターカウンター					
累積	-	-	-	-	-
交換後 (カウンターリセット)	-	-	-	-	-
交換回数	-	-	-	-	-
前回交換日	-	-	-	-	-

WebConfig

WebConfig はプリンターの設定確認や変更が、コンピューターのブラウザ上でできるアプリケーションソフトです。

WebConfig を使用するには、あらかじめプリンターに IP アドレスを設定しておく必要があります。

コンピューターはプリンターと同一のネットワークに接続してください。

EPSON CW-C4020 管理者ログイン

情報確認

製品情報
ネットワーク情報
使用状況

製品情報

日本語

プリンターステータス
使用できます。

BK Y M C

ブラック(BK): SJC43P-BK
イエロー(Y): SJC43P-Y
マゼンタ(M): SJC43P-M
シアン(C): SJC43P-C
メンテナンスボックス: SJB4000

Firmware: Ver. 1.00.00.00
ルート証明書バージョン: Ver. 1.00

最新の状態へ更新

ソフトウェアのライセンス



管理者ログインを不要に設定することはできません。管理者パスワードを忘れた場合は初期化することができます。(265 ページ「管理者パスワードを初期化する」)

WebConfig の起動方法

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターの IP アドレスを入力します。プリンターの設定を変更する場合は、画面右上の [管理者ログオン] からログインしてください。

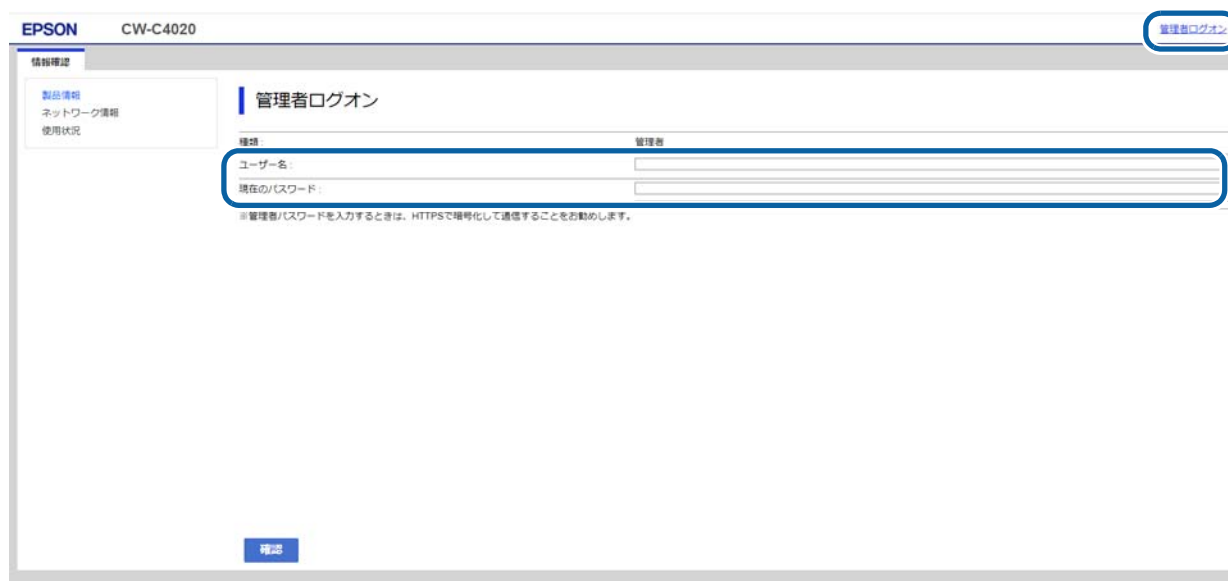
ユーザー名は空白、パスワードの初期値は以下のとおりです。

プリンターの背面にパスワードラベルが貼られている場合は ” PASSWORD ” の値が初期値です。

 PASSWORD 03212791 

この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。

パスワードラベルが無い場合、初期値は製品のシリアル番号です。



ブラウザの JavaScript を有効にしてください。HTTPS アクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、WebConfig を起動するとブラウザに警告が表示されます。

HTTPS アクセス

IPv4 : https:// プリンターの IP アドレス

IPv6 : https://[プリンターの IP アドレス]

HTTP アクセス

IPv4 : http:// プリンターの IP アドレス

IPv6 : http://[プリンターの IP アドレス]

記入例

IPv4 :

https://192.0.2.111/

http://192.0.2.111/

IPv6 :

https://[2001:db8::1000:1]/

http://[2001:db8::1000:1]/

Epson Device Admin

Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。
以下のような機能があります。

- ネットワーク上のプリンターの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- プリンターのネットワークへの導入
- ネットワーク上のプリンターの動作設定値の設定
- ネットワーク上の複数プリンターへの動作設定値の一括設定

Epson Device Admin はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

**重要**

本製品との接続は Ethernet 接続のみをサポートしています。USB 接続はサポートしていません。

特色の設定

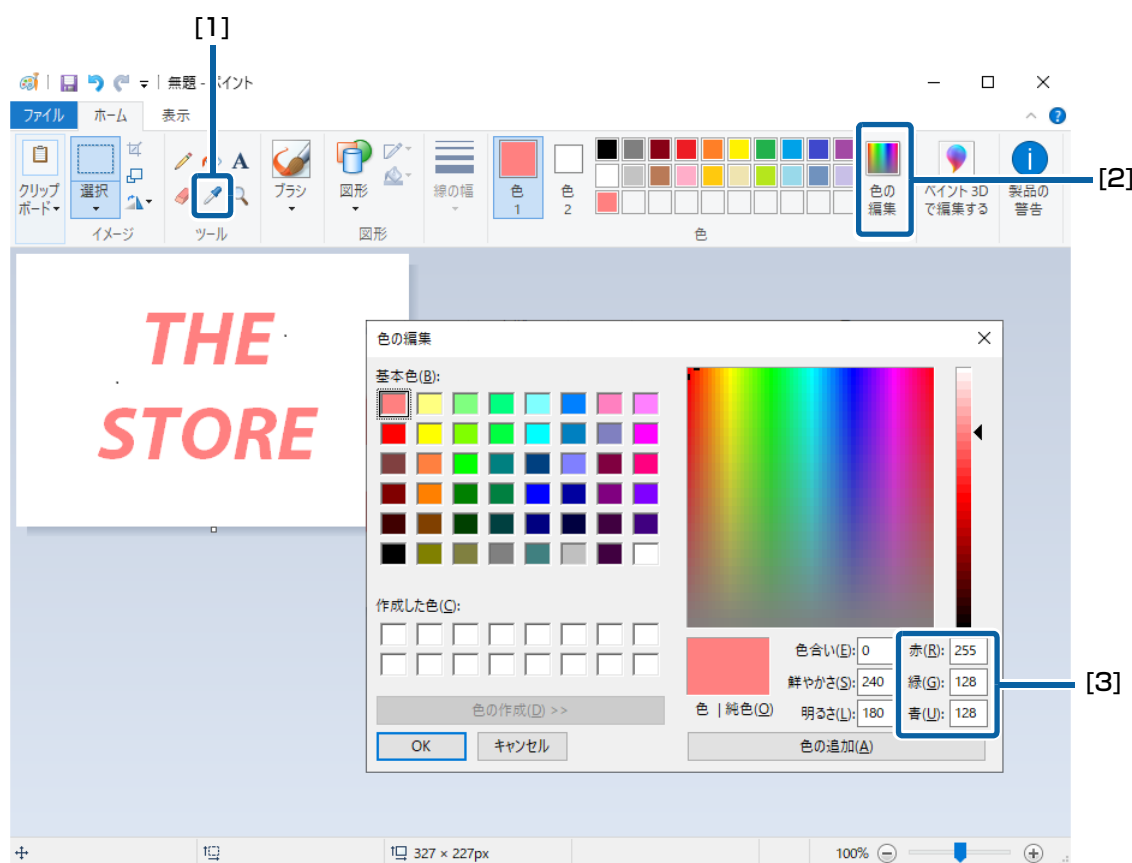
【特色設定】は特定の色を指定の色に変更する機能です。事前に色変換情報が格納された特色リストファイルを作成し、印刷時に特色ファイルリストをプリンターに送信することで特定の色を変換して印刷できます。以下の手順で特色設定ができます。



特色設定をして印刷すると、指定した RGB 値の色になっている箇所が全て指定した目的の色に変換されます。意図しない箇所の色が変換されてしまうときは、変換したくない箇所の RGB 値を少し変更すると変換されなくなります。

特色設定を作成する

- 1 印刷データの中で、特色設定したい元の色（RGB 値）を調べます。
ここでは Windows に付属の「ペイント」で RGB 値を調べる方法を説明します。



- [1] [スポイト] を選択し、調べたい色が使用されている部分をクリックします。
- [2] [色の編集] をクリックし、[色の編集] 画面を表示します。
- [3] 選択した色の RGB 値を確認し、記録します。



グラフィックソフトウェアによって、RGB 値を調べる方法は異なります。各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご確認ください。

2 目的の色（RGB 値）を決めます。

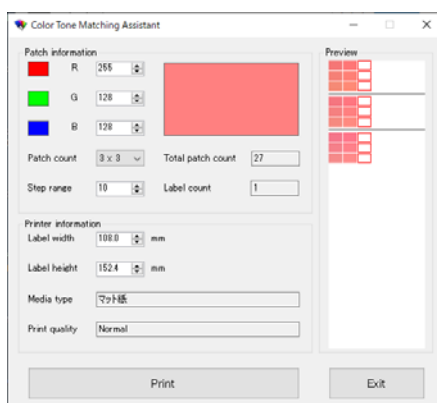


目的の色を決めるとき、同梱の CD に収録されている「Color Tone Matching Assistant」の使用をおすすめします。

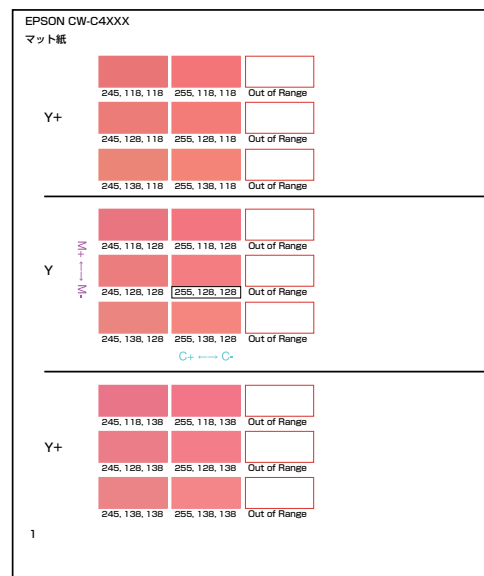
「Color Tone Matching Assistant」は、RGB 値を指定することで、それぞれの RGB 値を少し変化させたサンプルパターンを印刷できます。

印刷されたサンプルパターンから、お好みの色の RGB 値を取得できます。詳しくは「Color Tone Matching Assistant ユーザーズガイド」を参照してください。

Color Tone Matching Assistant



サンプルパターン例

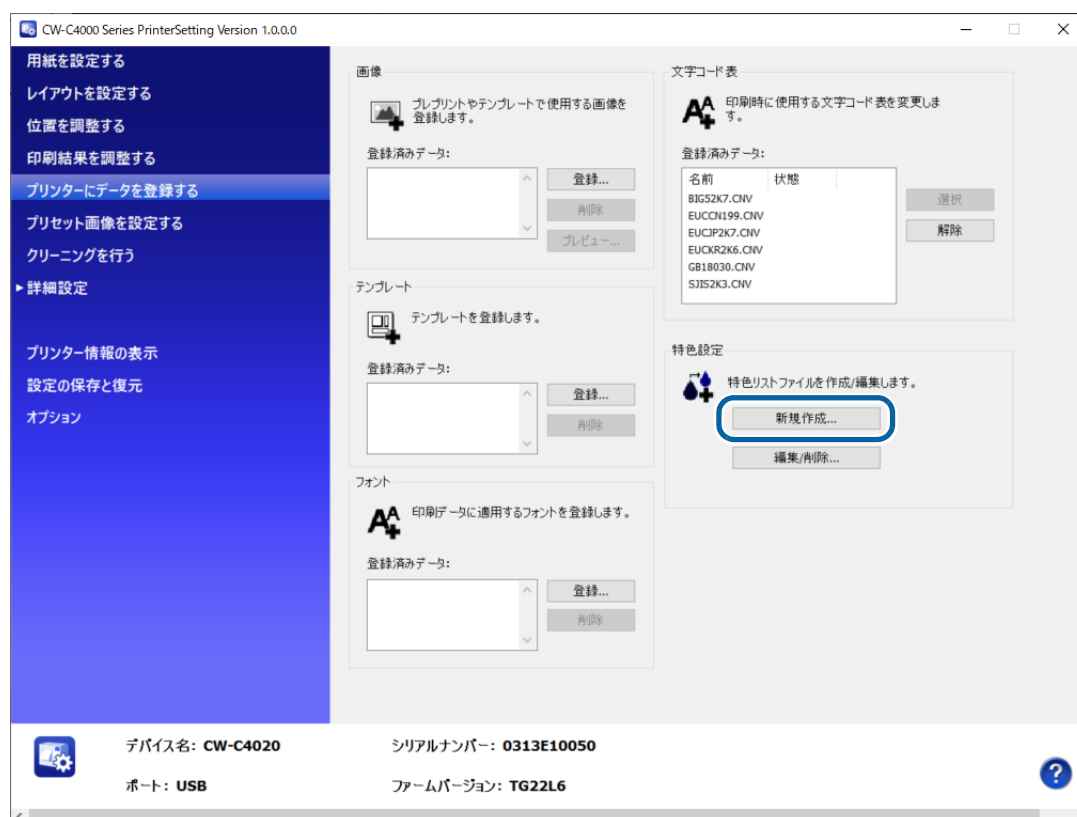


フォント置き換えの設定をしていると、Color Tone Matching Assistant でのサンプルパターンが正常に印刷されない場合があります。フォント置き換えの設定を解除してから印刷してください。

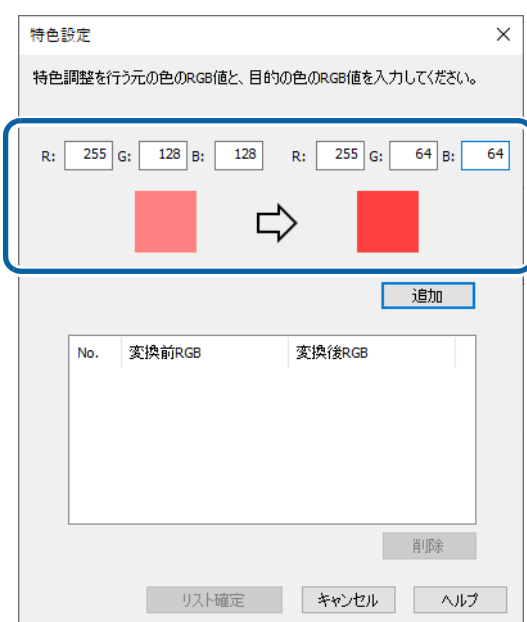
3 PrinterSetting を起動します。 (186 ページ「PrinterSetting の起動」)

4 [プリンターにデータを登録する] を選択します。

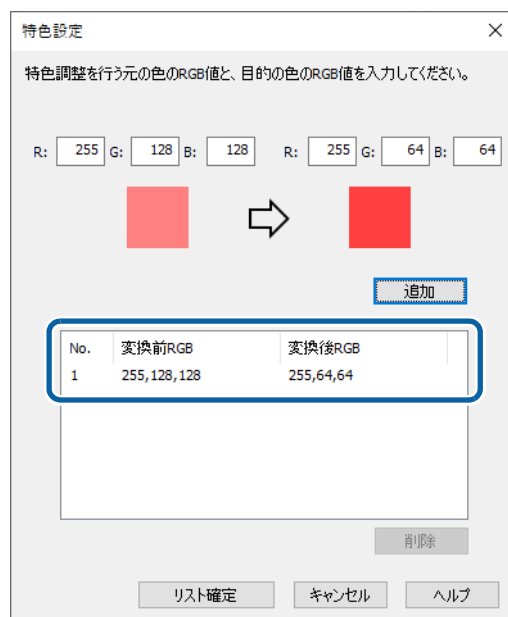
5 [特色設定] の [新規作成] を選択します。



6 特色設定を行う元の色の RGB 値と、目的の色の RGB 値を入力します。



- 7** **「追加」** を選択します。
入力した特色設定が下の画面に表示されます。



特色設定

特色調整を行う元の色のRGB値と、目的の色のRGB値を入力してください。

R: 255 G: 128 B: 128 R: 255 G: 64 B: 64

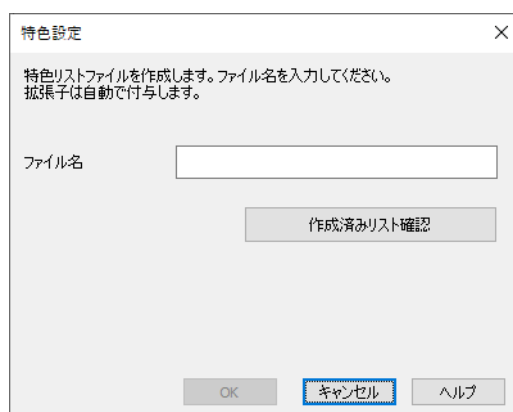
追加

No.	変換前RGB	変換後RGB
1	255, 128, 128	255, 64, 64

削除

リスト確定 キャンセル ヘルプ

- 8** **「リスト確定」** を選択します。
「特色設定」のファイル名入力画面が表示されます。



特色設定

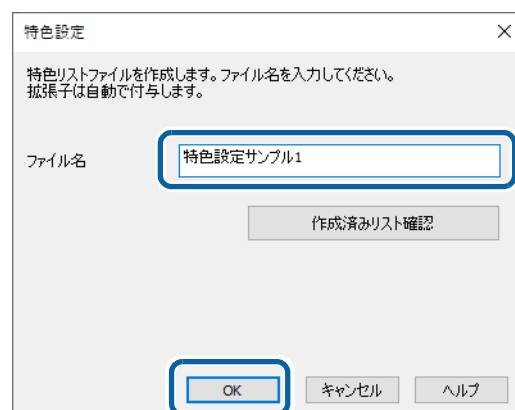
特色リストファイルを作成します。ファイル名を入力してください。
拡張子は自動で付与します。

ファイル名

作成済みリスト確認

OK キャンセル ヘルプ

- 9** 特色リストファイル名を入力し、**「OK」** を選択します。



特色設定

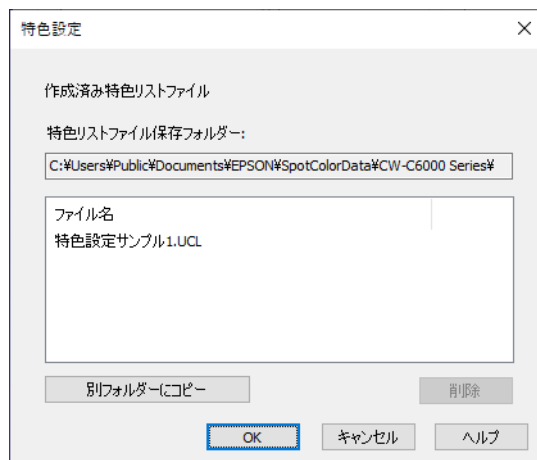
特色リストファイルを作成します。ファイル名を入力してください。
拡張子は自動で付与します。

ファイル名 特色設定サンプル1

作成済みリスト確認

OK キャンセル ヘルプ

- 10 作成成功のダイアログで「OK」を選択すると、「作成済み特色リストファイル」画面が表示されます。

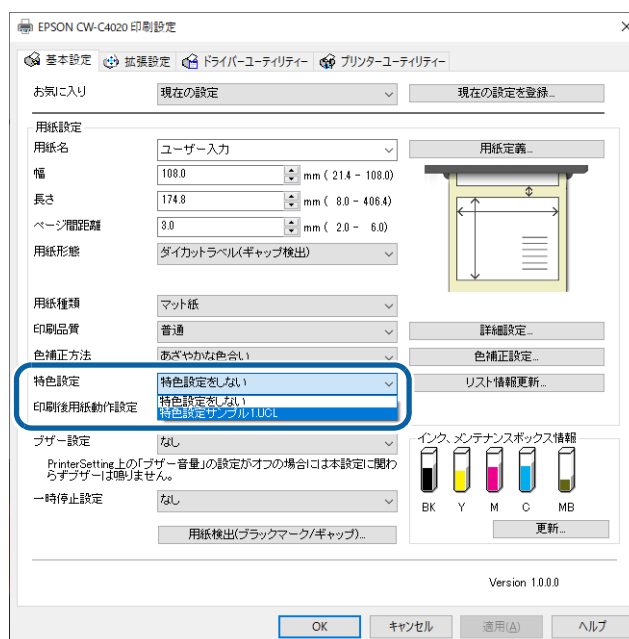


特色リストファイルを別のフォルダーへ作成したい場合は「別フォルダーにコピー」を選択してください。

以上で「特色設定を作成する」は完了です。

特色設定を使用して印刷する

- 1 プリンタードライバーを表示します。
- 2 [基本設定] タブの [特色設定] のプルダウンを選択します。



- 3 使用する特色設定リストファイルを選択します。



参照する特色リストの保存フォルダーを変更したい場合は [リスト情報更新] を選択し、参照先を変更してください。

- 4 印刷を実行します。
プリンタードライバーで指定した特色設定リストファイルの色変換が反映されます。

以上で「特色設定を使用して印刷する」は完了です。

色補正方法

以下の3つの色補正方法があります。

- プリンターで設定する
- OS で設定する
- アプリケーションで設定する

どの方法で色補正するかにより、プリンタードライバーの「色補正方法」で以下のように選択します。

- プリンターで設定するとき：「あざやかな色合い」を選択します。TM-C3500, TM-C7500 で設定した色補正を使用する場合は「自然な色合い」を選択します。
- OS で設定するとき：Windows は「ICM」を、Mac は「ColorSync」を選択します。
- アプリケーションで設定するとき：「色補正なし」を選択します。

ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係

印刷結果の色は、ドライバー上のメニューの設定により変わります。

印刷結果の色を変更するためのドライバー上のメニューには「色補正方法」と「特色設定」の2つがあります。「色補正」は、全体的な色合いを変えるもので、プリンター内、OS 内、特定のアプリケーション内にそれぞれ色補正エンジンがあります。ドライバー上の「色補正方法」メニューの選択肢によって、どの色補正エンジンを使用するかが特定されると共に、各色補正エンジンへの入力パラメーターが渡されます。

「特色設定」は指定した特定の色（＝元の色）を指定した他の色（＝目的の色）に置換するもので、ドライバー内に色置換エンジンがあります。

「色補正方法」メニューの選択肢は1つしか選択できません。そのため、プリンター内、OS 内、特定のアプリケーション内の色補正エンジンが同時に使われることはなく、どれか1つの色補正エンジンのみが使用されます。

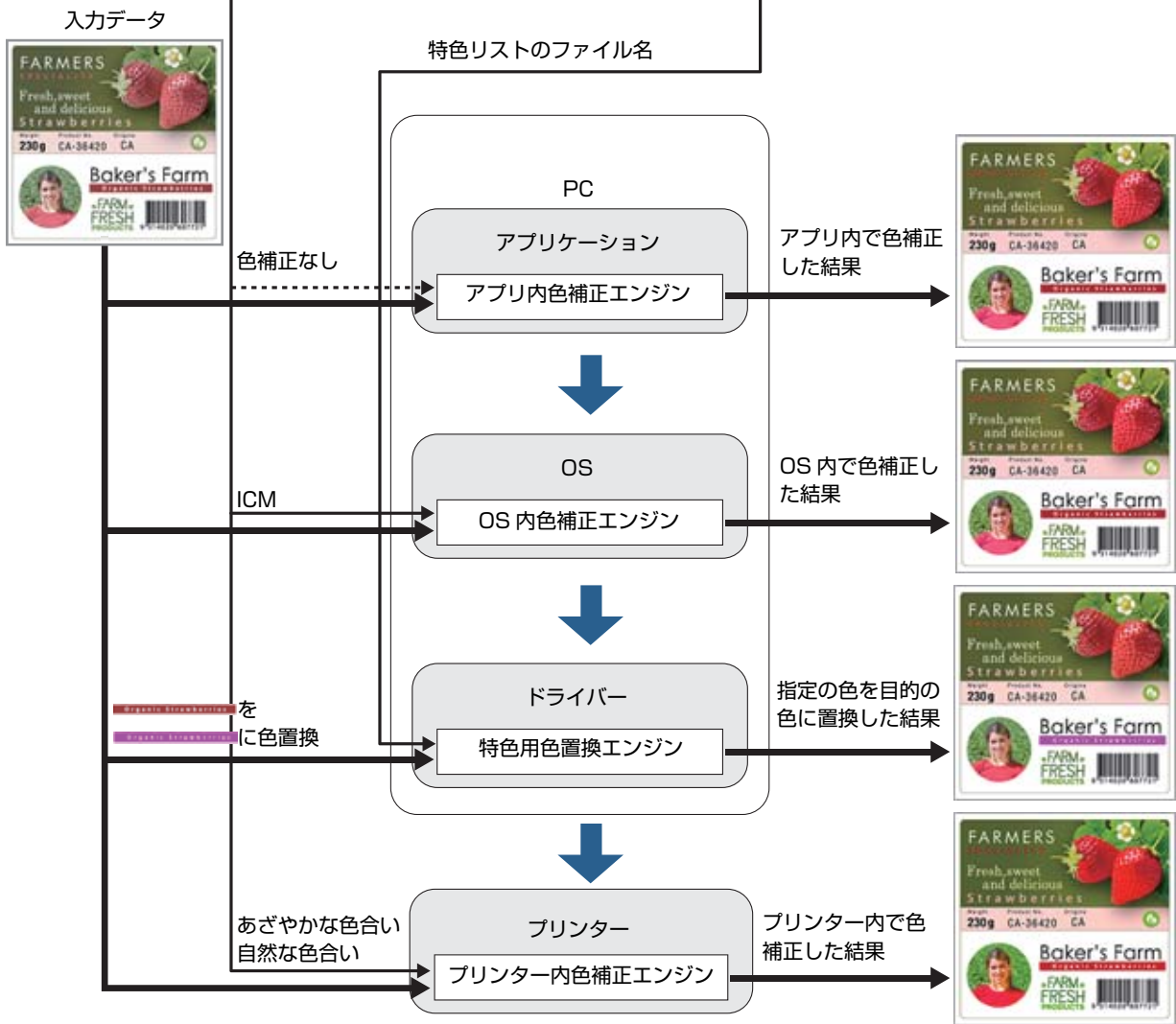
「色補正」と「特色設定」は組み合わせて同時に使用できます。

しかし、実際には「色補正方法」の設定として「あざやかな色合い」または「自然な色合い」を選択し、プリンター内色補正エンジンを使用する場合にのみ、「特色設定」も同時に使うことができます。

これは、特色用色置換エンジンがドライバー内にあるためドライバーより上位層にあるアプリケーション内やOS 内で色補正が先に行われてしまうと指定した元の色 RGB 値が変わってしまい、本来変えるべき場所の色を見つけることができなくなってしまうためです。

したがって、「色補正方法」の設定が「ICM」または「色補正なし」の場合は、「特色設定」と組み合わせて同時に色補正することはできません。

ドライバー上の設定		ドライバー上の設定値を反映する場所
メニュー	選択肢	
色補正方法	あざやかな色合い	プリンター内色補正エンジン
	自然な色合い	プリンター内色補正エンジン
	ICM	OS 内色補正エンジン
	色補正なし	なし＝アプリ側で調整することを前提
特色設定	特色設定をしない	なし
	特色リストのファイル名	ドライバー内特色用色置換エンジン



 **注意** 画像データは色補正のイメージを表現したもので、実際の色補正前後のデータではありません。

プリンターで設定する

あざやかな色合い

[あざやかな色合い] は、画像の色空間 AdobeRGB に準拠しています。sRGB に比べては色再現範囲が広いですが、モニターと印刷結果の色を近づけるためには、AdobeRGB に対応したモニターを用意する必要があります。

自然な色合い

[自然な色合い] は、画像の色空間 sRGB に準拠しています。AdobeRGB に比べて色再現範囲は狭いですが、一般的なモニターと印刷結果が近くなります。
TM-C3500 と同じ色補正方法のため、出力結果を変えずに TM-C3500 から置き換えたいときに選択してください。[あざやかな色合い] に比べて用紙種類と印刷品質の組み合わせで制限があります。

自然な色合いの制限事項

自然な色合いは以下の用紙種類と、印刷品質の組み合わせでのみ使用できます。

	ドラフト	速い	普通	きれい	高精細
普通紙	○	○	-	-	-
マット紙	-	○	○	-	-
合成紙	-	○	○	-	-
上質紙	-	-	-	-	-
リストバンド用紙	-	○	-	-	-
光沢紙	-	-	○	-	-
光沢フィルム	-	-	-	-	-
高光沢紙	-	-	-	-	-

調整方法

色補正方法が「あざやかな色合い」、または「自然な色合い」の状態では「色補正設定」を選択すると、「色補正設定」画面が表示されます。

「元の画像」と「プレビュー画像」を比較しながら、任意の色に調整してください。



項目		説明
明度		画像全体の明るさを調整します。
コントラスト		画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。 コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。 逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。
彩度		画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。 彩度を上げると色味が強くなります。彩度を落とすと色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
色調整方法	カラーサークル	カラーサークル上をクリックして調整します。 「水平方向」、「垂直方向」に数値を入力することでも調整できます。
	スライドバー	「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」のスライドバーを動かして調整します。

OS で設定する

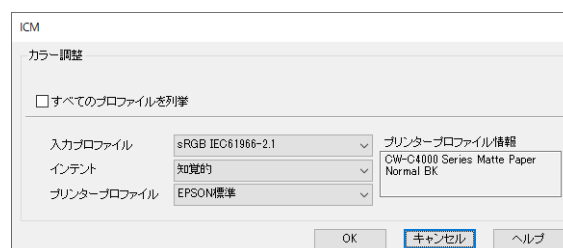
ICM

ICM (Image Color Management) は、モニターやプリンターなどの異なるデバイス間で色の見た目を一致させる Windows カラー管理機能です。ICC プロファイルに基づいてモニターとプリンターが出力する色を一致させます。

ICC プロファイルとは、ICC (International Color Consortium) 標準に従い、モニターやプリンターなどのデバイスごとに設定された色変換のためのファイルです。

ただし、4 色プリンターの色域はモニターよりも狭いため、多くの場合、モニターの色と正確に一致させることはできません。

[ICM] を選択して [色補正設定] ボタンをクリックすると、[ICM] 設定画面が表示されます。



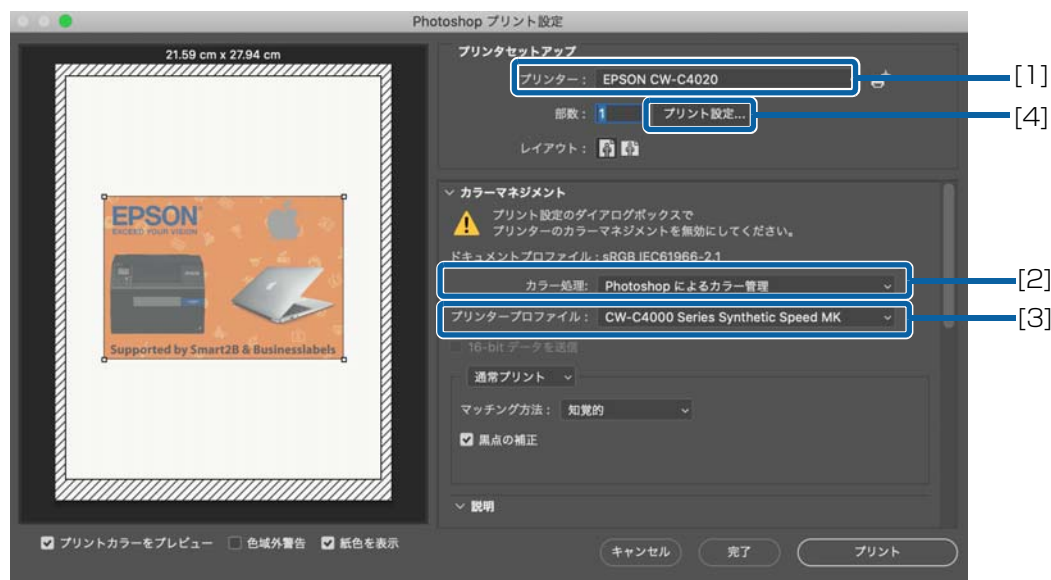
項目		説明
すべてのプロファイルを列挙		ドライバーをインストールする際に、EPSON純正紙用のICCプロファイルが自動的にインストールされます。インストールされるのは、[用紙種類] と [印刷品質] の組合せ分すべての ICC プロファイルです。 初期設定では本項目のチェックが外れているので、[入力プロファイル] は [sRGB IEC61966-2-1] に、[プリンタープロファイル] は [EPSON 標準] に固定され、ドライバーに設定されている [用紙種類] と [印刷品質] に対応する ICC プロファイルが自動的に選択されます。 EPSON純正紙以外のメディアを使用し、該当メディアのICCプロファイルがインストールされている場合にチェックを付けます。 チェックを付けると、[入力プロファイル]、[プリンタープロファイル] のプルダウンメニューから、システムにインストールされている全てのプロファイルが選べるようになります。[プリンタープロファイル] で該当メディアの ICC プロファイルを選択してください。
入力プロファイル		表示デバイスのプロファイルを選択します。 通常、Windows OS のデフォルトである [sRGB IEC61966-2-1] しか表示されません。
intent	彩度	彩度を保持して変換します。
	知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用しているときに選択してください。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標を一致させ、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用するときに選択してください。
プリンタープロファイル		使用するメディアに対応するプリンタープロファイルを選択します。 通常、[EPSON 標準] しか表示されません。[EPSON 標準] は、EPSON 純正紙用にドライバーに設定されている [用紙種類] と [印刷品質] に対応する ICC プロファイルを自動的に選択します。

ColorSync

ColorSync は、macOS のカラー管理機能で、Windows の ICM に相当する機能です。

以下に ColorSync を使って ICC プロファイルを設定する方法を、Adobe Photoshop（以降、Photoshop と記載します）およびプレビューを例に説明します。

Photoshop から印刷する場合



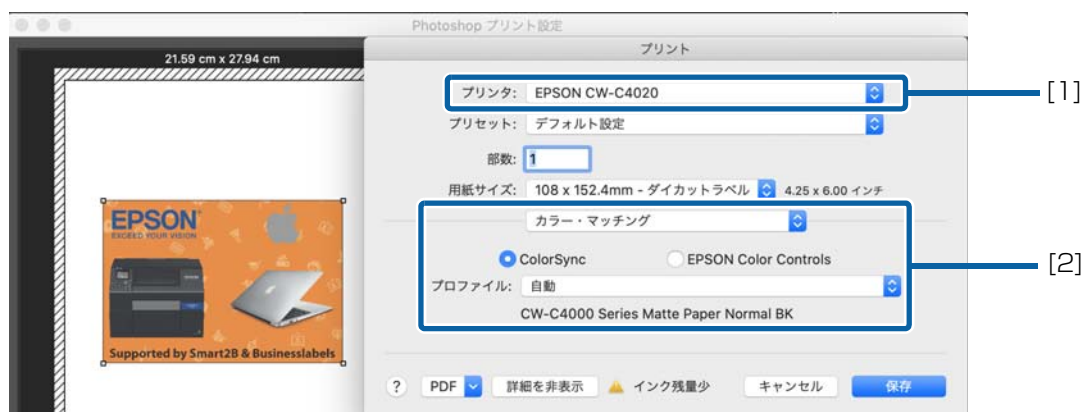
- 1 [プリンター] で本製品を選択します。
- 2 [カラー処理] メニューから [Photoshop によるカラー管理] を選択します。
[プリンターによるカラー管理] を選択した場合、ICC プロファイルの設定を印刷結果に反映できません。
- 3 [プリンタープロファイル] で適切な ICC プロファイルを選択します。
- 4 [プリント設定] をクリックし、プリンタードライバーで印刷設定をします。
[カラーマッチング] と [カラーオプション] は変更できません。



5 Photoshop の印刷ウィンドウでその他の印刷設定をします。

6 [プリント] ボタンをクリックします。

プレビューから印刷する場合



1 [プリンタ] で本製品を選択します。

2 [カラーマッチング] で[ColorSync]を選択し、[プロファイル]で適切なICCプロファイルを選択します。

[自動]を選択すると、エプソンが提供するICCプロファイルを自動的に選択します。

[その他のプロファイル]を選択すると、[ColorSync プロファイルの選択]画面が表示され、他のICCプロファイルを選択できます。



3 その他の印刷設定をします。

4 [プリント] ボタンをクリックします。

Acrobat Reader から印刷する場合



ColorSync 使用時の注意事項

- PDF のデータは RGB データである必要があります。CMYK データの場合、正しく色補正できません。
- 印刷データにソースプロファイル(入力プロファイル)が埋め込まれていない場合、ソースプロファイルは自動的に「sRGB IEC61966-2.1」が適用されます。
- レンダリングインテント(カラーマッピング方法)は「知覚的」に固定されます。

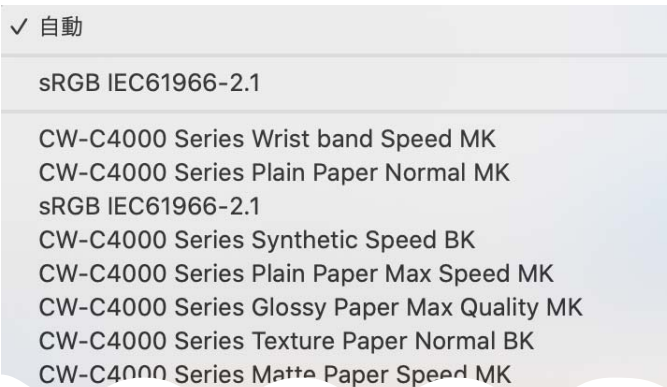
1 [プリンター] で本製品を選択し、画面下の [プリンター ...] をクリックします。



- 2 [カラー・マッチング] で [ColorSync] を選択し、[プロファイル] で適切な ICC プロファイルを選択します。



プロファイルの初期設定は [自動] になっており、エプソンが提供する ICC プロファイルが自動的に選択されます。[その他のプロファイル] を選択すると、[ColorSync プロファイルの選択] 画面が表示され、他の ICC プロファイルを選択できます。



- 3 その他の印刷設定をします。

- 4 [詳細設定] をクリックします。



5 「画像として印刷」にチェックを入れて「OK」をクリックします。



6 「プリント」画面で「印刷」ボタンをクリックします。

ICC プロファイル

ICC プロファイルとは

ICC プロファイルは International Color Consortium（略称：ICC）によって定義された、色を管理するための情報が記述されたデータ（拡張子 .icc）です。印刷結果の色は使用するメディアや印刷モード等によって大きく変わります。

CW-C4000 Series は EPSON 純正メディア、印刷品質（印刷モード）、インクの組合せごとに ICC プロファイルを提供しています。ICC プロファイルは、Windows ドライバーのインストール時に以下の指定フォルダにインストールされます。

C:\Windows\System32\spool\drivers\color

EPSON 純正メディア以外のメディアを使う場合は、そのメディアに対応する ICC プロファイルを用意していただく必要があります。

□ CW-C4020 で標準提供している ICC プロファイル

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
普通紙	ドラフト	フォト	CW-C4000Series_PlainPaper_MaxSpeed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_PlainPaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C4000Series_PlainPaper_Speed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_PlainPaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C4000Series_PlainPaper_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_PlainPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_PlainPaper_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_PlainPaper_Quality_MK.icc
マット紙	ドラフト	フォト	CW-C4000Series_MattePaper_MaxSpeed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_MattePaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C4000Series_MattePaper_Speed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_MattePaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C4000Series_MattePaper_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_MattePaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_MattePaper_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_MattePaper_Quality_MK.icc

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
合成紙	ドラフト	フォト	CW-C4000Series_Synthetic_MaxSpeed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Synthetic_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C4000Series_Synthetic_Speed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Synthetic_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C4000Series_Synthetic_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Synthetic_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_Synthetic_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Synthetic_Quality_MK.icc
上質紙	ドラフト	フォト	CW-C4000Series_TexturePaper_MaxSpeed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_TexturePaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C4000Series_TexturePaper_Speed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_TexturePaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C4000Series_TexturePaper_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_TexturePaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_TexturePaper_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_TexturePaper_Quality_MK.icc
リストバンド用紙	ドラフト	フォト	CW-C4000Series_Wristband_MaxSpeed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Wristband_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C4000Series_Wristband_Speed_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Wristband_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C4000Series_Wristband_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_Wristband_Normal_MK.icc
光沢紙	普通	フォト	CW-C4000Series_GlossyPaper_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_GlossyPaper_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyPaper_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C4000Series_GlossyPaper_MaxQuality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyPaper_MaxQuality_MK.icc

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
光沢フィルム	普通	フォト	CW-C4000Series_GlossyFilm_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyFilm_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_GlossyFilm_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyFilm_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C4000Series_GlossyFilm_MaxQuality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_GlossyFilm_MaxQuality_MK.icc
高光沢紙	普通	フォト	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_Normal_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_Quality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_MaxQuality_BK.icc
		マット	CW-C4000Series_HighGlossyPaper_MaxQuality_MK.icc



一部の ICC プロファイルは、X-Rite Solutions で作成されています。

ICC プロファイルの作成手順

EPSON 純正以外のメディアを使用する場合は、メディアベンダーが提供している ICC プロファイルを購入する、または該当メディア用の ICC プロファイルを作成してください。

ICC プロファイルの作成には、測色機と ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）が必要です。
例)

- x-rite 社 (<https://xritephoto.com/>)
i1iO2（測色機）、i1Profiler（ICC プロファイル作成ツール）
- Datacolor 社 (<https://www.datacolor.com/>)
SpyderPrint（プリントキャリブレーションツール）

作成方法は使用する機材やソフトウェアによって異なるため、ここでは手順の概要を説明します。詳細はお使いの機材、ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

- 1** ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）を起動して、使用するメディアに測色用パッチチャートを印刷します。
- 2** 印刷したパッチチャートを測色機で測色します。
- 3** 測色結果から、ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）で ICC プロファイルを出力します。

色補正なし

〔色補正設定〕を〔色補正なし〕に選択していると、〔色補正設定〕ボタンは表示されません。

〔色補正なし〕はアプリケーションで色補正を行う場合に選択してください。アプリケーションでの色補正は、各種アプリケーションのヘルプやマニュアルを参照してください。

印刷しないラベルを発生させないための用紙加工

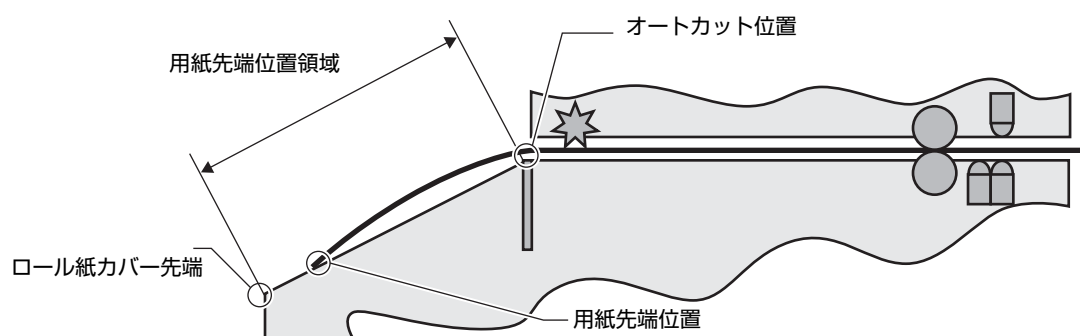
ダイカットラベル紙や連続紙（ブラックマーク基準）の場合、ラベルの1枚目を印刷しないで紙送りしたり、紙無し検出時にまだ印刷できるラベルが残っていたりすることがあります。ここでは、そのようなラベルを発生させないための、用紙の加工と設定方法について説明します。

給紙時に1枚目のラベルから印刷する

本製品は、ページの先頭を検出するため、用紙をセットした後に一定量の紙送りを行います。その結果、1枚目のラベルに印字できないことがあります。ここでは1枚目のラベルから印刷するための、用紙のセット方法と用紙の加工について説明します。

用紙のセット

給紙時に、ロール紙の先端がオートカット位置と排出テーブル先端の間にあることを確認し、ロール紙カバーを閉じます。



ロール紙

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- 連続紙（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ギャップ基準）

用紙加工方法

- 連続紙（ブラックマーク基準）

用紙先端から190～200 mmの位置に最初のブラックマーク先端を設けます。

用紙先端から190 mm未満の位置にはブラックマークを設けないでください。



- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）、ダイカットラベル（ギャップ基準）
用紙先端から 190 ～ 200 mm の位置に最初のラベル先端を設けます。
用紙先端から 190 mm 未満の位置にはラベル、およびブラックマークを設けないで、台紙のみの状態としてください。



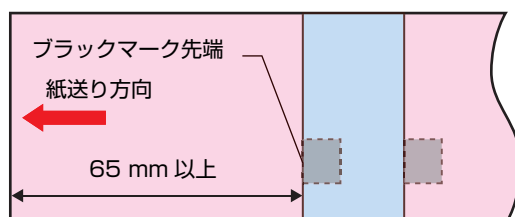
ファンフォールド紙

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

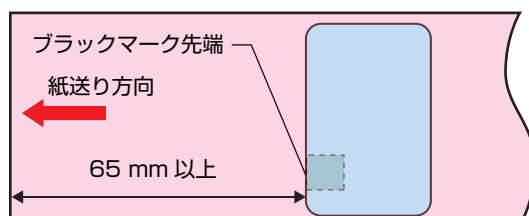
- 連続紙（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）

用紙加工方法

- 連続紙（ブラックマーク基準）
用紙先端から 65 mm 以上離れた位置に最初のブラックマーク先端を設けます。
用紙先端から 65 mm 未満の位置にはブラックマークを設けないでください。



- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
用紙先端から 65 mm 以上離れた位置に最初のラベル先端を設けます。
用紙先端から 65 mm 未満の位置にはラベル、およびブラックマークを設けないで、台紙のみの状態としてください。



最後のラベルに印刷する

用紙無し検出時にまだ印刷できるラベルが残っていることがあります。ここでは、セットした用紙の最後のラベルに印刷するための、用紙加工について説明します。

ロール紙の加工

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- 連続紙（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ギャップ基準）

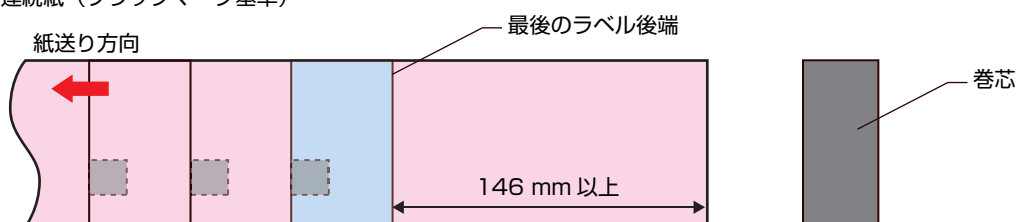
用紙加工方法

- 連続紙（ブラックマーク基準）、ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 146 mm 以上の余白を設けます。用紙後端から 146 mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。

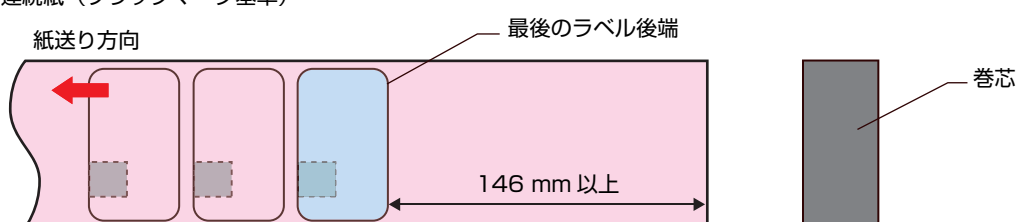


最後のチケットやラベルの印刷終了後、「ロール紙がセットされていません」というメッセージが表示され、本製品が停止します。用紙をセットしなおすと、印刷が再開されます。

連続紙（ブラックマーク基準）



連続紙（ブラックマーク基準）



- ダイカットラベル（ギャップ基準）

用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 146 mm 以上の余白を設けます。用紙後端から 146 mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。

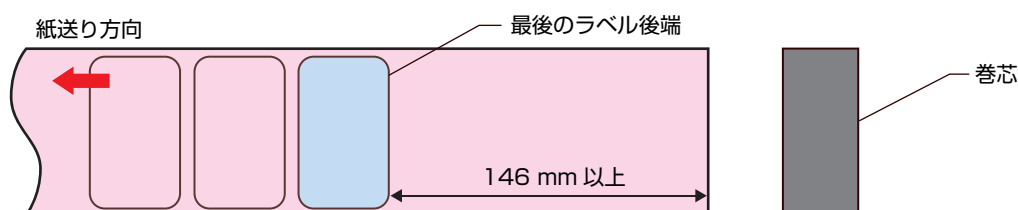


最後のチケットやラベルの印刷終了後、以下のメッセージが表示され、本製品が停止します。用紙をセットし直すと、印刷が再開されます。

<メッセージ>

「用紙検出方法」で設定された用紙が検出できません。設定された用紙をセットするか、「用紙設定」を変更してください。

ブラックマーク先端



ファンフォールド紙の加工

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- 連続紙（ブラックマーク基準）
- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）

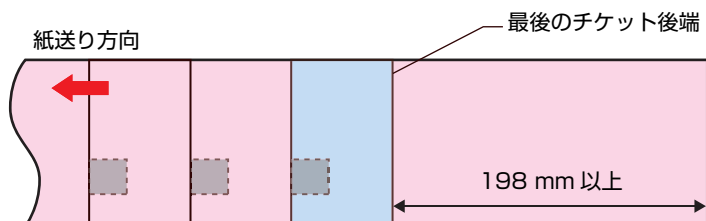
用紙加工方法

用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 198 mm 以上の余白を設けます。用紙後端から 198 mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。

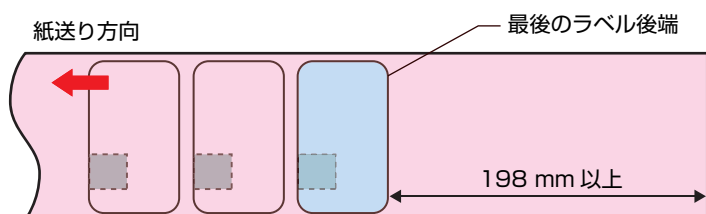


最後のチケットやラベルの印刷終了後、「ファンフォールド紙がセットされていません」というメッセージが表示され、本製品が停止します。用紙をセットし直すと、印刷が再開されます。

連続紙（ブラックマーク基準）



ダイカットラベル（ブラックマーク基準）



検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する

本機にはラベルの先端を検出するギャップ検出とブラックマーク検出の2つの検出器があります。センサーの感度やラベル検出のしきい値を調整すると、現時点でラベルの先端を検出できないラベルも使用可能になる場合があります。

操作パネルから実行します。

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施]

用紙検出(簡易)

ラベル検出しきい値を調整します。短時間で済むため、短いキャリブレーションの実施をおすすめします。

用紙検出

検出器の感度とラベル検出しきい値を調整します。短いキャリブレーションでラベルが検出できなかった場合に実施します。

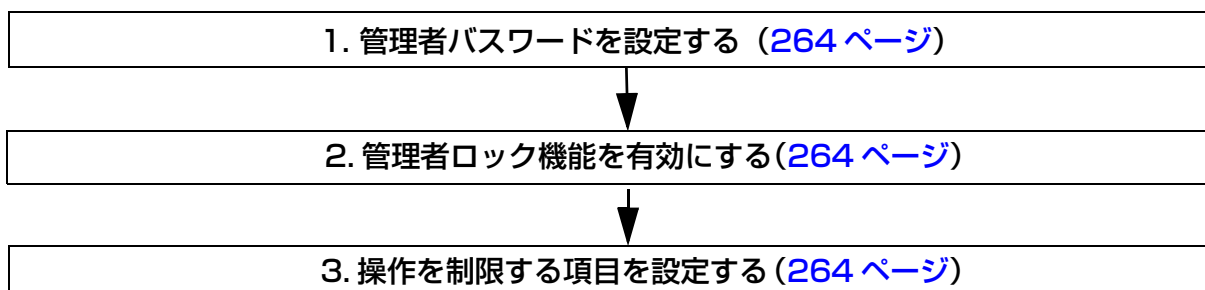
ラベルコマンドで用紙サイズ違いを検出する

ラベルコマンドを使用して印刷するユーザー向けの機能です。ラベルコマンドには用紙サイズ違いを検出するコマンドがあり、印刷前に用紙サイズ違いを検出したい場合にこの機能を使用します。

パネル操作を制限する(管理者ロック機能)

管理者ロック機能を使用すると、パネル操作でプリンターの用紙設定や印刷設定、システム管理に関する設定が不用意に変更されるのを防ぎます。

以下の手順で設定します。



以下の設定項目がロックできます。

- 本体設定 : ネットワーク設定や日付設定など、一度設定したらほとんど変更しない設定項目
- 用紙設定 : 用紙に関する設定項目
- プリンター設定 : プリンターの調整や保守、印刷に関する設定項目

ロックできる項目の詳細は [226 ページ「操作パネルの設定項目」](#) を参照してください。

管理者パスワードの初期値を確認する

管理者パスワードの初期値はプリンターの背面にあるパスワードラベルの有無で異なります。

- パスワードラベルがある場合
パスワードラベルの "PASSWORD" が初期値です。



この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。

- パスワードラベルがない場合
製品のシリアル番号が初期値です。
シリアル番号はステータスシートから確認できます。([32 ページ「ステータスシート印刷」](#))

管理者ロック機能を有効にする

あらかじめ管理者パスワードを設定してください。

- 1 [Menu] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [管理者設定] の順に選択します。
- 2 [管理者ロック] を [オン] に設定します。
パネル操作をロックできる項目が表示されます。

- 3 必要に応じて各項目で【オン】を選択して OK ボタンを押します。



「管理者ロック」を「オン」に設定すると、「管理者ロック」内の「本体設定」は自動的に「オン」に設定されます。
「管理者ロック」を「オン」の状態では「本体設定」を「オフ」にはできません。

- 4 確認画面が表示されるので【はい】を選択します。

これ以降、ロックした項目の設定を変更する場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。

管理者パスワードを変更する

- 1 [Menu] - [本体設定] - [管理者用設定] の順に選択します。
- 2 管理者パスワードを入力して画面内の【OK】を選択します。
- 3 [セキュリティ設定] - [管理者設定] - [管理者パスワード] - [変更] の順に選択します。
- 4 古いパスワードを入力して、画面内の【OK】を選択します。
- 5 新しいパスワードを入力して、画面内の【OK】を選択します。



新しいパスワードは、8 文字以上 20 文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

- 6 新しいパスワードを再入力して、画面内の【OK】を選択します。
- 7 メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。

管理者パスワードを初期化する

パスワードを忘れてしまった時には、下記の手順でパスワードを初期化してください。

- 1  (ホーム) ボタンを押してホーム画面に戻ります。
- 2  (戻る) ボタンと  (キャンセル) ボタンを同時に長押しします。
- 3 確認画面が表示されるので【はい】を選択します。
- 4 設定解除用パスワード「1234」を入力して、画面内の【OK】を選択します。
- 5 メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。

プリンターのクリーニング

本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。

外装のクリーニング

電源ケーブルをコンセントから取り外し、乾いた布か少し湿らせた布で汚れを拭き取ってください。



注意

汚れを除去する際には、アルコール*、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

* アルコールを使用する場合は “[消毒を目的とするアルコールを使用した外装のクリーニング](#)” を参照ください。

消毒を目的とするアルコールを使用した外装のクリーニング

以下の弊社にて確認を行った方法でクリーニングしてください。

クリーニングを始める前に、以下のものを準備してください。

- 消毒用アルコール
- 柔らかい布（アルコール消毒用、乾拭き用）
- 手袋（ビニール製）



注意

- 消毒用アルコールは濃度 70 ～ 80 vol%程度のエタノール、もしくは、濃度 70 vol%程度のイソプロパノールを使用してください。これら以外の薬品は弊社にて確認を行っておらず、使用すると製品の材質変質、変色、劣化、ヒビ割れの原因となるおそれがあります。
- 柔らかい布は無着色のマイクロファイバー布を使用してください。これ以外の布は弊社にて確認を行っておらず、使用すると製品の表面に傷がつくおそれがあります。
- 以下の場所は、消毒用アルコールを使用できません。乾いた柔らかい布を使用してください。

* コネクター部（電源、LAN ポート、USB ポート）

消毒用アルコールを使用すると、接触不良の原因となります。

* 製品に貼られたラベル

消毒用アルコールを使用すると、ラベルの印刷内容が消える原因となります。

* 操作パネル、前面カバーの透明部分

消毒用アルコールを使用すると、曇りが発生し、操作パネルや製品内部が見えにくくなる原因となります。

* AC アダプター

消毒用アルコールを使用すると、電子部品をショート・劣化・破損させ、感電・火災の原因となるおそれがあります。

以下の手順でクリーニングしてください。

- 1 本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。
- 2 消毒用アルコールを柔らかい布にしみこませて、軽く湿らせた状態でやさしくゆっくりと拭いてください。
清掃後は、消毒用アルコールが残らないように乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

**注意**

- 清掃作業は、常温環境下で行って下さい。高温環境下では消毒用アルコールにより、製品の表面に材質変質・変色・劣化・ヒビ割れ発生する可能性があります。
- 製品に消毒用アルコールのスプレーを直接かけたり、布から消毒用アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。また、操作パネルのボタン類、カバー類などの隙間から内部に消毒用アルコールが入らないようにしてください。消毒用アルコールが製品内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 製品を強くこすったり、同じ箇所を繰り返し拭いたりしないでください。製品の表面が変質したり損傷したりして修復不可能になる可能性があります。
- 消毒用アルコールによる清掃は、1日3回以下にしてください。
- 電源プラグの接続、電源操作は、消毒用アルコールが完全に乾燥してから行ってください。

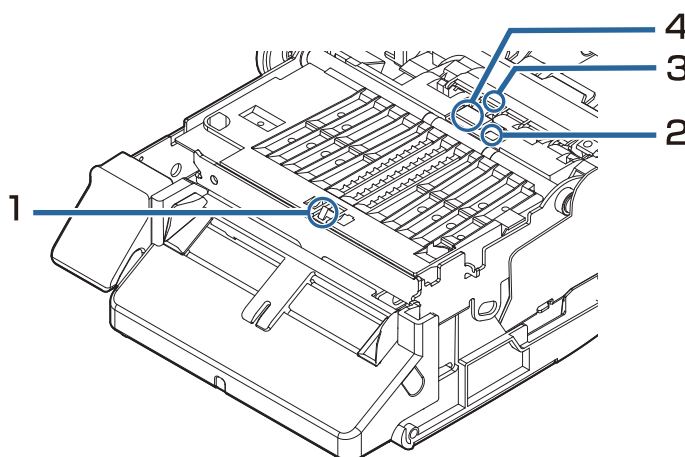
プラテンのクリーニング

プラテンにインクが付着していると、手や用紙が汚れる原因となります。また、プラテン上の穴が汚れで塞がっていると、プリンター内にインク汚れが発生することがあります。

不織布および綿棒を使用し、以下の手順でプラテンをクリーニングします。

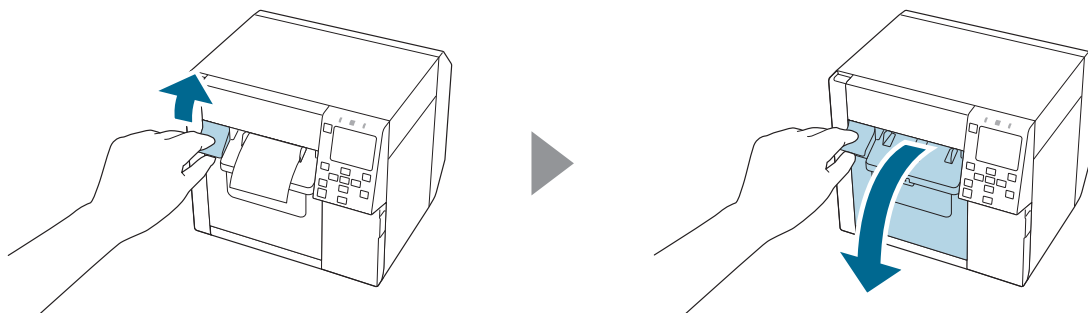
**注意**

- 水やアルコールは使用しないでください。
- プラテン上のシャッターの位置が変化しないようにしてください。シャッターを正しく開閉しないと、用紙詰まりや用紙汚れの原因となります。
- 4つの検出器を、変形または破損させないよう注意してください。

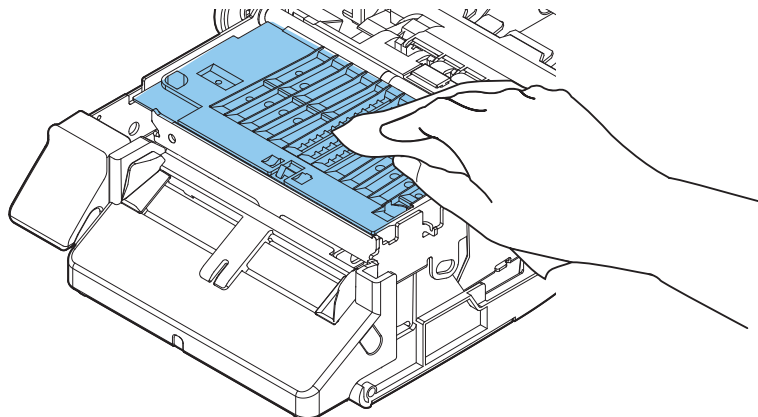


1 本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。

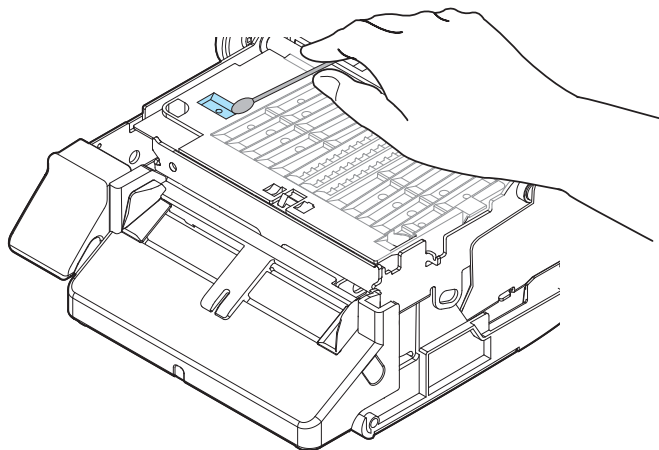
2 前面カバーを開けます。



- 3 ロール紙または、ファンフォールド紙を取り出します。
- 4 プラテンクリーニング用不織布を使用し、プラテンをクリーニングします。



- 5 綿棒を使用し、穴や周囲の汚れをクリーニングします。穴が塞がっている場合は汚れを落として必ず貫通させてください。

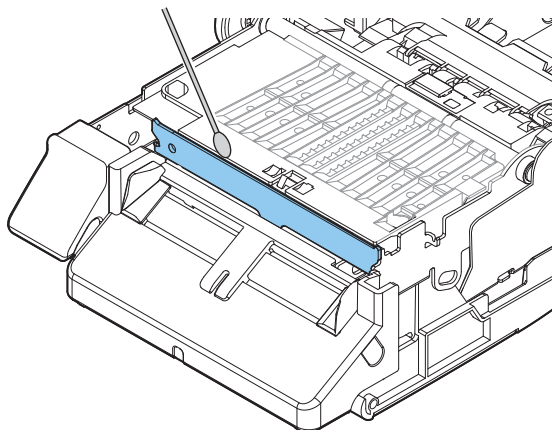


- 6 前面カバーを閉じます。

オートカッターのクリーニング

オートカッター固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でクリーニングしてください。

- 1 本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。
- 2 前面カバーを開き、用紙を取り除きます。
- 3 前面カバー側のオートカッター固定刃に付着した粘着物を取り除きます。
アルコールを含ませた綿棒などで取り除いてください。



注意

- オートカッター固定刃のエッジ部分に、指を直接触れないでください。
指をけがするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 清掃箇所以外にアルコールを付着しないようにご注意ください。

プリンター内部のクリーニング(内部供給で使用了した場合)

内部供給でラベル紙を印刷すると、プリンター内部にラベル紙の粘着剤が付着して印刷品質が低下する場合があります。

以下の手順でクリーニングしてください。

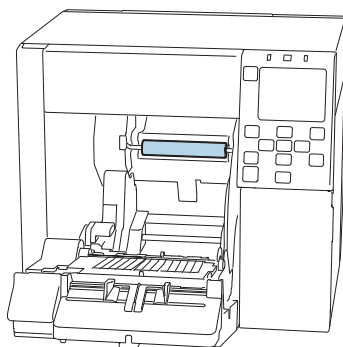
1 本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。

2 前面カバーを開き、用紙を取り除きます。

3 ローラーに付着した粘着物を取り除きます。

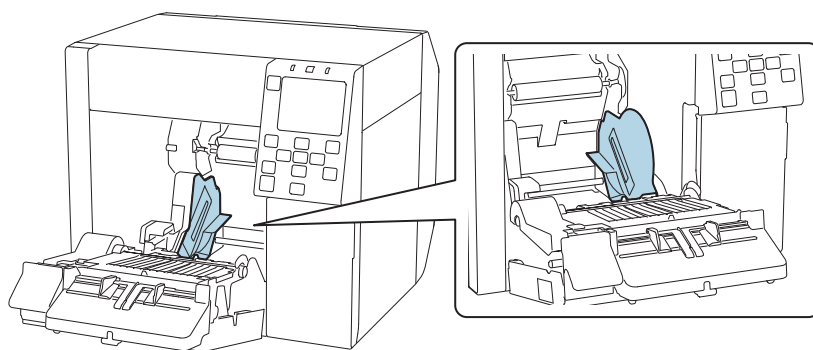
アルコール（推奨：エタノール 80 vol%以下）を含ませた布などで取り除いてください。

ローラーを手で回転させながら、付着した粘着物を取り除き、ローラー全体をクリーニングします。



4 用紙ガイドの内側に付着した粘着物を取り除きます。

アルコール（推奨：エタノール 80 vol%以下）を含ませた布などで取り除いてください。



注意

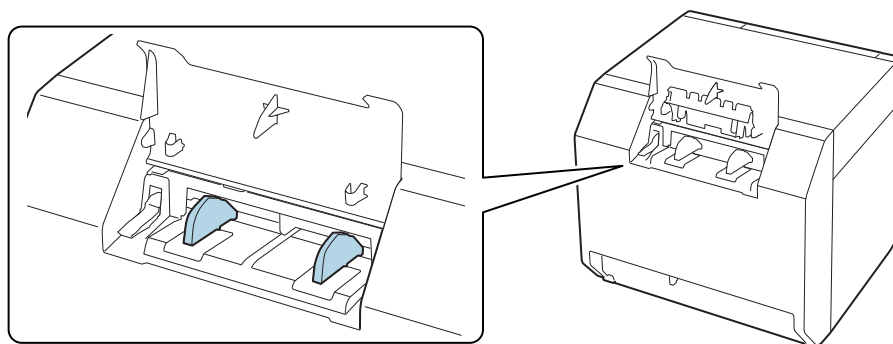
- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 清掃箇所以外にアルコールを付着しないようにご注意ください。

プリンター内部のクリーニング(外部供給で使用了した場合)

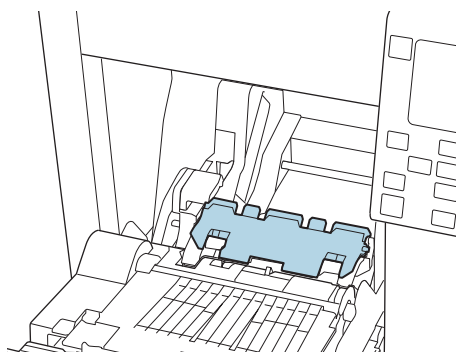
外部供給でラベル紙を印刷すると、プリンター内部にラベル紙の粘着剤が付着して印刷品質が低下する場合があります。

以下の手順でクリーニングしてください。

- 1 本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。
- 2 前面カバーを開きます。
- 3 背面カバーを開き、用紙を取り除きます。
- 4 ファンフォールド紙ガイドの内側に付着した粘着物を取り除きます。
アルコール（推奨：エタノール 80 vol%以下）を含ませた布などで取り除いてください。



- 5 紙送りガイドに付着した粘着物を取り除きます。
アルコール（推奨：エタノール 80 vol%以下）を含ませた布などで取り除いてください。



注意

- 紙送りガイドは強く押さないでください。紙送りガイドが外れたり、破損したりするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 清掃箇所以外にアルコールを付着しないようにご注意ください。

プリントヘッドのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。

**重要**

ノズルチェックパターンを印刷するときは、幅 21.4 mm (0.84 インチ) 以上、長さ 38.6 mm (1.52 インチ) 以上の用紙をセットしてください。

ノズルチェックパターン印刷に必要な用紙残量

連続紙・全面ラベル

用紙幅が 21.4 mm (0.84 インチ) ~ 39.0 mm (1.54 インチ) の場合 : 273.5 mm (10.77 インチ)
用紙幅が 39.1 mm (1.54 インチ) 以上の場合 : 197.4 mm (7.77 インチ)



ブラックマーク検出が有効のままノズルチェックパターンを印刷すると、必要な用紙残量が増える場合があります。ブラックマークがある用紙も、ブラックマークを検出しない設定にして印刷することをおすすめします。

ダイカットラベル(同梱ロール紙)

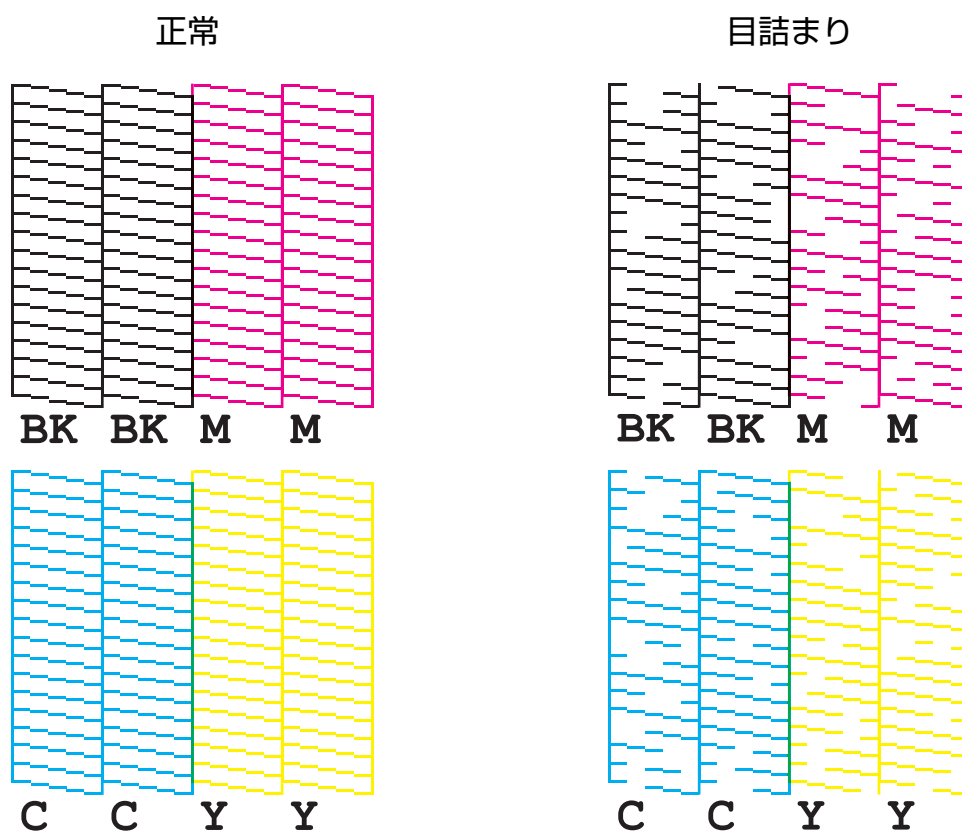
同梱ロール紙の場合はラベル 2 枚でノズルチェックパターンを印刷できます。

同梱ロール紙 : 用紙幅 108.0 mm (4.25 インチ) , 用紙長さ 174.8 mm (6.88 インチ) , ページ間距離 3.0 mm (0.12 インチ)



ダイカットラベルでノズルチェックパターンを印刷すると、用紙幅、用紙長さ、ページ間距離により、必要な用紙残量は異なります。組み合わせによっては、最大 531 mm (20.9 インチ) の用紙長さが必要になるため、連続紙や全面ラベル、または同梱のロール紙を使用することをおすすめします。

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン



ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

ノズルチェックパターンの印刷

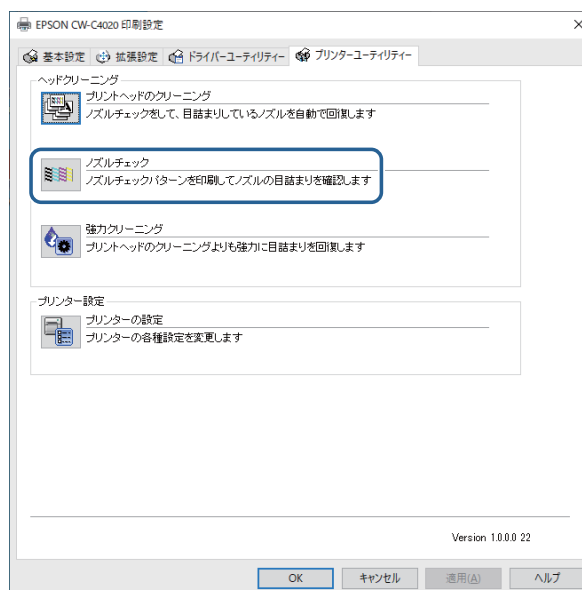
ノズルチェックパターンは操作パネルやプリンタードライバーのノズルチェック機能から印刷できます。

操作パネルから印刷する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック]

プリンタードライバーから印刷する

[プリンターユーティリティ] タブの、[ノズルチェック] をクリックします。



ヘッドクリーニング

ノズルが目詰まりしているときはプリントヘッドのクリーニングをしてください。プリントヘッドのクリーニングを実行してもノズル抜けが改善しないときは、強力クリーニングを行ってください。

以下の手順でプリントヘッドのクリーニングができます。



重要

- ヘッドクリーニング中は電源を切ったり、カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングができないことがあります。インクカートリッジを交換してから実行してください。(43 ページ「[インクカートリッジの交換](#)」)
- 強力クリーニングはプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクを消費します。

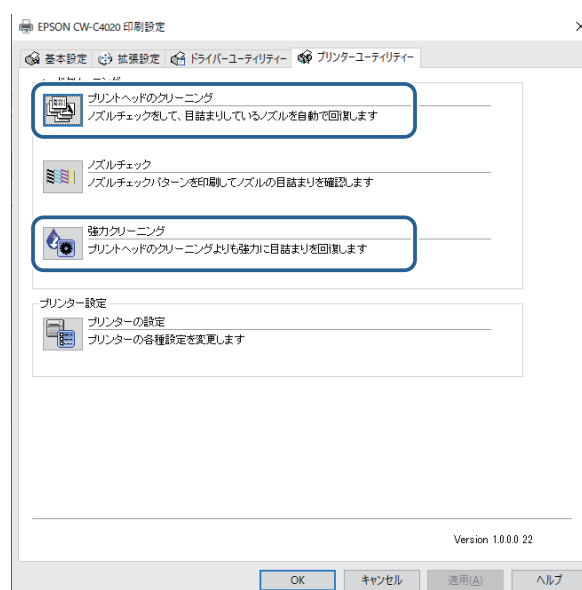
操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング]

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [強力クリーニング]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティ] タブの、[プリントヘッドのクリーニング] または [強力クリーニング] をクリックします。



WebConfig から実行する

[メンテナンス] タブの [ヘッドクリーニング] を選択します。クリーニングの種類を [自動] または [強力クリーニング] から選択した後で [開始] をクリックします。

WebConfig については、235 ページ「[WebConfig](#)」を参照してください。

インク充填後の本製品の保存

本製品の長期保存

本製品を、インク充填後（使用開始後）に長期間使用しない場合、以下の手順に従って保存してください。

- 1 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないことを確認します。ドット抜けなどの印字不良が発生している場合には、ヘッドクリーニングを行ってください。

79 ページ「印字確認」を参照



注意

ドット抜けが発生している状態のまま本製品を保存すると、ノズル内のインクが固まってノズルが詰まり、再稼動時に印字不良の回復が困難になるおそれがあります。



インク充填後に本製品を輸送した場合、振動などにより、ドット抜けが発生している場合があります。

- 2 印刷終了後、（電源）ボタンを押して本製品の電源を切ります。



注意

本製品の長期保存の前に電源を切るときは、必ず（電源）ボタンを押してください。

- 3 本製品を冷暗所にて保管します。
製品の保管場所の環境については、337 ページ「環境仕様」を参照してください。



注意

本製品の保存期間は、6ヵ月です。



インクカートリッジは挿入したまま保管してください。

-10℃以下の環境での輸送や保存(マットインク仕様の場合)

環境温度が-10℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。-10℃以下になると想定されるときは、事前に以下の手順でインク排出をしてください。



重要

- 実施すると、排出されたインクがメンテナンスボックスに溜まるため、メンテナンスボックスに十分な空き容量が必要です。空き容量が少ないときは、交換用のメンテナンスボックスを用意してから作業を開始してください。
- インク排出は 5 ～ 35℃の環境下で実施してください。
- インク排出中にカバー類を開けたり、電源を切ったりしないでください。

- 1 用紙がセットされているときは、すべて取り外します。
- 2 操作パネルから以下の手順でインク排出します。
[Menu]-[プリンターのお手入れ]-[インク排出]
- 3 「インク排出」を選択すると確認画面が表示されるので「開始」を選択します。
インク排出が開始され、排出が終わると自動でプリンターの電源が切れます。



次回プリンターを使用するときには、インクの再充填が必要です。
電源を入れると再充填の確認画面が表示されます。[OK] を選択すると充填を開始します（所要時間約 5 ～ 14 分）。充填が終わるとホーム画面が表示されます。

本製品の再稼働

長期保存後の本製品を再稼働する場合、以下の手順に従ってください。

- 1 インクカートリッジの使用期限が切れていないか確認します。



以下の場合にはインクカートリッジを交換してください。
インクカートリッジの交換方法は [42 ページ「インクカートリッジの取り付け」](#) を参照

- インクカートリッジが製造後 3 年を超えている
- インクカートリッジをプリンターに装着後 6 ヶ月を超えている

- 2 本製品の電源を入れます。
ノズル自己診断システムによりノズル詰まり検出とヘッドクリーニングが行われます。



注意

ヘッドクリーニング動作中は、本製品の電源を切ったり、インクカートリッジカバー、前面カバー、用紙カバー、メンテナンスボックスカバーを開けたりしないでください。

- 3 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認します。

輸送時の処置

以下の点に注意して、本製品を輸送します。



注意

- 本製品を輸送する際は、用紙を取り外してください。
- 本製品を輸送する際は、インクカートリッジおよびメンテナンスボックスを取り外さないでください。
- 本製品を輸送する際は、 (電源) ボタンで電源を切ってから、輸送してください。
- 本製品を輸送する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本製品を輸送する際は、上下逆さま、もしくは横倒しにしないでください。

トラブルシューティング

画面にメッセージが表示された

画面表示	対応方法
案内 給紙に失敗しました。 ファンフォールド紙をセットするか、 給紙方法を変更してください。	[給紙方法]、[用紙形態]の設定に合った用紙を使用してください。 または、用紙に合わせて[給紙方法]、[用紙形態]を設定し直してください。 (88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」)
案内 [用紙検出方法]で設定された用紙が検出できません。 設定された用紙をセットするか、[用紙設定]を変更してください。	[用紙検出方法]の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて[用紙検出方法]を設定し直してください。 (88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」)
(ホーム画面上) 用紙をセットしてください。	用紙をセットしてください。 (64 ページ「用紙のセット」)
案内 セットされている用紙のサイズが設定と異なる可能性があります。	印刷領域のサイズにあった用紙をセットしてください。または、用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。 (64 ページ「用紙のセット」)
用紙なし ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。 (64 ページ「用紙のセット」)
用紙なし ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙をセットしてください。 (64 ページ「用紙のセット」)
案内 用紙が詰まりました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 (294 ページ「用紙が詰まった」)
案内 用紙のセット手順が正しくありません。 セットし直してください。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 (77 ページ「用紙を取り除く」、64 ページ「用紙のセット」)
案内 キャリブレーションに失敗しました。 [了解]を押してから、用紙をセットし直すか用紙を変更してください。	設定している検出器に用紙が対応しているか確認し、用紙をセットし直してください。 (77 ページ「用紙を取り除く」) ページ間距離が 6 mm を超えると、キャリブレーションできません。 (322 ページ「用紙仕様」) 再度エラーが発生する場合は、検出器の特性上お使いの用紙に対応できません。用紙を変更してください。
案内 カット済みのため、カットできません。	一度カットした位置でもう一度カットボタンを押すと表示されます。 印刷するか、フィードボタンを押して用紙を送り出すことでカットできるようになります。
メンテナンスエラー インクカートリッジが正しくセットされていません。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)

画面表示	対応方法
(ホーム画面上でインク残量に[!]が付く)	インクカートリッジ交換時期が近い場合、交換用のインクカートリッジを準備します。 インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。 印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。 許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」) 取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。
案内 インク量が限界値以下のためインクカートリッジ交換が必要です。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
メンテナンスエラー インクカートリッジが認識できません。 対応方法をご確認ください。	インクカートリッジを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
案内 純正品ではありません。	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。 純正品以外の品質や信頼性について保証できません。 非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
案内 本製品用のインクカートリッジではありません。	本製品用ではありません。カートリッジが認識されないなどのエラーが発生する可能性があります。
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが装着されていません。 型番：SJMB4000	新しいメンテナンスボックスを取り付けてください。 (46 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが認識できません。 型番：SJMB4000	メンテナンスボックスを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。 (46 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
(ホーム画面上) メンテナンスボックスの交換時期が近付いています。	メンテナンスボックス交換時期が近い場合、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。」と画面に表示されたら、メンテナンスボックスを交換してください。 (46 ページ「メンテナンスボックスの交換」)

画面表示	対応方法
メンテナンスエラー メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。 型番：SJMB4000	交換用メンテナンスボックスを取り付けてください。 (46 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
案内 メモリー不足のため印刷できませんでした。	システム管理者に問い合わせ、不要なファイルを削除してください。
プリンターエラー 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	1. 製品の電源を切ります。 2. 排紙口付近に紙詰まりや異物がないことを確認します。 3. 製品の電源を入れます。 再度プリンターエラーが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXXX」(6桁または8桁の英数字コード番号)を必ず伝えてください。
案内 インク残量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要なインク残量が不足していてもプリンターは使用できます。	クリーニングを実施するときは、十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
案内 一時停止中 ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。	ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。許容できないときはプリントヘッドのクリーニングを行ってください。 (272 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)

画面表示	対応方法
エラーメッセージ ご利用のネットワークとプリンターの接続環境が不安定です。 IEEE802.3az(省電力イーサネット)機能を[オフ]にすると解決できる可能性があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット)に対応した機器を使って有線 LAN 接続する場合、接続したりしなかったりして不安定になる、接続できなくなる、通信速度が遅くなる場合があります。 以下の手順で、コンピューターとプリンターの IEEE802.3az を無効にして接続してください。 1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっている LAN ケーブルを外します。 2. コンピューターの IEEE802.3az が有効になっている場合は、無効にします。 3. LAN ケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。 4. プリンターで、[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] で、プリンターの IP アドレスを確認します。 5. コンピューターで、Web Config を起動します。 ウェブブラウザを起動し、プリンターの IP アドレスを入力してください。 6. [ネットワーク設定] タブ - [有線 LAN] の順に選択します。 7. [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。 8. [次へ] をクリックします。 9. [設定] をクリックします。 10. コンピューターとプリンターにつながっている LAN ケーブルを外します。 11. 手順 2 でコンピューターの IEEE802.3az を無効にした場合は、有効にします。 12. 手順 1 で外した LAN ケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。 上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

印刷品質の低下

状態	原因	対応方法
横方向に白スジが印刷される	「ドット抜け」が発生しています。	ノズルチェックを使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。 (79 ページ「印字確認」) ノズルの目詰まりが発生している場合、ヘッドクリーニングを実行してください。 (272 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)
白スジや黒スジが印刷される	用紙が正しくセットされていません。	用紙をセットし直してください。(64 ページ「用紙のセット」)
	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。(81 ページ「プリンタードライバー (Windows)」)
	用紙によっては紙送り量が変わるため、白スジや黒スジが見られる場合があります。	紙送りのズレを調整してください。PrinterSetting のプリントヘッドの調整から設定できます。(204 ページ「プリントヘッドの調整」)
紙送り方向に対して前後に余白ができる	仕様を満たさない紙厚のダイカットラベル（ブラックマークなし）を使用すると、プリンターがラベルを適切に検出できず、紙送り方向に対し前後に余白ができる場合があります。	PrinterSetting で、印刷開始位置の調整（垂直方向）で調整してください。前の余白を埋める場合は（－）、後ろの余白を埋める場合は（＋）方向へ調整値を入力します。(191 ページ「位置を調整する」)
印刷がぼやける・文字が二重になる	用紙外側のプラテン上のシャッターが開いています。	用紙外側のプラテン上のシャッターが開いている場合、気流により印刷が乱れ外側の印刷がぼやける場合があります。プリンター天面ラベルの指示に従いプラテン上のシャッターを設定してください。 (75 ページ「シャッターの調整」)
	用紙によっては、紙厚が変わるため印刷がぼやける場合があります。	PrinterSetting で、双方向印刷のズレを調整してください。(204 ページ「プリントヘッドの調整」)
印刷された色がおかしい	初期充填後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（混色）があります。	プリントヘッドのクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。(272 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)

状態	原因	対応方法
印刷位置がずれる	用紙ガイド幅と用紙幅が合っていない	用紙ガイド幅を用紙幅に合っているか確認してください。 (64 ページ「用紙のセット」)
	用紙が中央にセットされていません	用紙をセットしたときに用紙が中央からずれてセットされた場合、用紙セット直後の印刷が横方向にずれる場合があります。 用紙ガイドを使用し、用紙を中央にセットするか、用紙を送ってから印刷を開始してください。
	用紙の終端が近づいています	用紙の終端が近づくと、印刷が横方向にずれる、またはぼやける場合があります。 新しい用紙に交換してください。
用紙が汚れる・インクが付着する	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。(81 ページ「プリンタードライバー (Windows)」)
	ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。	プリントヘッドのクリーニングを実行してしてください。 (272 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)
	用紙によっては、プラテンの吸引力が足りずに用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れる場合があります。	プラテン吸引力手動設定が必要な場合があります。プリンタードライバーから以下の手順で手動設定を有効にできます。 1. プリンタードライバーの「基本設定」タブを表示します。 2. 用紙設定項目内の「詳細設定」をクリックします。 詳細設定ウィンドウが開きます。 3. 用紙調整項目内の「用紙吸引力手動設定」へチェックを入れます。 手動設定が有効になります。 4. スライダーを移動してプラテン吸引力を調整します。
	用紙幅とプラテン上のシャッターが合っていない	用紙幅とプラテン上のシャッターが合っていない場合、用紙が浮くことで用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れる場合があります。プリンター天面ラベルの指示に従いプラテン上のシャッターを設定してください。 (75 ページ「シャッターの調整」)
印刷データが切れる・オートカット位置がずれる・剥離位置がずれる	お使いの用紙と用紙定義（寸法設定）が合っていない	用紙とプリンタードライバーの用紙定義が合っていないと、正しい位置に印刷されない場合があります。 用紙定義を正しく設定してください。(90 ページ「ユーザー定義用紙」)
	用紙の違いなどにより、印刷位置・用紙の停止位置がずれる場合があります。	PrinterSetting で、印刷開始位置を調整してください。(191 ページ「位置を調整する」)

印刷できない

状態	原因	対応方法
用紙の自動給紙が開始されない	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： 全面ラベル（ブラックマーク無し）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。（88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」）
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： ダイカットラベル（ギャップ基準）	用紙の透過率が仕様外です。	用紙の透過率が異なり、ギャップを認識できない場合があります。ギャップ検出には赤外光を使用しており、台紙の赤外光透過率が規定値以上、ラベル部の赤外光透過率が規定値以下である必要があります。用紙の仕様を確認し、プリンター仕様に合った用紙を使用してください。（322 ページ「用紙仕様」）また、ラベル間距離検出センサーの調整により認識できる場合があります。操作パネルから [Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施] - [用紙検出（簡易）] を実施してください。解決しない場合は、[用紙検出] を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： 全面ラベル（ブラックマーク基準）、ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。（88 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」）
	ブラックマークが仕様外です。	ブラックマークの反射率が規定値よりも高い場合、ブラックマークを認識できない場合があります。ブラックマーク検出には赤外光を使用しており、赤外光反射率が規定値以下である必要があります。ブラックマーク印刷の仕様を確認し、プリンター仕様に合ったブラックマークを使用してください。また、ブラックマーク検出センサーの調整により認識できる場合があります。操作パネルから [Menu] - [プリンターのお手入れ] - [キャリブレーションの実施] - [用紙検出（簡易）] を実施してください。解決しない場合は、[用紙検出] を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

ネットワーク接続診断のエラー

印刷した診断レポートに表示されているエラー番号を確認し、番号に応じた対処を行ってください。
印刷方法は（34 ページ「ネットワークの接続状態や設定情報を確認する」）を参照してください。

エラーコード

エラー番号	対応方法
E-1	- LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。 - ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
E-2 E-3 E-7	- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。 - コンピューターやその他の機器とアクセスポイントが正常に通信できているか確認してください。 - プリンターとアクセスポイントは近くに置いてください。間にある障害物は取り除いてください。 - SSID を直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。 - プッシュボタン自動設定で設定するときはアクセスポイントが AOSS/WPS に対応しているか確認してください。AOSS/WPS に対応していないとプッシュボタン自動設定はできません。 - SSID に ASCII 文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII 文字以外の文字列が含まれた SSID は表示できません。 - アクセスポイントに接続する場合は、SSID とパスワードを事前に確認してください。もし、アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、SSID とパスワードはアクセスポイントのラベルなどに書かれています。SSID とパスワードがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。 - スマートデバイスなどのテザリング機能で生成した SSID に接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどで SSID とパスワードを確認してください。 - 無線 LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなったときは、以下を確認してください。当てはまるときは、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ * お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）で設定したか * この無線 LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか * 株式会社バッファロー製のアクセスポイントで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか
E-5	アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。 - WEP-64 bit (40 bit) - WEP-128 bit (104 bit) - WPA PSK (TKIP/AES)* - WPA2 PSK (TKIP/AES)* - WPA (TKIP/AES) - WPA2 (TKIP/AES) - WPA3 SAE (AES)* *: WPA PSK は WPA Personal、WPA2 PSK は WPA2 Personal、WPA3 SAE は WPA3 Personal と呼ばれます。

エラー番号	対応方法
E-6	• MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターの MAC アドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。プリンターの MAC アドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。 • アクセスポイントの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
E-8	• プリンターの TCP/IP 設定を自動設定にしているときは、アクセスポイントの DHCP を有効にしてください。 • プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Config から設定してください。
E-9	以下を確認してください。 • プリンターを利用する機器の電源が入っているか • プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか 問題がないときは、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/
E-10	以下を確認してください。 • ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか • プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。 DHCP を有効にしているときは、プリンターの TCP/IP 設定で IP アドレスを自動設定にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動設定を選択して設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。
E-11	以下を確認してください。 • プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか • デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

エラー番号	対応方法
E-12	以下を確認してください。 - ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか - 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか - 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか - 他の機器の IP アドレスと重複していないか 問題がないときは、以下をお試しく下さい。 - プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ - セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。
E-13	以下を確認してください。 - ネットワーク機器（アクセスポイント、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか - プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。） 問題がないときは、以下をお試しく下さい。 - プリンターが接続しているネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下の Web サイトから入手できます。 https://epson.jp/ - セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
指定のネットワーク（SSID）が複数見つかりました。ご確認ください。	複数のアクセスポイントに同じ SSID が設定されている可能性があります。アクセスポイントの設定を確認し、SSID を変更してください。
無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動して、アクセスポイントの電源を入れ直します。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプル AP）接続で同時接続できる無線機器は 8 台までです。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。

ネットワークに接続できない

無線 LAN 接続でネットワーク機器に何らかの問題がある

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。

機器と無線 LAN ルーターが離れていて電波が届いていない

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線 LAN ルーターの近くに移動して、無線 LAN ルーターの電源を入れ直してください。

無線 LAN ルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない

新しい無線 LAN ルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

接続している SSID がコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっている

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続している SSID とプリンターが接続している SSID が異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスを同じ SSID に接続してください。

無線 LAN ルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっている

多くの無線LANルーター（アクセスポイント）やモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じ SSID に接続されていてもプリンターとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

IP アドレスが正しく割り当てられていない

IP アドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IP アドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで、[設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] の順に選択して、プリンターに割り当てられている IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線 LAN ルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

コンピューターのネットワーク設定に問題がある

コンピューターからウェブサイトを開覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの画面にメッセージが表示された

以下の画面が表示された場合は、画面の指示に従って対処してください。



コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

- 1 コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。
- 2 本製品のプリンター名が表示されているか確認します。
表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。
- 3 プリンタードライバーをインストールします。
([346 ページ「ドライバー、ユーティリティ、マニュアルのダウンロード」](#))

プリンターとコンピューターを再接続

- 1 ケーブルの接続を確認します。
電源 / USB / 有線 LAN の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。
無線接続していた場合は、無線 LAN ユニットが正しく挿入されているかを確認します。
- 2 すべての機器を再接続します。
USB 接続の場合
 - USB ケーブルをいったん抜き、再度接続します。
 - コンピューターに複数の USB コネクターがある場合、別のコネクターに差し替えます。有線 LAN の場合
 - 有線 LAN で接続されている機器が不安定になっている可能性があるため、ネットワークを再起動します。
 - すべての機器の電源を切ります。
 - 約 10 秒待ってからネットワーク機器、コンピューター、プリンターの順に電源を入れます。無線 LAN の場合
 - オプションの無線 LAN ユニットのいったん抜き、再度接続します。
 - 全ての機器の電源を切ります。
 - 約 10 秒待ってから無線 LAN ルーター(アクセスポイント)、コンピュータープリンターの順に電源を入れます。
- 3 コンピューターからプリンターにデータが送信されているか確認します。
確認方法は [292 ページ「印刷データの確認」](#) を参照してください。

デバイスとプリンターの確認

「デバイスとプリンター」に使用するプリンターのアイコンが表示されていない場合は、デバイスを削除してしまった可能性があります。以下の方法で回復させます。

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 USB ケーブルをコンピューターから抜きます。
- 3 10 秒間待って USB ケーブルをコンピューターに接続します。
- 4 プリンターの電源を入れます。
「デバイスとプリンター」の一覧に使用するプリンターのアイコンが表示されます。

印刷データの確認

コンピューターからプリンターに印刷データが送られていない場合、「印刷ジョブ」としてコンピューター内に残っていることや、「印刷の一時停止」、「オフライン」設定になっていることが原因として考えられます。以下の手順で確認してください。

- 1 コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。
- 2 本製品を、通常使うプリンターに設定します。
使用するプリンターのアイコンを右クリックし、通常使うプリンターに設定をクリックします。
何度もプリンタードライバをインストールすると、プリンタードライバのコピーが作成されることがあります。
アイコンが複数あり、「CW-C4020 (コピー 1)」などのコピーができている場合、コピーされたドライバのアイコン上で右クリックして、デバイスの削除をクリックして削除してください。
- 3 テスト印刷して、印刷データがプリンターに送られているか確認します。
使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、プリンターのプロパティをクリックします。
- 4 プリンタードライバのプロパティ画面が表示されます。[全般] タブのテストページの印刷をクリックします。
テスト印刷できた場合、コンピューターからプリンターにデータが送信されていることが確認できました。
- 5 印刷ジョブを表示します。使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、印刷ジョブの表示をクリックします。
- 6 画面が表示されます。印刷ジョブを確認します。
印刷データが表示されている場合、プリンター - すべてのドキュメントの取り消しを選択します。
印刷データが削除できない場合は、コンピューターを再起動してください。
- 7 プリンターが一時停止または、プリンターをオフラインで使用する設定になっていないか確認します。
プリンターを選択し、一時停止およびプリンターをオフラインで使用するにチェックが入っていないか確認します。チェックが入っていた場合、チェックを外します。

電源がオンにならない

電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。(39 ページ「電源ケーブルの接続」)

PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない

コンピューター上で「印刷ジョブの表示」画面から印刷ジョブのキャンセルを行った場合、データが途中で途切れ、プリンター本体のパネル表示が「印刷中」のままとなる可能性があります。

この状態を解除するには、操作パネルの  (ポーズ) ボタンを押した後で、 (キャンセル) ボタンを押し、[すべてのフォーマット] を行ってください。

上記の操作をしてもキャンセルできない場合は、プリンターを再起動してください。

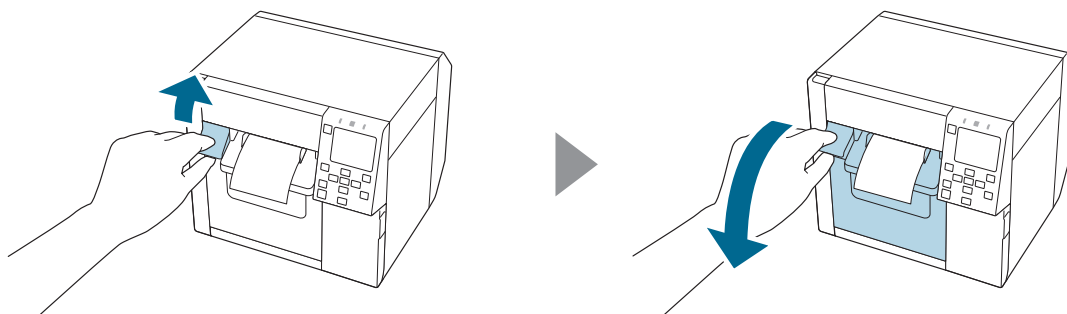
エラーを知らせるブザー音が止まらない

プリンターのエラー発生時にブザー音が鳴るように設定し、連続鳴動を有効にしている場合は、操作パネルの  (ホーム) ボタンまたは  (戻る) ボタンのいずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。

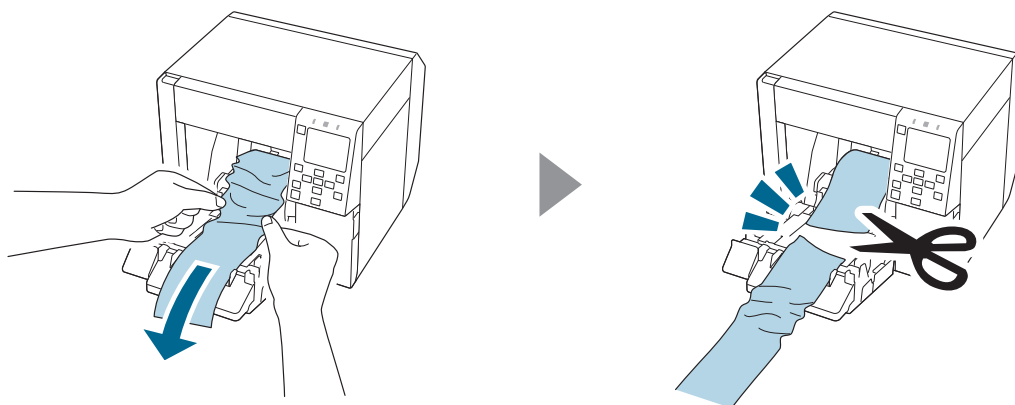
用紙が詰まった

ロール紙が詰まった

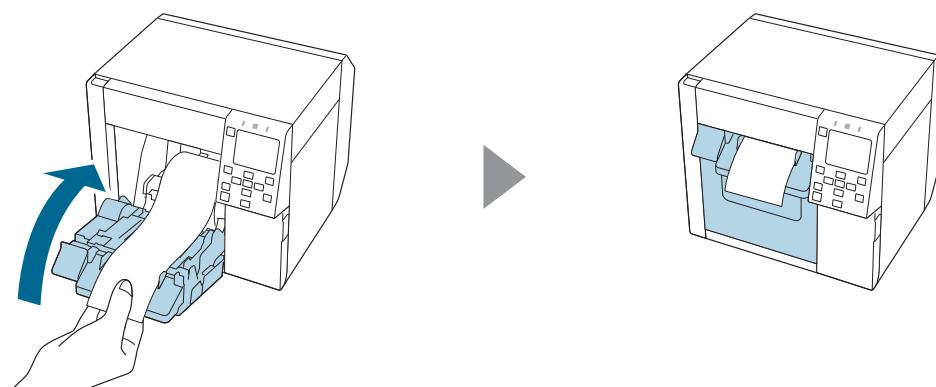
- 1 前面カバーを開けます。



- 2 詰まった用紙を取り除きます。

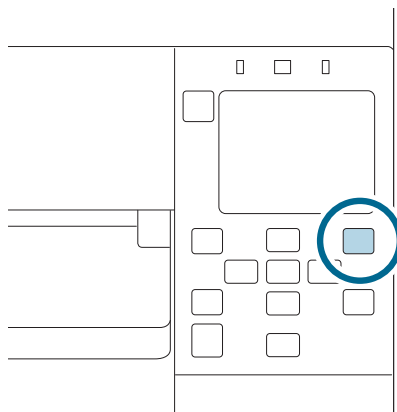


- 3 ロール紙の先端を引き出して、前面カバーを閉めます。



4 II (ポーズ) ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



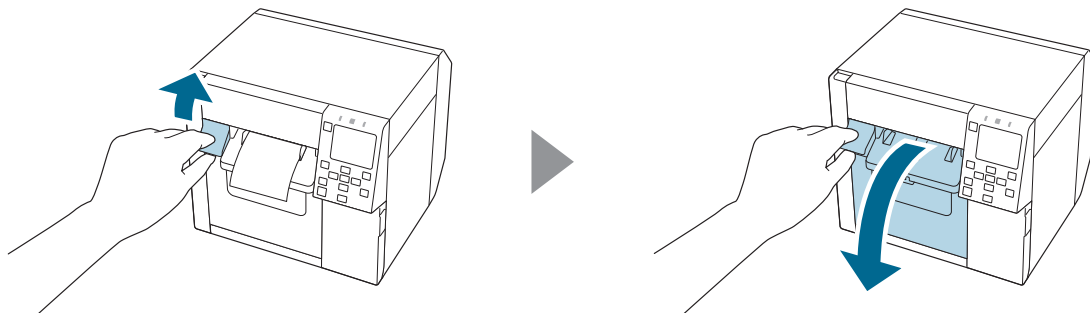
詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。

頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。

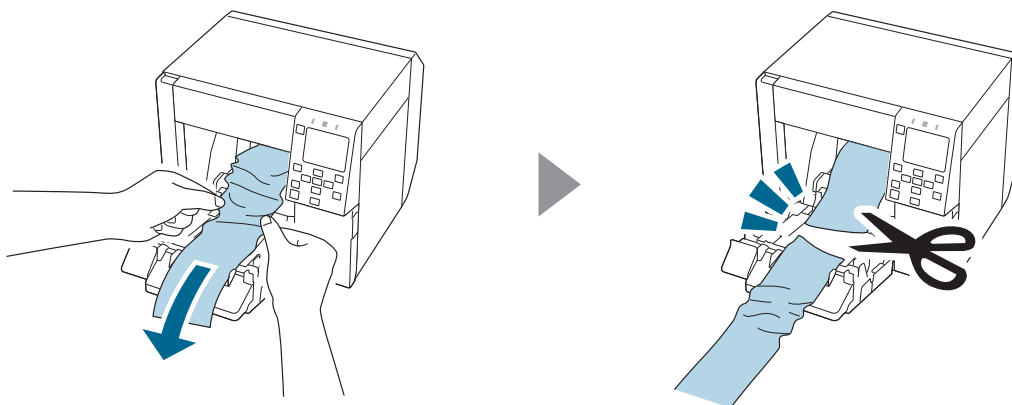
(266 ページ「プリンターのクリーニング」)

ファンフォールド紙が詰まった

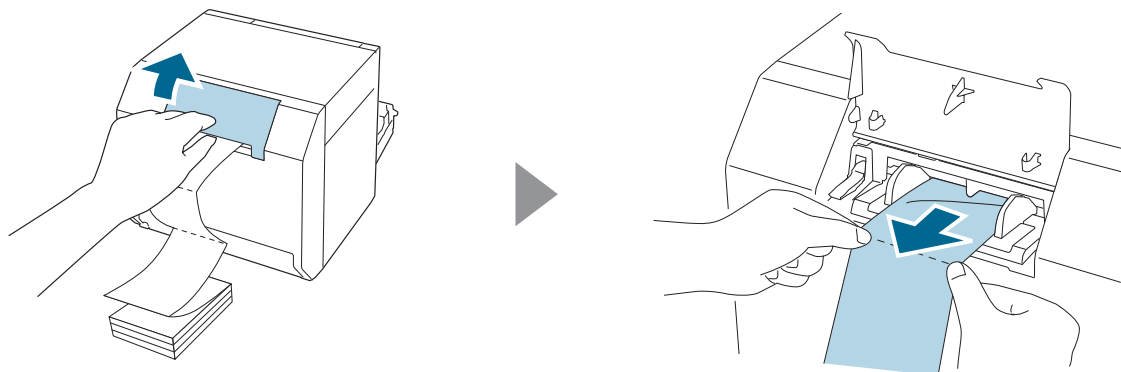
- 1 前面カバーを開けます。



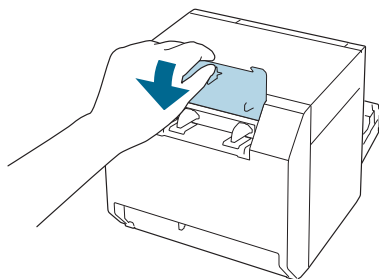
- 2 詰まった用紙を切り取ります。



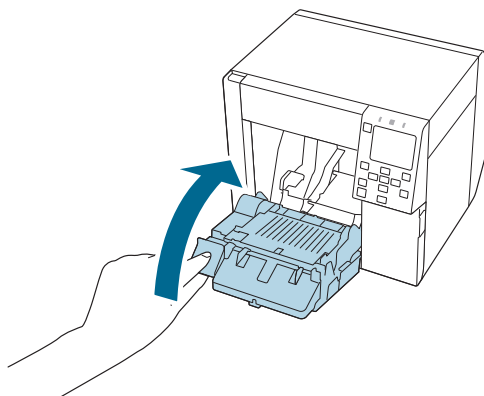
- 3 背面カバーを開けて詰まった用紙を引き抜きます。



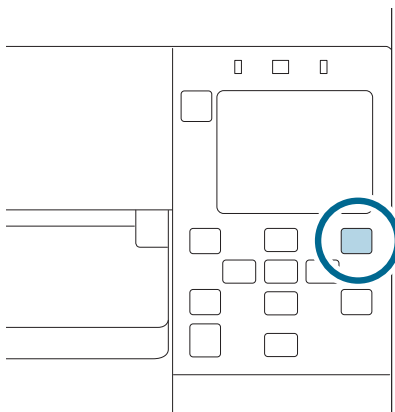
4 背面カバーを閉めます。



5 前面カバーを閉めます。



6 II (ポーズ) ボタンを押します。



詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。
頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。
(266 ページ「プリンターのクリーニング」)

アプリケーション開発情報

本章では、本製品の制御方法、および本製品を使用したアプリケーションを開発する場合に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

プリンターの制御方法は、お客様の使用環境によって異なります。

アプリケーションの仕様	制御方法	ページ
2 章のセットアップ作業フローでインストールしたプリンタードライバを使用して印刷する。	プリンタードライバを使用	81 ページ
お客様の開発する Windows 用アプリケーションから Epson Inkjet Label Printer SDK を使用して印刷する。	Epson Inkjet Label Printer SDK を使用	299 ページ
お客様が、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションを開発して印刷する	ESC/Label コマンドを使用	300 ページ
既存のアプリケーションやドライバなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える。 プレプリントシステムからオンデマンドプリントシステムに変更する。	プリンターの設定を変更して、プリンターを置き換える	301 ページ
お客様が使用するディストリビューションの Linux OS に合わせて、Linux ドライバのソースコードをビルドし直した Linux ドライバを使用して印刷する。	再ビルドしたLinux用プリンタードライバを使用	177 ページ
お客様の開発するアプリケーションに Linux ドライバのソースコードを使用して印刷する。	Linux ドライバのソースコードを使用	177 ページ
お客様の開発する iOS 用アプリケーションから iOS SDK を使用して印刷する。	iOS SDK を使用	300 ページ
お客様の開発する Android 用アプリケーションから Android SDK を使用して印刷する。	Android SDK を使用	300 ページ
お客様の開発する Web アプリケーションから Web アプリケーション SDK を使用して印刷する。	Web アプリケーション SDK を使用	300 ページ

Epson Inkjet Label Printer SDK を使用

お客様のアプリケーションが、エプソンのプリンタードライバーを使用して印刷するために必要な環境を、SDK として提供しています。以下のものが含まれています。

構成	説明
Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド	Epson Inkjet Label Printer SDK の構成の概要、エプソン製インクジェットラベルプリンターをアプリケーションから制御するために必要な機能、サンプルプログラムの使い方およびプリンタードライバーであらかじめ設定しておくことの説明をしています。
EPDI (EPSON Printer Driver Interface)	EPDI (EPSON Printer Driver Interface) は、エプソンのプリンタードライバーのアプリケーションプログラミングインターフェイスを提供しています。EPDI を利用すると、お客様が開発するアプリケーションソフトからエプソンのプリンタードライバーの設定ができます。 EPDI の説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EPDI for Inkjet Label Printer リファレンスマニュアル」を参照してください。
EpsonNet SDK	EpsonNet SDK は、エプソン製インクジェットラベルプリンターのステータスを取得するための API を提供しています。API についての説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EpsonNet SDK for Windows リファレンス」を参照してください。
Label Print Sample Program	Epson Inkjet Label Printer SDK を利用して、エプソン製インクジェットラベルプリンターから印刷をするアプリケーションの実行ファイルと、プログラムのソースファイルを提供しています。サンプルプログラムの使い方は「Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド」を参照してください。

動作環境

OS	付録を参照してください
ソフトウェア	プリンタードライバー (Install Navi を使用してインストールします)

入手方法

販売店へお問い合わせください。

iOS SDK / Android SDK / Web アプリケーション SDK を使用

Web アプリケーションやスマートデバイスのネイティブアプリケーションから ESC/Label コマンド対応のプリンターを制御するための開発用キットです。ライブラリ、マニュアル、サンプルプログラムなどが含まれます。

入手方法

下記 URL の入手方法に従ってください。
<https://www.epson.jp/support/>

ESC/Label コマンドを使用

お客様のアプリケーションが、プリンタードライバーを使用しないで直接印刷するためのコマンド (ESC/Label) を提供しています。ESC/Label コマンドの詳細は、販売店にお問い合わせください。

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え

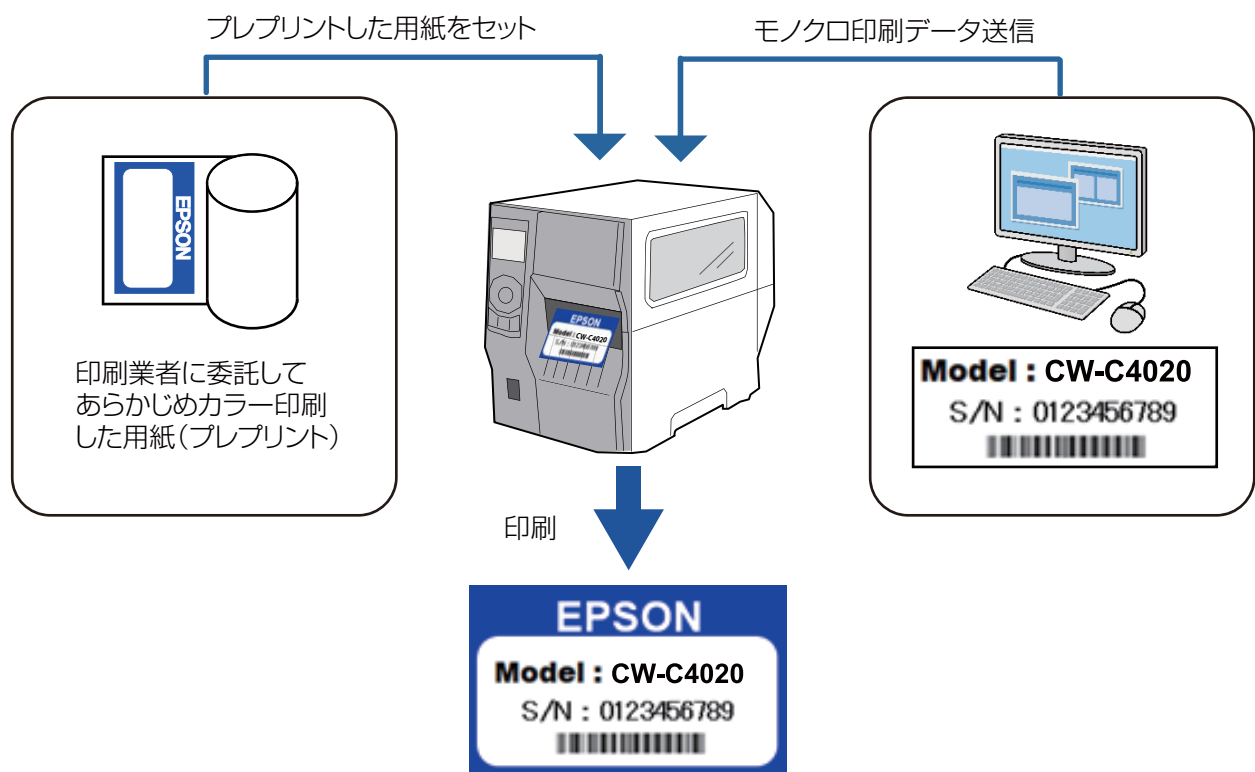
既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える場合は、プリンター本体の設定を ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの設定に合わせる必要があります。

2 ステップ印刷から 1 ステップ印刷への切り替え

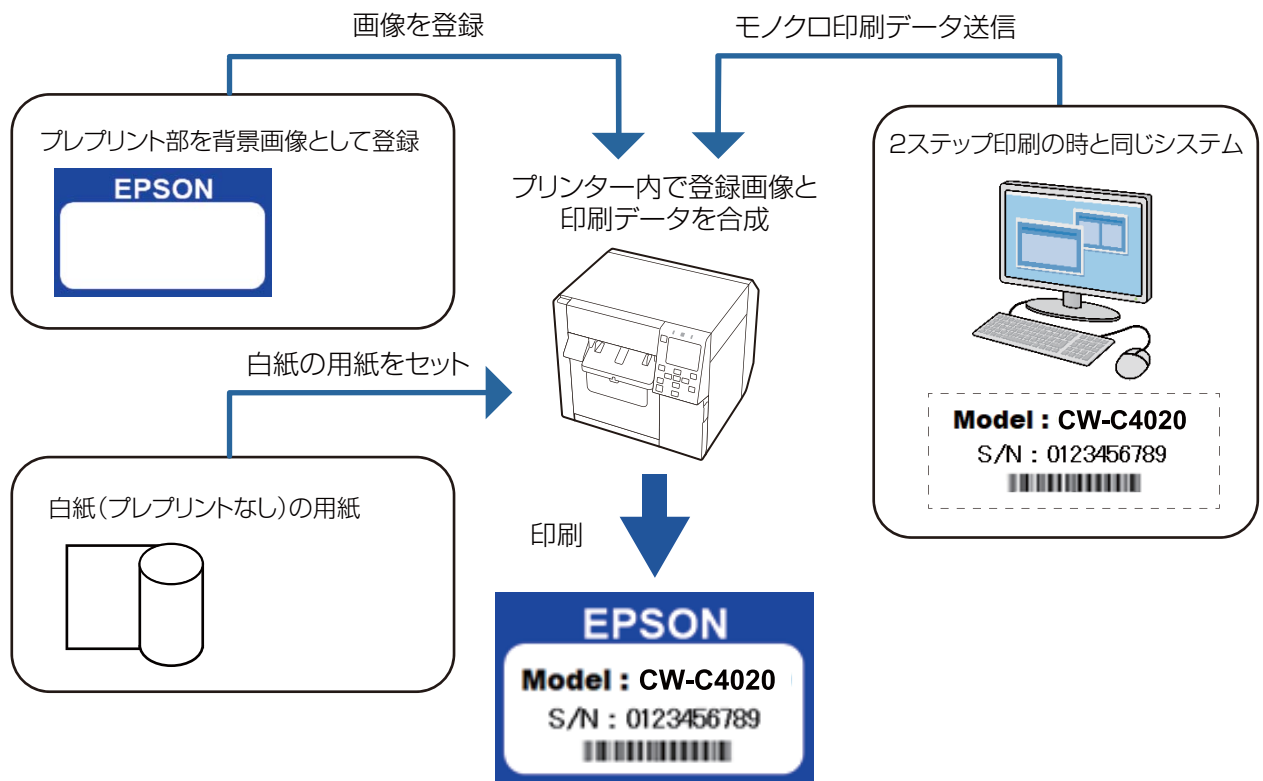
CW-C4020 は画像ファイル（PNG 形式）を登録でき、登録した画像ファイルとホスト（コンピューター）から送られてくる印刷データを重ね合わせて印刷することができます。

例えば、印刷業者があらかじめカラー印刷した用紙（プレプリント）に、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターで情報を追い刷りするという 2 ステップでの印刷を、ホスト側のシステムやデータを変更することなく、1 ステップでカラーラベルの印刷ができます。

従来の印刷方法(プレプリント + モノクロプリンター)

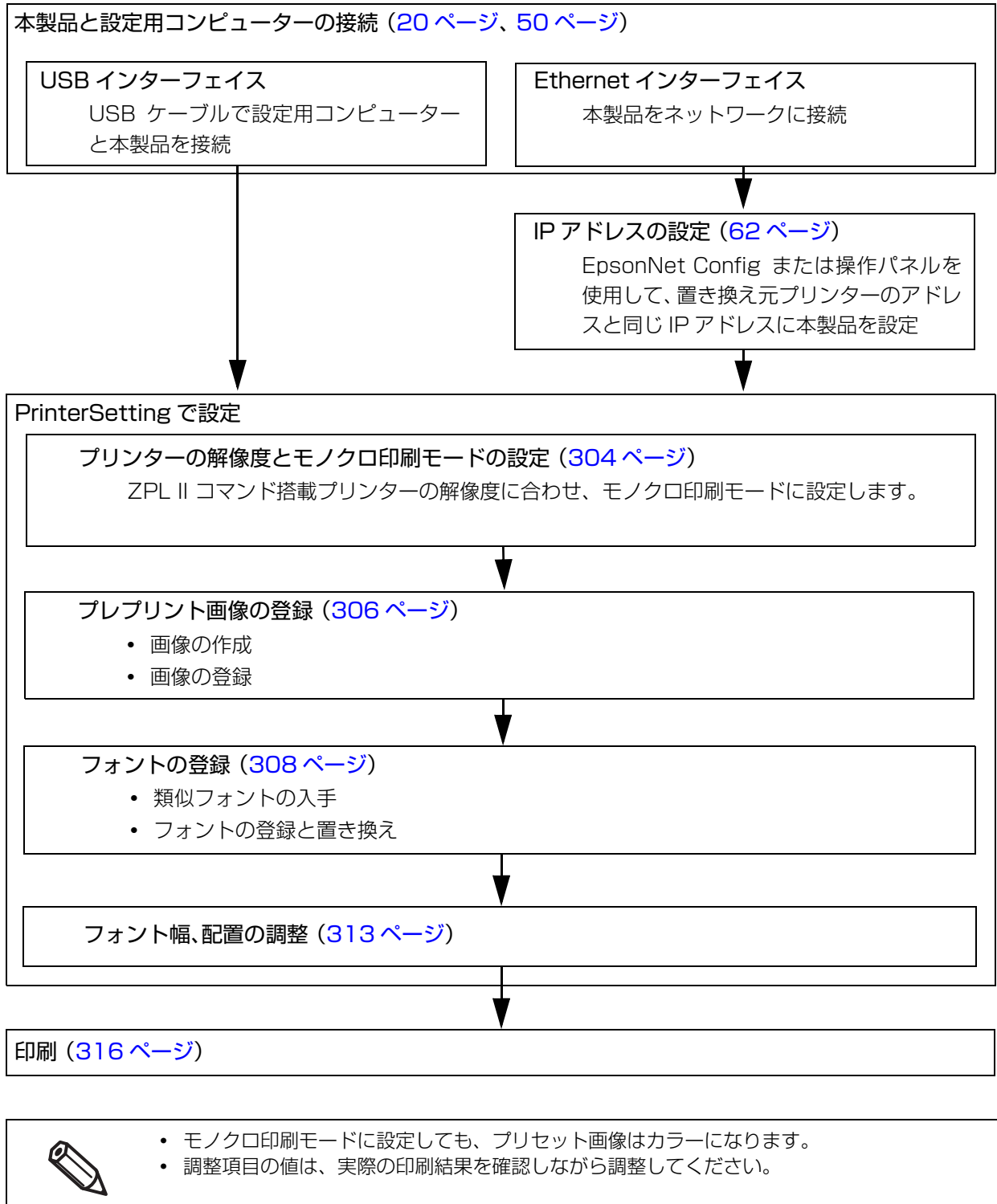


CW-C4020 の 1 ステップ方式



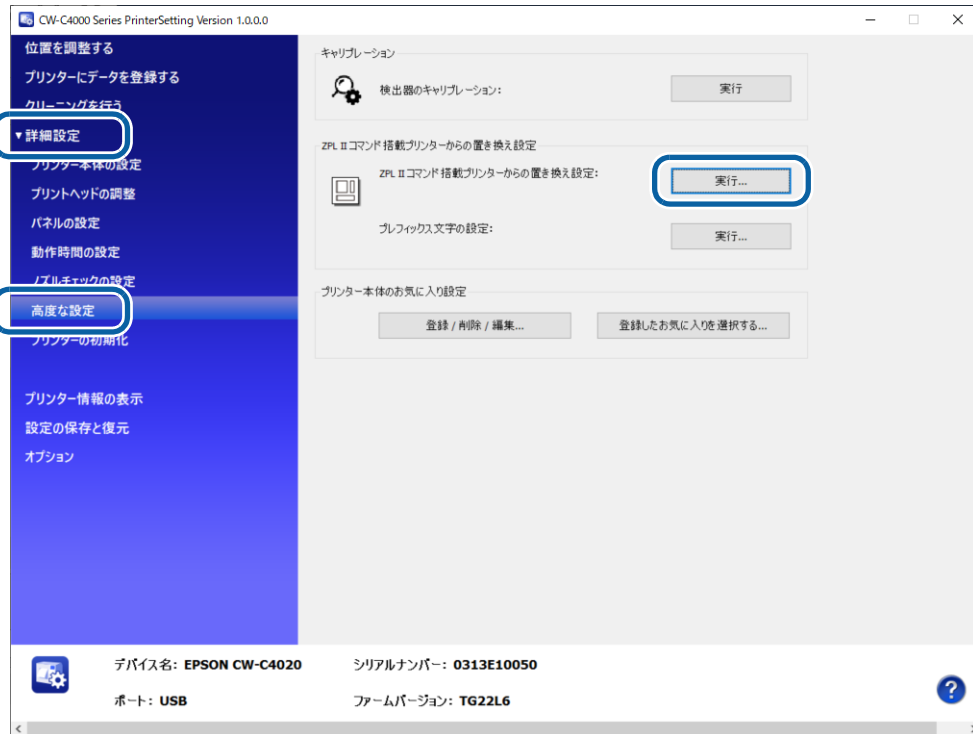
プリンターの設定変更とプリンターの置き換え

以下の手順で設定します。



プリンターの解像度とモノクロ印刷モードの設定

- 1 PrinterSetting を起動します。
- 2 「詳細設定」の「高度な設定」画面の「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」の「実行」をクリックします。

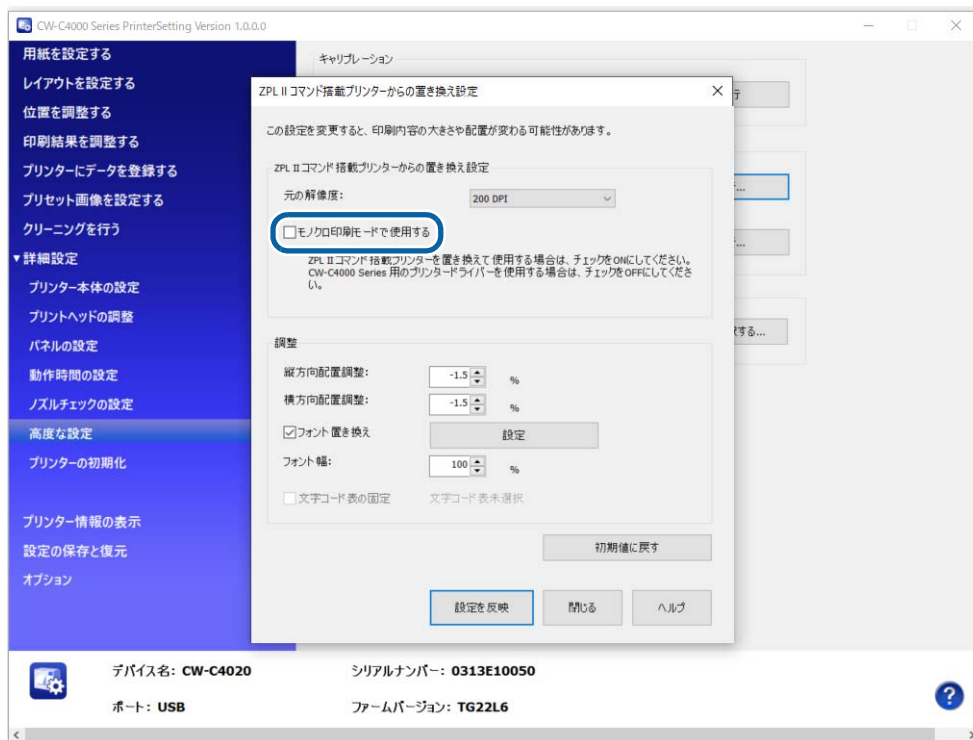


「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面が表示されます。

- 3 「元の解像度」で解像度を設定します。
 選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203 dpi の場合には、200 dpi を選択します。

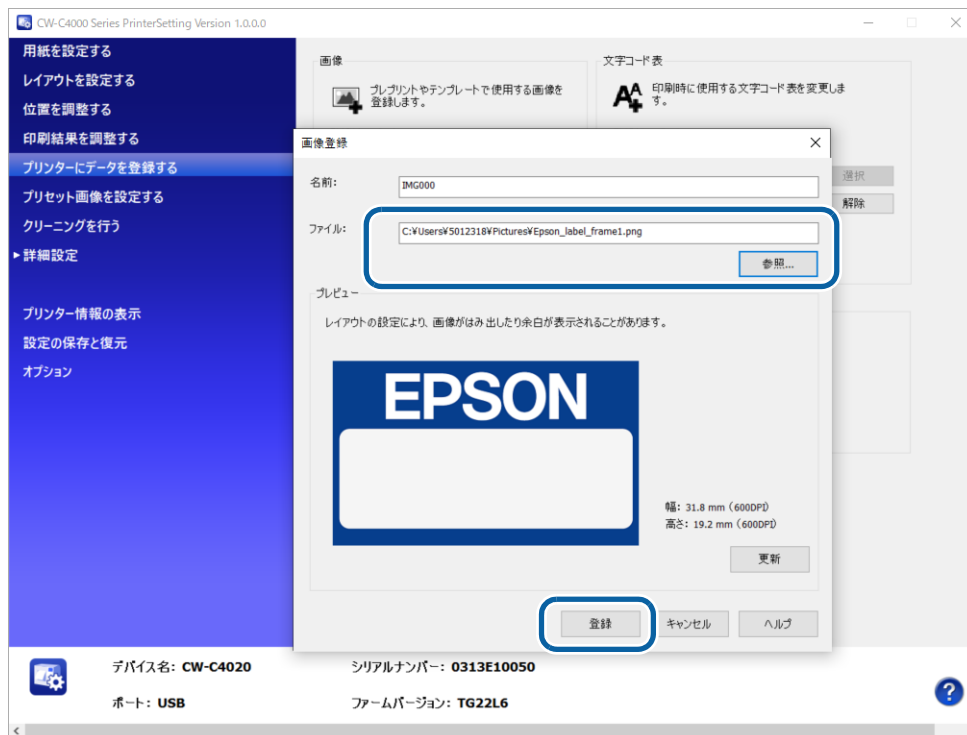


- 4 ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない置き換えをする場合に、「モノクロ印刷モードで使用する」にチェックを付けます。



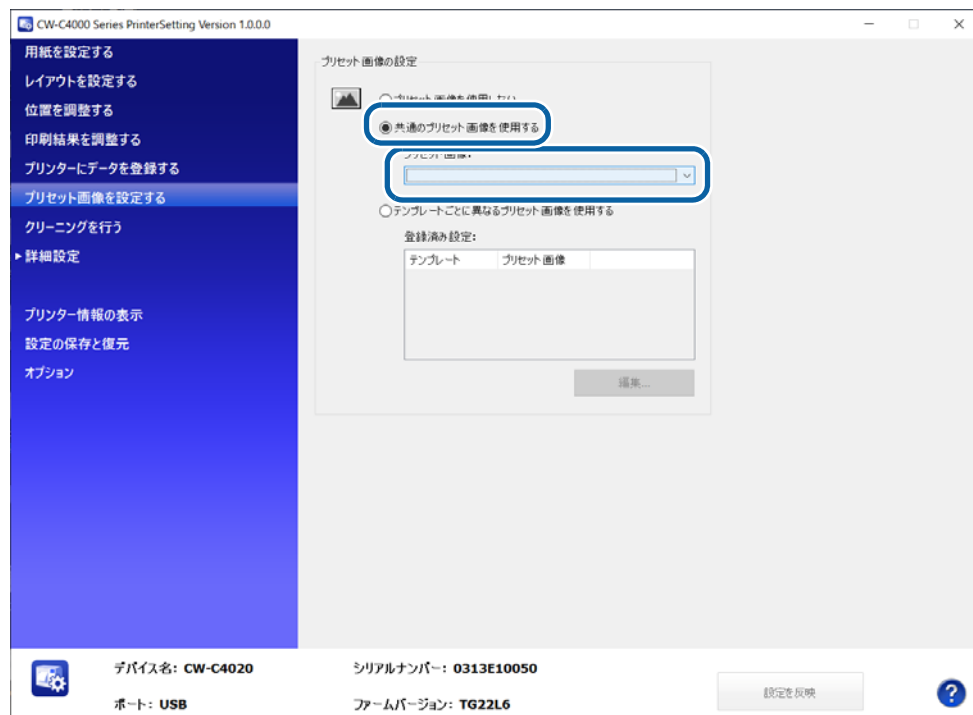
プレプリント画像の登録

- 1 プレプリント画像を作成します。
画像処理ソフトを使い、プレプリント画像を PNG 形式で保存します。
画像解像度は必ず 600 dpi で作成してください。
- 2 PrinterSetting を起動します。
- 3 「プリンターにデータを登録する」画面の「画像」の「登録」をクリックします。
画像を登録する画面が表示されます。
- 4 登録するプレプリント画像のファイル名（PNG 形式）を選択して「登録」をクリックします。



プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプリセット画像として保存されます。

5 「プリセット画像を設定する」画面の「プリセット画像の設定」で、使用する画像を選択します。



フォントの登録

フォント登録機能

CW-C4020 や ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターは、プリンター内蔵フォントを搭載しています。CW-C4020 は EPSON オリジナルフォントを搭載しており、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターとは別のフォントです。

プリンター内蔵フォントを使用した印刷を行った場合は、印刷される文字の形態（形や太さ）やフォントの余白量（余白量の違いが文字間ピッチの違いとなって表れる）は、プリンター内蔵フォントの種類に依存するため、従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと CW-C4020 の印刷結果が異なる場合があります。

【例】

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果



CW-C4020 の印刷結果



従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果に近づけるために、CW-C4020 にはフォント登録機能と ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え調整の機能があります。

類似フォントの入手

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォント（ファイル形式 TTF）に類似したフォントをご用意ください。

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォントに類似した以下のフォントがあります。文字の太さや文字間ギャップが異なる多数のフォントが存在するので、最適なフォントを選択してください。

なお、フォントの入手およびその使用ライセンスの取得はお客様の責任において実施してください。

類似フォント（代表例）

フォント名	種類例
Swiss 721	Black, Black Condensed
Helvetica	Bold, Bold Condensed

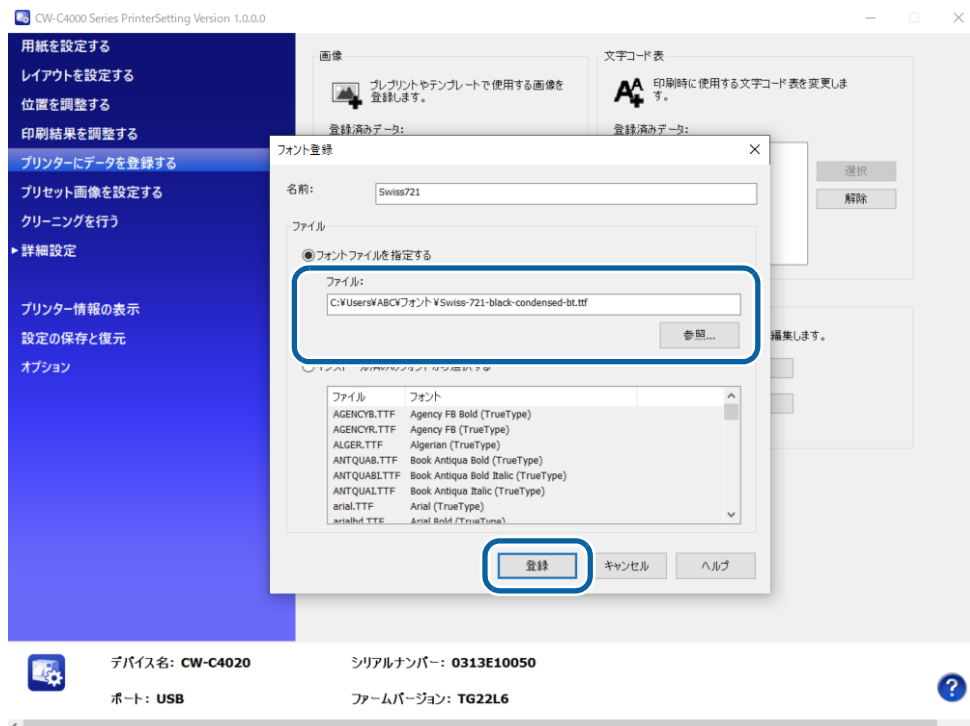
フォントの登録 / 置き換え

- 1 PrinterSetting を起動します。
- 2 「プリンターにデータを登録する」画面の「フォント」の「登録」をクリックします。

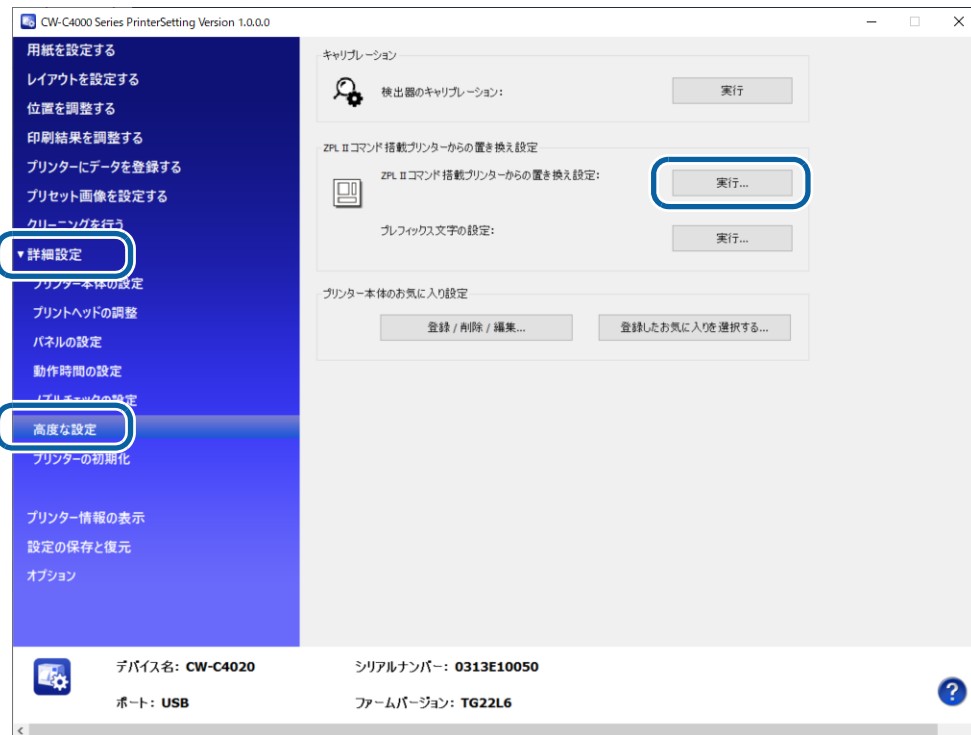


「フォント登録」画面が表示されます。

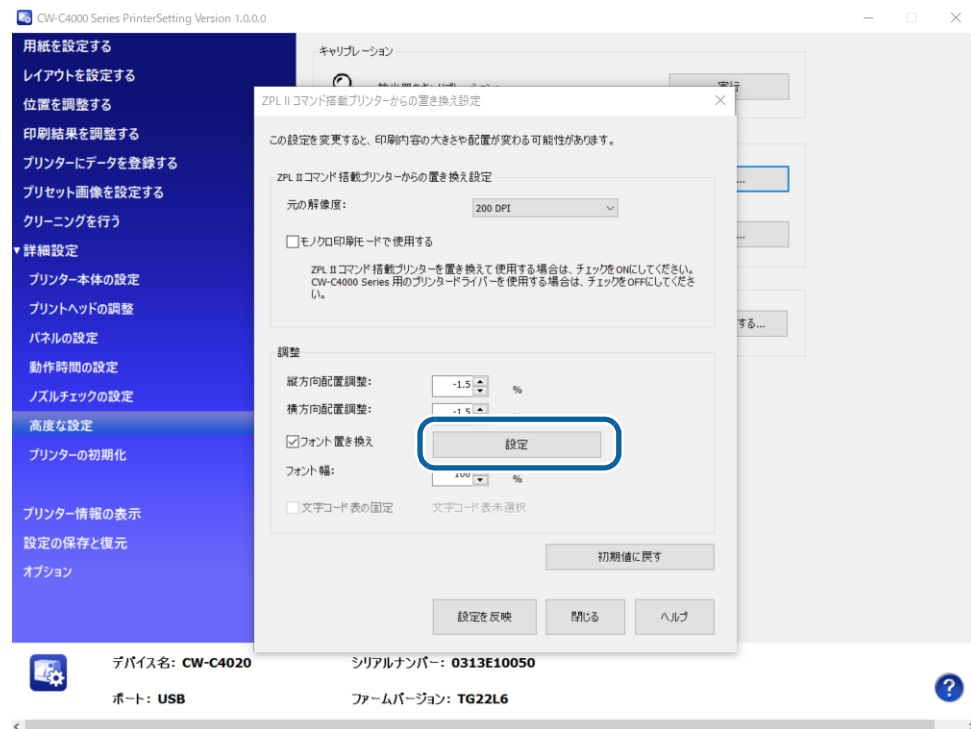
- 3 登録するフォントのファイル名（TTF 形式）を選択して「登録」をクリックします。プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。



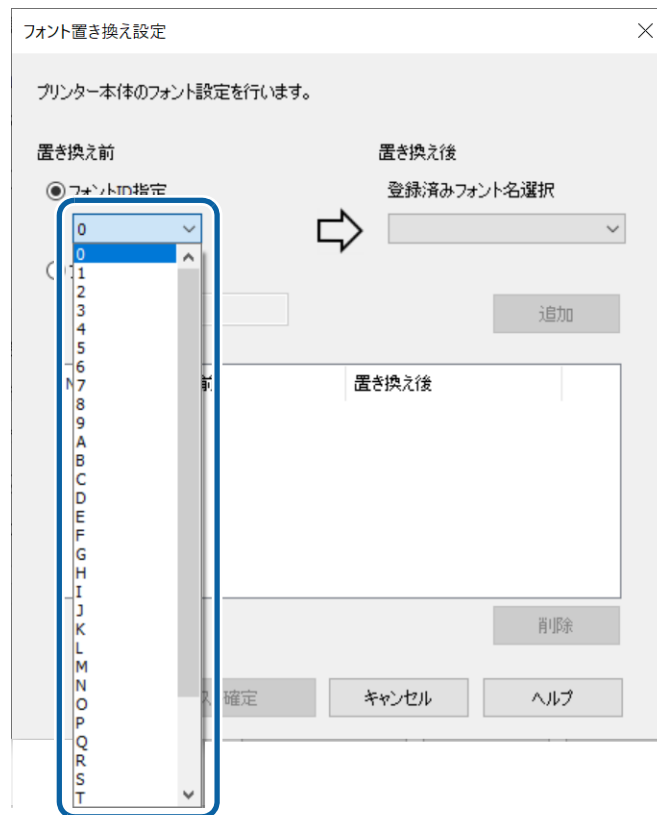
4 「詳細設定」の「高度な設定」画面の「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」の「実行」をクリックします。



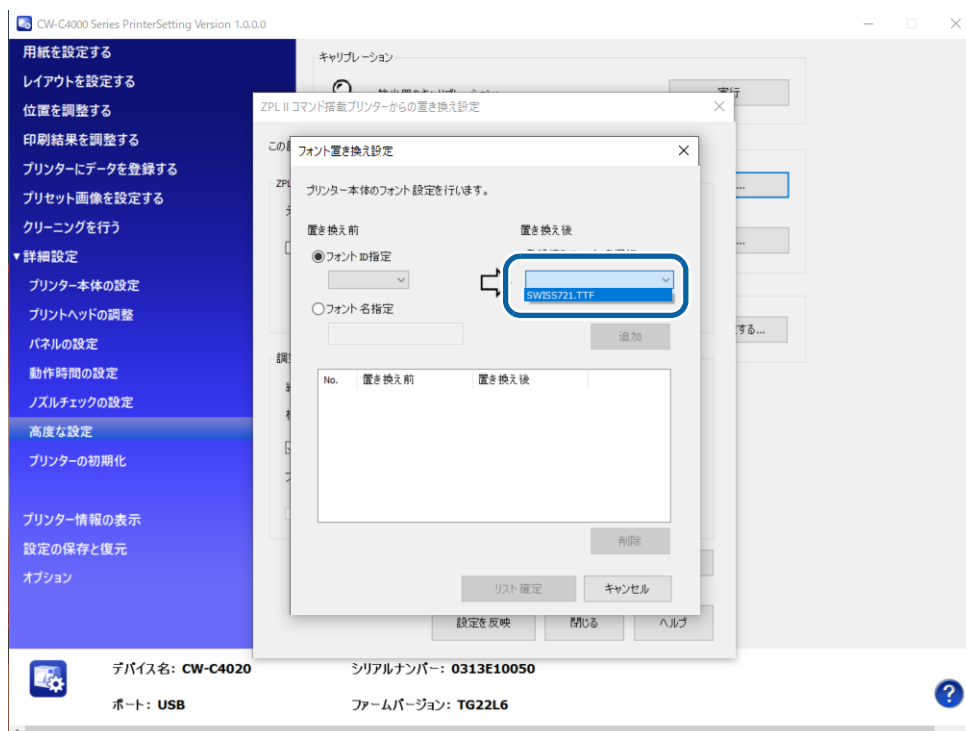
5 「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面の「フォント置き換え」の「設定」をクリックします。



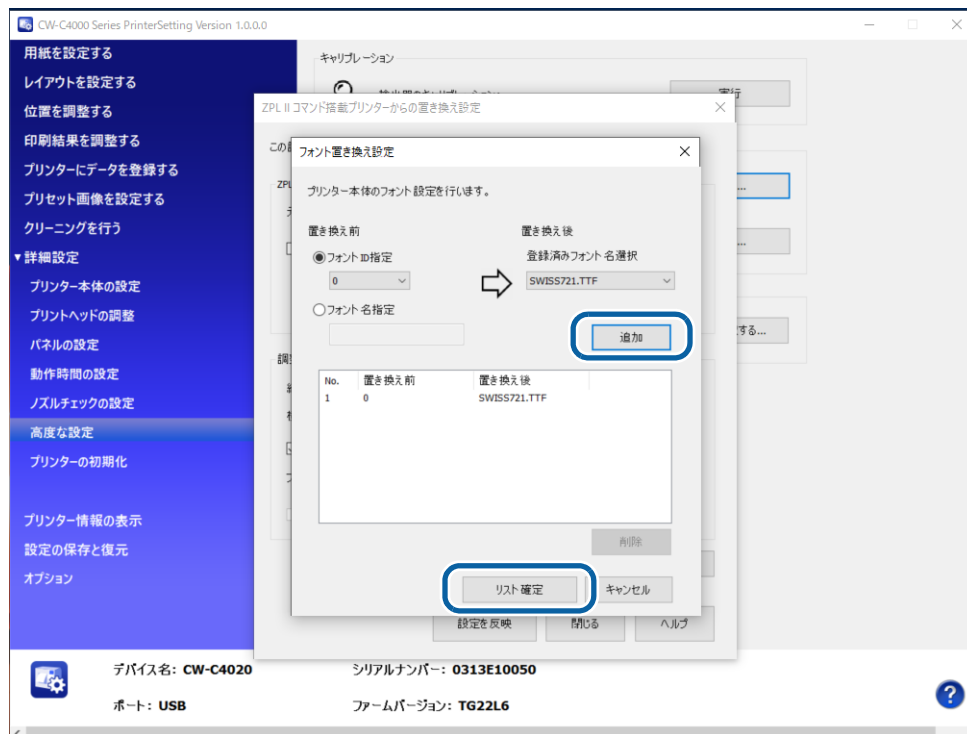
- 6 置き換えるフォントに ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターで使用していたフォント ID と同じ ID を割り当てます。
リストボックスからフォント ID を選択します。



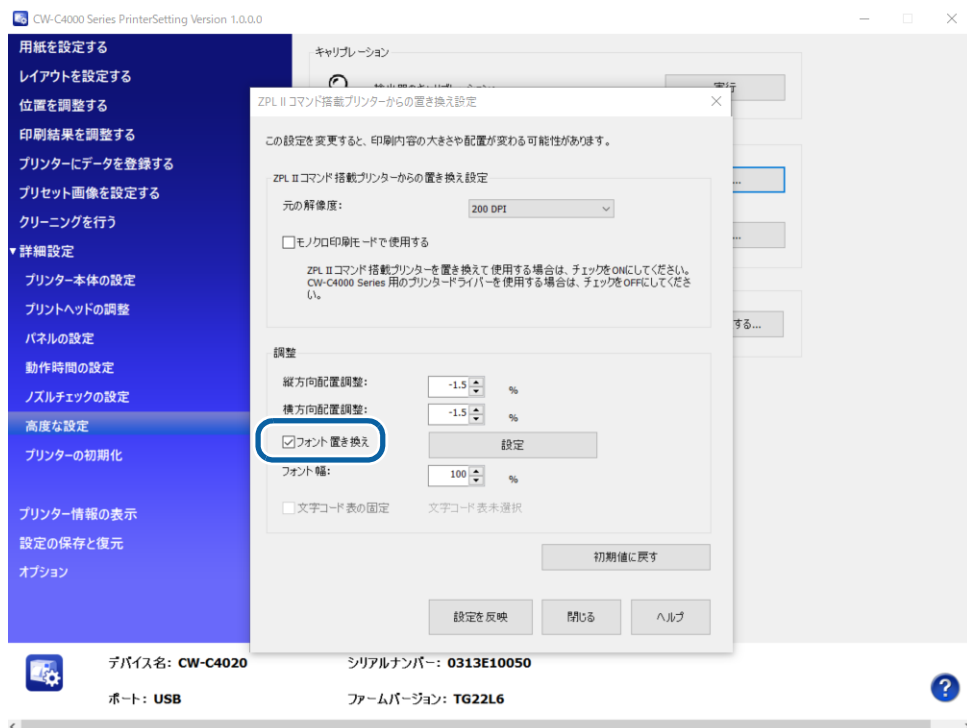
- 7 割り当てるフォント名を選択します。



- 8 追加をクリックすると画面内にリストが表示されます。
「リスト確定」をクリックするとリストが保存され、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面に戻ります。



- 9 [フォント置き換え] にチェックを入れると、設定したフォントに置き換えます。



- 10 「設定を反映」をクリックします。
プリンターに設定値が保存されます。

フォント幅、配置の調整

「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」には以下の調整機能があります。

フォント幅

フォントの横幅を縮小する機能です。100% 指定が原寸で、設定可能値は1～100%で1%刻みで設定可能です。縮小率が大きくなると、形状がつぶれて文字として判読できなくなります。印刷結果を確認しながら設定してください。実効性のある設定値はおおよそ80～100%と想定されます。

縦方向配置調整

1ページ内に印刷する文字列やバーコード、図形、イメージデータといった構成要素（＝オブジェクト）の縦方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は-5.0～+5.0%で0.1%刻みで設定可能です。

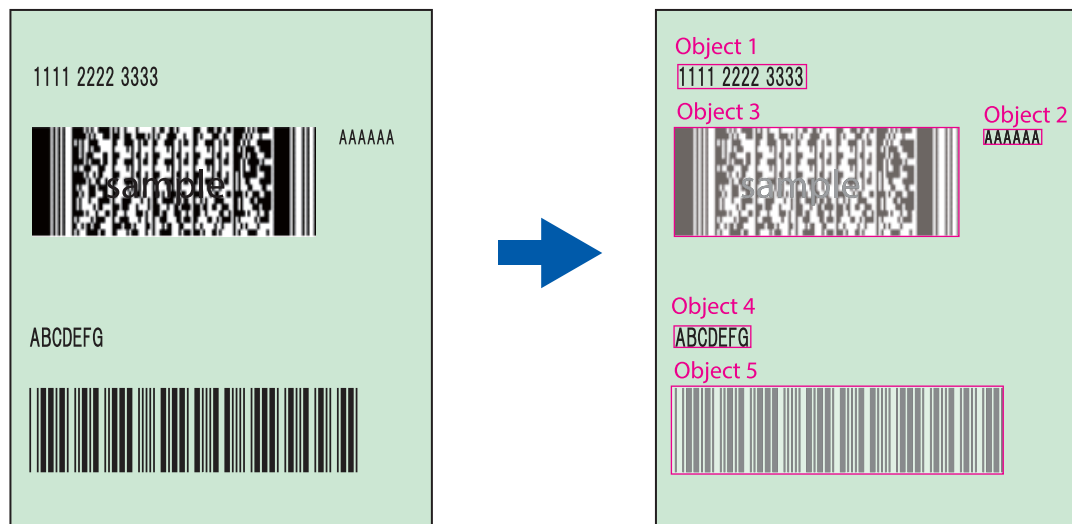
横方向配置調整

1ページ内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の横方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は-5.0～+5.0%で0.1%刻みで設定可能です。

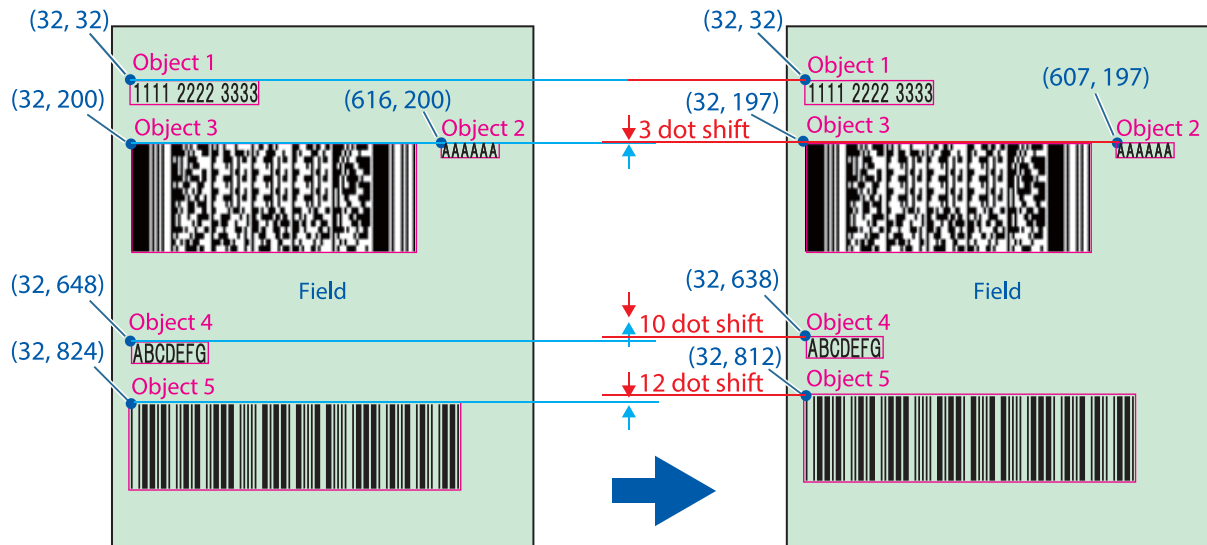
縦方向配置調整機能と横方向配置調整機能は、従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターが 203 dpi の場合に CW-C4020 で 200 dpi で印刷すると、 $203/200=1.5\%$ 印刷結果が大きくなることを補正するために使用します。ただし、本機能は、ページ内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の配置位置を補正するだけで、構成要素（＝オブジェクト）自身のサイズは調整しません。これは、オブジェクトの外観が崩れることを防ぐためです。特に、細い線が消滅したり、バーコードの読み取り精度が劣化することを防止します。

この補正方法は、ほとんどの場合実用上問題のない適切な補正をできますが、1ページのサイズに対して大きなサイズのオブジェクトが配置されている場合や、オブジェクトとオブジェクトの配置間隔が狭い場合には、オブジェクト同士が重なったりして、元のラベルデザインを維持できない場合があります。

ページの構成要素（オブジェクト）

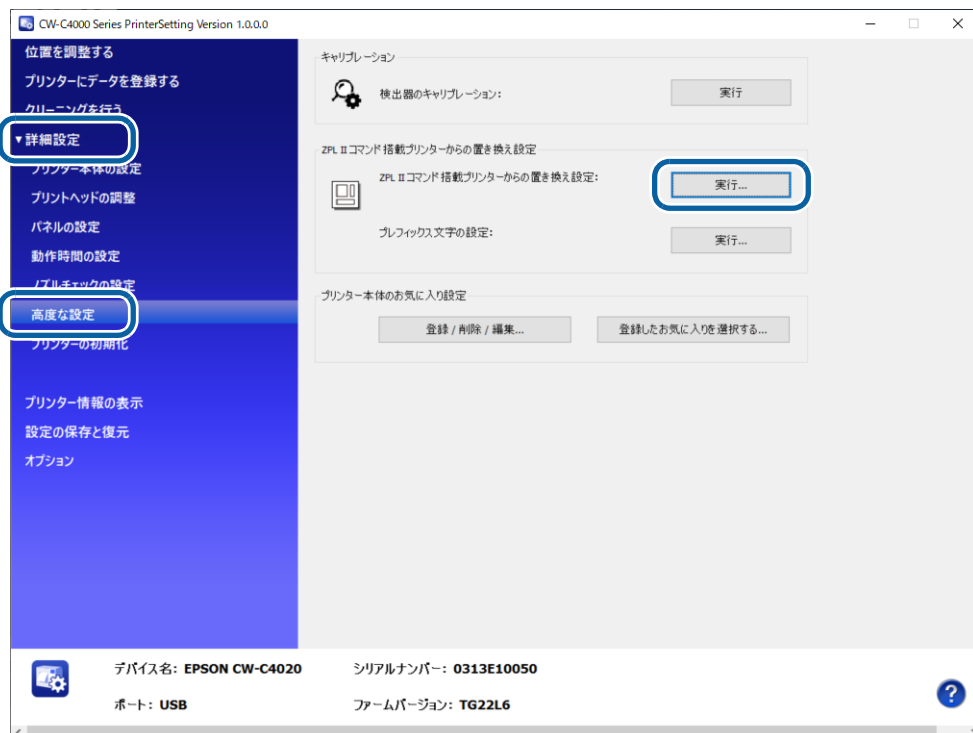


配置調整機能で縦方向・横方向に 1.5% 縮小した例



Ex: Object 2: $616 \times 0.985 = 606.8$
 $200 \times 0.985 = 197.0$
 Object 4: $32 \times 0.985 = 31.5$
 $648 \times 0.985 = 638.3$

- 1 PrinterSetting を起動します。
- 2 「詳細設定」の「高度な設定」画面の[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定]で、「実行」をクリックします。



「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面が表示されます。

3 縦方向と横方向の調整をします。

今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度と同じ解像度を選択した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらも「0」を指定します。

今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203 dpi で、上記の印刷解像度を 200 dpi に指定した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらも「-1.5%」を指定します。

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

この設定を変更すると、印刷内容の大きさや配置が変わる可能性があります。

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

元の解像度: 200 DPI

☐ モノクロ印刷モードで使用する

ZPL II コマンド搭載プリンターを置き換えて使用する場合は、チェックをONにしてください。
CW-C4000 Series 用のプリンタードライバーを使用する場合は、チェックをOFFにしてください。

調整

縦方向配置調整: -1.5 %

横方向配置調整: -1.5 %

☒ フォント置き換え 設定

フォント幅: 100 %

☐ 文字コード表の固定 文字コード表未選択

初期値に戻す

設定を反映 閉じる ヘルプ

フォント幅の調整をしない場合は、手順 5 に進みます。

- 4 フォント幅の調整をします。
まず「100%」を指定して、印刷結果を確認しながら調整します。



- 5 「設定を反映」をクリックします。
プリンターに設定値が保存されます。

印刷

実際に使用する環境で印刷し、印刷結果を確認してください。

テンプレートの活用

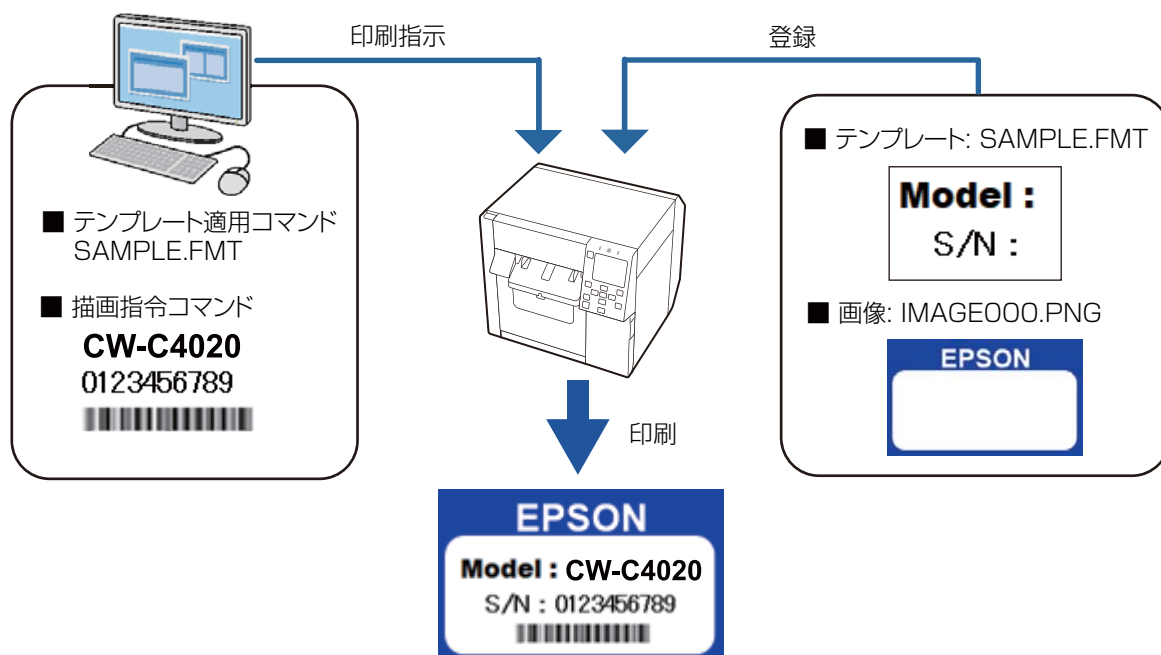
モノクロサーマルプリンターで使用していたテンプレートを CW-C4020 に登録して、ZPL II コマンドを直接制御するアプリケーションから使用することができます。

詳細は [301 ページ「ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え」](#) を参照してください。

ESC/Label コマンドは、ZPL II コマンドとコマンドサポート範囲やテンプレートファイルの拡張子が異なりますので、ESC/Label コマンド仕様に合わせた記述の変更が必要です。ESC/Label コマンド仕様の詳細は ESC/Label コマンドリファレンスガイドを参照してください。

以下の手順で設定します。

- 1 **画像の登録 (195 ページ)**
プリンターに画像を登録してください。
- 2 **テンプレートの登録 (196 ページ)**
プリンターにテンプレートを登録してください。
ZPL II コマンドで作成したテンプレートを転用する場合、テンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。また、ESC/Label でサポートしていないコマンドは削除してください。
- 3 **テンプレートと画像の連携 (200 ページ)**
テンプレートと画像の連携を設定してください。
- 4 **解像度の設定 (214 ページ)**
「詳細設定」の「高度な設定」画面の「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」で、今まで使用していたモノクロサーマルプリンターの解像度を設定してください。
- 5 **テンプレートの印刷**
テンプレートを使用して印刷する場合は、アプリケーションから ZPL II コマンドで指定するテンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。アプリケーションから ZPL II コマンドで指定されるテンプレート、可変情報、画像が合成されて印刷されます。



ソフトウェアとマニュアル

下記のソフトウェアとマニュアルが用意されています。

ソフトウェア

名称	説明	提供方法
Install Navi	プリンタードライバー等のインストールや、本製品とコンピュータの接続を行います。	• CD-ROM
プリンタードライバー (Windows)	Windows アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーから、プリンターの設定をするためのユーティリティ (CW-C4020 PrinterSetting) を起動できます。ドライバーの使用方法はヘルプや動画を参照してください。	• CD-ROM • Web
プリンタードライバー (Mac)	Mac アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーの使用方法はヘルプを参照してください。	• Web
プリンタードライバー (Linux)	Linux アプリケーションから印刷するためのドライバーです。	
EpsonNet Config SE	本製品の TCP/IP をはじめとした各種情報の取得と設定を行うツールです。	• CD-ROM • Web
Color Tone Matching Assistant	印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティです。イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。	
SAP HVP Plugin	SAP EH & S WWI HVP システムを使用してネットワーク経由で大量の印刷を実行する場合、EPSON CW-C40x0 用の HVP プラグインを使用すると、サーバーの負荷やネットワーク内のトラフィックを減らすことができます。	• Web
Epson Device Admin	Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。(237 ページ「 Epson Device Admin 」)	• Web
USB Printer Class Device Replacement Service	同機種の USB 機器を交換した場合、アプリケーションや OS の設定を変更することなく、自動的に出力先を別のプリンタードライバーに変更するツールです。	• Web

マニュアル

名称	説明	提供方法
はじめにお読みください	本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用前には必ずお読みください。	• 製品に付属 • Web
ユーザズガイド	本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。付属の CD から閲覧できます。	• CD-ROM • Web

名称	説明	提供方法
CW-C4020 詳細取扱説明書（本書）	本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。	• Web
メンテナンスボックス 同梱マニュアル	メンテナンスボックスに関する注意事項が記載されています。	• メンテナンス ボックスに 付属 • Web

付録

製品仕様

項目				仕様	
印刷方式				シリアルインクジェットドットマトリックス方式 4 色カラー印字	
紙送り方式				フリクションフィードによる正逆方向送り	
オートカッターのカット形態				フルカット（完全切り離し）	
印刷解像度				300×600 dpi, 600×600 dpi 600×1200 dpi, 1200×1200 dpi	
印刷速度	印刷品質設定：ドラフト 300×600 dpi (横 × 縦)	印刷幅	25.4 mm	124 mm/s	
			101.6 mm	100 mm/s	
	印刷品質設定：速い 600×600 dpi (横 × 縦)	印刷幅	25.4 mm	111 mm/s	
			101.6 mm	70 mm/s	
	印刷品質設定：普通 600×600 dpi (横 × 縦)	印刷幅	25.4 mm	63 mm/s	
			101.6 mm	48 mm/s	
	印刷品質設定：きれい 600×1200 dpi (横 × 縦)	印刷幅	25.4 mm	27 mm/s	
			101.6 mm	18 mm/s	
	印刷品質設定：高精細 1200×1200 dpi (横 × 縦)	印刷幅	25.4 mm	11 mm/s	
			101.6 mm	8 mm/s	
インターフェイス		有線 LAN		1000BASE-T/100BASE-TX /10BASE-T	
		無線 LAN		USB コネクタにオプションの無線 LAN ユニット (OT-WL06) を接続	
		USB		USB2.0 High-Speed	
質量				約 13 kg	

動作環境

サポート OS	Windows 11 Windows 10 (32 bit/ 64 bit) Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit) Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 OS X 10.9.5 以降、macOS 10.12 以降
動作確認済み OS	CentOS 7 (x86_64) Ubuntu 20.04 (x86_64)
コンピューター	上記 OS が動作する以下のコンピューターをサポートしていること。 PC/AT 互換機
CPU	Pentium 4 2 GHz 以上のプロセッサーを搭載したコンピューターを推奨。
Memory	1 GB 以上を推奨。
HDD	空き容量 250 MB 以上。



- 上記の要件は、サポートする OS の最小システム要件を満たしていない場合があります。その場合、OS の最小要件を満たしてください。
- Epson は上記の OS ディストリビューションとバージョンの動作を確認しました。Linux には多くのディストリビューションやバージョンが存在するため、Epson は特定のディストリビューションやバージョンでの動作保証は行いません。上記以外の OS のバージョンやディストリビューションについては、お客様ご自身で動作確認する必要があります。

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。

それぞれの仕様に合った用紙をお使いください。仕様外の用紙を使用すると、印刷汚れやにじみ、かすれなどが発生する場合があります。

用紙形態

用紙形態	ページ
ロール紙 連続紙	323 ページ
ロール紙 連続紙（ブラックマーク基準）	323 ページ
ファンフォールド紙 連続紙（ブラックマーク基準）	324 ページ
ロール紙 全面ラベル	325 ページ
ロール紙 ダイカットラベル（ギャップ基準）	326 ページ
ロール紙 ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	326 ページ
ファンフォールド紙 ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	328 ページ
リストバンド用紙	330 ページ

用紙種類

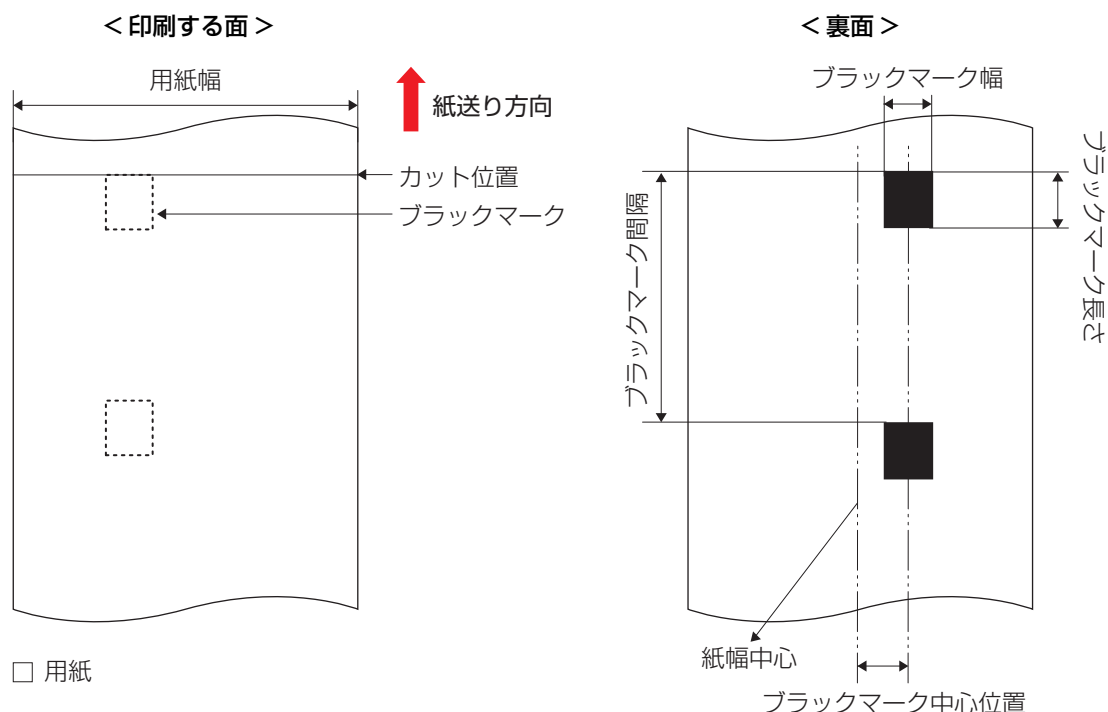
用紙種類	マットインク使用時	フォトインク使用時
普通紙	✓	-
マット紙	✓	✓
上質紙	✓	-
合成紙	✓	✓
リストバンド用紙	✓	-
光沢紙	-	✓
光沢フィルム	-	✓
高光沢紙	-	✓



- 仕様外の用紙を使用すると、紙送り精度 / バーコード認識率 / 印刷品質の低下、紙詰まりが発生することがあります。
- 用紙巻き始め部と巻き芯を、糊付けやテープ止めして固定すると、用紙エンドが検出できなくなるため、用紙エンド時に印刷できないラベルが複数枚発生します。
- 台紙部分が紙の合成紙ラベルや台紙部分がポリラミネートされているラベルは、保管環境や使用環境により、用紙にカールが発生することがあります。温度や湿度による伸縮率が合成紙やポリラミネートのような樹脂部分と紙部分とで異なることが原因です。カールした用紙を使用すると、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生する場合があります。
- テープなどでつないで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生することがあります。
- マットインク仕様の場合、印刷直後の用紙に触れるとインクが指に付着する可能性があります。
- 長さ 10mm 未満のラベルをオートカットした場合、固定刃付近に留まり取り除きにくくなる場合があります。

用紙の形態・形状・サイズ

ロール紙 連続紙 / 連続紙(ブラックマーク基準)

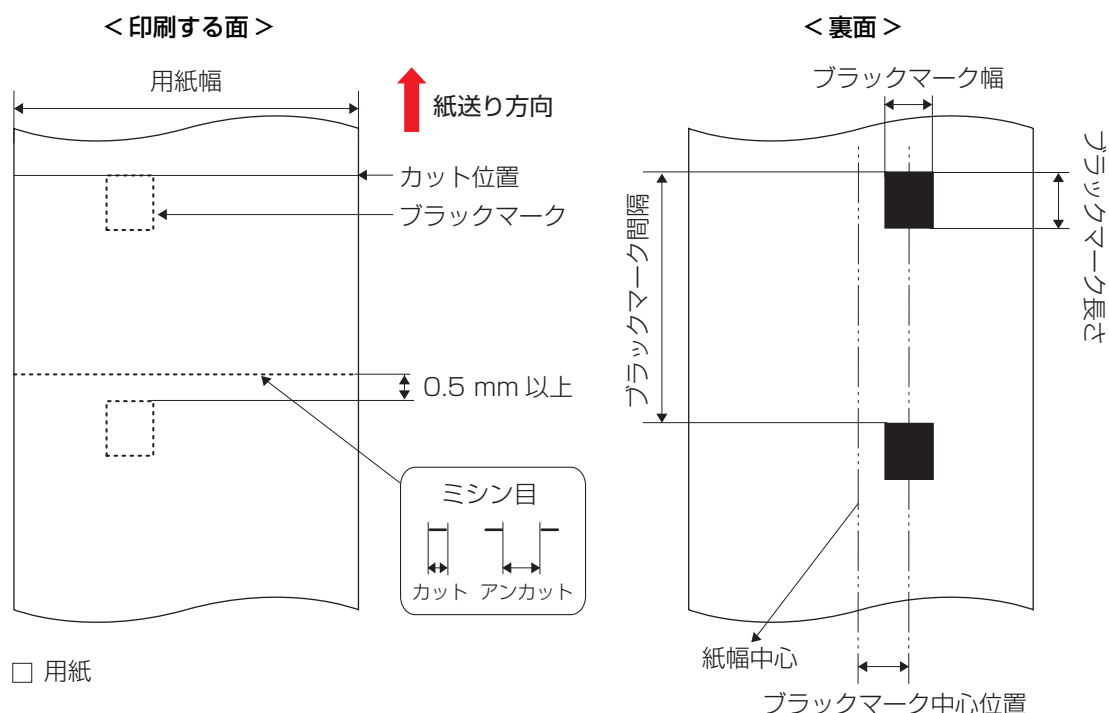


項目	仕様	
	連続紙	連続紙 (ブラックマーク基準)
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙	
用紙幅	25.4 ~ 108 mm	
ブラックマーク配置	-	図参照
ブラックマーク幅	-	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	-	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	-	8 ~ 406.4 mm
用紙厚	0.084 ~ 0.131 mm	
巻芯外径	44.1 mm 以上	
ロール紙外径	最大 101.6 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
穴、切り欠き	不可	



ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

ファンフォールド紙 連続紙(ブラックマーク基準)

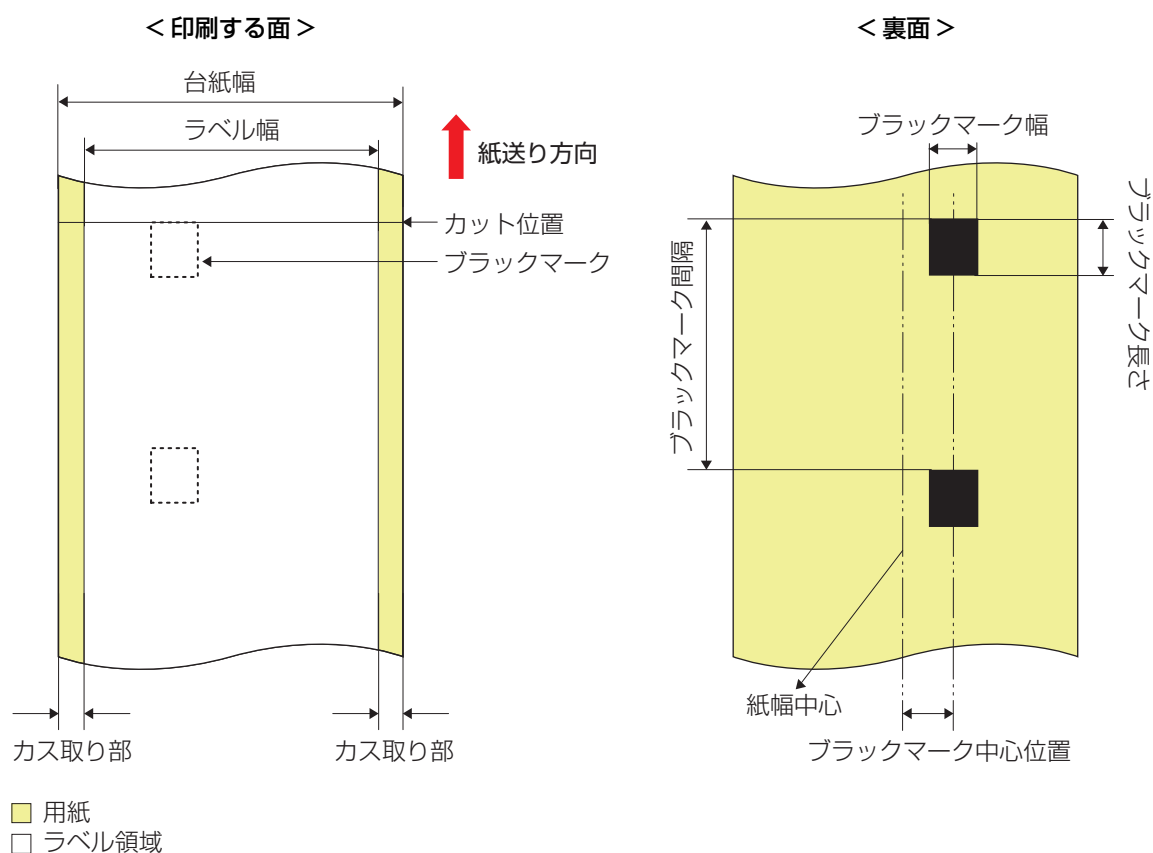


項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、光沢紙
用紙幅	50 ～ 108 mm
ブラックマーク配置	図参照。ミシン目より 0.5 mm 以上離れていること
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	8 ～ 304.8 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.131 mm
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm
折り数	500 折り以下
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ～ 5mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。
穴、切り欠き	不可



- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ～ 1 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

ロール紙 全面ラベル



項目	仕様	
	ブラックマークなし	ブラックマークあり
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙	
台紙幅	25.4 ～ 112 mm	
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm	
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm	
ブラックマーク配置	-	図参照
ブラックマーク幅	-	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	-	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	-	8 ～ 406.4 mm
用紙厚	0.159 ～ 0.240 mm	
巻芯外径	44.1 mm 以上	
ロール紙外径	最大 101.6 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
穴、切り欠き	不可	

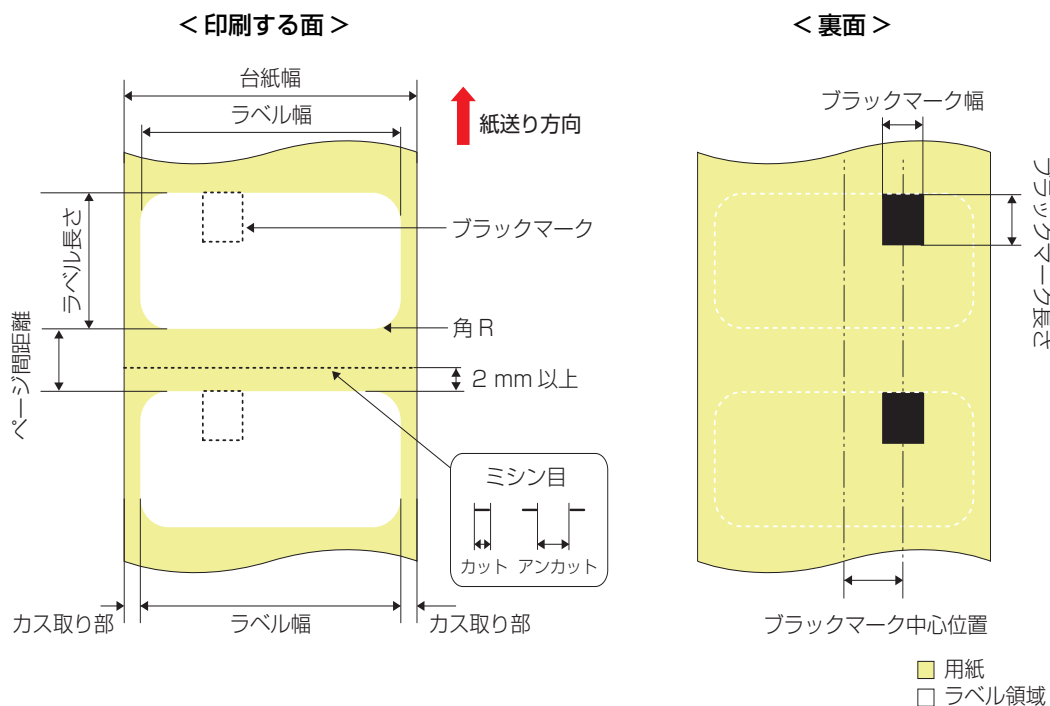


- ロール紙供給部への粘着剤の付着を防止するため、左右端をカス取りしたラベルを使用してください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

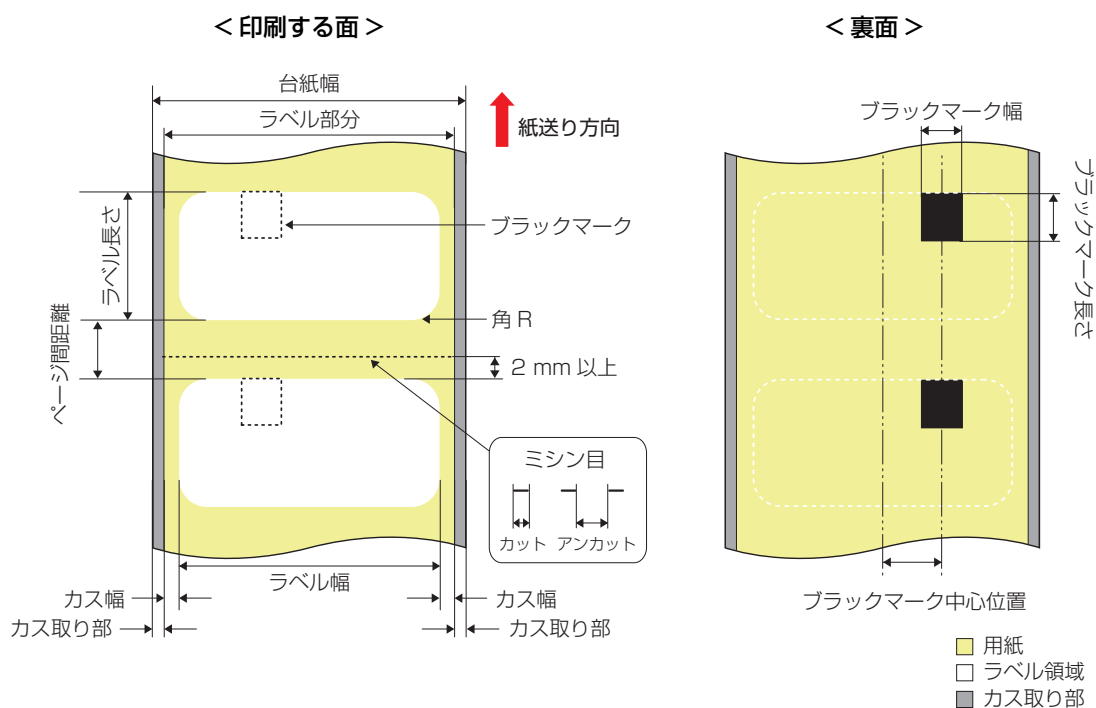
ロール紙 ダイカットラベル(ギャップ基準 / ブラックマーク基準)



□ カスとりされている用紙



□ 左右端のみカスとりされている用紙



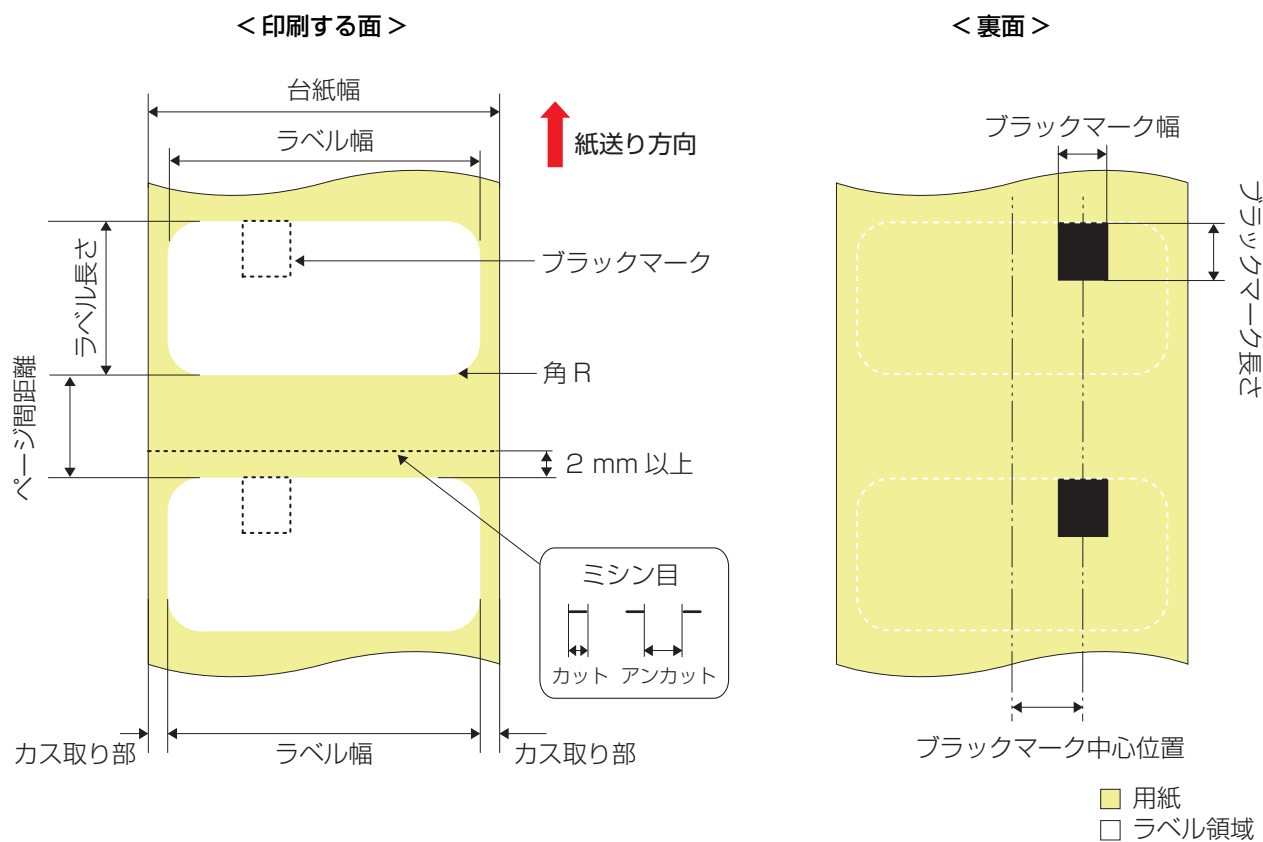
項目	仕様	
	ダイカットラベル (ギャップ基準)	ダイカットラベル (ブラックマーク基準)
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙	
台紙幅	25.4 ~ 112 mm	
ラベル幅	21.4 ~ 108 mm	

項目	仕様	
	ダイカットラベル（ギャップ基準）	ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
ラベル長さ	8 ～ 406.4 mm	
ページ間距離	2 ～ 6 mm	
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm	
カス幅	-	1.5 mm 以上
ラベル角 R	1.5 mm 以下	
ブラックマーク配置	-	図参照。ブラックマーク先端とラベルの先端がそろっていること
ブラックマーク幅	-	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	-	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	-	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	-	10 ～ 412.4 mm
用紙厚	0.159 ～ 0.240 mm	
巻芯外径	・ 44.1 mm 以上（普通紙、マット紙、合成紙の場合） ・ 56.8 mm 以上（上記以外の用紙の場合）	
ロール紙外径	最大 101.6 mm	
巻き方向	印刷面が外側	
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ～ 5mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。	
穴、切り欠き	不可	



- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ～ 1 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2 mm 以上離してください。
- 仕様外のページ間距離の用紙は紙詰まりの原因になるため、使用しないでください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。
- 型抜きされたラベルの形状や紙厚、硬さによっては、本製品の内部でラベルが台紙から剥がれてしまうおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

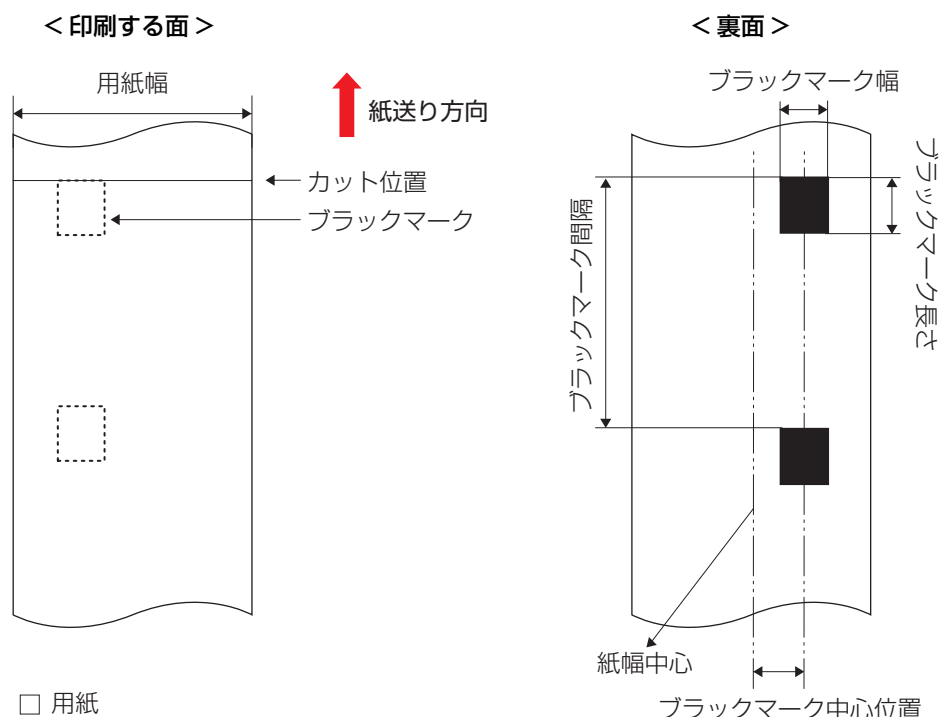
ファンフォールド紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



項目	仕様
用紙種類	普通紙、マット紙、合成紙、光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙、上質紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	8 ～ 301.8 mm
ページ間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
カス幅	1.5 mm 以上
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク配置	図参照。ブラックマーク先端とラベルの先端がそろっていること
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	10 ～ 304.8 mm
用紙厚	0.161 ～ 0.240 mm
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm
折り数	500 折り以下
ミシン目形状	アンカット 1 mm、カット 3 ～ 5mm ※ カット部が用紙両端にかかっていないこと。
穴、切り欠き	不可



- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ～ 1 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2 mm 以上離してください。
- 仕様外のページ間距離の用紙は紙詰まりの原因になるため、使用しないでください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。
- 型抜きされたラベルの形状や紙厚、硬さによっては、本製品の内部でラベルが台紙から剥がれてしまうおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

リストバンド用紙 

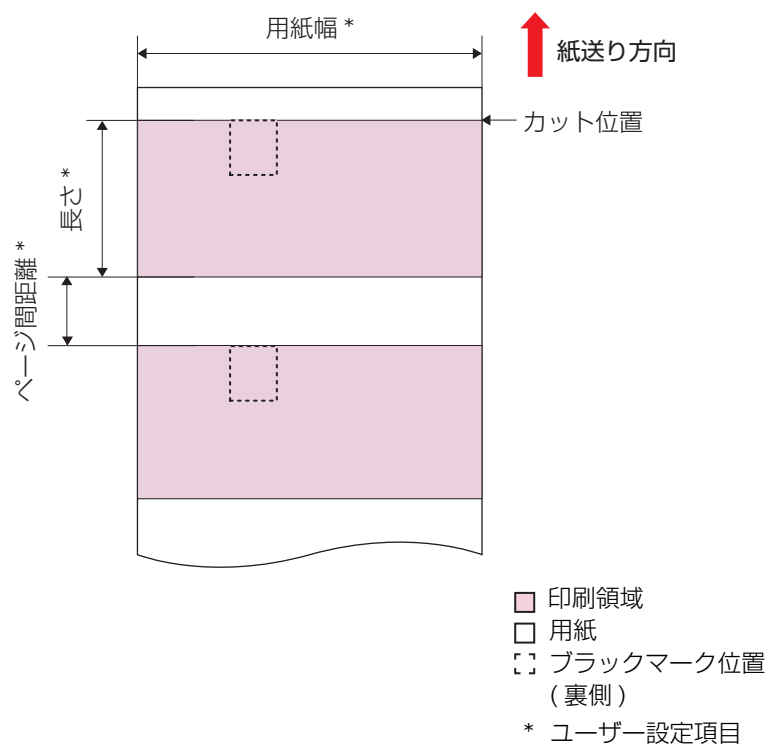
項目	仕様
用紙種類	WB-S/M/L シリーズ（合成紙）
用紙幅	36 mm
ブラックマーク配置	図参照
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上、空白部 4 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	• 184.1 mm（WB-S の場合） • 292.1 mm（WB-M/L の場合）
用紙厚	0.225 mm
巻芯外径	56.8 mm 以上
ロール紙外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印刷面が外側
穴、切り欠き	穴径 2.5 mm 以下



- WB-S/M/L シリーズを使用するには、プリンターにアタッチメント（OT-WA34）を取り付けてください。（[342 ページ「OT-WA34」](#)）
- プリンターの機能を損なうため、スナップ取り付け用の穴の上、近傍 2 mm には印刷を行わないでください。
- バーコードを印刷する場合、クワイエットゾーンを含めて、実際の運用上バーコードが読み取れることを確認してください。
- ブラックマーク検出器が紙幅中心にないため、両側にブラックマークを設けると、どちらの用紙端から印刷してもブラックマークを検出できるようになります。

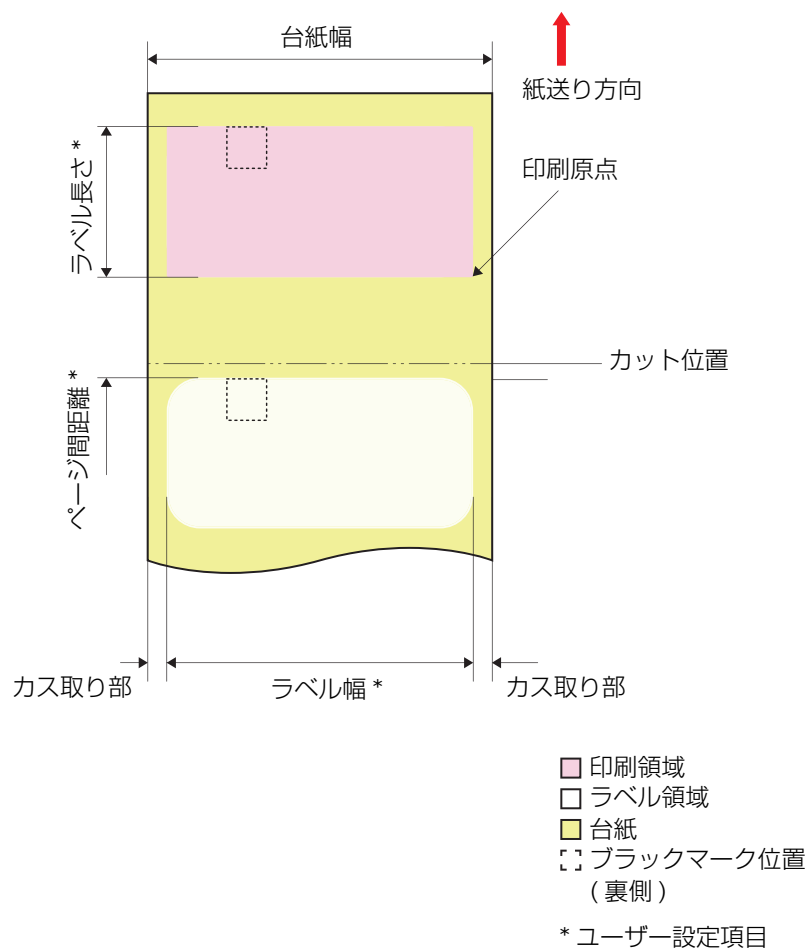
印刷領域

連続紙とリストバンド



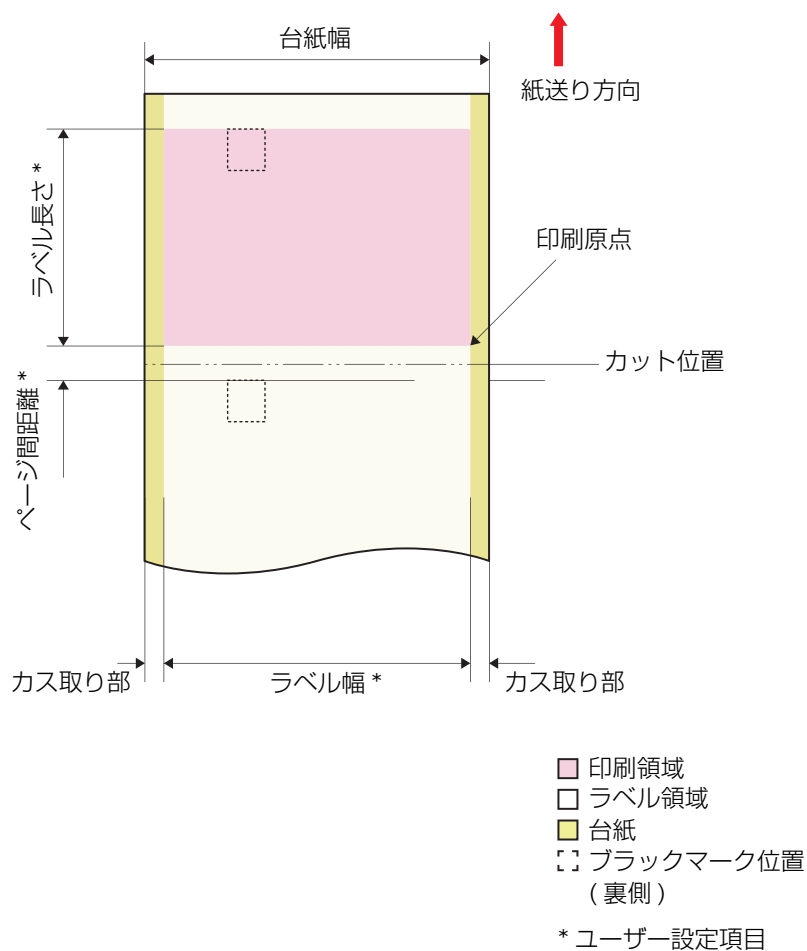
- フチなしの場合は、インクがラベルや手に付着して汚れたり、プリンター内部に付着して故障の原因になります。
- 印刷領域の上端に 1.5 mm 以上の余白を付けることで、インク汚れや白スジの発生を軽減できる場合があります。

ダイカットラベル(ブラックマーク基準)、ダイカットラベル(ブラックマークなし)



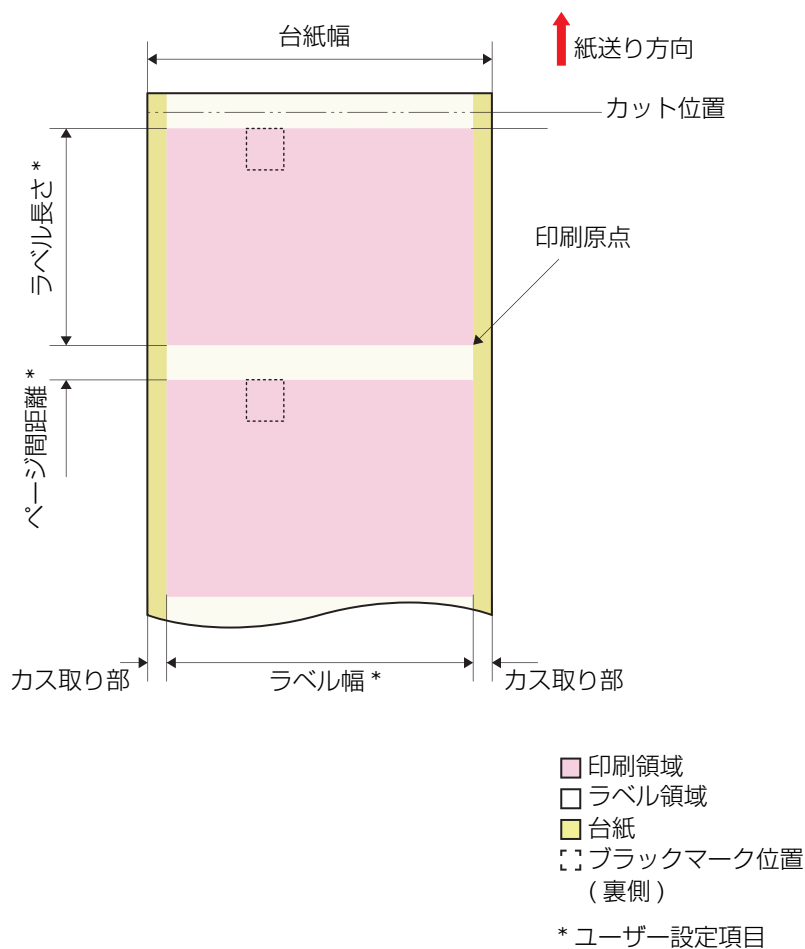
- フチなしの場合は、インクがラベルや手に付着して汚れたり、プリンター内部に付着して故障の原因になります。
- 印刷領域の上端に 1.5 mm 以上の余白を付けることで、インク汚れや白スジの発生を軽減できる場合があります。

全面ラベル(ブラックマーク基準)



- フチなしの場合は、インクがラベルや手に付着して汚れたり、プリンター内部に付着して故障の原因になります。
- 印刷領域の上端に 1.5 mm 以上の余白を付けることで、インク汚れや白スジの発生を軽減できる場合があります。

全面ラベル



- フチなしの場合は、インクがラベルや手に付着して汚れたり、プリンター内部に付着して故障の原因になります。
- 印刷領域の上端に 1.5 mm 以上の余白を付けることで、インク汚れや白スジの発生を軽減できる場合があります。

電氣的仕様

項目		仕様
電源供給		専用 AC アダプター (AC ADAPTER, K1 型番 : M248B)
定格電圧		DC 42 V
定格電流		1.38 A
消費電力	動作時 *	平均 約 28.2 W
	待機時	平均 約 2.6 W
	電源オフ時	平均 約 0.13 W

* 動作時は、弊社動作条件による

信頼性

寿命	本体	下記いずれか短い期間 • 5 年 • 150 km または 150 万ページ • キャリッジ 600 万パス • インク流路内バルブ動作回数 150 万回	
	オートカッター機構 (カット回数)	Plain roll paper	1,500,000 回
		Matte roll paper	700,000 回
		Glossy roll paper	700,000 回
		Wrist band	200,000 回
		Die-cut label backing (Plain paper)	1,500,000 回
		Die-cut label backing (Texture paper)	500,000 回
		Die-cut label backing (Matte paper)	1,500,000 回
		Die-cut label backing (Synthetic)	500,000 回
		Die-cut label backing (Glossy paper)	1,500,000 回
		Die-cut label backing (Glossy film)	500,000 回
		Die-cut label backing (High Glossy paper)	1,500,000 回
		Full-page label (Plain paper)	750,000 回
		Full-page label (Matte paper)	500,000 回
		Full-page label (Synthetic)	100,000 回
		Full-page label (Glossy paper)	300,000 回
		Full-page label (Glossy film)	100,000 回
		Full-page label (High Glossy paper)	200,000 回
		Full-page label (Texture paper)	100,000 回



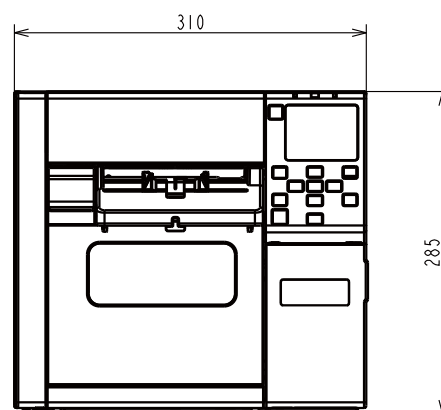
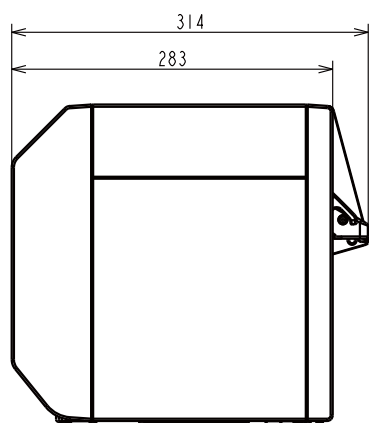
- 使用する用紙によって、信頼性が異なる場合があります。
- 用紙幅を狭い状態から広い状態へ変更すると、カッター刃の摩耗度の違いにより、信頼性は変わることがあります。

環境仕様

項目		仕様	
温度／湿度	印刷時	5 ～ 35 ℃、20 ～ 80 %RH 非結露（下図の網掛け領域） 湿度 (%) 温度 (℃) 上記温度範囲外ではノズル自己診断システムが正常に機能しない場合があります。	
	バーコード印刷時	15 ～ 35℃、20 ～ 80%RH 非結露	
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充填)	-20 ～ 60 ℃、5 ～ 85%RH 非結露 (-20 ℃または 60 ℃の場合：120 時間以内)
		インク 充填状態	フォト インク仕様
			マット インク仕様
標高		0 ～ 3000 m	
騒音		約 58 dB 弊社評価条件によります。	

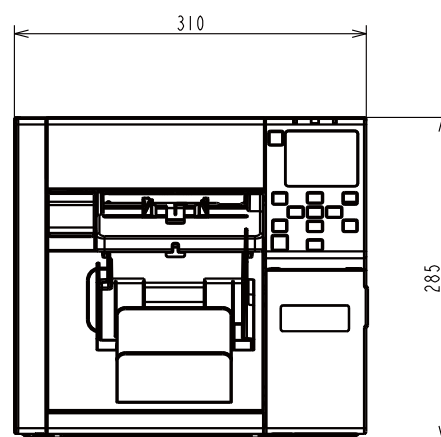
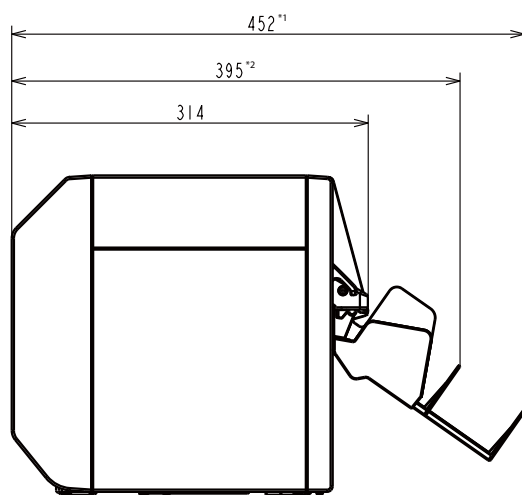
外形寸法

項目	仕様
高さ	285 mm
幅	310 mm
奥行	283 mm



単位：mm

• 排紙トレイ装着時



単位：mm

*1：排紙トレイを伸ばした時

*2：排紙トレイを縮めた時

消耗品仕様

インクカートリッジ

型番	CW-C4020	SJIC43P-BK SJIC43P-MK SJIC43P-C SJIC43P-M SJIC43P-Y
形態	4色インク別体型専用インクカートリッジ	
インク色	ブラック（フォトブラック (BK)、マットブラック (MK))、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)	
インク種	顔料インク	
有効期限	プリンター装着後 6ヵ月、使用期間を含め製造日から 3 年	
保存温度	個装輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃ の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃ の場合、1 ヶ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃ の場合、1 ヶ月以内)

メンテナンスボックス

型番	SJMB4000	
形態	廃液吸収材一体型メンテナンスボックス	
保存温度	個装輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃ の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃ の場合、1 ヶ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃ の場合、1 ヶ月以内)

オプション品

排紙トレイ

排紙トレイは、印刷後にカットされた用紙を一時的にためておくことができるトレイです。

以下のサイズ of 用紙を保持することができます。

最大用紙サイズ：幅 105 × 長さ 148 mm

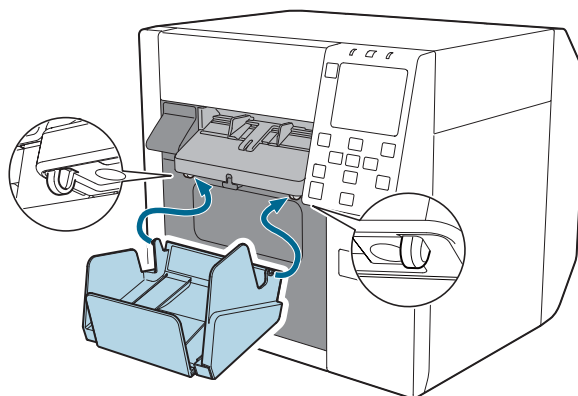
最小用紙サイズ：幅 76 × 長さ 54 mm



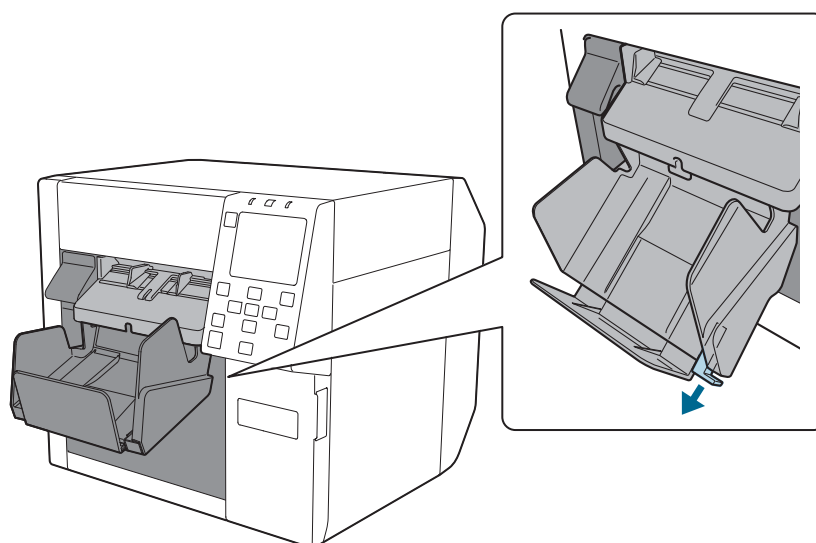
ロール紙の場合、用紙がカールしているため、複数枚印刷すると排紙トレイからあふれることがあります。

以下の手順で、排紙トレイを取り付けます。

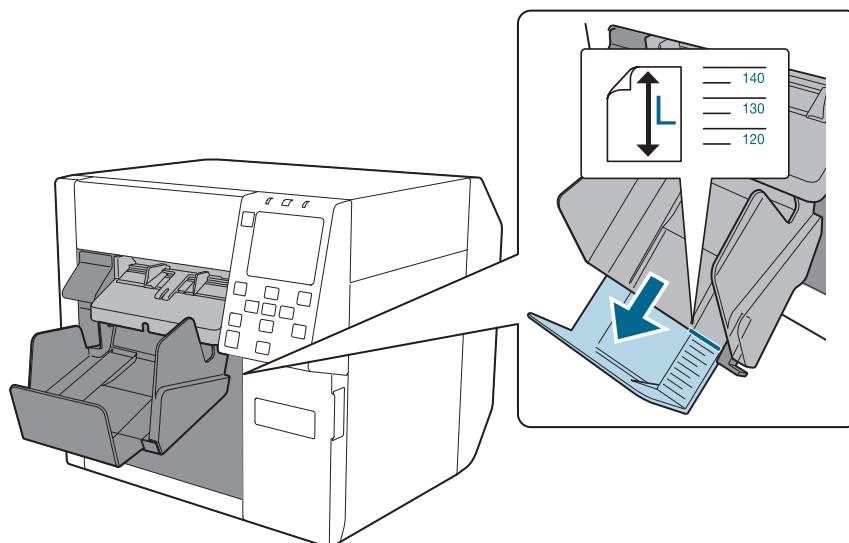
- 1 排紙ガイド下側のフックに、排紙トレイを取り付けます。



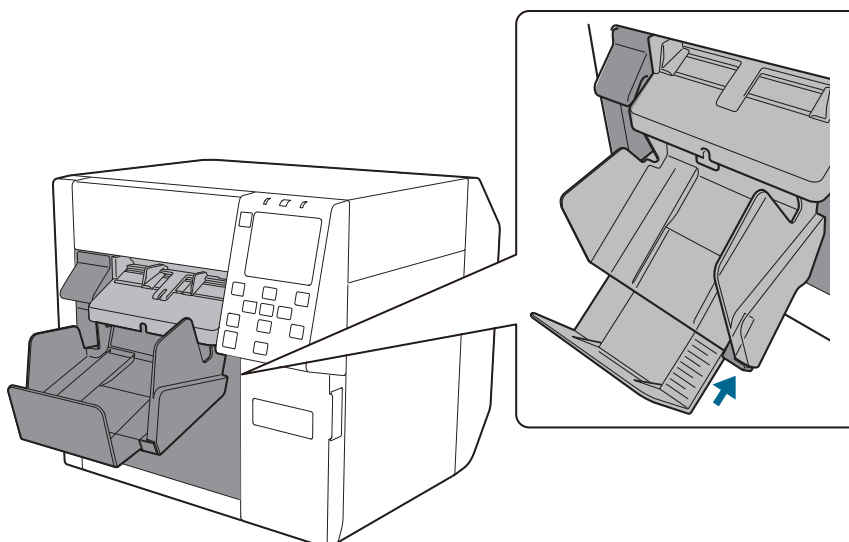
- 2 排紙トレイの右下のレバーを引いて、ロックを解除します。



- 3** 排紙トレイの手前側を引き出し、用紙の長さに合わせます。



- 4** 排紙トレイの右下のレバーを押し込んで、ロックします。



OT-WA34

OT-WA34 は、本製品に取り付けられるオプションのリストバンド用紙専用アタッチメントです。リストバンド用紙に印刷を行うときにプリンターに取り付けて使用します。

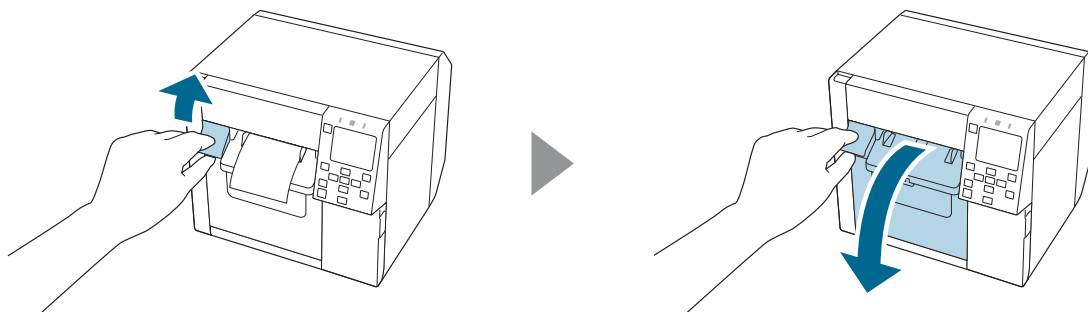


注意

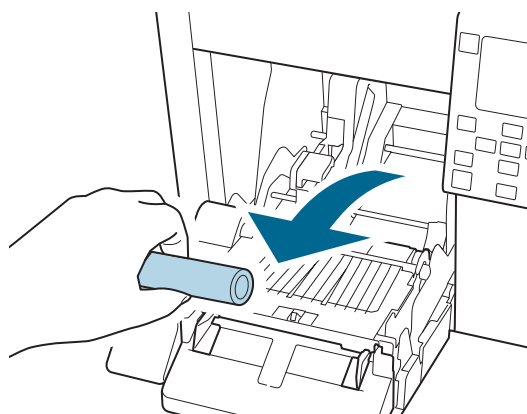
- リストバンド用紙（WB-L1/M1/S1）をご使用になる際に必要となる製品です。その他の用紙、ラベル紙をご使用になる場合には必要ありません。
- プリンターに取り付ける際、または取り外す際には、けがをしないようにご注意ください。
- リストバンド用紙に同梱されている取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。

取り付け方

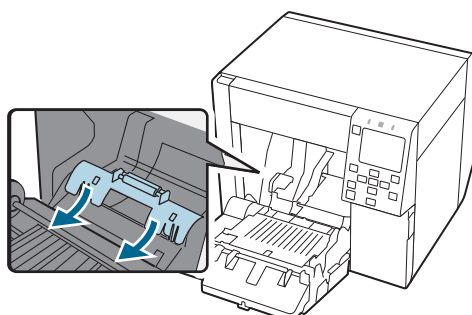
1 前面カバーを開けます。



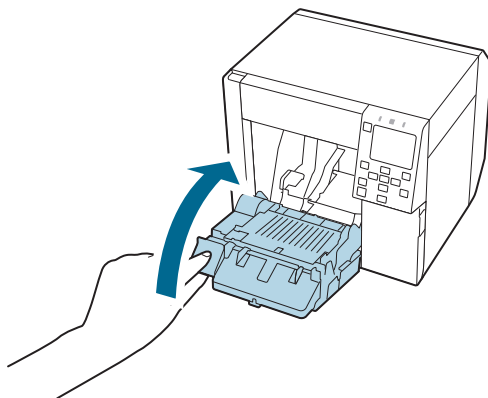
2 ロール紙または芯を取り除きます。



3 OT-WA34 を、前面カバーの内側の溝に差し込んで取り付けます。

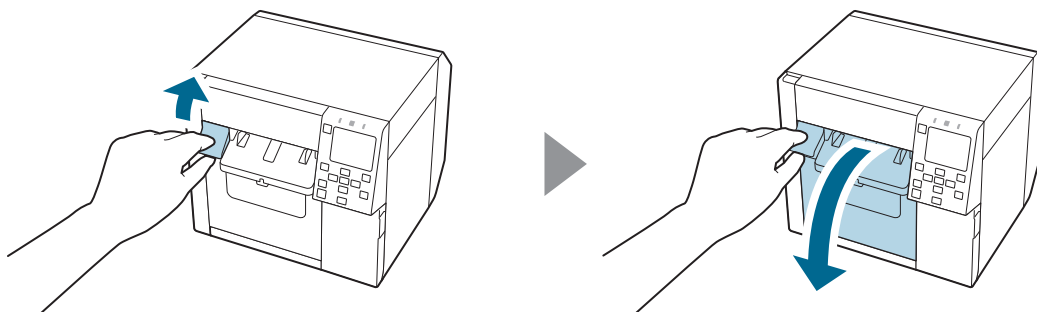


4 前面カバーを閉めます。

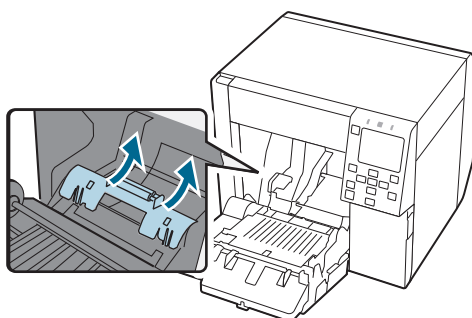


取り外し方

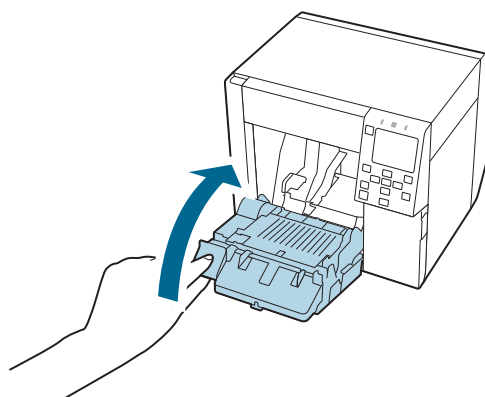
- 1** 前面カバーを開けます。



- 2** OT-WA34 を取り外します。



- 3** 前面カバーを閉めます。



OT-CU40

オートカッターが寿命値を超え、カットできない状態となった場合に交換するオプションです。



注意

- オートカッターの寿命はカットするメディアによって異なります。詳しくは(336 ページ「信頼性」)を参照してください。
- オプションに同梱されている取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 交換方法は、以下の URL に掲載されたマニュアルをご覧ください。
<https://www.epson-biz.com/?prd=cw-c4k&inf=otcu40>

ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。
<https://www.epson.jp/support/>

ラベル印刷アプリケーション

市販のラベル印刷アプリケーションから本製品を容易に使えるように、各ラベル印刷アプリケーションが本製品の専用ドライバーを提供しています。これらの専用ドライバーを使うことで、アプリケーションから直接プリンターの設定や、プリンターの機能を活用できます。

これら専用ドライバーを使う場合、エプソンのプリンタードライバーを使用する必要はありません。

以下のラベル印刷用アプリケーションに対応しています。

- BarTender
- NiceLabel
- CODESOFT

入手方法

BarTender

<https://www.bartendersoftware.com/>

NiceLabel

<https://www.nicelabel.com/>

CODESOFT

<https://www.teklynx.com/>

お問い合わせ

本製品についての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認の上、販売店もしくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-7020



- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害（接続、電源などの問題）がないかを確認してください。

☐ 問い合わせ分類：障害 / 質問

☐ 日付：

☐ 御社名：

☐ 部署名：

☐ お名前：

☐ お電話 / FAX / Email：

☐ コンピューター情報：

- 製造メーカー
- CPU

☐ OS(サービスパックも含む)：

☐ 対象プリンター機種名：

☐ プリンタードライバー：インストール済み (OS 標準 / Epson カスタム) / インストールしていない

☐ 対象プリンター接続形態：USB / Ethernet / MS 共有 (クライアント / サーバー)

☐ ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 / Ver) / なし

☐ 御社アプリケーション情報：

- Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作

☐ 弊社アプリケーション動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / Epson Monitoring Tool / EpsonNet Simple Viewer / EpsonNet SDK for Windows / PrinterSetting / その他 (名前)

☐ 障害の現象 (or 質問内容)：

☐ システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成

☐ 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値

☐ 障害の再現性：再現する (回中 回) / 再現しない